



ユーザーガイド

AWS Supply Chain



AWS Supply Chain: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標とトレードドレスは、Amazon 以外の製品またはサービスとの関連において、顧客に混乱を招いたり、Amazon の名誉または信用を毀損するような方法で使用することはできません。Amazon が所有しない他の商標はすべてそれぞれの所有者に帰属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon の支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

とは AWS Supply Chain	1
の機能 AWS Supply Chain	1
AWS Supply Chain へのサインイン	2
ユーザーアクセス許可	3
AWS Supply Chain ダッシュボードの管理	5
AWS Supply Chain ダッシュボードのカスタマイズ	5
KPI の有効化	5
KPI の管理	5
キーのモニタリング	5
時間どおりの完全な配送	6
顧客注文サイクルタイム	6
サプライヤー充填率	7
セルスルー率	8
データレイク	9
データレイクで使用される用語	9
前提条件	10
開始	11
データ取り込み	11
データセットの表示	12
Data Quality	12
新しいデータソースの追加	13
ファイルを初めてアップロードする	14
EDI への接続	18
S/4 HANA への接続	20
SAP ECC 6.0 への接続	32
新しいアウトバウンドソースの追加	38
データの取り込み	38
Amazon S3 バケットへのデータのアップロード	40
インサイト	41
インサイトの設定	41
ネットワークマップの表示	43
在庫の可視性の表示	45
在庫予測について	46
インサイトウォッチリストの作成	48

在庫リスクウォッチリストの作成	49
リードタイム偏差ウォッチリストの作成	50
生成されたインサイトの表示	51
在庫リスクのインサイトの解決	52
リードタイムに関するインサイト	53
リードタイムの偏差と推奨事項	54
コラボレーション	55
通知	56
通知を有効にする	56
Work Order Insights	58
Work Order Insights を初めて設定する	58
作業指示の設定	61
組織ラベル	63
作業指示	64
作業指示の品目の表示	66
調達	68
ロジスティクス	70
Demand Planning	73
用語	73
Demand Planning の設定	75
概要	79
需要計画の表示	82
予測の検証	85
製品のライフサイクル	85
製品系列	86
需要要因に基づく予測	94
需要要因の使用	94
需要ドライバーのレコメンデーション	99
上書きの追加	100
ファイルのエクスポート	101
需要計画を公開する	101
需要計画設定の変更	101
供給計画	103
自動補充	103
キー入力	104
計画プロセス	105

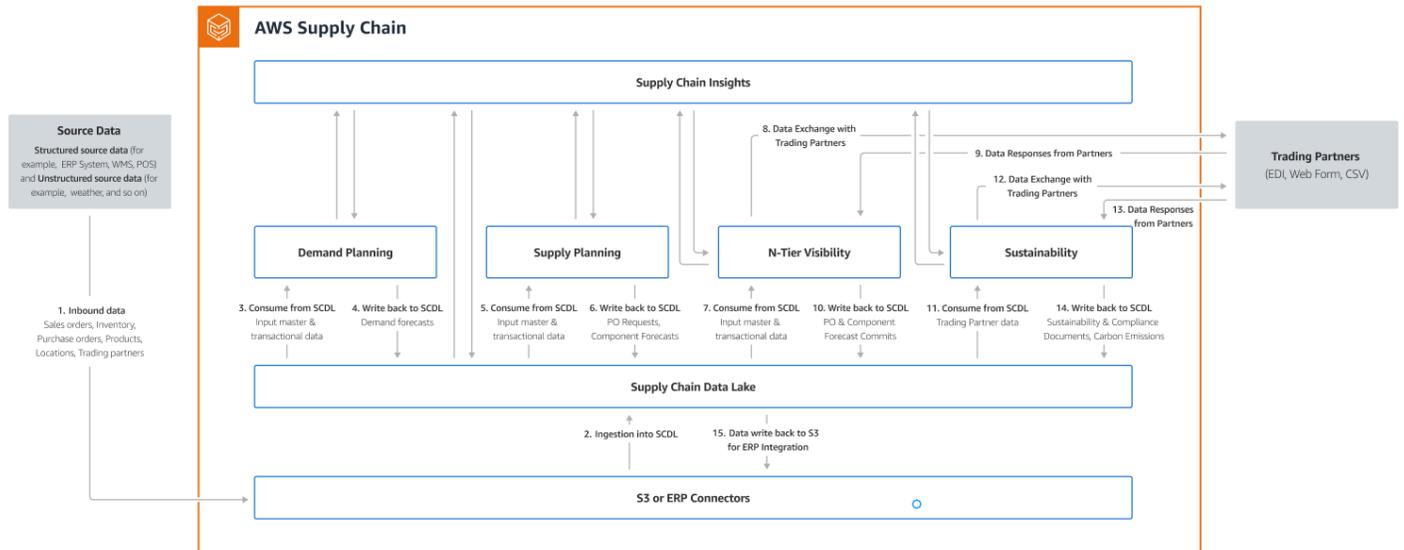
インベントリポリシー	108
ビジネスワークフロー	116
自動補充の設定	117
製造プラン	126
キー入力	127
計画プロセス	127
製造プランの設定	128
ビジネスワークフロー	138
Supply Planning に必要なデータエンティティ	140
設定データの計画	140
トランザクションデータ	148
N 階層の可視性	151
N-Tier 可視性を初めて使用する	152
N 階層の可視性	153
パートナーの招待の確認と承諾	155
発注書	157
発注書の確認と承認	158
Forecast のコミット	158
予測コミットの確認と受け入れ	159
N 階層可視性設定	160
EDI が有効になっている場合の予測コミットの表示	161
EDI 形式での発注書の表示	161
持続可能性	163
サステナビリティを初めて使用する	163
サステナビリティダッシュボード	164
パートナーの招待	167
データリクエスト	168
データリクエストの作成	169
データリクエストの例	171
パートナー招待の確認と承諾	174
データリクエストの確認または応答	175
パートナー設定	176
で使用されるデータエンティティ AWS Supply Chain	178
持続可能性	178
N 階層の可視性	180
供給計画	183

インサイト	215
Work Order Insights	298
Demand Planning	329
データセットをアップロードするための前提条件	330
フルフィルメントのデータマッピングの例	331
でサポートされているデータエンティティ AWS Supply Chain	342
組織	346
company	347
geography	348
trading_partner	350
trading_partner_poc	353
製品	140
product	354
product_hierarchy	363
product_uom	364
product_alternate	367
un_details	370
ネットワーク	372
site	372
transportation_lane	374
ベンダー管理	379
vendor_product	380
vendor_lead_time	383
vendor_holiday	387
計画	388
product_bom	388
inv_policy	391
segmentation	398
sourcing_rules	400
sourcing_schedule	404
sourcing_schedule_details	406
リザーベーション	409
操作	412
process_header	412
process_operation	416
process_product	418

production_process	421
在庫管理	424
inv_level	424
インバウンド	428
inbound_order	428
inbound_order_line	432
inbound_order_line_schedule	439
shipment	443
shipment_stop	451
shipment_stop_order	453
shipment_lot	455
アウトバウンド納品	458
outbound_order_line	458
outbound_shipment	464
計画	467
supply_plan	467
Forecast	148
supplementary_time_series	472
予測	476
リファレンス	481
reference_field	481
カレンダー	483
uom_conversion	485
インサイト	486
work_order_plan	486
AWS サポート	489
ドキュメント履歴	490
.....	cdxciii

とは AWS Supply Chain

AWS Supply Chain は、既存のエンタープライズリソースプランニング (ERP) およびサプライチェーン管理システムと連携するクラウドベースのサプライチェーン管理アプリケーションです。を使用すると AWS Supply Chain、既存の ERP またはサプライチェーンシステムから、インベントリ、供給、需要に関連するデータを 1 つの統合 AWS Supply Chain データモデルに接続して抽出できます。



トピック

- [の機能 AWS Supply Chain](#)
- [AWS Supply Chain へのサインイン](#)
- [ユーザーアクセス許可](#)

の機能 AWS Supply Chain

AWS Supply Chain は、次の機能をサポートしています。

- データレイク – AWS Supply Chain データレイクは、サプライチェーン管理用に構築された拡張可能なデータモデルを使用して、サプライチェーンシステムからのデータを 1 か所に集約するプロセスを簡素化します。データレイクは、既存の ERP やサプライチェーン管理システムなど、あらゆる構造化されたデータソースからのデータを処理します。その他の倉庫管理システムに接続するには、Amazon S3 コネクタを使用できます。データソースが接続されたら、データソースと AWS

Supply Chainのデータモデル間のデータマッピングを確認して確認できます。データフィールドのマッピングが完了すると、データソースからデータのインポートを開始できます。詳細については、「[データレイク](#)」を参照してください。

- **インサイト** – AWS Supply Chain インサイトは、データレイク内のサプライチェーンデータを使用して、潜在的なサプライチェーンリスク (在庫切れ、過剰在庫、リードタイム偏差など) に関するインサイトを自動的に生成します。データがインポートされると、は、在庫スナップショット、未処理の注文、転送中の出荷、アウトバウンド注文と予測からの需要に基づいて、予測された在庫 AWS Supply Chain を自動的に計算します。は、在庫ポリシーに格納されている在庫レベルの下と上の両方を含む潜在的な在庫リスクをインベントリマネージャー AWS Supply Chain に積極的に警告し、在庫切れを解決するための再調整に関する推奨事項を提供します。インベントリマネージャーは、ベンダーによるリードタイムの逸脱が一貫している場合にも警告され、今後そのような逸脱を回避するために契約上のリードタイムを更新することをお勧めします。詳細については、「[インサイト](#)」を参照してください。
- **需要計画** – AWS Supply Chain Demand Planning を使用して、需要予測の作成、市場状況に応じた予測の調整、および需要プランナーによるチーム間のコラボレーションを許可できます。詳細については、「[Demand Planning](#)」を参照してください。
- **供給計画** – 供給計画を使用して、品目、コンポーネント、および製品の購入を計画および予測できます。供給計画は、自動補充計画と製造計画の2種類の供給計画をサポートします。詳細については、「[供給計画](#)」を参照してください。
- **サステナビリティ** – AWS Supply Chain データレイクコネクタを使用し、パートナー情報を point-of-contact Amazon S3 またはその他の ERP システムからパートナーまたはパートナーの にマッピングすることで、パートナーを招待できます。詳細については、「[持続可能性](#)」を参照してください。
- **N 階層の可視性** – N 階層の可視性は、組織を超えて外部の取引相手に可視性とインサイトを拡張します。詳細については、「[N 階層の可視性](#)」を参照してください。

AWS Supply Chain へのサインイン

AWS Supply Chain にはウェブベースのクライアントがあるため、ウェブブラウザから AWS Supply Chain アカウントにアクセスできます。の使用を開始するには AWS Supply Chain、ブロードバンドインターネット接続と、次の表に示すいずれかのウェブブラウザが必要です。

ブラウザ	サポートされるバージョン
Google Chrome	最新 3 バージョン

ブラウザ	サポートされるバージョン
Mozilla Firefox Extended Support Release (ESR)	サポート終了日 前のバージョンはすべてサポートされません。詳細については、「 Firefox ESR release calendar 」を参照してください。
Mozilla Firefox	最新 3 バージョン
Microsoft Edge および Edge Chromium	バージョン 84 以降
Safari	macOS 上の Safari 10 以降

AWS Supply Chain システム管理者から一意の AWS Supply Chain ウェブクライアント URL が提供されます。紛失したか、忘れたパスワードを復元する場合は、管理者に問い合わせてください。

Note

AWS Supply Chain ダッシュボードは、アクセス許可ロールに従ってカスタマイズされます。詳細については、「[ユーザーアクセス許可](#)」を参照してください。

1. ウェブブラウザで、AWS Supply Chain 管理者から提供された [ウェブクライアント URL] を入力します。例えば、https://alias.awsapps.com と入力します。
2. ユーザー名とパスワードには、AWS IAM Identity Center SSO 認証情報 (以前は AWS SSO と呼ばれていました) を入力します。
3. [サインイン] を選択します。

ユーザーアクセス許可

AWS Supply Chain では、次のデフォルトのユーザーアクセス許可ロールがサポートされています。これ以外にも、複数のアクセス許可ロールを持つカスタムユーザーアクセス許可ロールを作成できます。特定のロケーションや製品を追加することもできます。

- 管理者 – すべてのデータとユーザーのアクセスを作成、表示、管理するアクセス許可
- データアナリスト – すべてのデータ接続を作成、表示、管理するアクセス許可
- 在庫マネージャー – Insights を作成、表示、管理するアクセス許可

- プランナー – 予測と上書きを作成、表示、管理し、需要計画を公開するアクセス許可
- パートナーデータマネージャー – パートナーの管理と表示、データリクエストの管理と表示、持続可能性データの表示のアクセス許可
- サプライプランナー – 供給計画を管理、表示するアクセス許可

AWS Supply Chain ダッシュボード

デフォルトのダッシュボードビューは、AWS Supply Chain 管理者が割り当てたアクセス許可によって異なります。ダッシュボードでは、データ接続や在庫の可視性の確認、ユーザーやグループの追加、ウォッチリストや重要業績評価指標 (KPI) のモニタリングを直接行うことができます。

AWS Supply Chain ダッシュボードのカスタマイズ

ダッシュボードをカスタマイズするには

1. AWS Supply Chain ダッシュボードで、[ダッシュボードの管理] を選択します。
[Build your dashboard] ページが開きます。
2. ユーザーのアクセス許可ロールに応じて、ダッシュボードのカスタマイズに使用できるカードが表示されます。ダッシュボードに追加するカードのチェックボックスをオンにします。
3. [保存] をクリックします。

KPI の有効化

AWS Supply Chain で KPI をモニタリングするには

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの [Monitor KPIs] の下にある [有効化] をクリックします。
AWS Supply Chain ダッシュボードが更新され、現在のデータセットの KPI が表示されます。
2. KPI にカーソルを合わせると、実際の値または割合 (%) を確認できます。

KPI の管理

AWS Supply Chain ダッシュボードで KPI を表示または削除するには

1. AWS Supply Chain ダッシュボードで、[ダッシュボードの管理] を選択します。
2. AWS Supply Chain ダッシュボードに表示する KPI または削除する KPI を選択します。
3. [保存] をクリックします。

キーのモニタリング

AWS Supply Chain 管理者は次の KPI をサポートします。

- [時間どおりの完全な配送](#)
- [顧客注文サイクルタイム](#)
- [サプライヤー充填率](#)
- [セルスルー率](#)

時間どおりの完全な配送

時間どおりの完全な配送 (OTIF) は、注文の完全な期日どおりのピッキング、梱包、出荷など、顧客フルフィルメント業務の効率を測定します。このメトリクスは、出荷予定日以前に完全に出荷された注文の合計数を、出荷予定日がある月の出荷の総数で割ったものを加算して測定されます。

OTIF では、次のエンティティを AWS Supply Chain のデータレイクに入力してマッピングする必要があります。

データセット	エンティティ
Outbound_Shipment	Shipped_Qty
Outbound_Order_Line	Quantity_Promised
Outbound_Shipment_Records	Actual_Ship_Date
Outbound_Shipment	Expected_Ship_Date

AWS Supply Chain は、OTIF の計算に、次の計算式を使用します。

約束した `outbound_order_line.Quantity` と一致し、`outbound_shipment_records.actual_ship_date` が `outbound_shipment.expected_ship_date` と等しいかそれ以前の `outbound_shipment.shipped_qty` の合計 ÷ `outbound_shipment.expected_ship_date` が該当月である注文数合計

顧客注文サイクルタイム

顧客の注文サイクルタイムは、サプライチェーンのフルフィルメントプロセスの効率を測定します。このメトリクスは、注文日から注文が発送されるまでの平均日数で算出されます。

顧客注文サイクルタイムでは、次のエンティティを AWS Supply Chain のデータレイクに入力してマップする必要があります。

データセット	エンティティ
Outbound_Order_Line	Order_Date
Outbound_Shipment_Records	Actual_Ship_Date

AWS Supply Chain は、顧客注文サイクルタイムの計算に次の計算式を使用します。

該当月のすべての Outbound_order_Line.order_date から Outbound_Shipment.actual_ship_date までの平均日数

サプライヤー充填率

サプライヤーの充填率では、サプライヤーの組織に対するコミットメントを測定します。このメトリクスは、受け取った数量が配達予定日までに要求された数量と一致するすべてのインバウンド注文を加算して算出されます。

サプライヤーの充填率では、次のエンティティを AWS Supply Chain のデータレイクに入力してマップする必要があります。

データセット	エンティティ
Inbound_Order_Line	Quantity_Submitted
Inbound_Order_Line	Quantity_Received
Inbound_Order_Line	Received_Date
Inbound_Order_Line	Expected_Delivery_Date

AWS Supply Chain は、サプライヤー充填率の計算に、次の計算式を使用します。

$$\frac{\text{inbound_order_line.quantity_recieved} \times \text{inbound_order_line.order.recieve.date} \leq \text{inbound_order_line.expected_delivery_date}}{\text{inbound_order_line.expected_delivery_date}}$$
 が該当月である明細行の合計

セルスルー率

セルスルー率は、特定の月に販売された在庫の割合 (%) を測定します。このメトリクスは、特定の月のアウトバウンド出荷数量を加算し、月初の経常在庫とその月に受け取った在庫の合計で割って算出されます。

セルスルー率では、次のエンティティを AWS Supply Chain のデータレイクに入力してマップする必要があります。

データセット	エンティティ
Outbound_Shipment	Shipped_Qty
Outbound_Shipment_Records	Actual_Ship_Date
Inventory_Level_Records	On_Hand_Inventory
Inbound_Order_Line	Expected_Delivery_Date
Inbound_Order_Line	Quantity_Received
Inbound_Order_Line	Received_Date

AWS Supply Chain は、セルスルー率の計算に、次の計算式を使用します。

該当月の `outbound_shipment_records.quantity_shipped` 合計 ÷ (月初の `InventoryLevel_records.on_hand_inventory` 合計 + 該当月中の `inbound_order_line.quantity_recieved` 合計)

データレイク

この章では、AWS Supply Chain を使用してデータソースに接続する方法について説明します。

トピック

- [データレイクで使用される用語](#)
- [前提条件](#)
- [開始](#)
- [新しいデータソースの追加](#)
- [新しいアウトバウンドソースの追加](#)
- [データの取り込み](#)

データレイクで使用される用語

データレイクで使用される用語は次のとおりです。

- エンティティ – 各カテゴリのデータオブジェクトに関する情報。例えば、company、geography、trading_partner は組織のエンティティです。詳細については、「[で使用されるデータエンティティと列 AWS Supply Chain](#)」を参照してください。
- データセット – エンティティに関連する情報。各エンティティが持つデータセットは 1 つのみです。
- コネクタ – AWS Supply Chain にデータをインポートする手段。
- レシピ – ソースデータを谷津のデータセットにマップする方法を説明するステップのセット
- ソースフロー¹ – アップロードしたデータセットとフィールドを表示します。
- Destination Flows¹ – データセットのデータをデータレイク AWS Supply Chain 内のデータエンティティに関連付けます。
- ソースシステム¹ – 既存のエンタープライズリソースプランニング (ERP) システム、倉庫管理システム (WMS)、またはサプライチェーンデータ管理システム。

¹ – これらの用語は、Amazon S3 (またはウェブアプリケーションで CSV をアップロード) を介してデータを取り込む場合にのみ表示されます。

前提条件

データセットをアップロードして取り込む前に、次の点に注意してください。

- アップロードするファイルは 5 GB 未満である必要があります。
- データセット内のコンテンツは UTF-8 エンコード形式に従う必要があります。
- ファイルタイプはコネクタでサポートされている必要があります。SAP システムのコネクタは CSV をサポートし、EDI コネクタは .txt および .edi 形式をサポートし、Amazon S3 は CSV をサポートします。
- データ行には、必須フィールドの NULL 以外の値が含まれている必要があります。
- 日付と時刻の形式は ISO8601 標準に従う必要があります。例えば、2020-07-10 15:00:00.000 は、2020 年 7 月 10 日の午後 3 時を表します。
- データセットの列名には、スペースや特殊文字を含めないでください。列名は 2 つの単語の間にアンダースコア (_) で区切る必要があります。
- Amazon S3 ソースパスを使用する場合、AWS Supply Chain は、選択したソースシステムにちなんだという名前の親フォルダを作成します。サブフォルダの名前は、選択したソーステーブルにちなんで付けられます。ファイル名が一意であることを確認します。構築したファイル構造は、Amazon S3 パスの作成に使用されます。
- AWS Supply Chain は、事前に割り当てられた URLs を使用して複数ステップのアップロードプロセスに従います。ブラウザのセキュリティ制限により、データセットをアップロードするには、S3 バケットの Cross-Origin Resource Sharing (CORS) アクセス許可で PUT リクエストを許可し、ETag ヘッダーを返す必要があります。Amazon S3 バケットの CORS ポリシーを更新するには、接続で CORS にスクロールダウンし、次のポリシーを貼り付けます。

```
[
{
  "AllowedHeaders": [
    "*"
  ],
  "AllowedMethods": [
    "PUT"
  ],
  "AllowedOrigins": [
    "https://instance-id.scn.global.on.aws"
  ],
  "ExposeHeaders": [
```

```
"Etag"  
]  
}  
]
```

開始

AWS Supply Chain データレイクを使用して、さまざまなデータソースからデータを取り込むことができます。サポートされているデータソースの詳細については、「」を参照してください[新しいデータソースの追加](#)。

トピック

- [データ取り込み](#)
- [データセットの表示](#)
- [Data Quality](#)

データ取り込み

現在の接続、送信元、および送信先のフローを表示できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択し、Data Ingestion タブを選択します。

データ取り込みページが表示されます。

2. ソースフロー タブを選択します。
 - ソースフロー — アップロードされたデータセットのファイルまたはフォルダ構造を表示します。
 - S3 パス — ソースファイルをアップロードする Amazon S3 パスを表示します。
 - ステータス — ソースファイルのアップロードステータスを表示します。
 - 最終同期 — ファイルが最後に同期または更新された日時を表示します。
 - アクション — 以下を表示できます。
 - フローの管理 — データマッピングを更新できます。
 - ファイルのアップロード — 既存のソースフローにソースファイルを追加できます。

- フローの削除 — ソースフローを完全に削除できます。
3. 送信先フロー タブを選択します。
 4. 「アクション」で「フローの管理」を選択して、データマッピングを表示および更新します。

送信先フローの管理ページが表示されます。
 5. ソース列 の下にある関連付けられていないソース列を送信先列 に移動します。
 6. 終了と送信先フローの確認を選択して、送信先フローページに戻り、送信先フローを確認します。
 7. [Connections (接続)] タブを選択します。

既存の接続をすべて表示できます。

データセットの表示

既存の接続にアップロードされたデータスキーマを表示するには、次の手順を実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択し、データセットタブを選択します。

データセットページが表示されます。
2. データセットを表示するには、[表示] をクリックします。
3. データセットフィールド タブでは、データセット内のすべての既存のデータセットフィールドを表示できます。新しい保存先フィールドをオプションのフィールドとして追加するには、[フィールドを追加] をクリックします。
4. ソース接続 タブで、そのデータセットに供給している接続を表示できます。

Data Quality

データインジエストを表示したり、AWS Supply Chain モジュールエラーを表示したりするには、次のステップを実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択し、Data Quality タブを選択します。
2. 接続エラー タブを選択します。データレイクへのデータ取り込みに影響するすべてのエラーの概要が一覧表示されます。

エラーは、Connection または Dataflow でフィルタリングできます。

3. モジュールエラー タブを選択します。AWS Supply Chain モジュールのデータ取り込みエラーを表示できます。

新しいデータソースの追加

を使用して AWS Supply Chain、次のデータソースに保存されているデータを取り込み、サプライチェーン情報を抽出できます。AWS Supply Chain は、抽出した情報を Amazon S3 バケットに保存し、そのデータを需要計画、インサイト、Supply Planning、N-Tier Visibility、Work Order Insights、および Sustainability に使用できます。

- Amazon S3 ソースデータ – ERP システムがない場合、または別の抽出ツールを使用している場合は、Amazon S3 データソースフローオプションを使用できます。データソースから raw データを抽出し、データフィールドを AWS Supply Chain データモデルにマッピングし、任意の統合ツールを使用して Amazon S3 にアップロードできます。CSV ファイルは、自動関連付けを使用している場合にのみ Amazon S3 にアップロードできます。
- 電子データ交換 (EDI) – AWS Supply Chain は、EDI メッセージ 850、860、856 の X12 ANSI バージョン 4010 をサポートしています。サポートされているデータ形式は .edi または .txt です。選択した統合ツールを使用して、raw EDI メッセージを Amazon S3 に追加できます。AWS Supply Chain は、EDI 856 の自然言語処理 (NLP) によるデフォルトテンプレートを使用して、raw EDI メッセージを抽出して関連付けることができます。NLP テンプレートは EDI 850 および 860 ではサポートされておらず、には定義済みのカスタマイズ可能なレシピが付属しています AWS Supply Chain。
- SAP S/4HANA – SAP S/4HANA データソースからサプライチェーンデータを抽出するには、Amazon AppFlow コネクタを使用してこのソースに接続 AWS Supply Chain できます。SAP S/4HANA システムに保存されているサプライチェーンデータを、を使用して AWS Supply Chain データモデルに関連付ける AWS Supply Chain ことができます AWS Glue DataBrew。
- SAP ECC 6.0 – 統合ツール (ETL や iPaaS など) を使用して、SAP ECC 6.0 システムに保存されているサプライチェーンデータを抽出し、API を使用して Amazon S3 バケットに入れることができます。AWS Supply Chain は、SAP ECC 6.0 システムに保存されているサプライチェーンデータを、を使用して AWS Supply Chain データモデルに関連付けることができます DataBrew。

ファイルを初めてアップロードする

AWS Supply Chain 自動関連付け機能を使用すると、raw データをアップロードし、raw データを AWS Supply Chain データモデルに自動的に関連付けることができます。AWS Supply Chain ウェブアプリケーション内の各 AWS Supply Chain モジュールに必要な列とテーブルを表示することもできます。

Note

CSV ファイルは、自動関連付けを使用している場合にのみ Amazon S3 にアップロードできます。

データセットのソース列が宛先列に関連付けられると、AWS Supply Chain は自動的に SQL レシピを生成します。

Note

AWS Supply Chain は自動関連付けに Amazon Bedrock を使用します。これは、AWS Supply Chain が利用可能なすべての AWS リージョンでサポートされているわけではありません。したがって、AWS Supply Chain は、最も近い利用可能なリージョン、欧州 (アイルランド) リージョン – 欧州 (フランクフルト) およびアジアパシフィック (シドニー) リージョン – 米国西部 (オレゴン) から Amazon Bedrock エンドポイントを呼び出します。

Note

大規模言語モデル (LLM) を使用した自動関連付けは、データが Amazon S3 を介して取り込まれる場合にのみサポートされます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択し、Data Ingestion タブを選択します。

データ取り込みページが表示されます。

2. 新しいソースの追加 を選択します。

データソースの選択ページが表示されます。

3. データソースの選択ページで、ファイルのアップロードを選択します。
4. [Continue] (続行) をクリックします。

The screenshot shows the 'Ingest your data' configuration page in the AWS Supply Chain console. The page is titled 'Horizon Data Lake' and features a progress bar on the left with four steps: 1. Select source, 2. Upload data, 3. Manage source tables, and 4. Associate tables. The main content area is titled 'Which capabilities do you want to run?' and includes checkboxes for 'Insights', 'Supply Planning', 'Demand Planning', 'Sustainability', 'N-Tier Visibility', and 'Work Order Insights'. Below this is the 'Upload your source files' section, which has a text input for 'Source system name' containing 'othersources' and a large dashed box for file upload with the instruction 'Drag and drop, select files, or folder'. At the bottom, there is a 'Review data requirements' section with a grid of data entity buttons and a detailed view for 'Geography' showing its description and data columns.

5. 実行する機能ページで、使用する AWS Supply Chain モジュールを選択します。複数のモジュールを選択できます。
6. 「出典ファイルをアップロード」セクションで、出典システム名にサフィックスを追加します。例えば、oracle_test などです。
7. ソースデータセットをアップロードするには、ファイルを選択するか、ファイルをドラッグアンドドロップします。

名前とステータスのソーステーブルが表示されます。

8. S3 にアップロードを選択します。アップロードステータスが変わり、ステータスが表示されま

- 「データ要件の確認」で、選択した AWS Supply Chain 機能に必要なすべてのデータエンティティと列を確認します。必要なプライマリキーと外部キーがすべて表示されます。
- [Continue] (続行) をクリックします。
- 「ソーステーブルの管理」で、次のソーステーブルとリストされた列が自動的に関連付けられ、データレイクにインポートされます。

データレイクにインポートする前に、テーブルの削除を選択してソーステーブルを削除します。

The screenshot displays the 'Manage your source tables' section of the AWS Supply Chain console. On the left, a navigation pane shows the 'Manage source tables' step as the current active step. The main area is titled 'Manage your source tables' and includes a sub-header 'Expand each source table to review.' Below this, three source tables are listed: 'othersources_OutboundOrderLineRecords', 'othersources_ProductAlternateRecords', and 'othersources_ProductRecords2'. The first table is expanded, revealing a search bar and a list of columns: product_id, company_id, ship_from_site_id, customer_tpartner_id, final_quantity_requested, requested_delivery_date, order_date, actual_delivery_date, promised_delivery_date, status, id, and cust_order_id. A 'Delete Table' button is visible below the column list. At the bottom right of the interface, there are three buttons: 'Back', 'Return to Dashboard', and 'Accept all and Continue'.

- すべて受け入れ、続行 を選択します。

テーブルを AWS Supply Chain データレイクに自動的に関連付けるメッセージが表示されます。

The screenshot displays the 'Manage Destination Flows' section in the Horizon Data Lake console. A blue banner at the top indicates that the Data Lake has automatically associated supply chain data with AWS Supply Chain destination fields. The main area is titled 'Manage Destination Flows' and includes a sub-section for 'Outbound Order Line'. Below this, there is a list of source tables (e.g., 'link_id', 'cust_order_id', 'item_id') and a list of destination tables (e.g., 'link_id', 'customer_order_identifier', 'item_id'). The interface allows users to manage these associations and view optional columns in the Data Lake.

13. 「送信先フローの管理」で、自動に関連付けられた各テーブルを確認できます。

デフォルトでは、自動関連付けが有効になっており、ソース列は送信先列に自動的に関連付けられます。自動関連付け列を更新するには、SQL recipe を更新してカスタム recipe を作成します。

14. ソース列の下に、関連付けられていないソース列がすべて一覧表示されます。関連付けられていない列を右側の宛先列にドラッグアンドドロップします。

15. 自動関連付けられた各テーブルについて、前のステップに従います。

16. [送信] を選択します。

17. 終了を選択し、送信先フローを確認します。

後続のファイルを既存のソースにアップロードする

後続のデータセットを既存のソースにアップロードするには、2つの方法があります。ソースフロータブに表示される Amazon S3 パスにデータセットをアップロードするか、アクションタブのファイルをアップロードを選択します。

自動コネクタを使用している場合、スクリプトを実行している場合、またはミドルウェアソリューションを使用してデータセットをに取り込む場合は AWS Supply Chain、ソースフロータブに表示されている Amazon S3 パスで Amazon S3 パスを更新する必要があります。

Note

同じファイル名の既存のファイルが Amazon S3 に再アップロードされた場合、AWS Supply Chain は Amazon S3 上のファイルを上書きします。

The screenshot shows the 'Data Ingestion' section of the AWS Supply Chain interface. It features a search bar and a table of source flows. The 'S3 Path' column is highlighted with a red box. The 'Upload Files' action in the first row is also highlighted with a red box.

Source Flow	S3 Path	Status	Last Sync	Actions
othersources-outboundorderline-recordsabc	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersources/outboundorderline_recordsabc	Success	4/17/2024 04:02:37 PM	Manage Flow Upload Files Delete Flow
othersources-outboundorderline-records2	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersources/outboundorderline_records2	Success	4/17/2024 10:47:51 AM	Manage Flow Upload Files Delete Flow
othersources-outboundorderline-records1	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersources/outboundorderline_records1	Success	4/17/2024 10:26:55 AM	Manage Flow Upload Files Delete Flow
othersources-productrecords1	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersources/productrecords1	Success	4/12/2024 02:55:06 AM	Manage Flow Upload Files Delete Flow
othersources-productrecords2	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersources/productrecords2	Success	4/12/2024 02:55:06 AM	Manage Flow Upload Files Delete Flow
othersources-man	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersources/man	Success	4/11/2024 03:43:24 PM	Manage Flow Upload Files Delete Flow
othersourcestestAj-company	s3://aws-supply-chain-data-3c931912-4750-4102-97bb-a7b9d626ed49/othersourcestestAj/company	Success	4/11/2024 02:59:18 PM	Manage Flow Upload Files Delete Flow

EDI への接続

EDI データソースからデータを取り込むには、次の手順を実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択します。
2. データレイクページで、新しいソースの追加を選択します。
サプライチェーンデータソースの選択ページが表示されます。
3. [EDI] をクリックします。
4. EDI 接続の詳細ページの「接続の名前」に、接続の名前を入力します。
5. (オプション) [Connection description] に、この接続の説明を入力します。
6. [Amazon S3 Bucket Billing] の下にある Amazon S3 請求情報を確認して、[承認する] を選択します。
7. [次へ] をクリックします。

8. [データマッピング] の下にある [使用を開始] をクリックします。

9.

 Note

AWS Supply Chainでは、EDI 850、EDI 860、EDI 856 がサポートされています。

 Note

必須フィールドは既にマップされています。このステップは、デフォルトの変換レシピに特定の変更を加える場合にのみ実行します。

[Mapping Recipe] ページの [フィールドマッピング] の下にあるデフォルトの変換レシピを確認します。

保存先フィールドのマッピングを追加するには、[Add mapping] をクリックします。[Required Destination Fields] は必須です。別のカスタム保存先フィールドを追加するには、[Destination field] をクリックします。

 Note

各エンティティグループのすべてのエンティティ (EDI 850 エンティティグループのインバウンド注文、インバウンド注文明細、インバウンド注文明細スケジュール) を確認します。

10. サンプルデータをアップロードすると、変換レシピのソースフィールド値とデータマッピングを表示できます。「マッピングレシピ」ページの「サンプルデータのアップロード」で、ファイルを参照するか、ファイルをドラッグアンドドロップします。サンプルデータファイルには、必須パラメータとソースフィールド名が含まれている必要があります。

11. [Accept all and continue] をクリックします。

12. [レビューと確認] の下にデータ接続の概要が表示されます。データフィールドのマッピングを編集するには、[Go back to Data Mapping] をクリックします。

13. データ取り込みの確認と設定を選択して、取り込みプロセスを開始するためにソースデータをアップロードする必要がある Amazon S3 パスを確認します。

14. 後でデータを取り込む場合は、後でデータ取り込みの確認と設定を選択します。AWS Supply Chain ダッシュボードから接続を作成した後は、いつでもデータを取り込むことができます。

15. AWS Supply Chain ダッシュボードで、接続を開く を選択します。データを取り込む接続データフローを選択し、縦に並んだ省略記号をクリックして、[Ingestion setup] を選択します。

S/4 HANA への接続

S/4 HANA データソースに接続する前に、次の前提条件を満たす必要があります。その後、は Amazon S3 パス AWS Supply Chain を自動的に作成し、SAP ソーステーブルからデータを取り込みます。

S/4 HANA に接続するための前提条件

S/4 HANA データソースに接続するには、データを取り込む前に次の前提条件を満たす必要があります。

1. Amazon の SAP OData コネクタを介して ODP ベースのデータ抽出を有効にするように SAP S/4 HANA システムを設定します AppFlow。詳細については、[「Amazon の SAP OData コネクタ AppFlow」](#) を参照してください。
2. SAP データソースまたはエクストラクタを設定し、の ODP ベースの OData サービスを生成 AWS Supply Chain して、情報を接続および抽出します。詳細については、[「SAP データソース」](#) を参照してください。
3. 次のいずれかのタイプの認証を使用して、SAP システムを設定します。
 - Basic (ベーシック)
 - OAuth
4. SAP システムでセキュリティロールを設定して、データ抽出を有効にします。
5. SAP S/4 HANA へのネットワーク接続を設定します。SAP インスタンスが安全な VPN にあり、が接続 AWS Supply Chain するためのポートを開くことができない場合は、を使用することをお勧めします AWS PrivateLink。を手動でセットアップするには AWS PrivateLink、[「for AWS SAP」](#) を参照し、を使用して自動的にセットアップするには AWS CloudFormation、[「」](#) を参照してください [AWS CloudFormation](#)。

S/4 HANA 接続の設定

SAP S/4HANA データソースからデータを取り込むには、次の手順を実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択します。

2. データレイクページで、新しいソースの追加を選択します。

サプライチェーンデータソースの選択ページが表示されます。

3. [SAP S/4HANA] を選択します。

4. [次へ] をクリックします。

5. [SAP S/4HANA 接続の詳細] の下で、次を入力します。

- 接続名 – 接続の名前を入力する。
- (オプション) Connection description – この接続の説明を入力する。
- 既存の AppFlow コネクタを使用する – はい を選択して既存の AppFlow コネクタを使用します。
- Application Host URL – SAP アカountの URL を入力する。
- Application Service Path – SAP アプリケーションサービスのパスを入力する。
- ポート番号 – SAP のポート番号を入力する。
- Client Number – SAP クライアント番号を入力する。
- Logon Language – SAP 言語コードを入力する。例えば、英語の場合は EN と入力する。
- PrivateLink – 有効化 を選択して、SAP サーバーと AWS アカount ホスティング 間のプライベート接続を有効にします AWS Supply Chain。
- ユーザー名 – SAP アカountのユーザー名を入力する。
- パスワード – SAP アカountのパスワードを入力する。

 Note

Amazon AppFlow は、ユーザーが提供した SAP ユーザー名とパスワードを使用して SAP に接続します。

6. [Connect to SAP] をクリックします。

SAP ユーザー名とパスワードが正しく入力されていると、[Connection Successful] というメッセージが表示されます。

7. (オプション) オプション AppFlow の設定、ステップ 1 - JSON テンプレートファイル をダウンロードする で、既存の JSON テンプレートファイルをダウンロード を選択して、Appflow 取り込み設定を変更します。

Note

.json ファイルは、任意のエディタで編集できます。AWS Supply Chain内での .json ファイルの編集はできません。

.json ファイルを更新した後、ステップ 2 - 変更した JSON テンプレートファイルをアップロードする で、アップロードするファイルを参照します。

Note

このアップロードが正常に完了しない場合、[Upload summary] にこの.json ファイルのエラーや不整合が表示されます。json ファイルを更新して問題を修正して、ファイルをもう一度アップロードできます。

必須のスケジュール、データフロー、ソーステーブルを含む .json ファイルのサンプルは、次のとおりです。

```
{
  "schedule" : {
    "scheduleExpression" : "rate(1days)", // scheduleExpression key should be
    available and the value cannot be null/empty. Format starts with rate and having
    time values in minutes, hours, or days. For example, rate(1days)
    "scheduleStartTime" : null // Supported format - "yyyy-MM-
    dd'T'hh:mm:ss[+|-]hh:mm". For example, 2022-04-26T13:00:00-07:00. ScheduleStartTime
    should atleast be 5 minutes after current time. A null value will automatically
    set the start time as 5 minutes after the connection creation time
  },
  "dataFlows" : [ // DataFlows cannot be null or empty. Make sure to choose from
  the list below
    "Company-Company",
    "Geography-Geography",
    "Inventory-Inventory Level",
    "Inventory-Inventory Policy",
    "Outbound-Outbound Order Line",
    "Outbound-Outbound Shipment",
    "Product-Product",
    "Product-Product Hierarchy",
```

```

    "Production Order-Inbound Order",
    "Production Order-Inbound Order Line",
    "Purchase Order-Inbound Order",
    "Purchase Order-Inbound Order Line",
    "Purchase Order-Inbound Order Line Schedule",
    "Reference-Reference Fields",
    "Shipment-Shipment",
    "Site-Site",
    "Site-Transportation Lane",
    "Trading Partner-Trading Partner",
    "Transfer Order-Inbound Order Line",
    "Vendor Management-Vendor Lead Time",
    "Vendor Management-Vendor Product",
    "Product-Product UOM"
  ],
  "sourceTables" : [ // sourceTables cannot be empty
    {
      "tableName" : "SomeString", // Should be an existing table name from
the SAP instance
      "extractType" : "DELTA", // Should either be DELTA or FULL
      "tableCols" : [ // TableCols cannot be empty. Enter valid column
names for the table
        "col1",
        "col2",
        "col3"
      ],
      "filters" : [// Optional field
        "colName" : "col1", // colName value should be part of
tableCols
        "dataType" : "String", // Should contain values `STRING` or
`DATETIME`
        "value" : "String",
        "operator" : "String" // Choose a string
value from the pre-defined value of "PROJECTION", "LESS_THAN",
"CONTAINS", "GREATER_THAN", "LESS_THAN_OR_EQUAL_TO", "GREATER_THAN_OR_EQUAL_TO", "EQUAL_TO", "N
"VALIDATE_NUMERIC", "NO_OP";
      ]
    },
    {
      // sourceTables with same keys - tableName, extractType, tableCols,
filters(not mandatory)
    }
  ]
}

```

```
]
}
```

8. [Amazon S3 Bucket Billing] の下にある Amazon S3 請求情報を確認して、[承認する] を選択します。
9. [次へ] をクリックします。
10. [データマッピング] の下にある [使用を開始] をクリックします。
- 11.

Note

必須フィールドは既にマップされています。このステップは、デフォルトの変換レシピに特定の変更を加える場合にのみ実行します。

[Mapping Recipe] ページの [フィールドマッピング] の下にあるデフォルトの変換レシピを確認します。

保存先フィールドのマッピングを追加するには、[Add mapping] をクリックします。[Required Destination Fields] は必須です。別のカスタム保存先フィールドを追加するには、[Destination field] をクリックします。

12. サンプルデータをアップロードすると、変換レシピのソースフィールド値とデータマッピングを表示できます。「マッピングレシピ」ページの「サンプルデータのアップロード」で、ファイルを参照するか、ファイルをドラッグアンドドロップします。サンプルデータファイルには、必須パラメータとソースフィールド名が含まれている必要があります。
13. [Accept all and continue] をクリックします。
14. [レビューと確認] の下にデータ接続の概要が表示されます。データフィールドのマッピングを編集するには、[Go back to Data Mapping] をクリックします。
15. (オプション) [Recipe Actions] の下で、次を実行できます。
 - レシピファイルのダウンロード - レシピファイルの SQL をテキスト形式で編集するには、[ダウンロード] をクリックする。

Note

組み込みの SQL 関数の詳細については、「[Spark SQL](#)」を参照してください。

- レシピアファイルのアップロード - [ファイルを参照] をクリックするか、ファイルをドラッグアンドドロップする [Confirm upload] を選択し、編集したレシピアファイルをアップロードしてデータフィールドのマッピングを変更する。
16. 取り込みに向けて SAP ソースデータをアップロードする必要がある Amazon S3 ロケーションパスを確認するには、[Confirm and configure data ingestion] を選択します。または、[Confirm and configure data ingestion later] を選択することもできます。データインジェスト情報はいつでも確認できます。AWS Supply Chain ダッシュボードから、接続を選択します。データを取り込む接続データフローを選択し、縦に並んだ省略記号をクリックして、[Ingestion setup] を選択します。

SAP データソース

次の SAP テーブルソースを設定 AWS Supply Chain して、 が情報を接続および抽出できるようにします。

Note

SAP データソースを検索するときは、データソース名の前に を付けますEntityOf。

例えば、データソース 0BP_DEF_ADDRESS_ATTR の場合、エンティティ名は EntityOf0BP_DEF_ADDRESS_ATTR である必要があります。

Amazon が各 SAP データソースを AppFlow 抽出する場合、エンティティ名の形式を使用して情報を抽出します。例えば、0BP_DEF_ADDRESS_ATTR からデータを抽出するには、データはエンティティパス /sap/opu/odata/sap/Z0BP_DEF_ADDRESS_ATTR_SRV/ EntityOf0BP_DEF_ADDRESS_ATT から抽出されます。

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
0BP_DEF_ADDRESS_ATTR	BP 標準アドレス抽出	該当なし	Z0BP_DEF_ADDRESS_ATTR_SRV	データソース	マスターデータ	差分
0BPARTNER_ATTR	BP: BW Extractio	該当なし	Z0BPARTNER_ATTR_SRV	データソース	マスターデータ	差分

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
	n Central Data					
0BPARTNER_TEXT	BP: ビジネスパートナーテキスト DataSource 用	該当なし	Z0BPARTNER_TEXT_SRV	データソース	マスターデータ	差分
0CO_PC_ACT_05	品目評価: 価格	該当なし	Z0CO_PC_ACT_05_SRV	データソース	マスターデータ	フル
0COMP_CODE_TEXT	会社コードのテキスト	該当なし	Z0COMP_CODE_TEXT_SRV	データソース	マスターデータ	フル
0CUSTOMER_ATTR	お客様	該当なし	Z0CUSTOMER_ATTR_SRV	データソース	マスターデータ	差分
0MAT_VEND_ATTR	品目またはベンダー	該当なし	Z0MAT_VEND_ATTR_SRV	データソース	マスターデータ	差分
0MATERIAL_ATTR	[Material] (マテリアル)	該当なし	Z0MATERIAL_ATTR_SRV	データソース	マスターデータ	差分
0MATERIAL_TEXT	品目のテキスト	該当なし	Z0MATERIAL_TEXT_SRV	データソース	マスターデータ	差分
0PURCH_ORG_TEXT	購買組織のテキスト	該当なし	Z0PURCH_ORG_TEXT_SRV	データソース	マスターデータ	フル

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
0VENDOR_ATTR	Vendor	該当なし	Z0VENDOR_ATTR_SRV	データソース	マスターデータ	差分
2LIS_02_HDR	購買データ (ヘッダーレベル)	該当なし	Z2LIS_02_HDR_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_02_ITM	購買データ (明細レベル)	該当なし	Z2LIS_02_ITM_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_02_SCL	購買データ (納入日程レベル)	該当なし	Z2LIS_02_SCL_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_02_SCN	納入日程の確認	該当なし	Z2LIS_02_SCN_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_03_BF	在庫管理からの商品の移動	該当なし	Z2LIS_03_BF_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_04_P_MATNR	PP/PP-PIからの品目ビュー	該当なし	Z2LIS_04_P_MATNR_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_08TRFKP	明細レベルの配送コスト	該当なし	Z2LIS_08TRFKP_SRV	データソース	トランザクション	差分

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
2LIS_08TRTLP	出荷: セクション別の出荷明細データ	該当なし	Z2LIS_08TRTLP_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_08TRTK	出荷: ヘッダーデータ	該当なし	Z2LIS_08TRTK_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_11_VAHDR	販売伝票ヘッダー	該当なし	Z2LIS_11_VAHDR_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_11_VAITEM	販売伝票明細	該当なし	Z2LIS_11_VAITEM_SRV	データソース	トランザクション	差分
2LIS_12_VCITM	出荷明細データ	該当なし	Z2LIS_12_VCITM_SRV	データソース	トランザクション	差分
ZADRC	アドレス	ADRC	ZADRC_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZBUT021_FS	パートナー住所	BUT021_FS	ZBUT021_FS_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZCDHDR	変更伝票ヘッダー	CDHDR	ZCDHDR_SRV	テーブル	マスターデータ	差分
ZEINA	購買情報レコード: 一般データ	EINA	ZEINA_SRV	テーブル	マスターデータ	フル

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
ZEINE	購買情報レコード: 購買組織データ	ZV_EINE	ZEINE_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZEKKO	購買伝票ヘッダー	ZV_EKKO	ZEKKO_SRV	テーブル	トランザクション	差分
ZEKPO	購買伝票明細	ZV_EKPO	ZEKPO_SRV	テーブル	トランザクション	差分
ZEQUI	設備マスターデータ	EQUI	ZEQUI_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZGEOLOC	所在地	GEOLOC	ZGEOLOC_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZLIKP	出荷ヘッダーデータ	LIKP	ZLIKP_SRV	テーブル	トランザクション	差分
ZLIPS	出荷: 明細データ	ZV_LIPS	ZLIPS_SRV	テーブル	トランザクション	差分
ZMDRP_NO DTT	DRP ネットワークのノードタイプ	MDRP_NO T	ZMDRP_NOD TT_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZMARC	プラント別品目データ	ZQ_MARC	ZMARC_SRV	テーブル	マスターデータ	フル

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
ZMARD	保管場所別の品目データ	ZQ_MARD	ZMARD_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZMCHB	在庫バッチ	ZQ_MCHB	ZMCHB_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT001W	プラント	T001W	ZT001W_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT005T	国名	T005T	ZT005T_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT141T	品目ステータスの説明	T141T	ZT141T_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT173T	出荷 輸送タイプのテキスト	T173T	ZT173T_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT179	品目: 製品階層	T179	ZT179_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT179T	品目: 製品階層のテキスト	T179T	ZT179T_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT370U	設備カテゴリのテキスト	T370U	ZT370U_SRV	テーブル	マスターデータ	フル
ZT618T	輸送手段の説明	T618T	ZT618T_SRV	テーブル	マスターデータ	フル

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
ZTVRAB	ルート の ステージ	TVRAB	ZTVRAB_SRV	テーブル	マスター データ	フル
ZTVRO	ルート	TVRO	ZTVRO_SRV	テーブル	マスター データ	フル
ZVALW	ルート日 程	VALW	ZVALW_SRV	テーブル	マスター データ	フル
ZVBBE	販売要件: 個別レ コード	VBBE	ZVBBE_SRVs	テーブル	マスター データ	フル
ZINB_SHI PMENT	出荷ヘッ ダーと明 細 (イン バウンド)	ZV_INB_ S HIPMENT (結合 条件: VTTK.MAN T = VTTT.MAN T かつ VTTK.TKN UM = VTTT.TKNI M)	ZINB_SHIP MENT_SRV	テーブル	トランザ クション	フル
ZAUFK	オーダー マスター のデータ	AUFK	ZAUFK_SRV	テーブル	マスター データ	フル
ZMARM	品目の測 定単位	MARM	ZMARM_SRV	テーブル	マスター データ	フル

SAP データソース	SAP データソースの説明	SAP ソーステーブル	OData サービス名	BW データソース	SAP データ	デルタ/フル
ゼーバン	家具を購入する	EBAN	ZEBAN_SRV	テーブル	トランザクションデータ	差分

SAP ECC 6.0 への接続

SAP ECC 6.0 からデータを抽出するには、次の手順を実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択します。
2. データレイクページで、新しいソースの追加を選択します。

サプライチェーンデータソースの選択ページが表示されます。

3. [SAP ECC] を選択します。
4. [SAP ECC 接続の詳細] の下で、次を入力します。
 - 接続名 – 接続の名前を入力する。接続名に使用できるのは、英文字、数字、ダッシュのみ。
 - [Connection description] – この接続の説明を入力する。
5. [Amazon S3 Bucket Billing] の下にある Amazon S3 請求情報を確認して、[承認する] を選択します。
6. [次へ] をクリックします。
7. [データマッピング] の下にある [使用を開始] をクリックします。

Note

必須フィールドは既にマップされています。このステップは、デフォルトの変換レシピに特定の変更を加える場合にのみ実行します。

[Mapping Recipe] ページの [フィールドマッピング] の下にあるデフォルトの変換レシピを確認します。

保存先フィールドのマッピングを追加するには、[Add mapping] をクリックします。[Required Destination Fields] は必須です。別のカスタム保存先フィールドを追加するには、[Destination field] をクリックします。

9.

Note

トランザクションエンティティのレシピ AWS Glue DataBrew の編集にのみ使用できます。AWS Supply Chain を使用してレシピをダウンロードし、で編集します DataBrew。次に、レシピを にアップロードし直します AWS Supply Chain。AWS Supply Chain ウェブアプリケーションを使用してレシピのトランザクションデータフィールドを編集することはできません。

(オプション) [Recipe Actions] の下で、次を実行できます。

- レシピファイルのダウンロード - ダウンロードを選択して、レシピファイルを でオフラインで編集します DataBrew。
 - レシピファイルのアップロード - [ファイルを参照] をクリックするか、編集したレシピファイルを移動 (ドラッグアンドドロップ) する。[Confirm upload] を選択し、編集したレシピファイルをアップロードしてデータフィールドのマッピングを変更する。
 - デフォルトのレシピにリセットする - カスタムマッピングをすべて消去して、AWS Supply Chainの推奨デフォルトレシピに戻すには、[Yes, reset my recipe] をクリックする。
10. ソースフィールドマッピングを編集して変換レシピを検証するには、サンプルデータをアップロードします。[Mapping Recipe] ページの [Upload sample data] の下にある [ファイルを参照] をクリックするか、ファイルを移動 (ドラッグアンドドロップ) します。サンプルデータファイルには、必須パラメータとソースフィールド名が含まれている必要があります。
 11. [Accept all and continue] をクリックします。
 12. [レビューと確認] の下にデータ接続の概要が表示されます。データフィールドのマッピングを編集するには、[Go back to Data Mapping] をクリックします。
 13. 取り込みに向けて SAP ソースデータをアップロードする必要がある Amazon S3 パスを確認するには、[Confirm and configure data ingestion] を選択します。または、[Confirm and configure data ingestion later] を選択することもできます。データインGEST情報はいつでも確認できます。AWS Supply Chain ダッシュボードから、接続 を選択します。データを取り込む接続データフローを選択し、縦に並んだ省略記号をクリックして、[Ingestion setup] を選択します。

14. Amazon S3 API を使用してデータを取り込まない場合は、Amazon S3 コンソールで Amazon S3 パスを手動で作成します。パスの作成方法の詳細については、「」を参照してください [Amazon S3 バケットへのデータのアップロード](#)。
15. 次の表を確認して、AWS Supply Chain データエンティティを SAP ソースにマッピングします。

⚠ Important

[Amazon S3 path] ページでは、親エンティティを子エンティティの先にアップロードする必要があります。最初にすべての親エンティティをアップロードしてから、すべての子エンティティをまとめてアップロードできます。

データエンティティ	SAP ソース	階層	データエンティティのアクション
会社 – company	0COMP_COD E_TEXT	Parent (親ラベル)	置換
地理 – geography	ADRC	Parent (親ラベル)	置換
在庫 – inv_level	MARD	Parent (親ラベル)	更新
	MCHB	Parent (親ラベル)	更新
	VBBE	子	更新
在庫 – inv_policy	MARC	Parent (親ラベル)	置換
	0MATERIAL_ATTR	子	更新
アウトバウンド – outbound_order_line	2LIS_11_VAITM	Parent (親ラベル)	更新
	0BP_DEF_A DDRESS_ATTR	子	更新
	0MATERIAL_ATTR	子	更新
	2LIS_11_VAHDR	子	更新

データエンティティ	SAP ソース	階層	データエンティティのアクション
アウトバウンド – outbound_shipment	2LIS_08TRTLP	Parent (親ラベル)	更新
	2LIS_08TRFKP	子	更新
	2LIS_08TRTK	子	更新
	2LIS_12_VCITM	子	更新
製品 – product	0MATERIAL_ATTR	Parent (親ラベル)	置換
	0MATERIAL_TEXT	子	更新
製品 – product_hierarchy	T179	Parent (親ラベル)	置換
購買発注 – inbound_order	2LIS_02_HDR	Parent (親ラベル)	更新
	CDHDR	子	更新
	EKKO	子	更新
購買発注 – inbound_order_line	2LIS_02_ITM	Parent (親ラベル)	更新
	0MATERIAL_ATTR	子	更新
	2LIS_03_BF	子	更新
	EKPO	子	更新
	LIPS	子	更新
	LIKP	子	更新
	INB-SHIPMENT	子	更新
購買発注 – inbound_order_line_schedule	2LIS_02_SCL	Parent (親ラベル)	更新
	2LIS_02_SCN	子	更新

データエンティティ	SAP ソース	階層	データエンティティのアクション
製造オーダー – inbound_order	2LIS_04_P_MATNR	Parent (親ラベル)	更新
製造オーダー – inbound_order_line	2LIS_04_P_MATNR	Parent (親ラベル)	更新
	0CO_PC_ACT_05	子	更新
	0MATERIAL_ATTR	子	更新
リファレンス – reference_field	0PURCH_ORG_TEXT	Parent (親ラベル)	更新
	MDRP_NODTT	Parent (親ラベル)	更新
	T005T	Parent (親ラベル)	更新
	T141T	Parent (親ラベル)	更新
	T173T	Parent (親ラベル)	更新
	T179T	Parent (親ラベル)	更新
	T370U	Parent (親ラベル)	更新
	T618T	Parent (親ラベル)	更新
	発送 – shipment	INB-SHIPMENT	Parent (親ラベル)
	EQUI	Parent (親ラベル)	置換
	LIKP	Parent (親ラベル)	置換
	LIPS	Parent (親ラベル)	置換
	0MATERIAL_TEXT	Parent (親ラベル)	置換
	0MAT_VEND_ATTR	Parent (親ラベル)	置換
	0MATERIAL_ATTR	Parent (親ラベル)	置換

データエンティティ	SAP ソース	階層	データエンティティのアクション
	EKPO	Parent (親ラベル)	置換
	T001W	Parent (親ラベル)	置換
	ADRC	Parent (親ラベル)	置換
	0VENDOR_ATTR	Parent (親ラベル)	置換
	BUT021_FS	Parent (親ラベル)	置換
サイト – site	T001W	Parent (親ラベル)	置換
	ADRC	子	更新
	GEOLOC	子	更新
取引先 – trading_partner	0BPARTNER_ATTR	Parent (親ラベル)	更新
	0BPARTNER_TEXT	子	更新
	0VENDOR_ATTR	子	更新
	0CUSTOMER_ATTR	子	更新
	0BP_DEF_ADDRESS_ATTR	子	更新
転送注文 – inbound_order_line	2LIS_03_BF	Parent (親ラベル)	更新
	0MATERIAL_ATTR	子	更新
輸送 – transportation_lane	TVRO	Parent (親ラベル)	置換
	TVRAB	子	更新
	VALW	子	更新
ベンダー管理 – vendor_lead_time	EINA	Parent (親ラベル)	置換

データエンティティ	SAP ソース	階層	データエンティティのアクション
	EINE	子	更新
	0MATERIAL_ATTR	子	更新
ベンダー管理 – vendor_product	EINA	Parent (親ラベル)	置換
	0MATERIAL_ATTR	子	更新

新しいアウトバウンドソースの追加

新しいアウトバウンドソースを使用して、更新された Supply Planning 発注書リクエストまたはプランの機能強化をアップロードできます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択し、Data Ingestion タブを選択します。

データ取り込みページが表示されます。

2. アウトバウンドソースの追加 を選択します。

Amazon S3 接続の詳細ページが表示されます。

3. 接続名 に、Amazon S3 接続の名前を入力します。
4. アウトバウンドデータ で、エクスポートするアウトバウンドデータフローを選択します。発注書リクエストと供給予測データフローがサポートされています。
5. [確認] を選択します。

新しいアウトバウンドソースが作成され、接続ページが表示されます。

データの取り込み

Amazon S3 を使用している場合の取り込みオプションは次のとおりです。

- 追加 — 取り込みデータを追加したり、増分取り込みを行ったりするには、ソースパスのすべてのファイルが 1 つのデータセットに結合されてから、データレイクに取り込まれます。この方法で

は、複数日にまたがるファイルのデータの完全性が保証されます。S3 バケットのソースパスからファイルを削除すると、ソースパスでのみ使用可能なファイルがデータレイクに取り込まれます。

追加オプションは、Amazon S3 内のファイルがデータレイクでレプリケートおよび同期されていることを確認します。

- 上書き — 置き換え中、データファイルはソースパスで更新されるとデータレイクに取り込まれます。各新しいファイルはデータセットを完全に置き換えます。

Note

追加オプションと上書きオプションの両方で、ソースフローと対応するデータを削除できません。

EDI、SAP S/4 HANA、および SAP ECC の取り込みオペレーションオプションは次のとおりです。

- 更新 — recipe で使用されるのと同じフィールドを使用して、既存のデータ行を更新します。
- 置き換え — アップロードされた既存のデータを削除し、新しい受信データに置き換えます。
- 削除 — プライマリ IDs を使用して 1 つ以上のデータ行を削除します。

データ取り込みを開始するには、次の手順を使用します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Data Lake を選択します。
2. データ取り込みタブで、接続 を選択します。
3. データを取り込む接続を選択し、データ取り込み を選択します。

データ取り込み設定ページが表示されます。

4. [開始する] を選択します。
5. データ取り込みの詳細ページで、データを更新するか、を置き換えるか、データを削除するかを選択します。コピー を選択してAmazon S3 パスをコピーします。

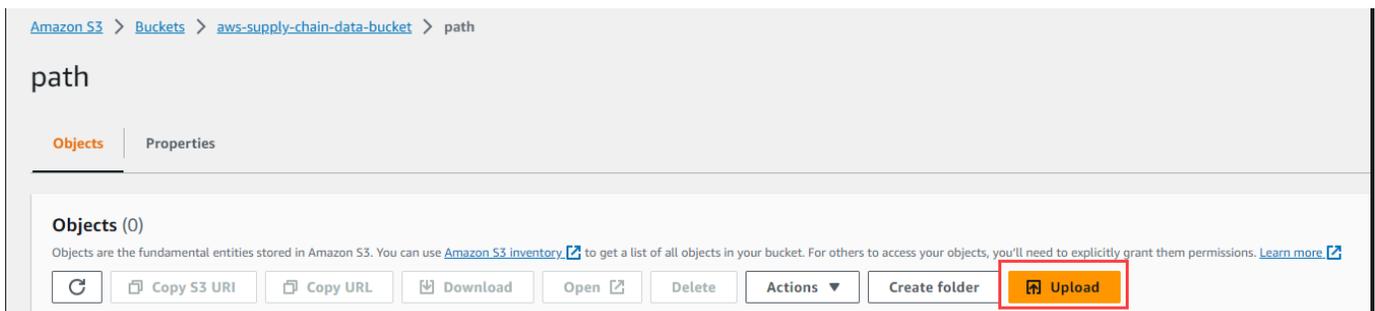
Amazon S3 バケットへのデータのアップロード

Note

SAP ERP Component Central (ECC) コネクタと EDI コネクタの手順に従って、インスタンスに関連付けられた S3 バケットにデータを手動で取り込みます AWS Supply Chain。Amazon S3 API を使用してデータをアップロードする場合は、[SAP ECC 6.0 への接続](#)「」または「」を参照してください [EDI への接続](#)。

AWS Supply Chain インスタンスに関連付けられた Amazon S3 バケットにデータをアップロードするには

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションバーで、接続を開くを選択します。
2. 必要な接続を選択します。
3. [接続の詳細] ページの Amazon S3 のパスをメモするか、[コピー] をクリックします。
4. <https://console.aws.amazon.com/s3/> で Amazon S3 コンソールを開き、サインインします。
5. バケットで、フォルダまたはファイルをアップロードするバケットの名前 (Amazon S3 パスの最初の名前) を選択します。
6. AWS Supply Chain ダッシュボードからコピーした Amazon S3 パスに移動します。
7. [アップロード] を選択します。



インサイト

AWS Supply Chain Insights を使用して、設定されたウォッチリストに基づいて在庫不足と超過およびリードタイム偏差に関するインサイトを生成できます。Insights は、偏差を解決する方法に関する推奨事項も提供します。Insights は、インベントリとリードタイムのリスクを 24 時間ごと、または新しいデータがデータレイクに取り込まれるときにスキャンします。

Note

アクセスが許可されている製品とロケーションの現在のインベントリと予測インベントリのみを表示できます。

トピック

- [インサイトの設定](#)
- [ネットワークマップの表示](#)
- [在庫の可視性の表示](#)
- [インサイトウォッチリストの作成](#)
- [生成されたインサイトの表示](#)
- [在庫リスクのインサイトの解決](#)
- [リードタイムに関するインサイト](#)

インサイトの設定

インスタンスを作成したら、以下の手順に従います。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。[組織] を選択して [インサイト] をクリックします。

[インサイト設定] ページが開きます。

- 「予測期間」に、在庫予測期間とタイムバケットを入力します。合計 6 か月までの在庫予測を表示できます。

Note

インベントリ射影は、日次、週次、または月次間隔でグループ化および分析できます。日単位の間隔を選択すると、日単位のプロジェクトションが提供され、週単位と月単位の間隔を選択すると、1つのバケットに長期のプロジェクトションが提供されます。Insights は、プロジェクトションバケットあたり最大 60 日、8 週間、3 か月をサポートします。

次の例では、ニューヨークの倉庫にあるポータブルエアコンディショナーの予測在庫レベルを 7 日間、次の 4 週間、および週から 1 か月間表示します。

Products at New York Warehouse																	
Product	Category	On Hand Safety stock	On order For today	In transit For today	Prior	Today 05/15	Projected 05/16	05/17	05/18	05/19	05/20	05/21	+1w	+2w	+3w	+4w	+1m
Portable Air Conditioner	AC	180 CASES 11 - 151	0 CASES	0 CASES													

- 「リバランスレコメンデーションオプション」で、在庫切れサイトを囲む半径を設定して、再調整のために利用可能な在庫を検索できます。距離はマイルまたはキロメートル単位で設定できます。

再調整モデルを設定して、供給サイトと受領サイトの両方のインベントリレベルを最適化できます。Insights は、現在の日付から最大 6 週間後までサポートしており、リードタイムを考慮して期間をカスタマイズすることで、転送前後の再調整の影響を確認できます。

4. [リバランス推奨事項のスコアの重み] の下で、上矢印と下矢印を使用して、コアの重み値を入力し、リバランスのレコメンデーションのランク付け計算方法を決定します。

解決された在庫リスク、距離、期間、取り込まれたデータから利用可能な輸送モード (transportation_lane.trans_mode)、配送コスト (transportation_lane.unit_costs) に応じて、Insights は在庫リスクインサイトを解決する 1 つ以上の方法を推奨します。Insights は、設定された重みに基づいて導出される推奨あたりのスコアも提供します。スコアが高いほど、レコメンデーションは上位にランク付けされ、最上位に表示されます。

- 距離 — 現在の場所と在庫を転送したい場所との距離。
- 排出量 (CO2) — 再調整オプション用に計算された CO2 排出量。
- リスクの解決 — 現在の在庫切れロケーションの在庫補充に役立つように、あるロケーションで過剰在庫が減少した場合の在庫リスク率の実質的な改善。
- 配送コスト — ある場所から別の場所への在庫の再調整と転送のための配送コスト。

ネットワークマップの表示

Insights に必要なデータセットを取り込んだ後、ネットワークマップには、製品とロケーションの現在および予測されるインベントリがマップビューに表示され、インベントリの状態と予測される状態をすばやく把握できます。ロケーションはクラスター化されて表示され、ロケーション合計数が各クラスターの下に表示されます。各クラスターを拡大して、個々のロケーションを確認できます。各アイコンはロケーションのタイプを示します。色付きのリングは、左下のスクロールバーに、選択した時間間隔における各ロケーションまたはクラスターのインベントリの状態を示します。インベントリのヘルスステータスは、インベントリポリシー、つまり、取り込まれたデータの min_Safety_stock と max_Safety_stock によって異なります。

リングの色の定義は次のとおりです。

Note

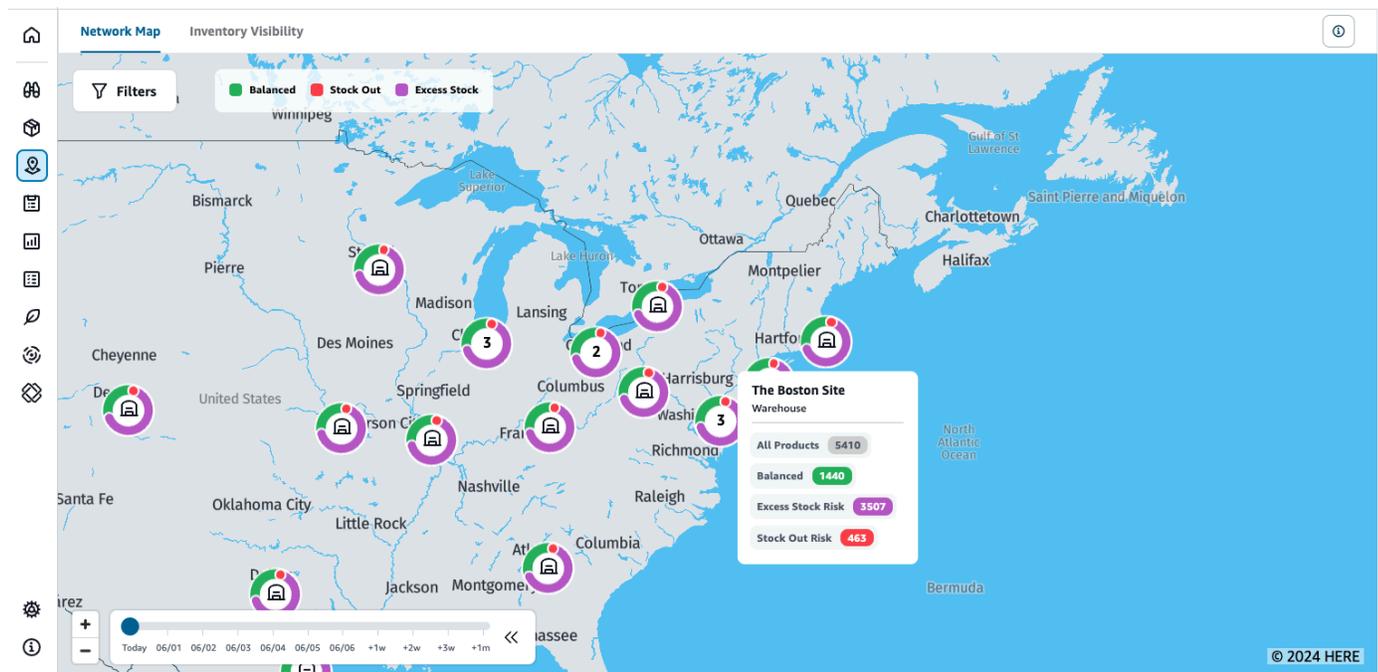
カラーコードの定義は、インサイト全体にわたりに貫して使用されます。

- 赤 — このロケーションの製品は在庫切れになるか、将来の日付に在庫切れの危険にさらされます。
- 緑 — このロケーションの製品は、安全在庫レベル内にあります。
- 紫 — このロケーションの製品は、在庫が過剰であるか、この製品とサイトの安全在庫レベルよりも多くの在庫を保持するリスクがあります。

ネットワークマップは、次の手順で表示します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、ネットワークマップを選択します。

[ネットワークマップ] ページが表示されます。



2. リングのいずれかを選択して、必要なロケーションを拡大します。単一または複数の特定の品目における現在の在庫と予測在庫の詳細を表示できます。
3. 現在のマップビューの予測在庫を表示するには、ページの左下にあるタイムスライダーを使用します。スライダーのデフォルトは、現在の在庫状況を示す現在の日付です。
4. ネットワークマップ内の特定のロケーションを拡大または縮小するには、+/- 記号をクリックします。
5. [フィルタ] アイコンをクリックすると、[ロケーション] 別や [製品] 別にフィルタリングできます。アクセス許可のレベルは、ユーザーに付与されているアクセス許可により異なります。

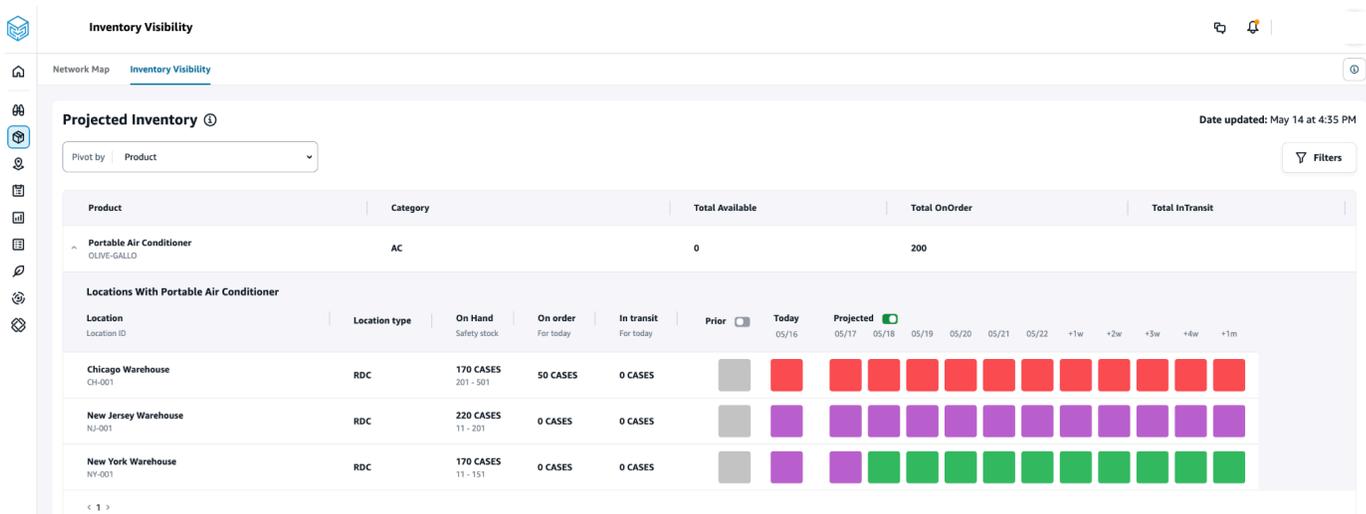
サイトのクラスターをクリックすると、ページの右側にポップアップが表示され、現在の在庫レベル、この製品の安全在庫レベル、予測在庫グラフが表示されます。

在庫の可視性の表示

在庫の可視性を使用して、取り込まれたすべての製品とサイトの組み合わせの在庫予測を表示できます。プロジェクトビューは、製品またはロケーションごとに変更できます。

在庫の可視性は、次の手順で表示します。

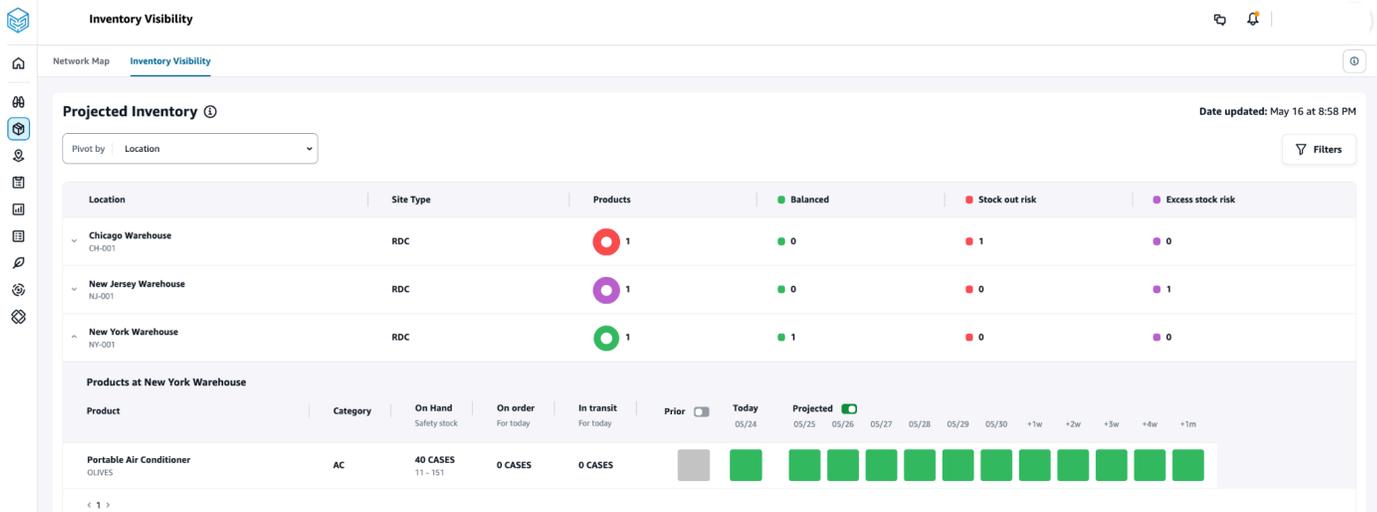
1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、インベントリの可視性を選択します。



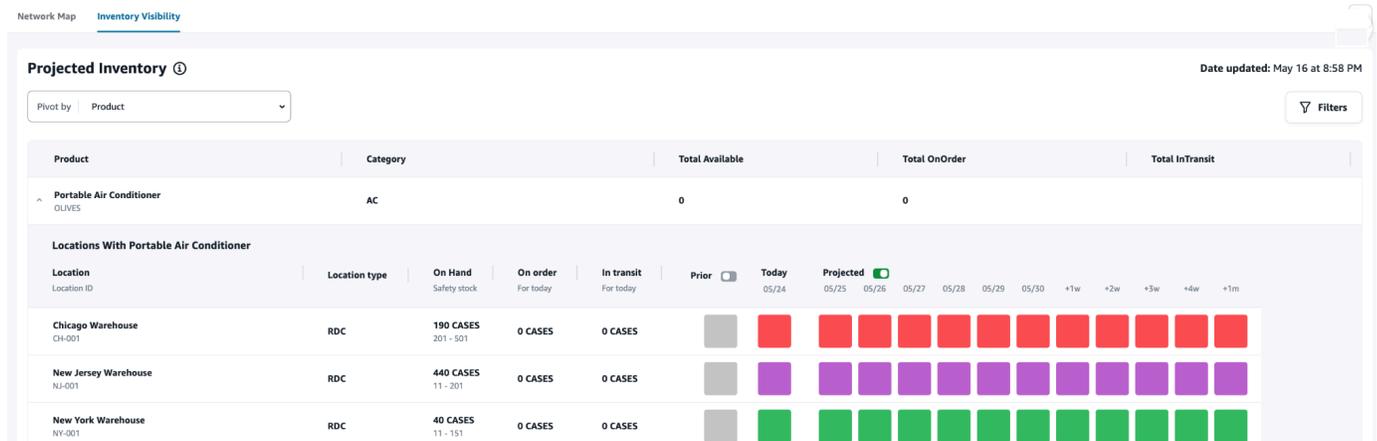
2. インベントリの可視性ページが最後に更新された日時を確認するには、ページの右上隅にある「更新日」を参照してください。ページは、データレイクにデータを取り込むと更新されます。デフォルトでは、Insights は 24 時間ごと、またはデータがデータレイクに取り込まれるときに生成されます。
3. フィルターを選択して、製品と場所に基づいて在庫予測をフィルタリングします。製品階層、特に製品階層テーブルに格納されている製品カテゴリに基づいて、製品のグループを 1 つ上のレベルまで選択できます。リージョンに基づいてサイトのグループを選択することもできます。これらのサイトは、1 レベルまでの地域データエンティティの下に保存されます。
4. [ピボット条件] ドロップダウンをクリックして、[ロケーション] または [製品] で在庫をフィルタリングできます。

ロケーション別のピボット – ロケーション別にピボットすると、インベントリ射影はロケーション別にグループ化されます。大まかに言うと、特定の場所のサイトタイプ (RDC、DC な

ど)、その場所にある製品の数、バランスの取れた製品数(つまり、安全在庫範囲内にある製品数)、在庫切れの製品数、在庫過剰の製品数を表示できます。

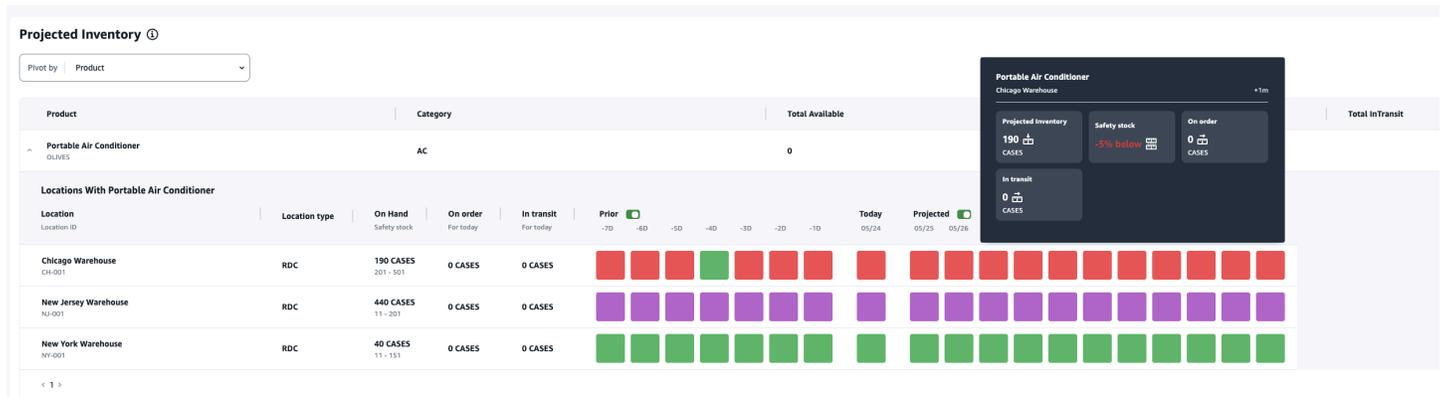


製品別のピボット – 製品別にピボットすると、射影は製品別にグループ化されます。大まかに言うと、特定の製品について、カテゴリ(つまり、1つ上のレベル)、利用可能な製品の総数、注文中の製品の総数、および現在複数のロケーションにまたがって転送中の製品の総数を表示できます。



在庫予測について

このセクションでは、インベントリ予測を読み取る方法について説明します。



- 手元在庫と安全在庫とは – 過去の日付と現在の日付の両方について、最新のスナップショットの手元在庫値を表示します。この情報は inv_level データエンティティから抽出されます。同じスナップショット日に異なる手元値を持つレコードが複数ある場合、Insights は処理のために最新のスナップショットレコードを選択します。安全在庫は、インベントリポリシーで指定された範囲です。
- 需要はどのように計算されますか？ - Insights は、予測、アウトバウンド販売注文、転送注文 (つまり、特定の期間にサイト外に移動する製品) からデータを収集し、総需要を計算します。週次、月次など、需要がより詳細に利用できる場合、Insights は予測値を特定の期間に分散します。
- 前 - 前 ボタンをスライドすると、過去 7 日間のインベントリ値を表示できます。これには、過去 1 日も含まれます。
- 予測在庫は手元 とどのように異なりますか？ – 手持ち在庫は ERP システムの現在の在庫であり、予測在庫は前日の手持ち/予測レベルでの終了、インバウンド供給 (インバウンド注文明細、インバウンド出荷、インバウンド注文明細スケジュール)、アウトバウンド販売 (アウトバウンド注文明細、アウトバウンド出荷、需要予測などの要因に基づく将来の在庫レベルの予測です。予測在庫を使用すると、在庫切れや過剰価格を避けるために必要な将来の在庫を計画できます。
- 手持ち と予測手持ち の違いは何ですか？ – Insights は、将来の日付の予測インベントリの計算に使用されるのと同じロジックを使用して、現在の日付に使用可能なレコードがない場合に、手元に予測された を計算します。
- 数量測定単位 (UOM) はどのように計算され、デフォルトが使用されていますか？ – 手持ち、注文時、転送中、予測在庫などの在庫数量測定の単位が表示され、各在庫、パレット在庫、ケースを区別できます。UOM の不一致を防ぎ、計算を効率化するために、Insights はデフォルトで、変換のために製品データエンティティで指定された製品のベース UOM を使用します。単位変換は product_uom および uom_conversion から算出されます。データエンティティの詳細については、「」を参照してください [インサイト](#)。

デフォルト設定を調整することで、デフォルトの UOM を設定することもできます。デフォルト設定を変更する方法の詳細については、「」を参照してくださいの[サポートを受ける AWS Supply Chain](#)。

- 在庫がない製品には在庫予測とリスクが生成されていますか？ – 在庫がない製品については、在庫ポリシーの安全在庫範囲をゼロに調整します。この調整により、Insights はそのような製品サイトの組み合わせを在庫のない製品として分類するように求められます。同様に、在庫が特定の場所に保持されると、過剰在庫リスクが警告されます。Insights は、過剰在庫を出し、在庫がなくなったときに在庫を受け取るためのレコメンデーションも提供します。

Note

この機能は、米国東部 (バージニア北部) でのみ使用できます。

- Insights は未割り当ての需要をどのように処理しますか？ – outbound_shipment 情報が利用できない場合、Insights は outbound_order_line からの需要を、約束された配信日またはリクエストされた配信日に割り当てます。outbound_shipment 情報が利用可能な場合、Insights は出荷日全体に総需要数量を分散します。1 日および最大 6 か月間に未割り当ての需要はすべて転送されます。キャンセルされると、Insights は需要の転送を停止します。

Note

この機能は、米国東部 (バージニア北部) でのみ使用できます。

インサイトウォッチリストの作成

インサイトウォッチリストを作成して、サプライチェーンのリスクと偏差を追跡して通知できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、インサイト を選択します。

[Insights] (インサイト) ページが表示されます。

2. 初めて使用する場合は、インサイトタイプを選択して、インサイトウォッチリストを作成します。「[在庫リスクウォッチリストの作成](#)」および「[リードタイム偏差ウォッチリストの作成](#)」を参照してください。

既存のウォッチリストを表示するには、「[生成されたインサイトの表示](#)」を参照してください。

在庫リスクウォッチリストの作成

在庫リスクインサイトウォッチリストを作成して、選択した追跡パラメータから Insights によって生成された予測在庫切れリスクと超過在庫リスクを表示できます。

The screenshot shows the 'Edit Insight Watchlist' page in the AWS Supply Chain console. The main form is titled 'Edit Insight Watchlist' and includes the following sections:

- Select an insight type:** A dropdown menu with 'Inventory Risk' selected.
- Name the Watchlist:** A text input field containing 'Dummy_watchlist'.
- Select location(s):** A dropdown menu with 'All Locations' selected.
- Select product(s):** A dropdown menu with 'All Products' selected.
- Tracking parameters:** Three radio buttons: 'Stock Out Risk', 'Excess Stock Risk', and 'Both' (selected).
- Time horizon:** A dropdown menu with 'Day' selected and a numeric input field with '37'.
- Watchers:** A section for adding team members, including a search bar and a table with columns 'User', 'Email Address', and 'Title'. One member, Jane Doe (samikhd-jane@amazon.com, Admin), is listed.
- Delete Watchlist:** A red button labeled 'Delete Watchlist'.

A modal window titled 'Dummy_watchlist' is open on the right, showing details for the watchlist, including Site, Region, Product, Category, Tracking parameters, and Co-owners. It also includes a 'Save' button.

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、インサイト を選択します。

[Insights] (インサイト) ページが表示されます。
2. [新しいインサイトウォッチリスト] をクリックします。

[インサイトウォッチリストの作成] ページが開きます。
3. [インサイトタイプの選択] の下で、[インベントリリスク] を選択します。
4. [ウォッチリストに名前を付ける] の下で、インサイトウォッチリストを追跡する名前を入力します。
5. [ロケーションの選択] の下で、ウォッチリストに追加するロケーションをドロップダウンリストで選択します。
6. [製品の選択] の下で、ウォッチリストに追加する製品をドロップダウンリストで選択します。
7. [追跡パラメータ] の下で、追跡対象を選択します。オプションには、「在庫切れリスク」、「過剰在庫リスク」、またはその両方があります。
8. Time Horizon で、インベントリリスク通知を生成する時間枠を入力します。

9. [ウォッチャー]の下で、このインサイトから利点を受けると思われるユーザーを追加できます。このインサイト内のユーザーは、リスクを追跡し、協力して解決できます。

選択した設定はすべて右側に表示されます。

10. [保存] をクリックして保存し、在庫リスクウォッチリストを作成します。

リードタイム偏差ウォッチリストの作成

が AWS Supply Chain 検出したリードタイム偏差の通知を表示および受信できます。任意のインサイトを選択でき、その対処方法を推奨 AWS Supply Chain します。

Create an Insight Watchlist

Select an insight type ⓘ

Lead Time Deviation
Track unit lead times to inform future orders

Name the Watchlist

Test

Select location(s) ☑️ All Locations Select product(s) ☑️ All Products

Tracking parameters

Standard Deviation 50% Historical time period to track miss frequency 5 Years

Watchers

Invite other members to track and collaborate with.

Add team members

Jane Doe

Added team members

User	Email Address	Title
Jane Doe	dsamiksha95@gmail.com	

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、インサイト を選択します。

[Insights] (インサイト) ページが表示されます。

2. [新しいインサイトウォッチリスト] をクリックします。

[インサイトウォッチリストの作成] ページが開きます。

3. [インサイトタイプの選択] の下で、[リードタイム偏差] を選択します。
4. [ウォッチリストに名前を付ける] の下で、インサイトウォッチリストを追跡する名前を入力します。
5. [ロケーションの選択] の下で、ウォッチリストに追加するロケーションをドロップダウンリストで選択します。
6. [製品の選択] の下で、ウォッチリストに追加する製品をドロップダウンリストで選択します。
7. 追跡パラメータ、標準偏差 で、ドロップダウンからリードタイム偏差の割合を選択します。パーセンテージが満たされると、AWS Supply Chain はインサイトを生成し、リードタイムの偏差を通知します。
8. 追跡パラメータ、ミス頻度を追跡する履歴期間 で、取り込まれたデータの履歴期間をドロップダウンから選択して、リードタイムの偏差を分析します。
9. 監視 では、他のユーザーを追加してコラボレーションを行い、リスクと通知を共有できます。
選択した設定はすべて右側に表示されます。
10. [保存] をクリックして保存し、在庫リスクウォッチリストを作成します。

Note

AWS Supply Chain がサポートするのは、ウォッチリストあたり 1,000 件のインサイト、インスタンスあたり 100 件のウォッチリストのみです。この制限を引き上げるには、[AWS サポート](#) までお問い合わせください。

生成されたインサイトの表示

作成したウォッチリストに対して が AWS Supply Chain 生成したすべてのインサイトを表示できます。インサイトを選択すると、詳細が表示されます。インサイトがたどる段階は次のとおりです。

Note

AWS Supply Chain は、最大 6 週間のリバランス計画期間をサポートします。

- 新しいインサイト – このセクションには、インサイトウォッチリストを作成した後に AWS Supply Chain が検出したすべての新しいインサイトが表示されます。AWS Supply Chain は 6 時間ごと

にインベントリリスクインサイトをスキャンし、リードタイムインサイトは 24 時間ごとにスキャンします。

- レビュー中 – このセクションには、現在レビュー中のすべての分析情報が表示されます。
- 解決済み – このセクションには、解決されたインサイトが表示されます。

ウォッチリストは 2 種類の方法で表示できます。

- カード – インサイトを「新しいインサイト」「レビュー中」「解決済み」として表示します。
- 表 – インサイトを表形式で表示します。

在庫リスクのインサイトの解決

AWS Supply Chain では、在庫リスクのインサイトを解決する 1 つ以上の方法を推奨しています。AWS Supply Chain では、特定の距離内の他の場所から在庫を移管することを推奨する場合があります。これにより、レビュー対象のロケーションのインベントリリスクが解決されます。AWS Supply Chain 推奨は、インサイト設定で設定した距離と期間の設定に基づいています。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、インサイト を選択します。

[Insights] (インサイト) ページが表示されます。

2. [新しいインサイト] の下で、在庫リスクを解決するインサイトを選択します。

現在の在庫と予測在庫とリバランスに向けたオプションと共に、該当在庫リスクの概要が表示されます。

3. 再調整オプション で、 が推奨する再調整オプションに対して選択を選択します AWS Supply Chain。

リバランスオプションを選択すると、リバランスを実行する前と実行後の経常在庫と予測在庫を確認できます。

4. [解決策の確認] ページの [解決策のオプション] の下に、選択したリバランスオプションが表示されます。
5. [チームにメッセージ] の下にある [次をクリック後] チェックボックスをオンにして、選択したリバランスオプションについてチームに通知します。
6. [確認] を選択します。

リードタイムに関するインサイト

AWS Supply Chain は、ベンダー、製品、および送信先サイトレベルのリードタイム偏差に関するインサイトを提供します。ベンダーのリードタイム偏差のインサイトには、輸送モード、ソースロケーション、リードタイム偏差をよりきめ細かく特定することもできます。計画サイクルに推奨リードタイムを組み込むことで、計画の精度を高め、在庫切れのリスクを回避できます。

例えば、サプライヤー S、製品 P、送信先サイト D、ソースサイト S、トラック、宇宙船などの輸送モードの場合、ミス頻度には、ベンダー_リード_タイムエンティティで共有されている計画されたリードタイム (つまり、契約上のリードタイム) と比較したリードタイムが欠落した頻度が表示されます。したがって、Insights では、将来のリードタイムの問題を回避するために、同じベンダー、製品、サイトの計画されたリードタイムを更新することをお勧めします。

Insight Id	Product	Destination	Source ID	Supplier	Transportation Mode	Miss Frequency	Planned Lead Time	Recommended Lead Time	Order Type
CKDYFX07	Laptop Stand for Desk, Adjustable Laptop Stand for Desk, Laptop Riser for MacBook Pro and Air 13 15 17 inch, Laptop Stands Adjustable, Ergonomic Computer Stand, Notebook Stand Patented SecureStop	The Atlanta Site GA2	vendorSite1	Merchant Accounts Illinois	Truck	100%	4 Days	5 Days	PO
TDEHPOOR	Yuarix Solar Powered Dummy Fake Security Camera Bullet CCTV Surveillance with Simulated LED Realistic Red Flashing Light and Security Warning Sticker Decal Indoor Outdoor, 4 Pack	The Phoenix Site AZ6	vendorSite1	Merchant Accounts Illinois	Plane	100%	4 Days	7 Days	PO
97Q1A4UG	PSS Stand and Cooling Station with Dual Controller Charging Station for Playstation 5 Console, PSS Accessories Incl. Controller Charger, Cooling fan, Headset holder, 3 USB Hub, Media Slot, Screw White	The Atlanta Site GA2	vendorSite1	Merchant Accounts Illinois	Plane	100%	4 Days	5 Days	PO
	Godox V1-N Flash for Nikon, 76Ws 2.4G 1/8000 HSS Flash								

すべてのレコメンデーションをエクスポートを選択して、取り込まれた製品、サイト、またはベンダーの組み合わせに関するベンダーリードタイムのレコメンデーションを .csv ファイルに Amazon S3 バケットにエクスポートします。エクスポートが完了すると、レコメンデーションがエクスポートされる Amazon S3 バケットへのリンクが記載された E メールと通知が AWS Supply Chain ウェブアプリケーションに送信されます。

vendor_lead_time データエンティティのオプションの列 source_site_id と trans_mode の値がない場合、Insights はリードタイムにマスターレコードを使用します。ただし、製品、ソースサイト、宛先サイト、ベンダー、輸送モードのトランザクションデータが、より詳細なレベル、つまり

inbound_order_line および inbound_shipment である場合、レコメンデーションと計画されたリードタイムに影響します。マスターデータファイルに複数の計画されたリードタイムレコードがある場合、Insights は計算に計画された最高のリードタイムを使用します。

リードタイムの偏差と推奨事項

生成されたリードタイムインサイトごとに、行を選択すると、特定の配送場所から配送先への製品の配送に関するベンダーのパフォーマンスに関する過去の傾向を表示できます。

進行中のすべての注文について、注文のステータスを表示し、配送日を予測できます。Insights は、ウォッチリスト作成プロセス中に選択された時間枠である 1~5 年にわたる履歴データに基づいてトレーニングされた機械学習モデルを使用して、さまざまなレベルの信頼度で予測された配信日を提供します。

履歴注文グラフには、送信日と配信日に基づいて履歴注文データから計算された月別の過去の平均リードタイムが表示されます。棒グラフは、現在の計画リードタイム値と、特定の製品の特定のサイトのベンダーの推奨リードタイムを表します。将来の注文の実際のリードタイムは、推奨されるリードタイムの 50% 以下になります。

今後の注文グラフには、注文の送信日と配送日を表示して計算された将来の発注書のリードタイムが日別に表示されます。棒グラフは、現在の計画リードタイム値と、特定の製品の特定のサイトのベンダーの推奨リードタイムを表します。将来の注文の実際のリードタイムは、推奨されるリードタイムの 50% 以下になります。

進行中の注文の表には、特定のベンダー、製品、サイトの履歴データからのモデル予測に基づいてリスクにさらされている現在または今後の発注書の詳細な情報が表示されます。この表には、注文数量、注文明細データから入手できる予想または計画された配送日、Insights 予測の配送日など、複数のオプションが推定 - 低 および推定 - 高 として分類された詳細を含むすべての未処理の注文の詳細なビューが表示されます。偏差によって、推定上限日と注文明細レベルで利用可能な実際の配送日との格差が決まります。

Note

履歴注文チャートの X 軸には、場所に関係なく UTC タイムゾーンに従って月が表示されます。つまり、月の初めは月の初日の 00 時 00 分 00 秒 UTC と一致し、月の終わりは月の最終日の 23 時 59 分 59 秒 UTC と一致します。

AWS Supply Chain 他のユーザーとのコラボレーション

他の AWS Supply Chain ユーザーと協力して、サプライチェーン関連の問題について議論できます。

AWS Supply Chain ダッシュボードで、**コラボレーションに移動** を選択します。以下の操作を行うことができます。

- チーム会話 では、会話を行った個々のユーザーをすべて表示できます。
- [Insight Conversations] の下には、インサイトについてのチーム内の会話のすべてが一覧表示されます。
- 特定のインサイトについての会話を選択すると、右側にインサイトのリスクとそのリスクを解決するためのレコメンデーションが表示されます。[View Insight Details] をクリックすると、インサイトのリスクのページを確認することもできます。
- [Start Conversation] をクリックします。[New Conversation] ダイアログボックスが表示されます。

会話を行うユーザーを [ユーザーを追加] ドロップダウンリストで選択して、[Start Conversation] をクリックします。

- このスレッドの通知の取得ボタンをスライドして、会話のウェブアプリケーション通知を有効にします。

通知

AWS Supply Chain ウェブアプリケーションまたは E メールで通知を受け取ることができます。

通知を有効にする

通知を有効にするには、次の手順を実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。

[設定] ページが開きます。

2. [Notifications (通知)] を選択します。

[通知設定] ページが開きます。

3. Insights で、アプリ内ボタンと E メールボタンをスライドして、リードタイムの偏差が特定されたとき、インベントリリスクが特定されたとき、リードタイムのエクスポートが失敗したとき、またはリードタイムのエクスポートが成功したときに通知を受信します。

Note

E メール通知またはアプリケーション内通知のいずれかを受信するか、両方を受信することを選択できます。

4. 「Forecast コラボレーション」で、アプリ内ボタンをスライドして、予測が更新され AWS Supply Chain とき、または パートナーによって予測リクエストが拒否された場合に通知を受信します。

また、E メールボタンを使用して、すべての予測更新について要約された E メールを 1 日 1 回受信することもできます。

5. 「発注書」で、アプリ内ボタンをスライドして、パートナーによる発注書の更新があった AWS Supply Chain ときに通知を受け取ります。

E メールボタンを使用して、すべての発注書の更新について、要約された E メールを 1 日 1 回受信することもできます。

6. 「申請中のデータリクエスト」で、「申請中の」ボタンをスライドして、データリクエストが送信または拒否された AWS Supply Chain ときに に通知を受け取るか、データリクエストのステータスを追跡します。例えば、進行中、リクエスト済み、キャンセル済みなどです。
7. [保存] を選択します。
8. AWS Supply Chain ダッシュボードで、右上のベルアイコンを選択すると、アプリ内通知が表示されます。

Work Order Insights

Work Order Insights を使用して、各作業指示の作業指示のステータス、到着予定時刻 (ETA) 予測、配信リスク、レコメンデーションを表示できます。は、ERP システムからのリアルタイムデータ AWS Supply Chain を使用し、各作業指示を詳細に可視化して計画を改善します。

トピック

- [Work Order Insights を初めて設定する](#)
- [作業指示の設定](#)
- [作業指示](#)
- [調達](#)
- [ロジスティクス](#)

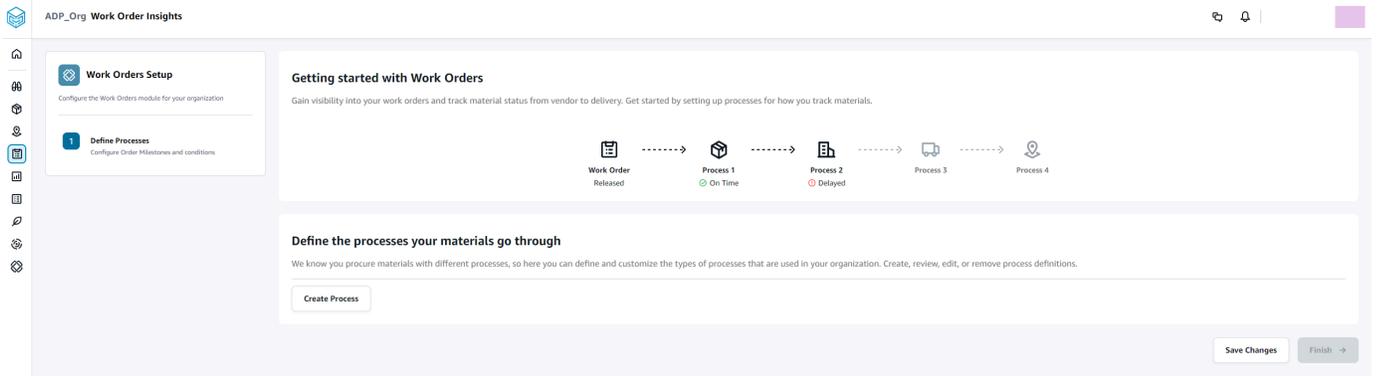
Work Order Insights を初めて設定する

管理者は、複数のプロセスとマイルストーンを作成して、作業指示を追跡できます。

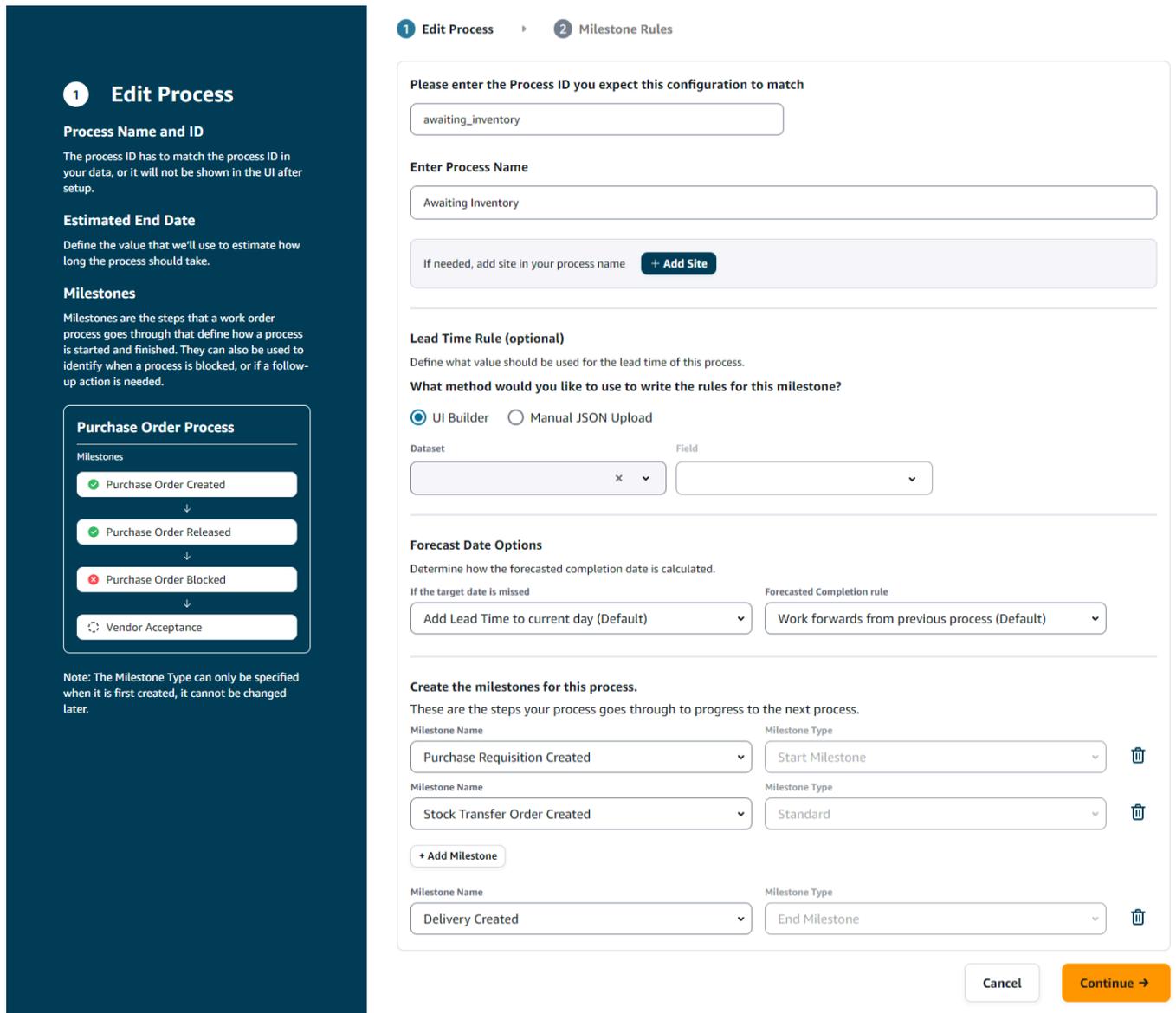
Note

作業指示インサイトを生成するには、作業指示のプロセスとマイルストーンを設定するだけでなく、必要なデータエンティティと列を取り込む必要があります。必要なデータエンティティの詳細については、「」を参照してください[Work Order Insights](#)。

1. AWS Supply Chain ウェブアプリケーションを開きます。
2. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Work Order Insights を選択します。「作業指示の管理」ページが表示されます。
3. セットアップを選択します。
4. 「作業指示のセットアップ」ページの「作業指示の開始方法」で、「プロセスの作成」を選択します。



プロセスの編集ページが表示されます。



5. 「この設定が一致するプロセス ID を入力してください — プロセス ID を入力します。work_order_plan データエンティティをアップロードすると、プロセス ID は work_order_plan データエンティティから派生 AWS Supply Chain するか、取り込まれることがわかっているプロセス ID と一致するように変更できる UUID を生成します。
6. プロセス名を入力 – プロセスの名前を入力します。

同じプロセス名を使用するサイトが複数ある場合は、「サイトを追加」を選択して、プロセスにサイトを追加します。サイト値は、作業指示ライン (process_product) と one-to-one 関係があるエンティティ (process_header、process_operation、process_product、product、site、vendor_product) のいずれかから決定できます。

7. (オプション) リードタイムルール > このマイルストーンのルールを記述するには、どの方法を使用しますか? で、次のいずれかを選択します。

- UI Builder – リードタイムプロセスに含めるデータセットと対応する列を選択します。選択したデータセットがデータレイクに取り込まれていることを確認します。
- 手動 JSON アップロード – プロセスとルール定義を .json 形式で貼り付けます。

8. Forecast Date Options で、予測完了日の計算方法を指定できます。

- ターゲット日が欠落している場合 – 予測完了日を翌日にする場合は、リードタイムを現在の日付に追加を選択します。現在の日付に 1 日を追加を選択して、予測完了ターゲットに 1 日を追加します。
- 予測完了ルール – 予測計算を前のプロセス完了日と現在のプロセスの継続期間から進める場合は、前のプロセスから転送を選択します。これは、プロセスができるだけ早く完了しようとしていることを意味します。予測計算に必要なサイト日付から逆算を選択して、プロセス目標日から期間を減算します。これは、プロセスがプロセスのターゲット日までに完了しようとしていることを意味します。

9. このプロセスのマイルストーンを作成する – ドロップダウンからマイルストーン名とタイプを選択します。

10. マイルストーンを追加 を選択して、新しいマイルストーンを追加します。

11. [Continue] (続行) をクリックします。

「ルール」ページが表示されます。

作成したマイルストーンルールを確認します。

12. 保存 と終了 を選択します。

作業指示の設定

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。
2. 組織 で、作業指示 を選択します。

作業指示設定ページが表示されます。

The screenshot shows the 'ConfigUI Settings' page for 'Work Orders'. The left sidebar is expanded to 'Work Orders'. The main content area has a header 'Getting started with Work Orders' and a diagram showing the flow from 'Work Order Released' through 'Process 1 (On Time)', 'Process 2 (Delayed)', 'Process 3', and 'Process 4'. Below this is a section 'Define the processes your materials go through' with a table of process definitions.

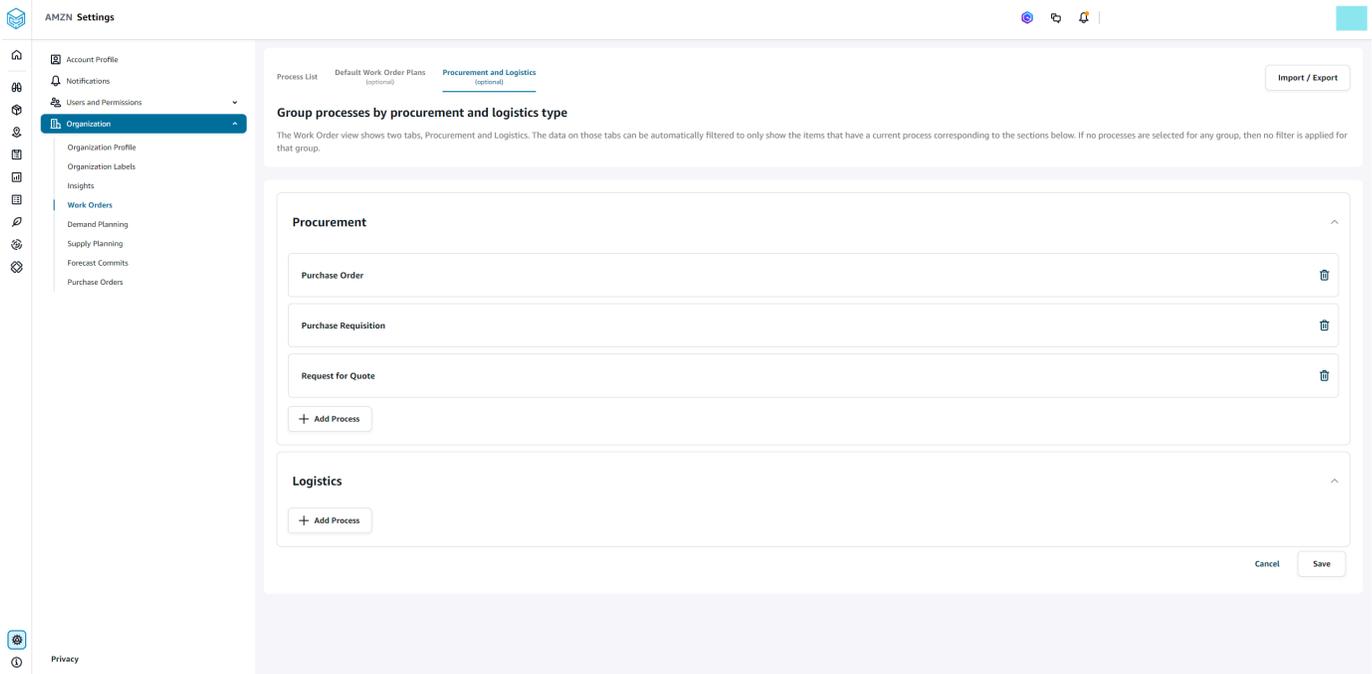
Process Name	Status	Action
Awaiting Inventory	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
Goods Receiving At PDC	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
Goods Receiving At PDC	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
In-Transit To Consumption Site	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
In-Transit To KSF	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
In-Transit To PDC	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
In-Transit To PDC	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
KGP Staging	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
KSF Staging	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
Material Consumed At Consumption Site	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
Purchase Order	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete
Purchase Order	No Data Match	Requires Configuration, Configure, Delete

3. プロセスリストタブでは、設定する必要があるすべての設定済みプロセスを表示できます。新しいプロセスを削除または作成できます。

4. Import/Export を選択します。
5. 「作業指示設定のインポート/エクスポート」で「保存」を選択し、JSON 形式で「定義」、「プロセス定義」、および「デフォルトの作業指示計画」をコピーします。この機能を使用して、1つのインスタンス(本番稼働前のインスタンスなど)で設定をセットアップし、同じ設定を別のインスタンス(本番稼働用インスタンスなど)にコピーできます。
6. (オプション) デフォルトの作業指示計画 タブで、作業指示計画データに一致しないプロセスのフォールバックリードタイムを設定できます。

デフォルトでは、作業指示インサイトは work_order_plan データセットからのリードタイム情報を使用します。作業指示インサイトが wwork_order_plan データセットで組み合わせを処理するマテリアルを見つけられない場合、作業指示インサイトはリードタイムを一致させるためにデフォルトの作業指示計画設定を使用します。作業指示計画は、予約データセット内の reservation_type によってセグメント化されます。デフォルトの作業指示設定を使用するには、予約データセットを取り込む必要があります。予約タイプは作業指示設定の下に表示され、プロセスを追加し、各プロセスのリードタイムを定義することで、各予約タイプの作業指示計画を設定できます。

7. (オプション) 「調達と物流」タブで、「調達と物流」を展開します。



8. 「調達と物流」で「プロセスを追加」を選択し、「調達と物流」ページに一覧表示するプロセスを追加します。

Note

調達またはロジスティクスにプロセスが追加されていない場合、調達とロジスティクスタブにはすべてのプロセスの詳細が表示されます。

9. 「既存のプロセスを選択」ページで、ドロップダウンから既存のプロセスを選択します。
10. [追加] を選択します。
11. [保存] を選択します。

組織ラベル

管理者は、作業指示ラベルをカスタマイズできます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。
2. 組織 で、組織ラベル を選択します。

Organization Labels ページが表示されます。

The screenshot displays the 'Organization Labels' configuration page in the AWS Supply Chain interface. The left sidebar shows the 'Organization' menu item selected. The main content area has a title 'Organization Labels' and a subtitle 'Set your preferred labels in AWS Supply Chain. This will update the labels throughout your entire organization.' Below this is a search bar and a 'Reset all to Defaults' button. A dropdown menu is set to 'Work Orders'. The main configuration area is a table with two columns: 'Default Label' and 'Change to Label'. The 'Default Label' column is highlighted with a red box. The table contains the following fields:

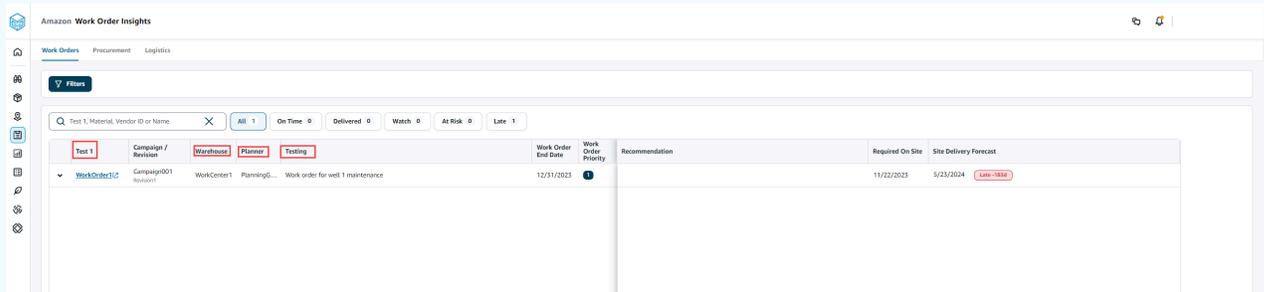
Field	Default Label	Change to Label
Work Order	Test 1	
Work Order Description	Testing	
Work Order End Date		
Work Order Priority		
Campaign		
Revision		
Main Work Center	Warehouse	
Planner Group	Planner	
Site Delivery Forecast		
Recommendation		
Recommended Action Due Date		
Recommended Action		
Required On Site		
Material		
Material Source		
Material Summary		
Material Description		
Quantity/UsM		
Current Process		
PR/Line		

A 'Save' button is located at the bottom left of the configuration area. The page footer shows '1-20 of 30' and a right arrow.

3. ラベルの変更 で、各デフォルトラベルの優先名を入力します。

Note

デフォルトラベルを変更すると、組織全体が作業指示の新しいラベルで更新されます。例えば、Work Order テーブルは、Organization Labels の Work Order 、 Work Order Description 、 Main Work Center 、 およびプランナーグループのラベルを更新すると更新されます (上記のスクリーンショットを参照)。



4. [保存] を選択します。
5. カスタマイズしたラベルをデフォルトラベルに変更するには、すべてデフォルト にリセットを選択します。

作業指示

遅延している作業指示、予定どおりの作業指示、リスクがある作業指示、ウォッチ対象である作業指示、配達済みの作業指示をすべて表示できます。作業指示を展開すると、各作業指示の下にある品目を確認できます。

AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Work Order Insights を選択します。[作業指示のインサイト] ページが開きます。

AMZN Work Order Insights

Work Orders Procurement Logistics

Filters

Search by Work Order Reference or Material **All 5** On Time 0 Delivered 1 Watch 0 At Risk 0 Late 4

Work Order	Campaign / Revision	Main Work Center	Planner Group	Work Order Description	Work Order End Date	Work Order Priority	Recommendation	Required on Site	Site Delivery Forecast
WO-01	Campaign001 Revision1	Main001	Plan001	Work order for well 1 maintenance	12/25/2023 DEVIATION	1		12/18/2023	12/5/2023 Late -6d
WO-03	Campaign005 Revision1	Main002	Plan005	Work order for well 3 maintenance	9/22/2023 DEVIATION	1		9/13/2023	11/18/2023 Late -69d
WO-02	Campaign002 Revision1	Main001	Plan002	Work order for well 2 maintenance	9/25/2023 DEVIATION	1		9/17/2023	11/18/2023 Late -69d
WO-04	Campaign004 Revision1	Main002	Plan004	Work order for well 4 maintenance	9/10/2023 REQUIRED	1		9/10/2023	11/18/2023 Late -69d
WO-05	Campaign005 Revision1	Main002	Plan005	Work order for well 5 maintenance	9/16/2023	1		9/12/2023	10/5/2023 Delivered

Rows per page 20 1-5 of 5

[フィルター] をクリックして、[国/ロケーション]、[キャンペーン]、[リビジョン]、[メインワークセンター]、[プロセス名]、[プランナーグループ] を使用して作業指示をフィルタリングできます。フィルターを設定したら、[適用] をクリックします。[フィルターグループを保存] をクリックしてフィルターを保存できます。

[すべて]、[納期通り]、[監視]、[リスクあり]、[遅延]、[納品済み] などのステータスで作業指示をフィルタリングすることもできます。例えば、[遅延] を選択すると、現在遅延している作業指示すべてが表示されます。

[検索] フィールドを使って作業指示または品目別に検索したり、[並べ替え] オプションを使用して、作業指示を並べ替えたりできます。並べ替えには任意のヘッダーを使用できます。ただし、デフォルトの並び順は、どのヘッダーでもソートできます。デフォルトでは、まず [サイト納品予測]、次に [作業指示の優先順位] の順で表示されています。

[作業指示] ページには、ERP またはソースシステムからの次の情報が表示されます。

- 作業指示 – 作業指示番号が表示されます。作業指示を選択すると、ERP またはソースシステムが表示されます。作業指示を展開すると、各作業指示に含まれる品目が表示されます。
- キャンペーン/リビジョン – キャンペーンおよび/または作業指示のリビジョンが表示されます。
- 作業のメインセンター – ソースシステムで定義されている作業のメインセンターが表示されます。

- プランナーグループ – 各作業指示のプランニンググループを表示します。
- 作業指示の説明 – 作業指示の簡単な理由が表示されます。
- 作業指示終了日 – 作業指示を完了すべき日付を表示します。
- 作業指示の優先度 – 作業指示の優先度を表示します。このフィールドで AWS Supply Chain が受け入れるのは数値のみです。例: 1、2、3 など。ERP システムにこのフィールドの数値が含まれていない場合、作業指示を優先度で並べ替えることはできません。
- レコメンデーション – 実行可能な項目をすべて表示し、マイルストーンに関連付けられています。例えば、PO がブロックされたマイルストーンにより作業指示がブロックされている場合、代替製品を検索するためのレコメンデーションのテキストが表示されます。
- 現場で必須 – 作業を開始する前に、すべての品目が現場で必要となる日付です。
- サイト納品予測 – 次のいずれかが表示されます。
 - 遅延 – 作業指示が、基盤となる作業指示の品目の最新の配達見込み日に遅れが出ていることが原因で遅れる場合に表示されます。この項目は赤色で表示されます。
 - 時間通り – 作業指示書に記載された品目が、現場にあることが求められる日付までに到着する場合に表示されます。この項目は緑色で表示されます。
 - リスクあり – 配達日が最も遅い日付の品目の処理が遅れているか、マイルストーンがブロックされている場合に表示されます。この項目の場合、まだ必要な期日に間に合わせることができ、黄色で表示されます。
 - ウォッチ – 配達日が最も遅い日付の品目がブロックされているか、現在のサプライチェーンプロセスの進行が遅れている場合に表示されます。
 - 納品済み – 最後のプロセスの最後のマイルストーンが開始された後に表示され、プロセスの完了を示します。

作業指示の品目の表示

作業指示に関連するすべての品目を表示できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Work Order Insights を選択します。

[作業指示のインサイト] ページが開きます。

2. 確認する作業指示を展開します。

[作業指示内の品目] ページが開きます。

- 品目 – 品目番号が表示されます。
 - 説明 – パラメータの説明を提供します。
 - Qty/UoM – 品目の数量を一覧表示します。数量単位 (UoM) が利用できる場合は、UoM 値が表示されます。例えば、各 2 個などです。
 - 品目ソース – 品目が在庫にあるか、直接購買かを表示します。
 - 現在のプロセス – 作業指示の品目の現在のサプライチェーンプロセスが表示されます。
 - レコメンデーション – 実行可能な項目をすべて表示し、マイルストーンに関連付けられています。
 - 現場で必須 – 品目が現場で必要となる日付を表示します。
 - サイト納品予測 – サイトでの配達予測とステータスが表示されます。
3. 詳細を確認する [品目] をクリックします。[品目の概要] ページが開き、品目の概要が表示されます。

The screenshot displays the 'Product 6' overview page. At the top, it shows 'Product 6' with a 'Late -19d' status and a 'Show Completed Processes' toggle. Below this, the 'Purchase Order' card is highlighted in red, showing a forecasted completion date of 11/8/2023 and a 'Late -19d' status. The 'Milestones' section lists: RFQ Created Milestone (completed), Purchase Order Created Milestone (completed), Purchase Order Released Milestone (pending), and Vendor Accepted Milestone (pending). The 'Recommendation' section is currently empty. Below the 'Purchase Order' card, the 'Vendor Lead Time' section lists several process steps with their planned and forecasted completion dates:

Process Step	Planned	Forecasted Completion
Vendor Lead Time	5 day(s)	11/13/2023
In-Transit To Supply Plant	5 day(s)	11/18/2023
Good Receiving At Supply Plant	5 day(s)	11/23/2023
Ready To Ship From Supply Plant	5 day(s)	11/28/2023
In-Transit To Demand Plant	5 day(s)	12/3/2023
Processing At Demand Plant	5 day(s)	12/8/2023
In-Transit To Demand Plant	5 day(s)	12/13/2023
Material Consumed At Demand Plant	5 day(s)	12/18/2023

The 'Material Summary' sidebar on the right provides additional details:

- Source:** Direct Purchase
- Vendor:** Partner1, Partner 1
- Purchase Order Delivery Date:** 10/10/2023
- Vendor Request Status:** New
- Campaign:** Campaign001
- Work order reference:** [WorkOrder1](#)
- PO / Line Number:** [PO006 - POLine006](#)
- PR / Line Number:** [PR006 - PRLine001](#)
- RFQ / Line Number:** [RFQ006 - RFQLine006](#)

マテリアルの現在のマイルストーンと、各マイルストーンについて AWS Supply Chain が提供するレコメンデーションを表示できます。

4. [完了済みのマイルストーンを表示] ボタンをスライドすると、品目の完了済みのマイルストーンをすべて表示できます。

The screenshot displays the AWS Supply Chain interface for a product. At the top, it shows 'Product 6' with a 'Late -19d' status and a 'Show Completed Processes' toggle. Below this, a list of milestones is shown, including 'Work Order Release', 'Purchase Requisition', 'Request For Quote', and 'Purchase Order'. The 'Purchase Order' milestone is highlighted in red and marked as 'Late -19d'. Below the milestones, a list of lead times is shown, including 'Vendor Lead Time', 'In-Transit To Supply Plant', 'Good Receiving At Supply Plant', 'Ready To Ship From Supply Plant', 'In-Transit To Demand Plant', 'Processing At Demand Plant', 'In-Transit To Demand Plant', and 'Material Consumed At Demand Plant'. On the right side, a 'Material Summary' sidebar provides details about the source, vendor, purchase order delivery date, vendor request status, campaign, work order reference, PO / Line Number, PR / Line Number, and RFQ / Line Number.

調達

作業指示の一部として注文されたすべての品目の調達の詳細を表示できます。デフォルトで、調達のサプライチェーンプロセスが表示されます。フィルターを使用すると、調達プロセスのサブセットを表示できます。[品目名] を選択すると、対応する調達の概要が表示されます。

AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Work Order Insights を選択します。[作業指示のインサイト] ページが開きます。[調達] タブをクリックします。

AMZN Work Order Insights Work Order Insights

Work Orders Procurement Logistics

Filters

Search by Reference or Material All 5 On Time 1 Delivered 0 Watch 0 At Risk 0 Late 4

Work Order	PR/Line	RFQ/Line	PO/Line	Work Order Priority	Material Name	QTY / UoM	Source	Current Process	Required on Site	Site Del
WorkOrder1	PR003 - PRLi...	RFQ003 - RF...	PO003 - POLi...	1	Product3 Product 3	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/2
WorkOrder1	PR004 - PRLi...	RFQ004 - RF...	PO004 - POLi...	1	Product4 Product 4	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/2
WorkOrder1	PR005 - PRLi...	RFQ005 - RF...	PO005 - POLi...	1	Product5 Product 5	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/2
WorkOrder1	PR006 - PRLi...	RFQ006 - RF...	PO006 - POLi...	1	Product6 Product 6	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/2
WorkOrder1	PR001 - PRLi...	RFQ001 - RF...	PO001 - POLi...	1	Product1 Product 1b	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	2/28/2025	5/10/26

Rows per page 20 1-5 of 5

[フィルター] をクリックして、[国/ロケーション]、[キャンペーン]、[リビジョン]、[メインワークセンター]、[プロセス名]、[プランナーグループ] を使用して作業指示をフィルタリングできます。フィルターを設定したら、[適用] をクリックします。[フィルターグループを保存] をクリックしてフィルターを保存できます。

[すべて]、[納期通り]、[納品済み]、[監視]、[リスクあり]、[遅延] などのステータスで作業指示をフィルタリングすることもできます。例えば、[遅延] を選択すると、現在遅延している作業指示すべてが表示されます。

[検索] フィールドを使用して、必要な作業指示を検索できます。並び替えには任意のヘッダーを使用できます。ただし、デフォルトの並び順は、どのヘッダーでもソートできます。デフォルトでは、まず [サイト納品予測]、次に [作業指示の優先順位] の順で表示されています。

[調達] ページには、ERP またはソースシステムからの次の情報が表示されます。

- 作業指示 – 作業指示番号が表示されます。作業指示を選択すると、ERP またはソースシステムが表示されます。
- PR/明細 – 調達番号または明細番号を選択して、ERP またはソースシステムで確認できます。
- RFQ/明細 – RFQ または明細番号を選択して、ERP またはソースシステムで確認できます。
- PO/明細 – 発注書 (PO) または明細番号を選択して、ERP またはソースシステムで確認できます。

- 作業指示の優先度 – 作業指示の優先度を表示します。はこのフィールドの数値 AWS Supply Chain のみを受け入れます。例: 1、2、3 など。ERP システムにこのフィールドの数値が含まれていない場合、作業指示を優先度で並べ替えることはできません。
- 品目名 – 調達する品目名が表示されます。ERP システムでマテリアルが Hazmat とマークされている場合、AWS Supply Chain はマテリアルの横に Hazmat 記号を表示します。

品目名を選択すると、現在の作業指示のマイルストーンを表示できます。[完了済みのマイルストーンを表示] ボタンをスライドすると、品目の完了済みのマイルストーンをすべて表示できます。

- 数量/UoM – 調達する品目の数量が表示されます。
- ソース – 品目の調達元を表示します。
- 現在のプロセス – 作業指示の現在のプロセスが表示されます。
- 現場で必須 – 製品が作業指示のサイトで必要となる日付が表示されます。
- サイト納品予測 – 次のいずれかが表示されます。
 - 遅延 – 作業指示が、基盤となる作業指示の品目の最新の配達見込み日に遅れが出ていることが原因で遅れる場合に表示されます。この項目は赤色で表示されます。
 - 時間通り – 作業指示書に記載された品目が、現場にあることが求められる日付までに到着する場合に表示されます。この項目は緑色で表示されます。
 - リスクあり – 配達日が最も遅い日付の品目の処理が遅れているか、マイルストーンがブロックされている場合に表示されます。この項目の場合、まだ必要な期日に間に合わせることができ、黄色で表示されます。
 - ウォッチ – 配達日が最も遅い日付の品目がブロックされているか、現在のサプライチェーンプロセスの進行が遅れている場合に表示されます。
 - 納品済み – 最後のプロセスの最後のマイルストーンが開始された後に表示され、プロセスの完了を示します。
- 推奨アクション期日 – レコメンデーションに関連付けられているサプライチェーンプロセスの予測完了日までに完了する必要があるアクションが表示されます。
- レコメンデーション – 実行可能な項目をすべて表示し、マイルストーンに関連付けられています。

ロジスティクス

作業指示の一部として注文されたすべての品目の物流詳細を表示できます。[品目名] を選択すると、各サプライチェーンプロセスに対応する品目概要を表示できます。

AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、Work Order Insights を選択します。

[作業指示のインサイト] ページが開きます。[ロジスティクス] タブをクリックします。

AMZN Work Order Insights Work Order Insights

Work Orders Procurement **Logistics**

Filters

Search by Reference or Material All 6 On Time 1 Delivered 1 Watch 0 At Risk 0 Late 4

Work Order	PR/Line	PO/Line	STO/Line	Work Order Priority	Material Name	QTY / UoM	Source	Current Process	Required on Site	Site Del
WorkOrder1	PR006 - PRLi...	PO006 - POLi...	-	1	Product16 Product 6	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/23
WorkOrder1	PR003 - PRLi...	PO003 - POLi...	-	1	Product3 Product 3	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/23
WorkOrder1	PR004 - PRLi...	PO004 - POLi...	-	1	Product14 Product 4	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/23
WorkOrder1	PR005 - PRLi...	PO005 - POLi...	-	1	Product5 Product 5	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	11/29/2023	12/18/23
WorkOrder1	PR001 - PRLi...	PO001 - POLi...	-	1	Product1 Product 1b	1 eaches	Partner 1 - Partner1	Purchase Order	2/28/2025	5/10/25
WorkOrder1	PR002 - PRLi...	PO002 - POLi...	TO001 - TOLi... TO002 - TOLi...	1	Product2 Product 2	1 eaches	In Inventory Site description		11/29/2023	11/3/23

Rows per page 20 1-6 of 6

[フィルター] をクリックして、[国/ロケーション]、[キャンペーン]、[リビジョン]、[メインワークセンター]、[プロセス名]、[プランナーグループ] を使用して作業指示をフィルタリングできます。フィルターを設定したら、[適用] をクリックします。[フィルターグループを保存] をクリックしてフィルターを保存できます。

[すべて]、[納期通り]、[納品済み]、[監視]、[リスクあり]、[遅延] などのステータスで作業指示をフィルタリングすることもできます。例えば、[Late] を選択すると、現在遅延している作業指示すべてが表示されます。

[検索] フィールドを使用して、必要な作業指示を検索できます。並び替えには任意のヘッダーを使用できます。ただし、デフォルトの並び順は、どのヘッダーでもソートできます。デフォルトでは、まず [サイト納品予測]、次に [作業指示の優先順位] の順で表示されています。

[Logistics] ページには、ERP またはソースシステムからの次の情報が表示されます。

- 作業指示 – 作業指示番号が表示されます。作業指示を選択すると、ERP またはソースシステムが表示されます。
- PR/明細 – 調達番号または明細番号を選択して、ERP またはソースシステムで確認できます。

- PO/明細 – 発注書 (PO) または明細番号を選択して、ERP またはソースシステムで確認できます。
- STO/明細 – 標準転送注文 (STO) または明細番号を選択して、ERP またはソースシステムで確認できます。
- 作業指示の優先度 – 作業指示の優先度を表示します。このフィールドで AWS Supply Chain が受け入れるのは数値のみです。例: 1、2、3 など。ERP システムにこのフィールドの数値が含まれていない場合、作業指示を優先度で並べ替えることはできません。
- 品目名 – 調達する品目名が表示されます。

品目名を選択すると、現在の作業指示のマイルストーンを表示できます。[完了済みのマイルストーンを表示] ボタンをスライドすると、品目の完了済みのマイルストーンをすべて表示できます。

- 数量/UoM – 調達する品目の数量が表示されます。
- ソース – 品目の調達元を表示します。
- 現在のプロセス – 現在のマイルストーンを表示します。
- 現場で必須 – 品目が現場で必要となる日付を表示します。
- サイト納品予測 – 次のいずれかが表示されます。
 - 遅延 – 作業指示が、基盤となる作業指示の品目の最新の配達見込み日に遅れが出ていることが原因で遅れる場合に表示されます。この項目は赤色で表示されます。
 - 時間通り – 作業指示書に記載された品目が、現場にあることが求められる日付までに到着する場合に表示されます。この項目は緑色で表示されます。
 - リスクあり – 配達日が最も遅い日付の品目の処理が遅れているか、マイルストーンがブロックされている場合に表示されます。この項目の場合、まだ必要な期日に間に合わせることができ、黄色で表示されます。
 - ウォッチ – 配達日が最も遅い日付の品目がブロックされているか、現在のサプライチェーンプロセスの進行が遅れている場合に表示されます。
 - 納品済み – 最後のプロセスの最後のマイルストーンが開始された後に表示され、プロセスの完了を示します。
- 推奨アクション期日 – レコメンデーションに関連付けられているサプライチェーンプロセスの予測完了日までに完了する必要があるアクションが表示されます。
- レコメンデーション – 実行可能な項目をすべて表示し、マイルストーンに関連付けられています。

Demand Planning

Demand Planning は、ビジネスユーザーが需要計画を作成、コラボレーション、公開できるようにするウェブベースの需要計画アプリケーションです。Demand Planning は、過去の予測経験に基づいた独自の機械学習アルゴリズムを使用して予測を生成します。

Note

Demand Planning は、米国東部 (バージニア北部)、米国西部 (オレゴン)、アジアパシフィック (シドニー) リージョン、欧州 (フランクフルト) リージョンでのみサポートされています。Demand Planning は、欧州 (アイルランド) リージョンではサポートされていません。

トピック

- [用語](#)
- [Demand Planning の設定](#)
- [概要](#)
- [需要計画の表示](#)
- [予測の検証](#)
- [製品のライフサイクル](#)
- [製品系列](#)
- [需要要因に基づく予測](#)
- [上書きの追加](#)
- [ファイルのエクスポート](#)
- [需要計画を公開する](#)
- [需要計画設定の変更](#)

用語

Demand Planning でよく使われる用語は次のとおりです。

- **エンタープライズ需要計画** – 複数のステークホルダーからの予測入力を統合して統一された予測を作成する単一の計画ワークブックです。複数の計画サイクルで構成できるため、変化を続ける予

測入カデータセットに基づいて予測を反復的に調整できます。エンタープライズ需要計画には次の2つのステータスポイントが表示されます。

- アクティブ – 計画サイクルがオープンであり、予測を編集できます。
- 公開済み – 計画サイクルは完了しており、予測を編集することはできません。ただし、需要計画は表示できます。
- 需要計画サイクル – 需要計画の作成と最終化にかかる時間です。これには、予想の生成、ステークホルダーとの協力による需要計画の調整と公開などがあります。
- データセット – 販売注文履歴や製品情報など、予測の生成に使用するデータのコレクションです。
- 予測の詳細度 – 予測の作成方法と管理方法を定義します。製品、ロケーション、顧客、チャネルの各ディメンションを組み合わせて使用できます。データセット内の製品ごとに、予測データを日、週、月、または年ごとに集計する時間間隔を選択することもできます。例えば、予測の詳細度が日次に設定されている場合、データセット内の各製品の予測は日次で表示されます。

Note

Demand Planning では、計画にグレゴリオ暦が使用されます。デフォルトの週の開始日は月曜日です。

- 予想設定 – 予想の生成のための設定セットです。これには、Demand Planning による予測の生成方法に影響する計画サイクル設定、期間の詳細度、階層設定などがあります。
- システム生成予測 – これは、ベースライン予測とも呼ばれます。システムが履歴データを使用して予測を生成することを指します。なんらかの上書きを適用する前の初期需要予測が提供されます。
- 上書き – システムが生成した予測に対して行う変更を指します。
- 公開済み需要計画 – 計画ワークブックの最終出力です。最終化された需要計画を下流の在庫システムと供給計画システムに公開して実施することを選択できます。
- 製品系列 – 製品と製品の以前のバージョンまたは代替製品とを関連付けて、予測に使用する必要のある履歴の範囲に関するルールを設定できます。詳細については、「[製品系列](#)」を参照してください。
- 製品ライフサイクル – 製品ライフサイクルとは、導入からサポート終了 (EoL) までの製品のさまざまな段階を指します。製品のライフサイクルの詳細については、「」を参照してください [製品のライフサイクル](#)。

- 需要要因 — 特定の製品の需要レベルに直接影響する要因。例えば、広告やマーケティングの取り組み、料金戦略などです。需要要因の詳細については、「」を参照してください [需要要因に基づく予測](#)。

Demand Planning の設定

需要計画を作成して、組織全体にわたる在庫需要を正確に予測できます。

Note

Demand Planning に初めてログインすると、主要な機能をハイライトしたオンボーディングページを表示できます。このページを使用して、Demand Planning の機能を学べます。Demand Planning を設定したら、「設定 > 組織 > Demand Planning」で需要計画の設定を表示または変更できます。

エンタープライズ需要計画は、単一の予測構成設定から導き出されます。組織内の他のユーザーが既に次の手順に従って予測の構成設定を完了しているかを確認します。組織内の他のユーザーが設定を完了している場合は、次の手順を実行する必要はありません。その代わりに [Demand Planning] ページが開き、予測の確認を開始できます。

1. [Demand planning] ページで、[Next] をクリックします。

Demand Planning の機能を把握するために最後まで読むことも、[次へ] をクリックして、[Configure Demand Planning] ページに進むこともできます。

2. [Configure Demand Planning] ページには、Demand Planning を設定する 5 つのステップが表示されています。

- スコープ — Demand Planning が予測を生成するディメンションと時間枠を定義します。
- データセットの設定 – outbound_order_line データセットを定義します。このオプションは、Demand Planning で正確な予測を生成するうえで必須です。Demand Planning で outbound_order_line データセットの負の数量値を処理する方法も定義します。Demand Planning での必須フィールドとオプションのフィールドの詳細については、「[で使用されるデータエンティティと列 AWS Supply Chain](#)」を参照してください。
- 予測設定 – グローバルパラメータを設定して、代替データのない新製品の予測期間、最小予測値、初期化値を決定します。
- スケジューラ – 予測を更新して公開する方法とタイミングを定義できます。

- 組織設定 – 需要計画の公開先を定義します。アプリケーション内のその他の設定オプションも表示されます。

3. [Scope]、[Planning Horizon] の下で、次を選択します。

- Time Interval – 毎日、毎週、毎月、毎年 of のいずれかのオプションから時間間隔を選択します。この時間間隔は、データの集計と分析に使用されます。時間間隔は、事業内容、可用性、履歴データの詳細度に基づいて選択します。
- Time Horizon – 予測を生成する特定の期間を選択します。最小値は 1、最大値は 500 の整数の値である必要があります。期間は、利用できる履歴データの量によっても異なります。outbound_order_line データセット内の少なくとも 1 つの製品に、設定した期間の 4 倍以上の販売履歴があることを確認します。例えば、[Time Horizon] を 26、[Time Interval] を [毎週] に設定した場合、注文データの最小要件は、 $26 * 4 = 104$ 週となります。

[Forecast Granularity]、[Required Hierarchy] では、予測階層を定義するパラメータを選択します。製品 ID 属性は必須であり、階層の最後のレベルとして自動的に選択されます。[Add level] をクリックして、product_group_id、product_type、brand_name、color、display_desc、parent_product_id の間に追加の階層レベルを追加できます。必要とする階層属性に製品データセットの情報が含まれていることを確認します。このような属性を使用すると、需要計画をフィルタリングできるためです。

[Optional Hierarchy] の下で、[Add level] をクリックすると、[Site]、[Channel]、[Customer] から最大 5 つの属性を追加して、予測をより適切に管理できます。outbound_order_line データセットでサポートされている列は次のとおりです。

- サイト階層 =
ship_from_site_id、ship_to_site_id、ship_to_site_address_city、ship_to_address_state、ship_to_address
- チャネル階層 = channel_id
- 顧客階層 = customer_tpartner_id

これらの属性は需要計画をフィルタリングするために使用されるため、必要な階層属性が製品データセットに情報が含まれていることを確認してください。

4. [Continue] (続行) をクリックします。

5. 「データセットの設定」ページの「予測入力の設定」で、必要なデータセットと推奨されるデータセットを設定する必要があります。

- 必須データセット – 予測を生成するには、outbound_order_line エンティティと製品データエンティティが必要です。
 - 推奨データセット – product_alternate および supplementary_time_series データエンティティはオプションです。これらのデータエンティティなしで予測を生成できますが、指定すると、予測品質が向上します。
6. 「必須データセット」で、履歴需要を展開し、Configure を選択して欠落データの負の値を設定します。outbound_order_line データセットは、過去の需要の主なソースです。
 - Ignore – 予測を作成する前に order_date が欠落している製品 AWS Supply Chain を無視するかどうかを選択します。
 - をゼロに置き換え AWS Supply Chain – 欠落している order_date フィールドを、デフォルトで最終リクエスト数量にゼロに置き換える場合に選択します。
 7. 製品データエンティティに追加の設定は必要ありません。製品属性は、フィルター、階層の設定、学習モデルのトレーニングに使用されます。
 8. 推奨データセットでは、product_lineage に追加の設定は必要ありません。product_alternate データエンティティを使用して、製品の代替バージョンまたは以前のバージョンに関する情報を提供できます。製品系列の詳細については、「」を参照してください[製品系列](#)。
 9. プロモーション、価格変更などの需要要因情報がある場合は、Demand Drivers を選択します。この際、supplementary_time_series データエンティティを使用してデータを取り込むことができます。最大 13 個の需要要因を選択し、集約戦略と欠落データフィル戦略を設定できます。需要要因の詳細については、「」を参照してください[需要要因に基づく予測](#)。
 10. [Continue] (続行) をクリックします。
 11. 予測設定ページで、以下を設定する必要があります。
 - 「予測の開始日と終了日の設定」に、新製品導入 (NPI) および nd-of-life EOL) 製品の予測の開始日と終了日を入力します。詳細については、「[製品のライフサイクル](#)」を参照してください。
 - 「新製品の初期予測」に、需要履歴または製品系列がない製品の初期予測値を入力して、需要計画ウェブアプリケーションで製品を検索できるようにし、予測を作成します。値と適用する期間を指定します。

Note

表示される期間は、[Planning Horizon] ページの [Time intervals] の下で選択した時間枠により異なります。例えば、[Time intervals] で [毎月] を選択した場合、需要履歴のない製品については、予測の開始と停止の前後の月数を指定できます。

- 計画サイクルの開始日は、アウトバウンド注文明細データセットの最終注文日に基づいています。時間間隔の設定により、次のとおりとなります。
- 日次 – 計画サイクルの開始日は、最終注文日の翌日となります。例えば、最終注文日が 2023 年 10 月 30 日の場合、計画サイクルの開始日は 2023 年 10 月 31 日になります。
- 毎週または毎月 – 最終注文日が時間枠と同じ場合、計画サイクルの開始日は 1 週間後または 1 か月後になります。例えば、最終注文日が 2023 年 10 月 29 日 (日曜日と Demand Planning の週の時間境界) の場合、計画サイクルの開始日は 2023 年 10 月 30 日になります。

最終注文日が時間枠内の場合、Demand Planning は前回の時間枠の注文履歴をトリミングして、新しい期間から予測を作成します。例えば、最終注文日が 2023 年 11 月 1 日 (Demand Planning の週の時間境界ではなく水曜日) の場合、計画サイクルの開始日は 2023 年 10 月 30 日になります。Demand Planning は、2023 年 10 月 30 日から 2023 年 11 月 1 日までの注文履歴を無視します。

- (オプション) デフォルトの計画サイクル開始日上書きし、バックテストの目的で過去の期間を選択する場合は、Forecast Start Date を選択します。

選択した予測開始日が outbound_order_line データセット終了日より後の場合、デフォルトの計画サイクル開始日が考慮されます。

選択した予測開始日が outbound_order_line 開始日より前である場合、または需要履歴の長さが不十分な場合、予測は失敗し、エラーが表示されます。詳細については、「[データセットをアップロードするための前提条件](#)」を参照してください。

毎月の間隔は月の最初の日、毎週の間隔は月曜日を選択することをお勧めします。別の日付を選択すると、Demand Planning は最も近いデフォルト日付に自動的に調整されます。例えば、水曜日を予測開始日として選択した場合、Demand Planning は週次の間隔の予測開始日として次の月曜日を選択します。同様に、2024 年 5 月 10 日を選択すると、2024 年 6 月 1 日が月次間隔の計画サイクル開始日になります。

12. [Continue] (続行) をクリックします。

13. [Demand Plan Publish Scheduler] ページの [Recurring Forecast Runs] で、予測の繰り返しサイクルを設定します。Demand Plan の公開スケジュールオプションでは、[手動] がデフォルトです。[手動] を選択すると、計画サイクルを手動で入力する必要があります。[Forecast interval] の下で、予測をセットアップする方法を選択します。Auto for AWS Supply Chain を選択すると、次の計画サイクルが自動的に開始されます。

[自動] を選択すると、次の予測計画が Demand Planning ページに公開されるタイミングが表示されます。

14. [Continue] (続行) をクリックします。
15. [Configure Enterprise Settings] の下に表示されている需要計画が公開される Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) のパスをメモしておきます。

Note

公開された需要計画の Amazon S3 パスは、[設定] ページでも確認できます。詳細については、「[需要計画設定の変更](#)」を参照してください。

16. [完了] をクリックします。

[Enterprise Demand Plan] ページが開きます。Demand Planning の使用を開始するには、[予想を作成] をクリックします。

Note

Forecast は、 にデータを取り込む場合にのみ生成されます AWS Supply Chain。選択したすべての必須属性とオプション属性の情報がデータセットに含まれていることを確認します。

予測設定の指定後、設定した期間の予測と需要計画を生成できます。[Enterprise Demand Plan] ページで、[予想を作成] をクリックします。

概要

Note

初めて予測を生成した後にのみ、[概要] ページが表示されます。

Note

AWS Supply Chain では、正確な予測を生成するために、入力として 2~3 年間のアウトバウンド注文明細履歴をアップロードすることをお勧めします。この期間を入力することで、予測モデルがビジネスサイクルをキャプチャでき、予測の確実性と信頼性が向上します。予測精度を向上させるには、ブランド、product_group_id、価格などの製品属性を製品データセットに含めることもお勧めします。

予測が生成された後、[概要] ページの [Demand Planning] で全体的な影響要因と精度メトリックを確認できます。

- 全体的な影響要因 — 現在の計画サイクルで予測を生成するために使用される製品メタデータ属性と需要要因 (存在する場合) の影響スコアを示します。影響要因は、初めて予想の生成を正常に完了した後で確認できます。負の値は、属性が予測を下落させた原因となったことを示し、その逆も同様です。値がゼロの場合は、その属性が予測結果に影響を与えないことを示します。需要要因に基づく予測の詳細については、「」を参照してください [需要要因に基づく予測](#)。
- 精度メトリクス – 予測期間の実際の需要を含むデータセット (outbound_order_line) を更新したら、再計算を選択します。最新の需要計画の精度メトリクスは、需要計画タブで表示できます。精度メトリクスは、現在の需要計画の精度が実際の需要とどのように一致しているかを測定します。

精度メトリックは、予想の生成中に 計画 (集計) と 詳細度の最低レベルで提供されます。[概要] ページには、集計レベルのメトリクスが表示され、[精度メトリック] の下で、[ダウンロード] をクリックすると、この詳細度メトリクスをダウンロードできます。

以下は、ウェブアプリケーションに表示されるメトリクスの計算に使用される式です。

- Mean Absolute Percentage Error (MAPE) – 平均絶対パーセント誤差 (MAPE) は、時間単位ごとに観測値と予測値の間の誤差の割合 (%) の絶対値を取得して、値を平均します。

詳細レベルと計画レベルの計算式は次のとおりです。

$$\frac{1}{n} \sum_{t=1,n} \left| \frac{A_t - F_t}{A_t} \right|$$

MAPE が 5% 未満の場合に、予測は許容範囲内の精度であると見なされます。MAPE が 10% を超え、25% 未満の場合は、精度は低いですが許容範囲内であることが示されます。MAPE が 25% を超えると、精度は非常に低く、予測が許容できないことが示されます。

- Weighted Average Percentage Error (WAPE) – 重み付き絶対誤差率 (WAPE) は、観測値からの予測値の全体的な偏差を測定します。WAPE は、観測値の合計と予測値の合計を取り、これら 2 つの値の間の誤差を計算することによって計算されます。値が小さいほど、モデルの精度が高くなります。

詳細レベルと計画レベルの計算式は次のとおりです。

$$r \frac{\sum_{t=1,n} |A_t - F_t|}{\sum_{t=1,n} |A_t|}$$

WAPE が 5% 未満の場合に、許容範囲内の精度であると見なされます。WAPE が 10% を超え、25% 未満の場合は、精度は低いですが許容範囲内であることが示されます。WAPE が 25% を超えると、精度は非常に低いことが示されます。

次の例を参照してください。

	A	B	C	D	E	F
4						
5	Timestamp	Product ID	Forecast	Actual	MAPE	WAPE
6	5/5/2023 12:05	FC01	74	69	7.25	7.25
7	5/5/2023 12:05	FC02	41	35	17.14	17.14
8	5/5/2023 12:05	FC03	82	77	6.49	6.49
9	5/5/2023 12:05	SN01	82	70	17.14	17.14
10		Total	279.00	251.00		
11						
12						
13			Overall MAPE	12.01	=AVERAGE(E6:E9)	
14			Overall WAPE	11.16	=ABS(D10-C10)/ABS(D10)*100	
15						

実際の がゼロまたは null の場合、メトリクスは計算されません。後で新しい予測が生成されると、以前に報告されたメトリクスはウェブアプリケーションで使用できなくなります。最新の outbound_order_line データセットが更新されていることを確認し、再計算を選択して更新されたメトリクスを表示します。

精度メトリクスは、現在実行されている予測で実際の需要値を持つすべての期間の現在の需要計画の精度を反映します。

例えば、現在の計画サイクルに 2023 年 1 月から 12 月までの月次予測があり、2023 年 1 月の実際のデータを更新した場合、精度メトリクスは 2023 年 1 月に計算されます。同様に、現在の計画サイクルに 2023 年 1 月から 12 月までの月次予測があり、2023 年 1 月と 2023 年 2 月の実際のデータを更新した場合、精度メトリクスは 2023 年 1 月と 2023 年 2 月に計算されます。Demand Planning ウェブアプリケーションには、Jan-Feb-2023日の集計メトリクスが表示され、エクスポートファイルには詳細な詳細が表示されます。

Note

[Time interval] または [Hierarchy] の設定を変更して予測を再生成すると、精度メトリック値の関連性が失われるため、精度メトリックは表示されなくなります。

需要計画の表示

予測を生成したら、[Demand Planning]、[Forecast] ページで予測値を確認できます。エンタープライズ需要計画は、共同作業を行うためのコラボレーションプラットフォームとして機能する単一のワークブックであり、予測作業を統合して同期するための一元化された場所を提供します。

需要計画テーブルに表示される情報は、次のとおりです。

- Forecasted Demand – システムが生成した予測が表示されます。次の 3 つの値が含まれています。
 - 下限 – 通常、約 90% の確率で実際の需要よりも高くなる予測です。
 - 需要の中央値 – 通常、実際の需要の 50% よりも高い予測 (中央推定値) です。
 - 上限 – 通常、実際の需要を 10% 上回る確率で予測します。

Note

下限および上限情報は、product_id が選択されている場合にのみ表示されます。需要の中央値が集計レベルと 1 つの製品 ID が選択されているときの両方に表示されます。

- 需要計画 – 上書きを許可するために、需要の中央値がこの行にレプリケートされています。
- 需要実績 – 現在と過去数年間の需要履歴が表示されます。

履歴データを週単位で比較する場合、Demand Planning では前年の最も近い月曜日を参照します。これは、Demand Planning では月曜日を週の開始日と見なすためです。年により、またうる年により変動するため、前年の対応する週の日付が正確に一致しない場合があります。例えば、月曜である 2023 年 6 月 3 日の週の利用できる売上データ履歴を比較する場合、Demand Planning は前年の月曜日で最も近い週、つまり 2022 年 7 月 2 日を参照します。

- 以前の予測バージョン – 最後に公開された需要計画が表示されます。予測を初めて作成する際は履歴がないため、空白となります。
- ライフサイクルとイベント – 需要計画に含まれる新製品導入 (NPI) 製品またはサポート終了 (EoL) が近づいている製品が表示されます。NPI または EoL アイコンにカーソルを合わせると、複数の

製品を選択すると、製品の数と製品のリストを表示できます。1つの製品のみを選択すると、製品メタデータを表示できます。、NPIの場合は製品使用可能日、EoLの場合は中止日、予測開始日と終了日。

Note

製品カテゴリがすべてに設定されているか、製品階層の上位レベルが選択されている場合、新規または EoL に近づいている製品の数のみが表示されます。

[グラフ] トグルボタンを使用すると、グラフビューを非表示にしたり表示したりできます。目のアイコンを選択すると、特定の値の表示と非表示を切り替えられます。製品でフィルタリングする際に、 ヘルプアイコンにカーソルを合わせると、製品の説明、測定単位 (UoM)、製品の発売日、販売終了日が表示されます。

予測を表示するには、次の手順を実行します。

1. [Enterprise demand plan] ページで、生成した予測のタイムスタンプを確認できます。[Enterprise demand plan] が アクティブの場合、フィルターを使用して調整できます。
2. [Enterprise demand plan] ページの [すべて] で、[Change category/product] を選択すると、生成された予測ビューを変更できます。表示される予測はデフォルトで、定義した範囲または期間内での全製品の予測需要の合計を表示しています。
3. [Select Category/Product] ページでは、リストから製品を選択するか、検索ボックスを使用して [製品 ID] または [説明] で特定の製品を検索できます。
4. [適用] を選択します。これで、選択した製品またはカテゴリのフィルタリングした予測を表示できます。

Note

予測の設定時にオプションの階層を選択した場合、概要ボックスには、選択した製品の販売サイト数、顧客数、チャネル数が表示されます。

5. 予測の設定時にオプションの階層を選択した場合は、[Refine your search] の下で、[Site]、[Channel]、または [Customer] でさらに予測をフィルタリングできます。例えば、予測設定時に [Site] と [Channel] 階層を選択した場合、[Demand Planning] ページにはサイトとチャネルのフィルターが提供されます。
6. [適用] をクリックして選択したフィルターを適用します。

7. [Time interval] ドロップダウンリストで、予測を表示する時間間隔を選択します。このフィルターを使って時間階層を調整して、予測を表形式とグラフ形式の両方で表示できます。最小値は、予測の詳細度の時間間隔設定に対応します。例えば、時間間隔が [毎週] の場合、予測を [毎週]、[毎月]、[毎年] で表示できます。

[Planning horizon start] と [Planning horizon end] を使用して、表ビューとグラフビューの両方の予測で表示する期間を絞り込めます。

時間間隔の例 1

需要計画は、各設定で日次の時間間隔で生成されます。[Demand Plan] ページの [Time Interval] フィルターのオプションを選択すると、需要計画を週単位で表示できます。システムでは、月曜日を週の開始日として、値が週単位で集計されます。

[時間間隔] フィルターを使用して [毎月] オプションを選択すると、月次の時間間隔で需要計画を表示することもできます。需要計画は日単位の詳細度で設定できるため、システムは開始日を 1 としてグレゴリオ暦月で値を集計します。

Demand Plan generated for daily time intervals

Day of the week	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
Date	5/1/2023	5/2/2023	5/3/2023	5/4/2023	5/5/2023	5/6/2023	5/7/2023	5/8/2023	5/9/2023	5/10/2023	5/11/2023	5/12/2023	5/13/2023	5/14/2023	5/22/2023	5/23/2023	5/24/2023	5/25/2023	5/26/2023	5/27/2023	5/28/2023
Forecast period	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	Day 6	Day 7	Day 8	Day 9	Day 10	Day 11	Day 12	Day 13	Day 14	Day 22	Day 23	Day 24	Day 25	Day 26	Day 27	Day 28
Demand Plan	37	18	22	30	11	33	18	32	29	17	10	20	15	25	34	37	36	35	17	35	18

You can view the demand plan in weekly time intervals. Demand planning will aggregate values into Gregorian calendar weeks with Monday as start day of the week

Beginning of the week	5/1/2023	5/8/2023	5/15/2023	5/22/2023	5/29/2023	6/5/2023	6/12/2023	6/19/2023	6/26/2023	7/3/2023	7/10/2023	7/17/2023	7/24/2023
End of the week	5/7/2023	5/14/2023	5/21/2023	5/28/2023	6/4/2023	6/11/2023	6/18/2023	6/25/2023	7/2/2023	7/9/2023	7/16/2023	7/23/2023	7/30/2023
Forecast period	Week 1	Week 2	Week 3	Week 4	Week 5	Week 6	Week 7	Week 8	Week 9	Week 10	Week 11	Week 12	Week 13
Demand Plan	169	148	169	212	201	196	210	199	181	203	196	189	152

You can view the demand plan in monthly time intervals. Demand planning will aggregate values into Gregorian calendar months with start day as 1, since forecast is available at daily granularity

Beginning of the month	5/1/2023	6/1/2023	7/1/2023
End of the month	5/31/2023	6/30/2023	7/31/2023
Forecast period	Month 1	Month 2	Month 3
Demand Plan	656	854	875

時間間隔の例 2

需要計画は、各設定で週次の時間間隔で生成されます。[時間間隔] フィルターを選択すると、毎月の時間間隔で需要計画を表示できます。月の時間枠の場合は厳密にはグレゴリオ暦月となりません。

Demand Plan generated for weekly time interval

Beginning of the week	5/1/2023	5/8/2023	5/15/2023	5/22/2023	5/29/2023	6/5/2023	6/12/2023	6/19/2023	6/26/2023	7/3/2023
End of the week	5/7/2023	5/14/2023	5/21/2023	5/28/2023	6/4/2023	6/11/2023	6/18/2023	6/25/2023	7/2/2023	7/9/2023
Forecast period	Week 1	Week 2	Week 3	Week 4	Week 5	Week 6	Week 7	Week 8	Week 9	Week 10
Demand Plan	35	41	28	39	41	35	30	25	28	27

You can view the demand plan generated with a weekly time interval as monthly.

Beginning of the week	5/1/2023	6/5/2023	7/3/2023
End of the week	6/4/2023	7/2/2023	7/9/2023
Forecast period	Month 1-May	Month 2-June	Month 3-July
Demand Plan	184	118	27

予測の検証

デフォルトでは、予測の検証は有効になっています。生成された予測が正確であることを確認するために、Demand Planning は予測の品質または精度をモニタリングして更新します。Demand Planning が予測に追加の検証が必要であると判断した場合、Demand Planning は予測の公開を遅らせ、予測が AWS Supply Chain ウェブアプリケーションで公開される日時を示すメッセージが表示されます。

また、オプトアウトすることもできます。Demand Planning は予測をモニタリングしません。オプトアウト方法の詳細については、[「オプトアウト設定」](#)を参照してください。

最後に公開された需要計画は読み取り専用モードで表示できます。

製品のライフサイクル

製品ライフサイクルは、導入からサポート終了 (EoL) までの製品のライフサイクルを記述します。は、ライフサイクルを通じて製品の予測 AWS Supply Chain をサポートします。製品ライフサイクル機能を有効にするには、製品データエンティティの `product_introduction_day` 列と `discontinue_day` 列を入力します。Demand Planning は、製品がアクティブになると、上記列のデータを使用して製品の予測を作成します。データエンティティの詳細については、[「で使用されるデータエンティティと列 AWS Supply Chain」](#)を参照してください。

製品ライフサイクルを有効にするには、`[id]`、`[説明]`、`[product_available_day]`、`[discontinue_day]`、`[is_deleted]` の列が `[Product]` データエンティティに入力されていることを確認します。

次の例は、データを製品データエンティティに取り込んだ際の需要計画の仕組みを説明しています。

Column name	Required for Data Lake	Required for Demand Planning	Scenario 1	Scenario 2	Scenario 3	Scenario 4	Scenario 5	Scenario 6	Scenario 7
<code>id</code>	Yes	Yes	Product 123	Product 123	Product 123	Product 123	Product 123	Product 123	Product 123
<code>description</code>	Yes	Yes	Bottle	Bottle	Bottle	Bottle	Bottle	Bottle	Bottle
<code>product_available_day</code>	No	No	5/1/2023	5/1/2023	5/1/2023	NULL	NULL	5/1/2022	5/1/2022
<code>discontinue_day</code>	No	No	NULL	12/31/2023	12/31/2023	NULL	NULL	5/1/2023	(past)
<code>is_deleted</code>	No	No	No	No	Yes	No	NULL	No	No
Expected behavior			Forecast will be created starting 3 months prior (or as configured) prior to 5/1/2023 to the end of the planning horizon since there is no discontinue date.	Forecast will be created starting 3 months prior (or as configured) prior to 5/1/2023 until the discontinue date (or as configured).	Forecast will not be created since the product is considered inactive.	Forecast will be created for the entire planning horizon.	Assumed that the product is active.	Forecast will be created for one day (5/1).	In case of conflict between <code>is_deleted</code> and <code>discontinue_day</code> , <code>is_deleted</code> is considered.

製品ライフサイクルの設定方法の詳細については、[「Demand Planning の設定」](#)を参照してください。

Demand Planning 設定では、製品データエンティティの `[product_available_day]` に基づいて予測開始日を設定できます。デフォルトの予測開始日は `[product_available_day]` です。`[期間]` は、`[Scope]`

で設定した時間間隔 (毎日、毎週、毎月、または毎年) を参照します。[開始日] を調整して在庫管理を最適化できます。

[開始日] と同様に、[product_discontinue_day] に応じて製品データエンティティの予測終了日を設定できます。デフォルトの予測終了日は [product_discontinue_day] です。終了日を調整すると、製品の有効期限を過ぎていない不正確な予測を防ぎ、過剰な在庫コストを回避できます。予測を product_available_day と [product_discontinue_day] に一致させる場合は、ゼロを入力します。このグローバル設定はすべての対象製品に適用されます。

[product_available_day] と [product_discontinue_day] が利用できない場合、予測は計画期間全体に対して作成されます。

履歴データや代替製品リンクがない製品の予測値を初期化するようにシステムを設定することもできます。デフォルト値は 0 です。また、[Scope] で設定した時間間隔 (毎日、毎週、毎月、または毎年) に基づいて、システムが製品予測値の初期化を使用する期間の期限を設定することもできます。デフォルト値は 3 期間です。このグローバル設定は、追加の予測詳細度として選択されている場合、サイト、顧客、チャネルのディメンションが重なるすべての対象製品に適用されます。例えば、予測が 12 期間の初期値 10 で毎週に設定され、開始予測が product_available_day の 3 期間前に設定されている場合、product_available_date が 2023 年 10 月 2 日の製品 X では、2023 年 9 月 11 日から 2023 年 12 月 3 日までの各週で初期化値 10 が適用されます。

product_available_day と product_discontinue_day を変更するには、AWS Supply Chain データレイク内の製品データエンティティを更新します。予測の開始日と終了日を更新することもできます。初期化値と期間の設定を変更すると、以前の計画サイクルでは別の値で初期化された製品を含めて、すべての対象製品で変更が適用されます。更新はすべて、次の予測作成サイクルで適用されます。

製品系列

製品系列とは、製品とその以前の製品バージョンまたは代替製品との間で確立された関係を指します。Demand Planning は、このような製品について、製品系列情報を使用してサロゲート履歴を作成し、これを需要予測の予測入力として使用します。

製品系列がサポートするパターンは次のとおりです。

- 単一の製品に単一の系列または代替製品がある = 1:1

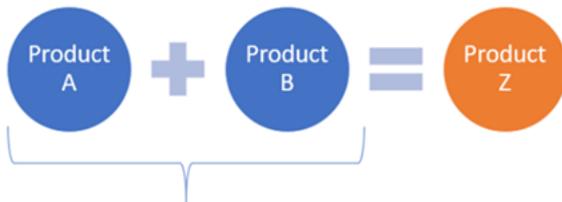


One to one relationship: Demand history of Product A is used to create a 'surrogate' history for Product Z for forecasting

1:1 シナリオの例は、次のとおりです。

Product entity	id	product_available_day	discontinue_day					
	Generic medication	8/1/2020		>> Substitute for Branded medication				
	Branded medication	10/1/2023						
Product_alternate entity	product_id	alternative_product_id	alternate_type	alternate_product_qty	alternate_product_qty_uom	eff_start_date	eff_end_date	Status
	Branded medication	Generic medication	similar_demand_product	100	percentage			Active
100% of entire order history for Generic medication available in the outbound_order_line data will be considered to create a surrogate order history for Branded medication.								

- 単一の製品に複数の系統または代替製品がある = 複数:1



Many to one relationship: Demand histories of Product A and Product B are aggregated to create a 'surrogate' history for Product Z for forecasting

Demand Planning は、チェーンメソッドまたはフラット化メソッドの両方としてモデル化された製品系列関係をサポートします。

- チェーン形式 – A から B へ、B から C への系統関係を直接モデル化できます。次の例では、需要計画では、系統関係を A から B、B から C、A から C としてモデル化します。

Predecessor	後継者
A	B
B	C

次の例は、多対 1 のシナリオ - チェーン形式を示しています。

Product entity	id	product_available_day	discontinue_day	
	Product A	8/1/2020	7/31/2022	>> Predecessor version
	Product B	8/1/2022	7/31/2023	>> Predecessor version
	Product C	8/1/2023		>>> New version

Product_alternate entity	product_id	alternative_product_id	alternate_type	alternate_product_qty	alternate_product_qty_uom	eff_start_date	eff_end_date	Status
	Product B	Product A	similar_demand_product	70	percentage	8/1/20 0:00	7/31/22 23:59	Active
	Product C	Product B	similar_demand_product	50	percentage	8/1/22 0:00	7/31/23 23:59	Active

Order date	8/1/2020	9/1/2020	8/1/2022	...	7/31/2023
	70% of Product A's order history			50% of Product B's order history		
Add	Surrogate order history for Product C to create forecast					

- フラット化された形式 – Demand Planning は、引き続き A から B および A から C の形式の系統情報をサポートします。次の例では、需要計画は系統リレーションシップを A から B に、A から C にモデル化します。B から C は考慮されません。

Predecessor	後継者
A	B
A	C

Note

チェーン形式は 10 レベルの系統関係のみをサポートします。10 個以上の場合は、フラット化された形式を使用して系統関係をモデル化できます。

次の例は、多:1 シナリオ - フラット化された形式を示しています。

Product entity	id	product_available_day	discontinue_day	
	Product A	8/1/2020	7/31/2022	>> Predecessor version
	Product B	8/1/2022	7/31/2023	>> Predecessor version
	Product C	8/1/2023		>>> New version

Product_alternate entity	product_id	alternative_product_id	alternate_type	alternate_product_qty	alternate_product_qty_uom	eff_start_date	eff_end_date	Status
	Product C	Product A	similar_demand_product	70	percentage	8/1/20 0:00	7/31/22 23:59	Active
	Product C	Product B	similar_demand_product	50	percentage	8/1/22 0:00	7/31/23 23:59	Active

Order date	8/1/2020	9/1/2020	8/1/2022	...	7/31/2023
	70% of Product A's order history			50% of Product B's order history		
Add	Surrogate order history for Product C to create forecast					

- 単一の製品が複数の製品系統または代替製品となる可能性があるになる = 1:複数



One to one relationship: Demand history of Product A is used to create a 'surrogate' history for Product Z and Product Y for forecasting

製品系列機能を有効にして、product_alternate データエンティティでさまざまなバージョンの製品または代替製品や代替品の系統関係を定義できます。詳細については、「[Demand Planning](#)」を参照してください。

インスタンスが 2023 年 9 月 11 日以降に作成された場合は、データ接続モジュールに product_alternate AWS Supply Chain データエンティティが表示されます。インスタンスが 2023 年 9 月 11 日以前に作成された場合は、新しいデータ接続を作成して product_alternate データエンティティの取り込みを有効にします。

product_alternate データエンティティにデータを取り込むには、次のガイドラインに従います。

- product_id – 予測作成の主な製品です。
- alternative_product_id – 製品または代替製品や代替品の以前のバージョンです。

単一の product_id に対して複数の alternative_product_id を含めるには、行を分けて入力します。

- Demand Planning は、値が次の形式で指定される場合にのみデータを対象に含めます。
 - alternate_type が similar_demand_product と等しい。
 - ステータスがアクティブ。
 - alternate_product_qty_uom がテキスト形式の割合 (%)。
 - alternate_product_qty – alternate_product_qty データフィールドには、新しい製品の予測に使用する代替製品の履歴の割合を入力する。例えば、60% の場合は 60 と入力する。単一の product_id に複数の alternative_product_id を指定する場合、の合計が 100 となる必要はありません。
- eff_start_date および eff_end_date データフィールドは必須です。ただし、このフィールドを空のままにすると、Demand Planning は 1000 年と 9999 年をそれぞれ自動入力します。

製品系列データを使用して予測を作成して product ID でフィルタリングすると、Demand Planning ページに [Forecast is based on alternate product's history] という識別子が表示されます。

次の表は、product_alternate データエンティティに取り込まれたデータに基づく Demand Planning 製品系列機能の仕組みを説明しています。

列	必須またはオプション	例 1	例 2	例 3	例 4	例 5	例 6	例 7	例 8	例 9	例 10	例 11
product	必須	製品 123	製品 123	製品 123	製品 123	製品 123	製品 123	製品 123	製品 123	製品 123	Null	製品 123
alternate_product_id	必須	製品 XYZ	Null	製品 XYZ	製品 XYZ	製品 XYZ	製品 XYZ	製品 XYZ	製品 XYZ	製品 XYZ	Null	製品 XYZ
alternate_type	必須	Similar_emanc duct	Similar_emanc duct	NULL または異なる値	Similar_emanc duct	Similar_Demand_Product						
ステータス*	必須	ACTIVE	ACTIVE	ACTIVE	inactive	ACTIVE	ACTIVE	Null	ACTIVE	ACTIVE	ACTIVE	ACTIVE
alternate_product_qty	必須	100	60	100	100	Null	100	100	100	100	100	60
alternate_product_qty_uc	必須	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	NULL または異なる値	割合 (%)				

列	必須またはオプション	例 1	例 2	例 3	例 4	例 5	例 6	例 7	例 8	例 9	例 10	例 11
eff_start_date	必須	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	Null	2023-01-01 00:00:	2023-01-01 00:00:	Null
eff_end_date	必須	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	2025-01-01 23:59:	Null	2025-01-01 23:59:	Null

列	必須またはオプション	例 1	例 2	例 3	例 4	例 5	例 6	例 7	例 8	例 9	例 10	例 11
予想される動作	該当なし	2023年1月1日から2025年12月31日までの製品XYZの履歴の100%が、製品123の予測に使用される。	alternate_prc_t_id が欠落しているため、無効なマッピング。	alternate_type が「simi_demand」で product と等しく、ないため、無効なマッピング。	非アクティブなマッピング。	alternate_prod_qty が欠落しているため、無効なマッピング。	alternate_prod_qty_uc が欠落しているため、無効なマッピング。	status が欠落しているため、無効なマッピング。	取り込みは失敗します。	取り込みは失敗します。	product と alternate_prc_t_id が欠落しているため、無効なマッピング。	取り込みは失敗します。

列	必須またはオプション	例 1	例 2	例 3	例 4	例 5	例 6	例 7	例 8	例 9	例 10	例 11
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	Demand Planning は eff_start_date を 1000 年に自動入力します。このシナリオは有効であり、データインジェストは失敗しません。	Demand Planning は eff_end_date を 9999 年に自動入力します。このシナリオは有効で、取り込みは失敗しません。	該当なし	Demand Planning は、eff_start_date を 1000 年に、eff_end_date を 9999 年に自動入力します。このシナリオは有効で、取り込みは失敗しません。

次の例では、ステータスが非アクティブに設定され、製品系列がチェーン形式である場合に、Demand Planning がをどのように解釈するかを説明します。

列	列	ステータス
A	B	[アクティブ]
B	C	無効
C	D	[アクティブ]

需要計画では、最初のルートマッピングと子マッピングのステータスをチェーン全体のステータスと見なします。

A から B へのアクティブ

A から C アクティブ

A から D アクティブ

B から C への非アクティブ

B から D への非アクティブ

C から D アクティブ

需要要因に基づく予測

予測の設定中に予測の精度を向上させるには、需要要因を使用できます。需要要因は、製品の傾向と季節をキャプチャする関連する時系列入力です。過去の需要に依存する代わりに、需要要因を使用して、さまざまな要因に基づいてサプライチェーンに影響を与えることができます。例えば、プロモーション、価格変更、マーケティングキャンペーンなどです。Demand Planning は、過去の需要要因と将来の需要要因の両方をサポートします。

需要要因の使用

需要ドライバーを使用するには、次のステップを実行します。

- `supplementary_time_series` データエンティティに需要要因データを取り込むようにしてください。需要ドライバーの履歴情報と将来の情報の両方を指定できます。Demand Planning が必要とするデータエンティティの詳細については、「」を参照してください[Demand Planning](#)。
- 最小 1 つ、最大 13 つの需要要因を選択します。集計方法と filling メソッドが設定されていることを確認します。filling メソッドの詳細については、「」を参照してください[需要要因のデータフィル方法](#)。設定はいつでも変更できます。Demand Planning は、次の予測サイクルに変更を適用します。

需要要因のデータを取り込む

需要要因のデータを取り込む前に、データが次の条件を満たしていることを確認してください。

- `supplementary_time_series` データエンティティが見つからない場合、インスタンスが以前のデータモデルバージョンを使用している可能性があります。AWS サポートに連絡して、データモデルのバージョンをアップグレードするか、新しいデータ接続を作成できます。
- 次の列が `supplementary_time_series` データエンティティに入力されていることを確認します。
 - `id` – この列は一意のレコード識別子であり、データの取り込みを成功させるために必要です。
 - `order_date` – この列は、需要ドライバーのタイムスタンプを示します。過去と将来の日付の両方を指定できます。
 - `time_series_name` – この列は各需要ドライバーの識別子です。この列の値は文字で始まり、2～56 文字の長さで、文字、数字、アンダースコアを含めることができます。その他の特殊文字は無効です。
 - `time_series_value` – この列は、特定の時点の特定の需要ドライバーのデータポイント測定を提供します。数値のみがサポートされます。

次の例は、必要な需要ドライバー列が `supplementary_time_series` データエンティティに取り込まれるときに、Demand Planning が生成する方法を示しています。Demand Planning では、需要ドライバーの履歴データおよび将来のデータ (利用可能な場合) の両方を提供することを推奨しています。このデータは、学習モデルがパターンを学習して予測に適用するのに役立ちます。

Column name	Required or Optional	Scenario 1	Scenario 2	Scenario 3	Scenario 4	Scenario 5	Scenario 6	Scenario 7	Scenario 8	Scenario 9	Scenario 10	Scenario 11
id	Required	Null				1	1	1	1	1	1	1
order_date	Required		Null			12/1/2023	12/1/2023	12/1/2023	12/1/2023	12/1/2023	12/1/2023	12/1/2023
time_series_name	Required			Null		sale_event	Price	Inventory	Price	Price	promotional_event	promotional_event
time_series_value	Required				Null	1	56	204	-30	56	back_to_school	1
product_id	Optional					Null	Product A	Product A	Product A	Product A	Product A	Product A
site_id	Optional					Null	Null	Site_001	Site_001	Site_001	Null	Null
channel_id	Optional					Null	Null	Null	ECommerce	ECommerce	Null	Null
customer_tpartner_id	Optional					Null	Null	Null	Null	ACME_Ltd	Null	Null
Expected behavior		Data ingestion fails				Applied to all products, sites, channels and customers (as configured as forecast granularity).	Applied to only 'Product A' across all sites, channels and customers (as configured as forecast granularity).	Applied to only 'Product A' and 'Site_001' across all channels and customers (as configured as forecast granularity).	Applied to only 'Product A', 'Site_001' and 'Ecommerce' across customers (as configured as forecast granularity).	Applied to only 'Product A', 'Site_001' and 'Ecommerce' and 'ACME Ltd' only.	Invalid data. The demand driver is ignored as categorical value in the time_series_value field is not supported. Recommend modelling it as '1' indicating the presence of the event.	Invalid data. A valid time_series_name must start with a letter, be 2 to 56 characters long, and may contain letters, numbers, and underscores, but no spaces or other special characters.

次の例は、データセットに一般的な需要要因を設定する方法を示しています。

id	order_date	product_id	site_id	customer_tpartner_id	channel_id	time_series_name	time_series_value	Scenario
1	9/24/2023	Sorting Hat				Price	50	Model price or price changes at various granularity levels - national, site, channel and/or customer .
2	9/24/2023	Invisibility Cloak	Seattle DC			Price	30	
3	9/24/2023				E-commerce	Price	20	
4	9/24/2023	Hogwarts Lego		ACME Ltd		Price	30	
501	2/15/2021					Marquee_Events	1	Model the presence of sales events, promotions, marketing campaigns as '1'. The absence of events can be inferred inherently, eliminating the need for '0' entry records.
502	5/24/2021					Marquee_Events	1	
1001	2/1/2021					Holiday_Tier	3	Model importance tiers of holidays or promotions in the descending order of importance, with higher numerical values indicating greater significance.
1002	2/8/2021					Holiday_Tier	2	
1003	6/28/2021					Holiday_Tier	1	
2001	1/4/2021	Griffindor Pillow	Phoenix DC			Inventory	972	Model closing inventory for product at a site.
2002	1/4/2021	Griffindor Pillow	Seattle DC			Inventory	252	

主要な指標を提供する場合、Demand Planning では時系列の日付を調整することを強くお勧めします。例えば、特定のメトリクスが 70% の変換率で 20 日間の先行指標として機能するとします。この場合、時系列の日付を 20 日シフトしてから、適切な変換係数を適用することを検討してください。学習モデルはこのような調整なしでパターンを学習できますが、主要な指標データを対応する結果に合わせると、パターン認識においてより効果的です。このプロセスでは、値の大きさが重要な役割を果たし、パターンを正確に学習して解釈するモデルの能力を高めます。

需要ドライバーの設定

需要ドライバーを使用するには、需要ドライバーを設定する必要があります。

supplementary_time_series データエンティティにデータを取り込んだ場合にのみ、需要ドライバーを設定できます。

Note

需要要因を設定しない場合でも、予測を生成できます。ただし、Demand Planning は需要要因を使用しません。

需要要因のデータフィル方法

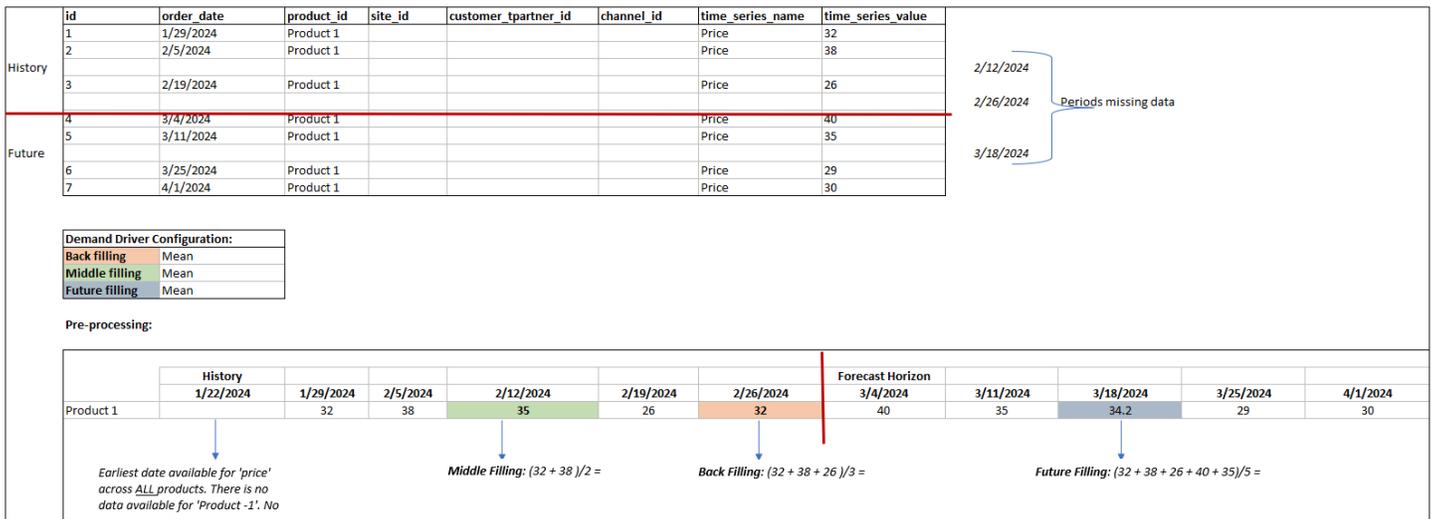
filling メソッドは、時系列の欠損値を表します (または「fills」)。Demand Planning では、次の filling メソッドがサポートされています。Demand Planning が適用される filling 方法は、データ内のギャップの位置によって異なります。

- バックフィル — ギャップが製品の以前の記録日と最後の記録日の間にある場合に適用されます。
- 中間塗りつぶし — 特定の製品について最後に記録されたデータポイントとグローバルで最後に記録された日付の間にギャップがある場合に適用されます。
- 将来のフィル — 需要ドライバーに将来少なくとも 1 つのデータポイントがあり、将来の期間にギャップがある場合に適用されます。



Demand Planning は、デマンドドライバーに対応する supplementary_time_series データエンティティの最後の 64 データポイントを利用して検討します。Demand Planning は、3 つの filling メソッドすべてについて、ゼロ、中央値、平均、最大、最小オプションをサポートします。

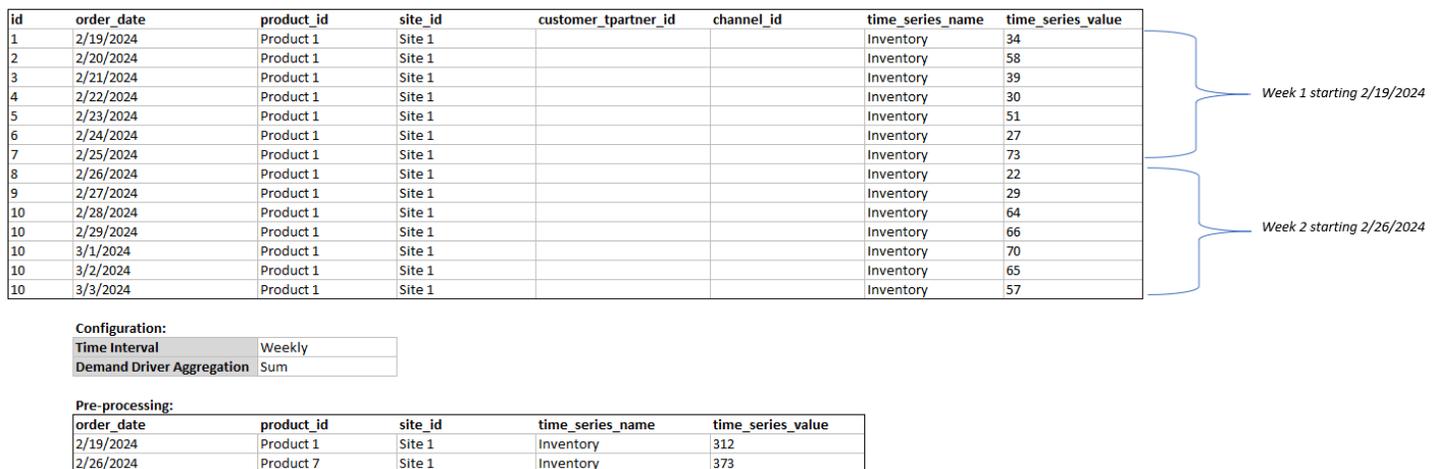
次の例は、履歴データと将来のデータの両方を含む、製品 1 の supplementary_time_series データエンティティの料金列にデータが取り込まれるときに、需要要因が欠落データを処理する方法を示しています。



集計方法

Demand Planning は集約方法を使用して、特定の期間と粒度レベルでデータを統合することで、さまざまな粒度レベルで需要要因の統合を容易にします。

期間集約 — 例えば、インベントリ需要ドライバーが日次レベルで利用可能で、予測が週次レベルで設定されている場合、需要計画はインベントリの需要計画設定で設定された集約方法を適用して、予測に情報を使用します。



粒度レベルの集計 – 需要計画で粒度レベルの集計を使用する方法の例を示します

out_of_stock_indicator は製品サイトレベルで毎日利用できますが、予測粒度は製品レベルでのみ利用できます。Demand Planning は、この需要ドライバーの需要計画設定で設定された集約方法を適用します。

id	order_date	product_id	site_id	customer_tpartner_id	channel_id	time_series_name	time_series_value
1	2/19/2024	Product 1	Site 1			out_of_stock_indicator	1
2	2/19/2024	Product 1	Site 2			out_of_stock_indicator	1
3	2/20/2024	Product 6	Site 1			out_of_stock_indicator	1
4	2/26/2024	Product 7	Site 1			out_of_stock_indicator	1
5	2/27/2024	Product 8	Site 2			out_of_stock_indicator	1
6	2/28/2024	Product 9	Site 1			out_of_stock_indicator	1
7	3/1/2024	Product 9	Site 2			out_of_stock_indicator	1
8	3/1/2024	Product 9	Site 1			out_of_stock_indicator	1
9	3/1/2024	Product 9	Site 5			out_of_stock_indicator	1

Configuration:

Forecast Granularity	Product
Demand Driver Aggregation	Sum

Pre-processing:

order_date	product_id	time_series	time_series_value
2/19/2024	Product 1	out_of_stock	2
2/20/2024	Product 6	out_of_stock	1
2/26/2024	Product 7	out_of_stock	1
2/27/2024	Product 8	out_of_stock	1
2/28/2024	Product 9	out_of_stock	1
3/1/2024	Product 9	out_of_stock	3

需要ドライバーのレコメンデーション

需要要因の集約方法とフィル方法を設定する際、一般的なガイドラインとして、ブール型と連続型の両方に平均集約を割り当てることをお勧めします。欠損値を埋めるには、ブールデータにゼロフィリングを使用し、平均フィリングは連続データに適しています。

集計と filling メソッドの設定の選択は、欠損値に関するデータ特性と仮定に依存することに注意してください。以下はその例です。

Demand Driver	Data Type	Aggregation	Back Filling	Middle Filling	Future Filling
Price	Continuous	Mean	Mean	Mean	Mean
Marquee_Events	Boolean	Maximum	Zero	Zero	Zero
Holiday_Tier	Ordinal	Maximum	Zero	Zero	Zero
Inventory	Continuous	Sum	Zero	Zero	Zero

Demand Planning では、データセットのニーズに合わせて需要ドライバーの設定を調整することをお勧めします。需要ドライバーの設定は、予測の精度に影響します。

AWS Supply Chain ウェブアプリケーション、「需要計画」、「概要」では、需要要因に関連する影響スコアを需要計画レベルで集計して表示します。これらの影響スコアは、需要要因が予測に与える相対的な影響を測定します。影響スコアが低いということは、需要要因が予測値に与える影響が最小であることを示すものではありません。代わりに、予測値への影響は他の需要要因よりも比較的低いことを示唆しています。特定の状況下で影響スコアがゼロの場合、需要要因は予測値に影響を与えないと解釈する必要があります。Demand Planning では、その特定の需要要因に適用される集約および filling メソッド設定を再検討することをお勧めします。

上書きの追加

このセクションでは、予測を手動で編集して予測需要を上書きする方法について説明します。

Note

単一の計画サイクルで予測を手動で変更すると、自動的に保存され、次の計画サイクルで再適用されます。

1. Demand Plan では、ドットを目的の値に移動するか、テーブルの Demand Plan 行で値を直接更新することで、グラフにオーバーライドを追加できます。

[Edit Quantity] ページが開きます。

2. [Edit Quantity] ページの [変更] の下で、需要を増減するか、固定量にするかを選択します。
3. [数量] の下で上下の矢印を使用して需要を増減するか、値を入力します。
4. [理由コード] の下で、[Promotion]、[Holiday]、[Seasonal]、[New Product]、[Product Rampdown]、[Others] のいずれかのオプションを選択します。上書き処理を正常に完了するには、理由コードは必須です。必要に応じて、オプションの上書きの説明を追加します。
5. [保存して更新] をクリックします。

上書きを作成すると、関連する階層レベル全体で上書きの影響を確認できます。上書きは複数作成できるとはいえ、反映されるのは最後の上書きのみです。上書きを作成すると、[Demand Plan] の下に 時計アイコンが表示されます。時計アイコンをクリックすると、計画サイクルの最新の変更を表示できます。[View more changes] をクリックすると、更新履歴を表示できます。

6. 同時に複数の上書きを行うには、[Edit Quantity] で [Go to bulk editing] を選択します。[Demand Plan] でも [Bulk Edit] を選択できます。

Note

一括編集ができるのは、テーブルからのみです。

7. [Edit your forecast] ページですべてのチェックボックスをオンにするか、更新する各期間のチェックボックスをオンにして、更新内容を入力します。
8. [保存して更新] をクリックします。

[Forecasted Demand] が更新されます。

ファイルのエクスポート

Demand Planning では、需要計画、予測需要、以前の予測バージョン、需要実績履歴 を個別の .csv ファイルとしてエクスポートできます。

Note

エクスポート時に Demand Planning ページでアクティブにしたフィルターを問わず、エクスポートした .csv ファイルには、需要計画全体が含まれます。

1. [Edit Quantity] ページで、[エクスポート] をクリックします。
[エクスポート] ページが開きます。
2. エクスポートするファイルを選択して、[エクスポート] をクリックします。
ファイルがローカルコンピュータにダウンロードされます。

需要計画を公開する

Amazon S3 で公開されている需要計画は、在庫計画や供給計画、レポートや分析に使用できます。需要計画を公開する手順は、次のとおりです。

需要計画を公開する準備が整ったら、[Enterprise demand plan] ページで、[発行] をクリックします。

最終的な需要計画が Amazon S3 に発行されます。発行が正常に完了したというメッセージ画面で、Amazon S3 パスを選択できます。[Enterprise Settings] ページの [Demand Plan] 設定ページにもパスのリンクがあります。

需要計画を発行すると、[Enterprise Demand Plan] が 発行済み ステータスに変わり、それ以上の変更をこの予測に加えることはできません。変更するには、新規の予測を作成して、別の需要計画を作成する必要があります。

需要計画設定の変更

需要計画の公開後、予測設定の確認や変更ができます。Demand Planning 設定はいつでも更新して、予測の正確性が向上しているか、予測の生成が正常に完了した時点で予測が有効になっているかを確認できます。

Note

[Demand Plan] ページで [Time Interval] と [Hierarchy levels] を変更すると、以前の予測バージョンは新しい予測設定と一致しなくなるため、利用できなくなります。

[Time interval] または [Hierarchy] の設定を変更して予測を再生成すると、精度メトリック値の関連性が失われるため、精度メトリックは表示されなくなります。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。
2. [組織] で、[Demand Planning] をクリックします。

[Demand Planning Setting] ページが表示されます。

「[Demand Planning の設定](#)」の手順に従って、Demand Planning 構成設定を編集します。

供給計画

AWS Supply Chain は、需要を満たすために在庫を正確に計画するのに役立つ 2 種類の供給計画をサポートしています。

Note

Supply Planning は、米国東部 (バージニア北部)、米国西部 (オレゴン)、アジアパシフィック (シドニー)、欧州 (フランクフルト) の各リージョンでのみサポートされています。Supply Planning は、欧州 (アイルランド) リージョンではサポートされていません。

Note

で設定する供給計画は、AWS Supply Chain インスタンスごとに 1 つだけ選択できます AWS Supply Chain。複数の供給計画を作成するには、同じ AWS アカウントで新しい AWS Supply Chain インスタンスを作成します。

- [自動補充](#)
- [製造計画](#)

トピック

- [自動補充](#)
- [製造プラン](#)
- [Supply Planning に必要なデータエンティティ](#)

自動補充

自動補充機能を使用して、在庫管理を自動化することで、保持する在庫の量と、より多くの在庫を注文するタイミングを決定できます。Auto Replenishment は、インベントリ、予測需要をモニタリングし、設定されたインベントリポリシー、注文スケジュール、最小注文数量、ベンダーリードタイムに基づいて項目を自動的に並べ替えることで、インベントリ管理プロセスを合理化します。

自動補充を使用して、ERP にインポートできる発注書リクエストを生成したり、購入システムを使用してサプライヤー用の発注書 (POs) を作成したりできます。

キー入力

自動補充は、在庫補充について正確で情報に基づいた計算を行うために、次の入力に依存します。

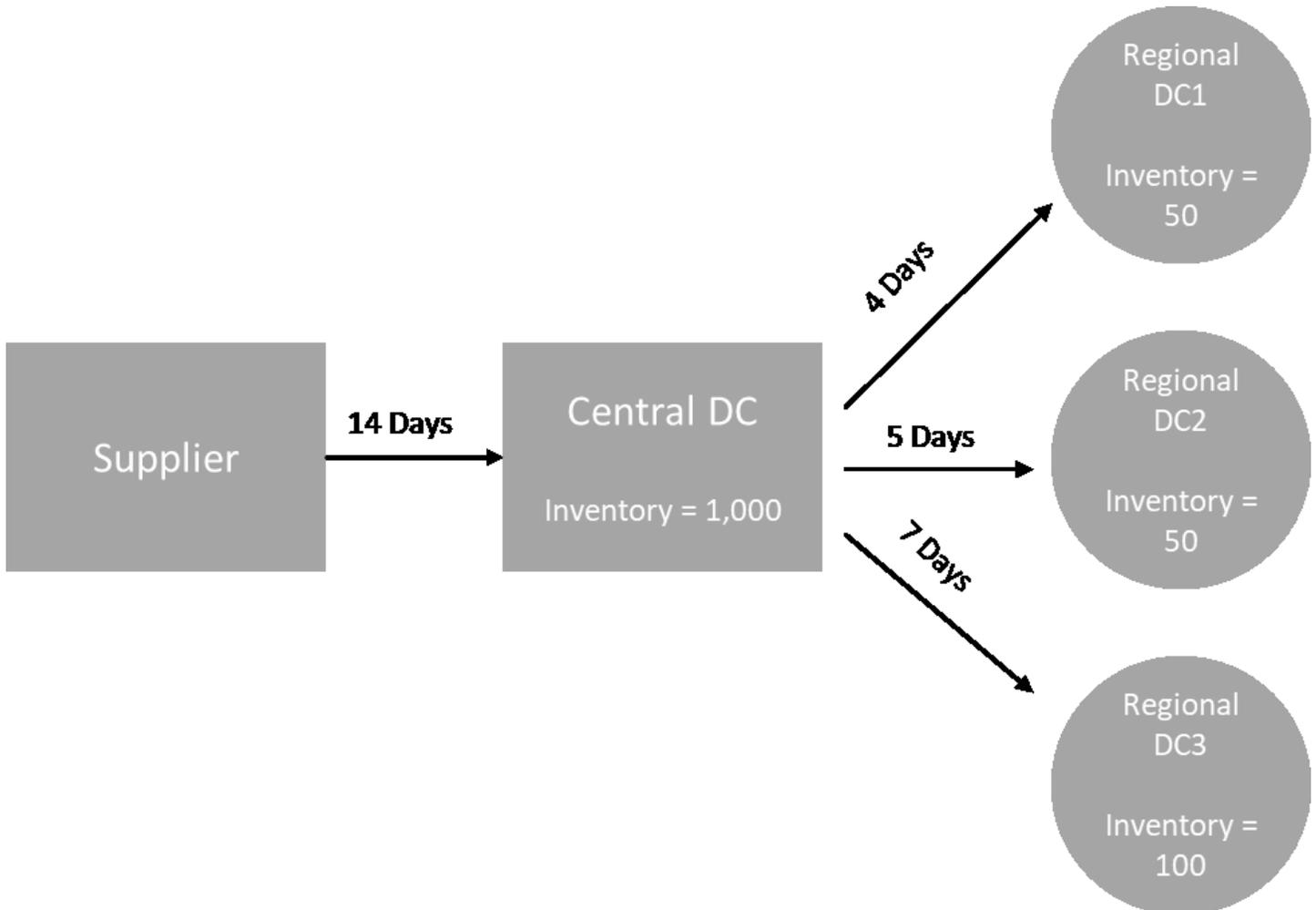
- **需要** — 需要データは補充計算の基本的な入力です。このデータは、過去の売上または将来の予測の観点から需要 AWS Supply Chain を把握し、将来のタイムバケットの在庫要件を判断できるようにするのに役立ちます。需要予測または過去の売上履歴を需要データの入力として提供できます。需要予測が利用できない場合は、売上履歴を提供でき、補充計算に過去の消費率 AWS Supply Chain を使用します。
- **インベントリ** — 自動補充では、補充計算の入力として手持ち在庫と注文在庫が使用されます。手持ち在庫は、需要を満たすために使用できる場所で利用可能な在庫です。オンオーダー在庫は、在庫場所への未処理の発注書または転送注文です。需要は、正味供給要件を決定するために、手持ち在庫と注文在庫から計算されます。
- **リードタイム** — リードタイムは、注文とアイテムの受け取りにかかる時間です。リードタイムは、どの程度早く注文する必要があるか AWS Supply Chain を判断するのに役立ちます。サプライヤーから注文または調達されたアイテムの場合、リードタイムとは、サプライヤー/ベンダーのリードタイムを指します。これは、サプライヤーが注文を満たして商品を配送するまでにかかる時間です。内部注文処理、品質チェック、または処理に必要な時間は、リードタイムの一部として含める必要があります。配送センターやフルフィルメントセンターなど、企業の内部口ケーションから転送されるアイテムまたは製品の場合、リードタイムとは、配送元口ケーションから配送先口ケーションへの輸送と配送に必要な輸送時間を指します。
- **調達ルール** — 調達ルールを使用してサプライチェーンのネットワークポロジをモデル化できます。調達ルールを使用して、異なるレベルの口ケーション間の関係 (例えば、リージョン DC から中央 DC) や、サプライヤーとそのサイト間の関係を定義します。これらの関係は、製品グループまたはリージョンレベルでモデル化することも、製品またはサイトレベルでモデル化することもできます。
- **調達スケジュール** — 自動補充を使用して、実行のたびに項目を定期的にモニタリングして補充したり、補充する項目の事前定義されたスケジュールを設定したりできます。調達スケジュールを使用して、サプライヤーまたは配送スケジュール、および輸送スケジュールに基づいて注文スケジュールを定義します。調達スケジュールを定義して、1 週間に複数回、1 週間に 1 回、または特定の週の間にアイテムを補充できます。
- **インベントリポリシー** — インベントリポリシーは、補充要件の促進に使用されるターゲットインベントリレベルを決定するためのキー入力です。インベントリポリシーは、最も詳細な製品レベル、サイトレベル、または製品グループ、製品セグメント、サイト、リージョンなどの集計レベルで設定できます。自動補充は、絶対インベントリレベル、カバー日数、サービスレベルのインベン

トリポリシーをサポートします。設定されたインベントリポリシーのターゲット値を定義し、ターゲット値 AWS Supply Chain を使用してターゲットインベントリレベルを決定できます。

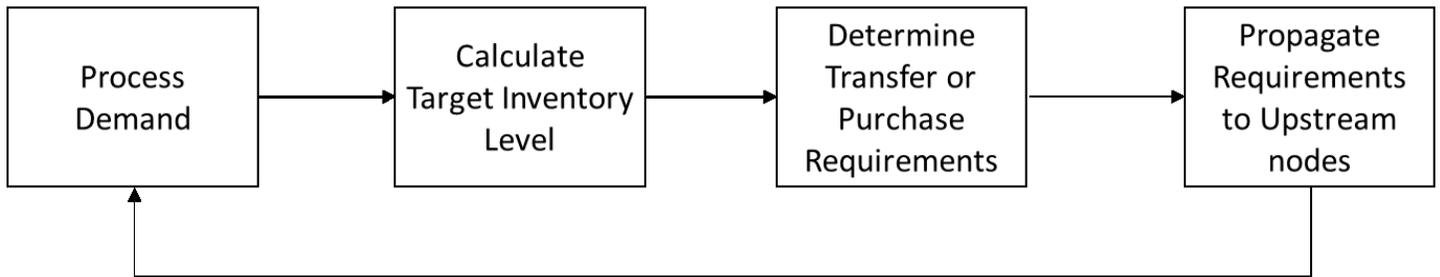
供給計画に必要なデータフィールドの詳細については、「」を参照してください[供給計画](#)。

計画プロセス

補充要件は、項目の設定されたネットワークトポロジに基づいて計算されます。以下は、補充注文の生成に関連するさまざまな計算を記述するために使用するネットワークトポロジの例です。



自動補充では、スポークノードからハブノードへの転送要件 (リージョン DCs から中央 DC など) が生成され、ハブノードからサプライヤーへの購入要件 (中央 DC からサプライヤーなど) が生成されます。次の手順は、補充注文の生成に関連しています。これらのステップは、補充計画の対象となる製品とサイトの組み合わせごとに繰り返されます。ダウンストリームノードの要件は、調達ルール情報に基づいてアップストリームに伝達され、その項目のルートノードに到達するまで、アップストリームノードでこのプロセスが繰り返されます。



- 需要処理 — 補充計画設定に基づいて、過去の需要または予測データを AWS Supply Chain 準備します。需要または予測は、補充計画の設定に基づいて、製品、サイト、日、または週のレベルで処理されます。売上履歴または予測データは、製品、サイト、顧客、製品、サイト、チャネルなど、より詳細なレベルで提供されている場合、製品およびサイトレベルで集計されます。同様に、補充計画が週レベルで設定されている場合、曜日間の集計が発生します。前の例では、リージョンDCs であるスポークノードから需要を取得し、製品、サイト、曜日/週レベルで集計しています。消費または需要ベースのインベントリポリシーが使用されている場合、過去 30 日間の需要 (売上履歴) を使用して平均消費量が計算されます。
- ターゲットインベントリレベル – 需要または予測を、設定されたインベントリポリシーとともに使用して、特定の期間のターゲットインベントリレベルを決定します。自動補充は、2 つの異なる補充モデルをサポートします。
 - 予測駆動型補充
 - 消費ベースの補充

AWS Supply Chain は、予測に基づいてインベントリターゲットを生成します。これらの在庫目標は、需要と供給のリードタイムの変動を考慮して、リードタイムと調達スケジュールに基づいて決定されます。

- 移管または購入の要件 – AWS Supply Chain 供給 (手持ち在庫 + 注文在庫) から将来の在庫予測までの各期間の需要を差し引きます。は、前のステップで計算されたターゲット在庫レベルと同じレベルで、予測在庫レベル AWS Supply Chain を維持します。予測在庫レベルと目標在庫レベルの違いは、正味供給要件または注文数量 (RoQ) です。最小注文数量 AWS Supply Chain を適用するか、複数の注文を行って最終的な移管要件または購入要件 (POR) を生成します。は、移管またはベンダーのリードタイム AWS Supply Chain を使用して日付別に注文を決定します。バッチサイズのデフォルトは 1.0 で、最小注文数は 0 です。

計算ロジック

$$\text{rounding} = f(\text{RoQ}, \text{MOQ}, \text{Lot_Size})$$

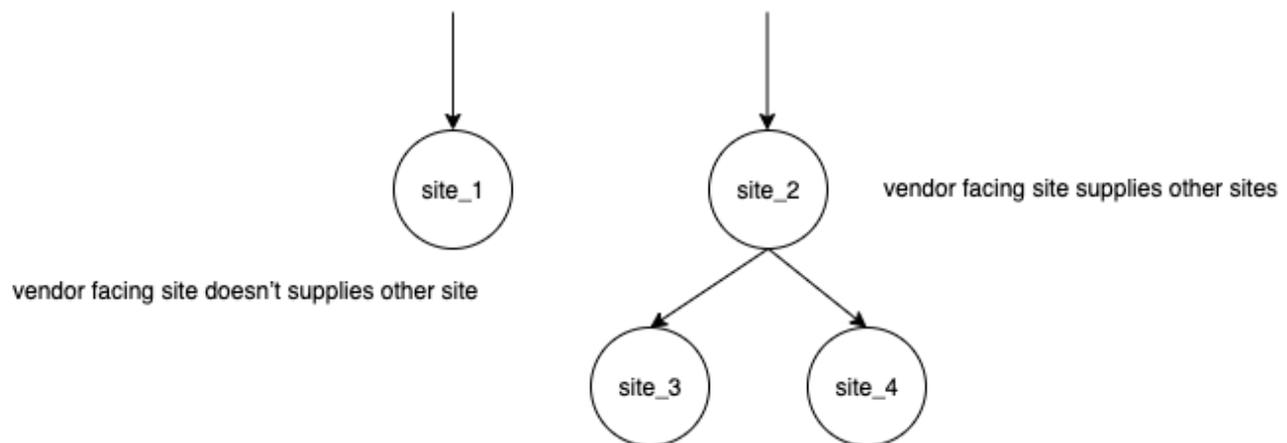
$$=Lot_Size \times \text{Max}(RoQ, MOQ)$$

前述の式では、自動補充の四捨五入ロジックについて説明します。は AWS Supply Chain、まず再注文数量 RoQ と最小注文数量 MOQ を比較し、最終的な注文提案を取得し、次に実際の数量のロットサイズ係数を掛けます。ロットサイズは、調達ルールエンティティで qty_multiple フィールドを使用して設定されます。

- 要件の伝達 – スポークノードの場合、AWS Supply Chain はソーシングルールを使用して親ノードを検索し、転送要件をアップストリームノードに伝達します。転送リードタイムによって必要な配信日を AWS Supply Chain オフセットして、親ノードで必要な日付を決定します。は単一ソーシング AWS Supply Chain のみをサポートします。ハブノードの下にあるすべての子ノードまたはスポークノードに対してこのステップが完了すると、はハブノードで前のステップ AWS Supply Chain を繰り返します。このプロセスは、項目のトポロジーのルートノードに到達するまで繰り返されます。

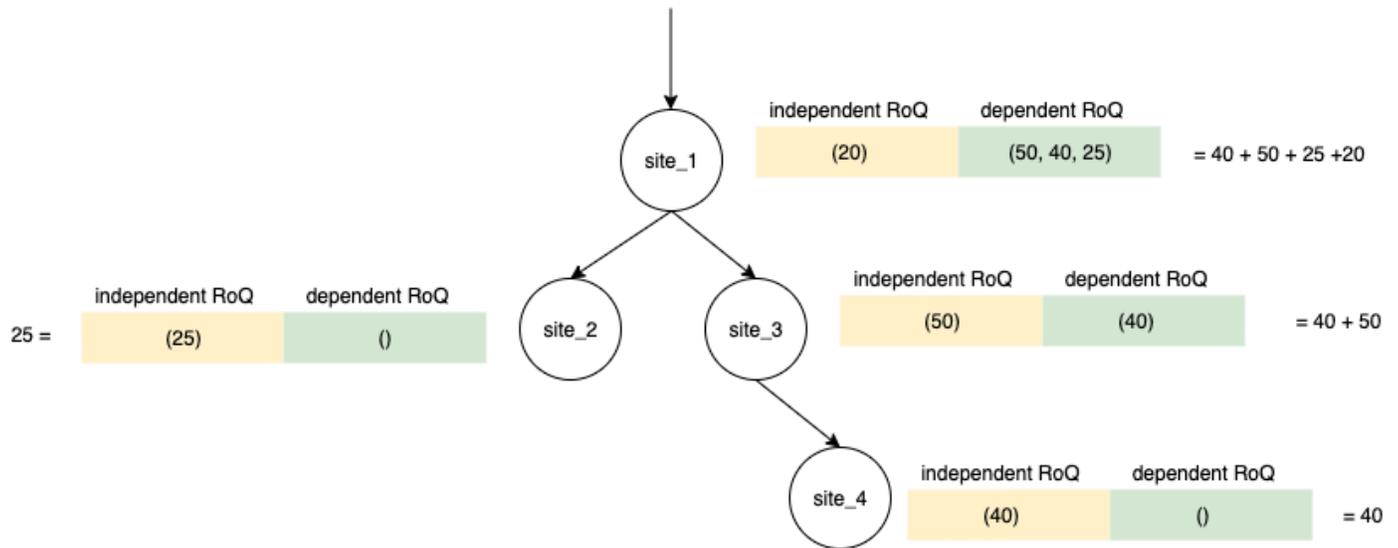
自動補充では、ベンダー向けサイトの発注書リクエストのみが表示されます。ベンダー向けサイトには 2 種類あります。

- 他のサイトを提供するベンダー向けサイト
- 他のサイトを提供しないベンダー向けサイト



他のサイトを提供するベンダー向けサイトの場合、再注文数量は子サイトの再注文数量と、独自の需要からの独立した再注文数量です。他のサイトを提供しないベンダー向けサイトの場合、注文数量はサイトの需要予測に基づいて計算されます。ベンダー向けサイトの独立した注文数量は、注文数量の計算と同じロジックに従います。依存する需要は、すべての子サイトの合計です。カバレッツ

日数が 7 の場合、RoQ は対象期間のすべての注文の数量の合計です。次の例は、サイトごとに 1 つの注文しかない計画期間のシナリオを示し、計算について説明します。



インベントリポリシー

自動補充では、3 つの異なるインベントリポリシーがサポートされています。各ポリシーは、異なるアルゴリズムに基づいて計画を計算し、各ポリシーには異なる入力が必要です。

絶対インベントリレベル

絶対数量を使用してインベントリレベルを管理する場合は、このポリシー設定を使用してターゲットインベントリレベルと RoQ を計算できます。絶対インベントリレベルポリシーは、計算されたインベントリレベル (位置) ではなく、設定されたターゲットインベントリレベルを使用します。ターゲットインベントリレベルは `target_inventory_qty` の値です。

入力とデフォルト

次の表に示すように、絶対インベントリレベルポリシーには、絶対インベントリレベルポリシーの予測、リードタイム、および設定が必要です。

必要なデータ	エンティティ	フィールド	値	メモ
インベントリポリシー	inventory_policy	ss_policy	abs_level	該当なし >

必要なデータ	エンティティ	フィールド	値	メモ
インベントリポリシー	inventory_policy	target_inventory_qty	在庫レベルの数量	該当なし >
Forecast	予測	該当なし	該当なし	平均数量または予測数量 >
リードタイム	transportation_lane	該当なし	該当なし	送信元から送信先へのリードタイム。
リードタイム	vendor_lead_time	該当なし	該当なし	ベンダーから送信先までのリードタイム

ターゲットインベントリレベルで使用されている inventory_policy データエンティティからの target_inventory_qty

再注文数量の計算

注文数量 (RoQ) 計算の入力は、ターゲットインベントリレベルと現在のインベントリレベルです。インベントリレベルのレコードがない場合、はレビューする計画例外 AWS Supply Chain を生成します。

計算ロジック

$$RoQ_{P,S,D} = \text{Max}(TIL_{P,S,D+RP,S,D} + \text{Max}((\sum_{d=D+LT_{P,S,D}}^{D+RP,S,D} Demand_{P,S,d}) - IL_{D+LT_{P,S,D}}, 0) - IL_{P,S,D+RP,S,D}, 0)$$

注文数量は、ターゲット在庫レベルと現在の在庫レベルの差です。現在の在庫レベルがターゲット在庫レベルよりも高い場合、再注文数量は 0 です。

絶対ポリシーの目標は、各レビュー日に、希望するインベントリレベルに一致するのに十分な手持ちインベントリがあることを確認することです。内部最大関数は、ターゲットレビュー日 (配信後の最初のレビュー日) より前の追加需要を計算します。カバー期間は、予定納品日から始まり、目標レビュー日で終了します。現在の手持ち在庫または配送日が特定の期間の需要をカバーできる場合、再注文数量は 0 です。最大関数は、追加で注文する必要があるかどうかを決定します。外部最大関数はインベントリの不足を計算し、注文を行うかどうかを決定します。他のサイトに供給するサイトの注文数量の計算は、「カバー日数 (DOC) インベントリポリシー」で説明されているロジックに従って計算されます。

カバー日数

Days of Cover (DoC) を使用してインベントリレベルを管理する場合、これはターゲットインベントリレベルと RoQ の計算を促進するための適切なポリシー設定になります。DoC インベントリポリシーは、設定されたカバー日数を使用します。このポリシーでは、調達スケジュール (ベンダーレビューカレンダー) やベンダーによる DOC の計算リードタイムは考慮されません。DOC は inventory_policy データエンティティの target_doc_limit フィールドに基づいています。週次計画では、target_doc_limit は引き続き 1 日の単位を使用することに注意してください。2 週間のカバー日は 14 日間に相当します。DoC ポリシーは、予測 (doc_fcst) または需要 (doc_dem) で使用できます。doc_fcst と doc_dem の違いは予測ソースです。doc_fcst は予測に基づいており、doc_dem は outbound_order_line の需要履歴に基づいています。予測ベースのカバー日は予測の P50 を使用しますが、需要ベースの計画は過去 30 日間の需要履歴を使用して平均消費量を計算します。

入力とデフォルト

ターゲットインベントリレベルまたはターゲットインベントリポジション (TIP) は、特定の日付における希望するインベントリポジションまたはレベルです。在庫ポジションには、手持ち在庫、転送中在庫、注文時在庫が含まれますが、在庫レベルは手持ち在庫のみです。インベントリ位置はサービスレベル (sl) インベントリポリシーに使用され、インベントリレベルは doc_fcst、doc_dem、abs_level インベントリポリシーに使用されます。DOC ポリシーには、インベントリポリシーの予測、リードタイム、設定が必要です。

doc_fcst ポリシーでは、次の情報を指定する必要があります。

必要なデータ 1	エンティティ	フィールド	値	メモ
インベントリポリシー	inventory_policy	ss_policy	doc_fcst	該当なし >

必要なデータ 1	エンティティ	フィールド	値	メモ
インベントリポリシー	inventory_policy	target_doc_limit	日数	該当なし >
Forecast	予測	該当なし	該当なし	平均数量または 予測数量 >
リードタイム	transportation_lane	該当なし	該当なし	送信元の世界 から送信先への リードタイム。
リードタイム	vendor_lead_time	該当なし	該当なし	ベンダーから送 信先までのリー ドタイム

カバレッジ日に基づくインベントリポリシーの場合、カバレッジする日数は target_doc_limit 値です。

DOC_fcst ポリシーの計算ロジック

$$RoQ_{P,S,D} = \text{Max}(TIL_{P,S,D+R_{P,S,D}} + \text{Max}((\sum_{d=D+LT_{P,S,D}}^{D+R_{P,S,D}} Demand_{P,S,d}) - IL_{D+LT_{P,S,D}}, 0) - IL_{P,S,D+R_{P,S,D}}, 0)$$

doc_dem ポリシーの計算ロジック

$$TIL_{P,S,D+R_{P,S,D}} =$$

$$DOC_{P,S} \times \text{Avg}(Consumption_{P,S} |_{D_{start}-\delta}^{D_{start}}) + \text{Max}((R_{P,S,D} - LT_{P,S,D}) \times \text{Avg}(Consumption_{P,S} |_{D_{start}-\delta}^{D_{start}}) - IL_{D+LT_{P,S,D}}, 0)$$

カバレッジポリシーの日数の目標は、各レビュー日に、設定されたカバレッジ日数をカバーするのに十分な在庫が手元にあることを確認することです。計算式の最初の部分は、次のレビュー日から設定されたカバレッジの終了日までのカバレッジの日数を計算します。合計カバー期間は、製品 P とサイト S の DOCP、S です。計算式の 2 番目の部分では、ターゲットレビュー日 (配信後の最初のレビュー日) の前に余分な需要を計算します。カバー期間は、予定納品日から始まり、目標レビュー日で終了します。配信日の現在の手持ち在庫がこの期間の需要をカバーできる場合、システムは 0 の順序を変更します。最大関数は、追加で注文する必要があるかどうかを決定します。

再注文数量の計算

注文数量計算の入力は、ターゲットインベントリレベルと現在のインベントリレベルです。インベントリレベルのレコードが欠落している場合、システムはレビューする計画例外を生成します。

$$RoQ_{P,S,D} = \text{Max}(TIL_{P,S,R_{P,S,D}} - IL_{P,S,D+R_{P,S,D}}, 0)$$

製品 P、サイト S、日付 D の注文数量は、ターゲットインベントリレベルと現在のインベントリレベルの差です。現在の在庫レベルがターゲット在庫レベルよりも高い場合、再注文数量は 0 です。

サービスレベル

在庫の割合を使用して在庫レベルを管理する場合は、このポリシー設定を使用して、ターゲット在庫レベルと補充の計算を推進できます。

入力とデフォルト

sl ポリシーの場合、Supply Planning には次のフィールドが必要です。これらのフィールドが空の場合、デフォルト値は null に設定され、アプリケーションは例外をスローします。

必要なデータ	エンティティ	フィールド	値	メモ
インベントリポリシー	inventory_policy	ss_policy	sl	サービスレベルは sl と略されません。 >
インベントリポリシー	inventory_policy	target_sl	パーセント値	例えば、0.8 >
Forecast	予測	該当なし	該当なし	平均数量または予測数量 >
リードタイム	transportation_lane	該当なし	該当なし	送信元の場所から送信先へのリードタイム。

必要なデータ	エンティティ	フィールド	値	メモ
リードタイム	vendor_lead_time	該当なし	該当なし	ベンダーから送信先までのリードタイム
調達スケジュールまたはベンダースケジュール	sourcing_schedule と sourcing_schedule_details	該当なし	該当なし	ベンダーが注文を受け入れるカレンダーまたは日数を定義します。

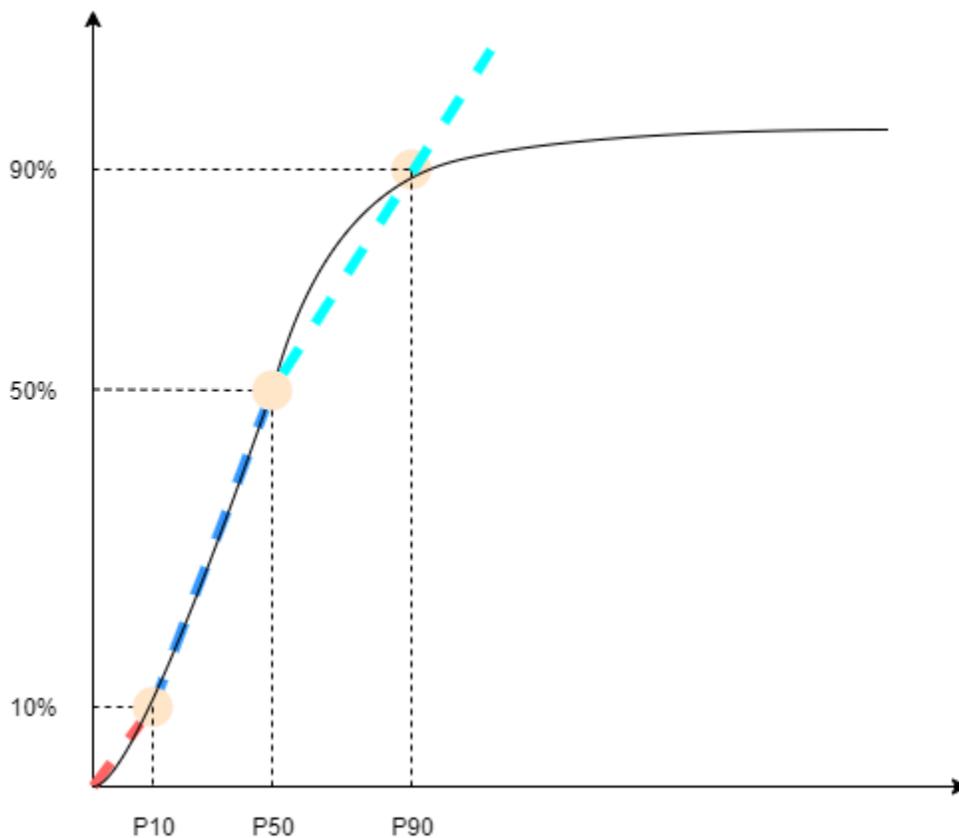
ターゲットインベントリレベルの計算

ターゲットインベントリポジション (TIP) は、サービスレベル (sl) インベントリポリシーに使用されます。TIP は、特定の日付における希望する在庫ポジションを表します。TIP には、手持ち在庫と注文在庫が含まれます。サービスレベルのポリシーに必要な入力は、予測、リードタイム、調達スケジュール (および調達スケジュールの詳細)、サービスレベルの設定です。

$$TIP_{P,S,D+R_{P,S,D}} = \sum_{d=D+LT_{P,S,D}}^{D+LT_{P,S,D}+LT_{P,S,D}+R_{P,S,D}} Demand_{P,S,d}$$

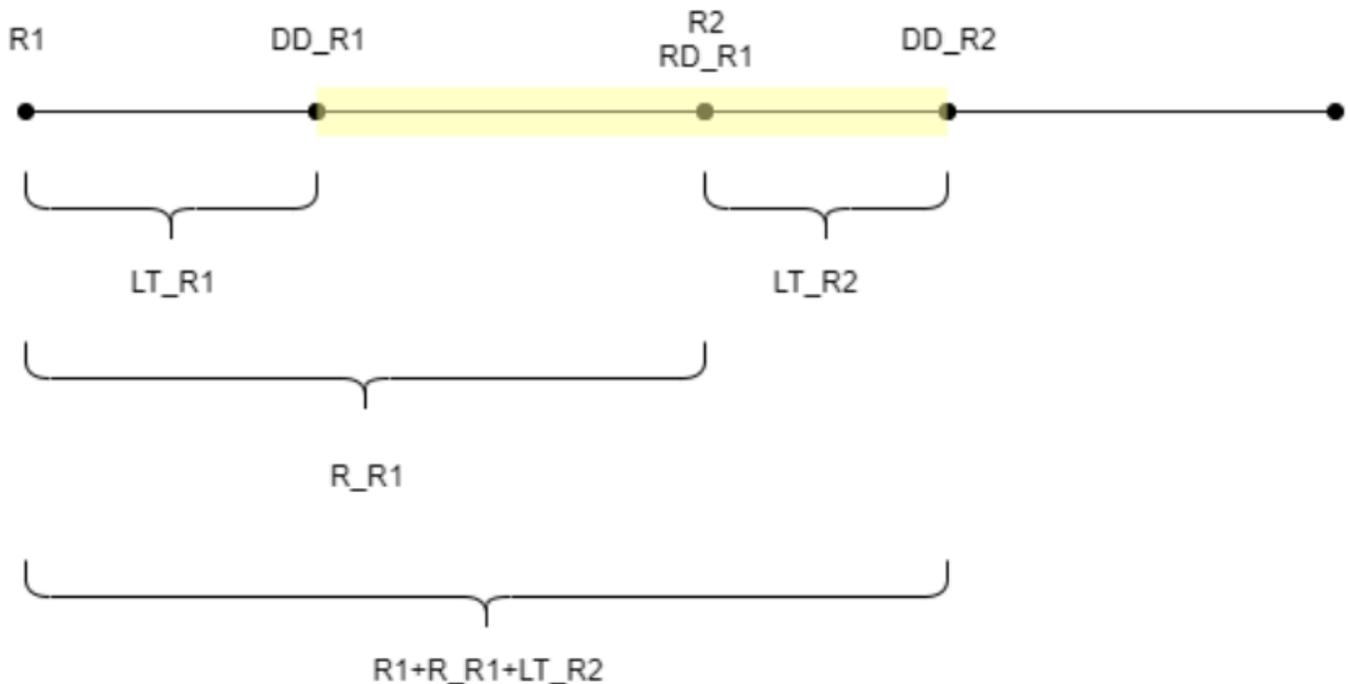
TIP は予測分布に基づいています。Supply Planning は、クリティカル率 (CR または service_level) を予測分布に適用し、需要を計算し、カバーする日数を合計します。クリティカル率 (サービスレベル) を予測分布に適用する使用可能な方法を以下に示します。

まず、Supply Planning は線形補間を使用して、予測 (P10/P50/P90) の分散に CR を適用します。



Supply Planning は $\text{target_sl}=0.1$ に P10、 $\text{target_sl}=0.5$ に P50、 $\text{target_sl}=0.9$ に P90 を使用します。予測エンティティに存在しないパーセンタイルの場合、Supply Planning は線形補間アプローチを使用します。Supply Planning は、P10/P50/P90 に基づいて需要予測の他のパーセンタイルを計算します。P40 ($\text{target_sl}=0.4$) と P75 ($\text{target_sl}=0.75$): $P40=50-1040-10 \times (P50-P10)+P10$
 $P75=90-5075-50 \times (P90-P50)+P50$

Supply Planning が需要を取得すると、需要は日単位で任意の合計を使用するように合計されます。対象日数は、次回の配信日から次回の配信日後の配信日まで開始されます。



前の図に示すように、黄色の期間はカバーする日数です。対象となる日数の開始日は、計画期間の最初の日から開始されません。その理由は、Supply Planning が対象とできない日数を注文しないためです。Supply Planning は、失われたすべての売上は回復できないことを前提としています。R1: 調達スケジュールに基づく最初のレビュー日。R2: 調達スケジュールに基づく 2 回目のレビュー日。LT_R1: R1 に注文を行うリードタイム。LT_R2: R2 に注文を行うリードタイム。R_R1: 調達スケジュールに基づくレビュー期間。RD_R1: R1 より後の最初のレビュー日。R1+R_R1 に相当します。DD_R1: 送信順序が R1 の場合の配信日。DD_R1 = R1 + LT_R1。DD_R2: 送信順序が R2 の場合の配信日。DD_R2 = R2 + LT_R2。

次の例は、TIP 計算を示しています。

date	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6
P10	5	5	6	5	5	7	8	4	3	5	6	6	8	7	9	5	6	7	7	9
P50	25	20	30	25	25	35	40	20	15	25	30	30	40	35	45	25	30	35	35	45
P90	45	36	54	45	45	63	72	36	27	45	54	54	72	63	81	45	54	63	63	81
target_sl=0.8	40	32	48	40	40	56	64	32	24	40	48	48	64	56	72	40	48	56	56	72

TIP : summation of (target_sl=0.8) from 6/20 till 6/28 = 392

再注文数量の計算

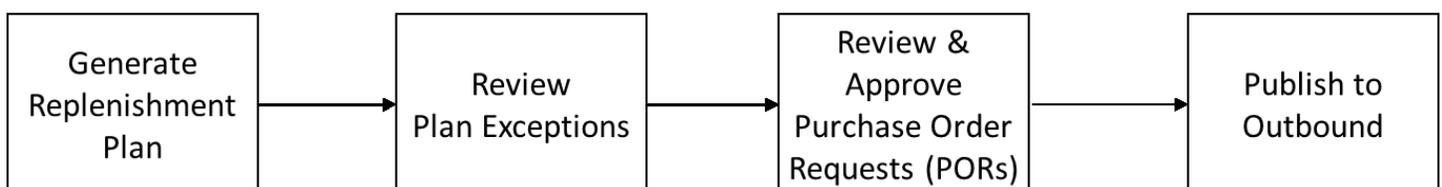
sl 再注文数量計算の入力は、ターゲットインベントリレベルと現在のインベントリレベルです。Supply Planning は、インベントリレベルのレコードがない場合に例外をスローします。

$$RoQ_{P,S,D} = \text{Max}(TIP_{P,S,D} + LT_{P,S,D} - IP_{P,S,D}, 0)$$

再注文数量は、ターゲット在庫位置と現在の在庫レベルの差です。現在の在庫ポジションが目標在庫ポジションよりも高い場合、再注文数量は 0 に設定されます。

ビジネスワークフロー

自動補充では、在庫補充プロセスを管理するために次のワークフローが提供されます。



- 補充計画の生成 – Supply Planning は、設定されたスケジュールに従って補充計画を生成します。補充計画の生成に必要な最近の入力データは、AWS Supply Chain データレイクから取得されます。Supply Planning は、設定データ、トランザクションデータ、および計画設定を使用して、発注書リクエストを含む補充計画を生成します。

- 計画の例外を確認する – Supply Planning は、必要な設定データ (リードタイム、調達スケジュールなど) または手持ち在庫などの必要なトランザクションデータがない製品とサイトの組み合わせの計画例外を生成します。プランナーは例外を確認し、次の計画サイクルの前に必要なデータを提供して、問題を修正し、補充計画を生成できます。
- 発注書リクエストの確認と承認 – 生成された発注書リクエストは、プラン設定で設定された承認基準に応じて、自動承認されるか、手動承認のフラグが付けられます。プランナーは、を使用して発注書リクエストを確認、上書き、または承認できます AWS Supply Chain。
- アウトバウンドへの発行 – 承認済み (自動または手動) 発注書リクエストは、プラン設定で設定されたスケジュールでアウトバウンド Amazon S3 に発行されます。これらの発注書リクエストを ERP または購入システムに統合して実行できます。発注書に変換される発注書リクエストは、インバウンドコネクタを使用して AWS Supply Chain データレイクに取り込まれます。は、これらの発注書が元の発注書リクエストへの参照を反映させると AWS Supply Chain 想定します。このリファレンスは、発注書リクエストから発注書への変換を追跡するのに役立ちます。

自動補充の設定

自動補充を使用すると、在庫管理を自動化することで、保持する在庫の量と、より多くの在庫を注文するタイミングを確認できます。

トピック

- [Supply Planning を初めて使用する](#)
- [概要](#)
- [発注書リクエスト](#)
- [計画の例外](#)
- [供給計画設定](#)

Supply Planning を初めて使用する

サプライチェーンを計画する方法とタイミングを定義できます。

Note

Supply Planning に初めてログインすると、その主要な機能をハイライトしたオンボーディングページを表示できます。これにより、Supply Planning の機能に慣れることができます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、「供給計画」を選択します。

Supply Planning ページが表示されます。

2. [今すぐ始める] を選択します。
3. 「プランの選択」ページで、「自動補充」を選択します。
4. [今すぐ始める] を選択します。
5. Supply Planning ページで、次へ を選択します。

説明を読んで Supply Planning が提供する内容を理解するか、「Supply Planning Setup」ページの横にある を選択できます。

6. Supply Planning Setup ページには、Supply Planning を設定する 4 つのステップがあります。
 - 名前と範囲 – 供給計画の名前を入力し、供給計画に含める製品とリージョンを選択します。
 - Horizon and Schedule – Supply Planning が計画スケジュールを生成する時間枠を定義します。
 - 入力 – Supply Planning でプロセス需要予測を使用する方法を定義します。
 - 出力 – Amazon S3 コネクタに発行する Supply Planning 出力を選択します。品目計画に品目偏差の割合を使用することもできます。
7. Horizon と Schedule では、次の操作を実行できます。
 - 計画期間 – 以下を定義することで計画期間を設定できます。
 - 曜日の開始 – 毎週の供給計画を定義できます。例えば、週の開始日が月曜日で、今日が 7 月 3 日の場合、供給計画期間は 7 月 3 日から 9 日になります。
 - Time Bucketization – 時間の詳細を定義します。日次オプションと週次オプションがサポートされています。
 - Time Horizon – 計画期間を定義します。サポートされている範囲は 1~90 日、または 1~104 週間です。
 - 計画スケジュール – 供給計画をいつ実行する必要があるかを定義します。
 - 計画の頻度 – 供給計画を実行する頻度を定義します。
 - 開始時刻 – スケジュールされた日に計画を開始するタイミングを定義します。
 - リリース時間 – Supply Planning が承認済み発注書を ERP システムにリリースする時間を定義します。

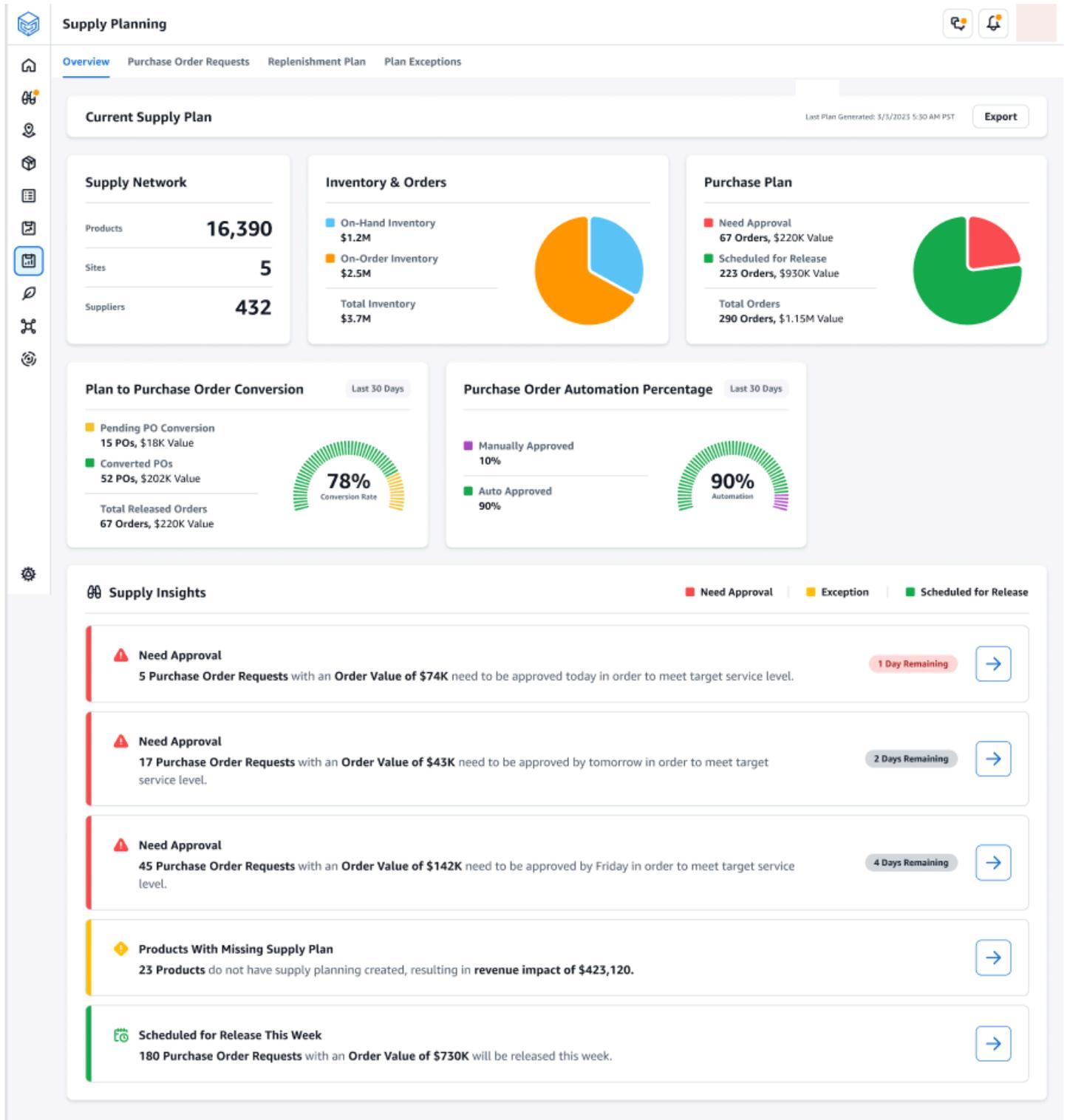
自動補充の設定

• Demand and Forecast – 需要予測のソースを定義します。

- Demand Planning – Supply Planning は、Demand Planning から公開された予測を使用します。
 - 外部 – を使用した Supply Planning は、データレイク内の Forecast データエンティティに取り込まれた需要予測を使用します。
 - 消費ベースの計画における平均需要計算の過去日数 – 製品、在庫ポリシーが doc_dem に設定されているサイトの組み合わせの場合、Supply Planning は OutboundOrder、明細データエンティティから過去日数の販売履歴を調べて、1 日の平均需要を判断します。30、60、90、180、270、または 365 日のいずれかを選択できます。平均を生成するとき、Supply Planning は対応する過去の売上データの日数を考慮します。
 - 供給 – 供給関連の入力を定義します。
 - 期日を過ぎた注文 – InboundOrder 明細データエンティティの注文が配送されず、予想される配送日が実行日より前である場合、デフォルトで Supply Planning はこの注文を無視します。ただし、在庫を並べ替えるためにインバウンド在庫を考慮するように、期限を過ぎた日数を設定できます。例えば、期限を過ぎた注文を 7 日間設定し、注文が 4 日前に予定されていた場合、その項目はインバウンドインベントリの対象として考慮されます。
8. [Continue] (続行) をクリックします。
 9. [Finish] を選択します。

概要

次の例のページに示すように、組織の全体的な供給計画を表示できます。



- 供給ネットワーク — 供給ネットワークでは、現在の供給計画で現在の製品、サイト、サプライヤーを表示できます。

- 在庫と注文 – 手持ち在庫やサプライヤーと現在注文されている在庫など、サイト全体の在庫の合計を表示します。
- 購入計画 – システムで生成された発注書リクエストを表示して、サイトで在庫を補充します。
 - 承認が必要 – Supply Planning は、「設定」で設定した承認基準を使用して、発注書の承認リクエストにフラグを付けます。
 - リリース予定 – 設定 でスケジュールした時点でアウトバウンドコネクタにリリースされる予定の承認済みまたは自動承認の発注書リクエスト。
- Plan to Purchase Order Conversion – ERP または購入システム内の POs に変換された発注書リクエスト。正確なメトリクスを計算するには、ソースシステムからの発注書データは、アウトバウンドに発行された発注書リクエスト ID に参照を戻す必要があります。このメトリクスは、プランナーが POs、是正措置を講じるのに役立ちます。
- 発注書の自動化の割合 — 注文数量にユーザーが上書きすることなく、自動承認されアウトバウンドにリリースされた発注書リクエストの割合。
- Supply Insights – 現在進行中または承認待ちのすべての発注書を表示できます。各インサイトを選択して表示し、アクションを実行できます。詳細については、「[計画の例外](#)」を参照してください。

自動補充計画の入力、中間計算、出力を含む供給計画レポートをローカルコンピュータにダウンロードできます。

1. 「供給計画の概要」ページで、「エクスポート」を選択します。

供給計画のエクスポートウィンドウが表示されます。

2. [ダウンロード] を選択します。

発注書リクエスト

現在の発注書リクエストの詳細とステータスを表示できます。

1. フィルターオプションを使用して、検索条件に従って発注書をフィルタリングできます。ベンダー、製品、サイト、注文額、注文数量、およびリクエストされた配送日に基づいて発注書を検索できます。
2. 適用 を選択してフィルター条件を現在の発注書に適用し、フィルターグループを保存 を選択して検索フィルターを保存します。

Purchase Request ID	Status	Order Quantity % Change	Product Product ID	Site Site ID	Order Value	Actions	Vendor Vendor ID	Review By Days Remaining
POR13543	Needs Approval 30% Higher than last cycle	2,500 31% ↑	Nike Air Max 90 SHD1234	Seattle Distribution Center S454-1114	\$8,000	Approve	Vendor Name AVO1234	08/21/2023 In 1 Day
POR13543	Needs Approval Over the threshold of 10,000	10,500 8% ↑	Nike Air Max 97 OG SHD1232	Seattle Distribution Center S454-1114	\$23,000	Approve	Vendor Name AVO1234	08/21/2023 In 1 Day
POR12133	Needs Approval Over the threshold of 10,000	12,000 10% ↑	Nike Air Max 97 AVO1234	Seattle Distribution Center S454-1114	\$24,500	Approve	Vendor Name AVO1234	08/21/2023 In 1 Day
POR19475	Needs Approval 30% Higher than last cycle	500 39% ↑	Nike Air Force 1 '07 AVO1234	Seattle Distribution Center S454-1114	\$7,500	Approve	Vendor Name AVO1234	08/21/2023 In 1 Day
POR13632	Needs Approval Over the threshold of 10,000	12,500 10% ↑	Nike Air VaporMax 2021 Flyknit AVO1234	Seattle Distribution Center S454-1114	\$11,000	Approve	Vendor Name AVO1234	08/21/2023 In 1 Day

3. 注文数量で、編集を選択して数量を表示および更新します。

次の入力に基づいて数量を更新できます。

- 手持ち – 現在在庫があります。
- 注文時 – 選択したサイトでリリースされた発注書の製品数量の合計。
- 数量の再注文 – 在庫を満たすために必要な製品数量。
 - 必須 – 在庫を満たし、予測を満たすために必要な数量を並べ替えます。
 - Minimum – データセットの VendorProduct.min_order_unit で定義されている最小注文数量。Supply Planning は、最小数量を満たすように数値を四捨五入します。
 - 推奨 – 調整後の最終的な注文数量
 - 補償日数 – 補充する日数。

4. 更新を選択して数量リクエストを更新します。

5. 「製品」で、製品を選択して、製品の計画された需要を表示します。

POR13543 – Purchase Request will cover planned demand from 2/21 to 2/27 ×



Product
Nike Air Max 90
SHO1234

Site
Seattle Distribution Center
5454-1114

Vendor
Vendor Name
AVO1234

On-Hand
50
As of 2/22

On-Order
7
As of 2/22

Inventory policy
Placeholder

Target Inventory Level
200
Units

Reorder Quantity

540 <small>Required</small>	600 <small>Minimum</small>	600 <small>Suggested</small>
---------------------------------------	--------------------------------------	--

Lead Time
5
Days

Planned Demand

Site	Dates	Quantity Needed
WA1	 2/23 - 3/2	320
CA1	 2/23 - 3/2	240
CA2	 2/23 - 3/2	180

Enter order quantity
Suggested: 600

Order Quantity

Update & Approve

6. 計画された需要で、補充計画を表示するサイトを選択します。

7. 補充計画タブが表示されます。

 **Note**

補充計画ページが空で表示されます。需要予測を表示するには、必ず製品とサイトを選択してください。

8. 「製品/サイトの変更」を選択します。

「製品とサイトの組み合わせの選択」ページが表示されます。

9. 製品 に製品を入力します。

10. サイト にサイトを入力します。

11. [適用] を選択します。

12. 注文数量の入力で、提案された注文数量 を更新できます。

13. の更新と承認を選択します。

14. アクション で、承認 を選択して発注書を承認します。

15. 表示ドロップダウンを使用して、ステータスとリリース時間に基づいて発注書をフィルタリングすることもできます。

計画の例外

計画できなかった製品サイトの組み合わせのリストを表示できます。Exception Type 列には、免除の根本原因が表示されます。インベントリポリシー関連の属性やリードタイムなどの欠落した情報は、データコネクタを通じて提供することも、Amazon S3 に更新されたデータセットをアップロードすることもできます。

Filters

Exceptions

Show

Product Product ID	Site Site ID	Impact	Exception Type Root Cause
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG03	The Phoenix Site MNS	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG04	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG06	The Boston Site WIO	\$0	Missing Supply Plan Missing Begin Inventory
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG03	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG05	The Baltimore Site MIG	\$0	Missing Supply Plan Missing Begin Inventory
7 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG07	The Anaheim Site TXO	\$0	Missing Supply Plan Missing Cluster
7 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG07	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Cluster
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG06	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Begin Inventory
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG04	The Baltimore Site MIG	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG04	The Anaheim Site TXO	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG03	The Baltimore Site MIG	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG03	The Boston Site WIO	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
7 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG07	The Baltimore Site MIG	\$0	Missing Supply Plan Missing Cluster
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG06	The Phoenix Site MNS	\$0	Missing Supply Plan Missing Begin Inventory
7 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG07	The Phoenix Site MNS	\$0	Missing Supply Plan Missing Cluster
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG04	The Phoenix Site MNS	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG04	The Boston Site WIO	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG03	The Anaheim Site TXO	\$0	Missing Supply Plan Missing Forecast
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG06	The Anaheim Site TXO	\$0	Missing Supply Plan Missing Begin Inventory
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG05	The Boston Site WIO	\$0	Missing Supply Plan Missing Begin Inventory
3 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG03	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Sourcing Schedule
5 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG05	The Boston Site WIO	\$0	Missing Supply Plan Missing Sourcing Schedule
6 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG06	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Sourcing Schedule
5 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG05	The Atlanta Site IL1	\$0	Missing Supply Plan Missing Sourcing Schedule
4 Outlet Extending Surge Protec... 24-UG04	The Anaheim Site TXO	\$0	Missing Supply Plan Missing Sourcing Schedule

Rows per page 25

< 1 >

供給計画設定

発注書の計画と実行の方法とタイミングを定義できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。Enterprise と Configuration を選択し、次に Supply Planning を選択します。

プラン設定ページが表示されます。

2. Supply Planning の設定を編集する [Supply Planning を初めて使用する](#) には、「」のステップに従います。
3. 「計画のリセット」で「計画のリセット」を選択して既存の計画を削除し、新しい供給計画を開始します。

Note

供給計画をリセットできるのは管理者のみです。

プラン全体のリセットページが表示されます。

4. はい、プランをリセットして、現在の供給計画と既存の発注書リクエストをすべて削除します。
5. [保存] を選択します。

製造プラン

製造計画は、部品表 (BOM) 内の複数のレベルのサブアセンブリとコンポーネントの生産、移管、品目要件を決定するのに役立ちます。製造計画は、製品予測、BOMs、調達ルール、手持ち在庫、注文在庫、リードタイムを使用して、正味品目、転送、生産要件を決定します。製造計画は、BOMs を通じて完成製品の予測を伝播し、調達ルールを適用して、生産、移管、品目の要件を決定します。この機能は、自社で製造している場合や、外部委託製造元を使用して完成製品やサブアセンブリを作成している場合に使用できます。購入システムに計画を入力すると、サプライヤーとのコンポーネントの発注書の作成、詳細な生産スケジュールとパフォーマンスのための生産計画システム、中長期の容量を管理するための労働力と生産能力の計画システムを作成できます。

品目計画 (コンポーネント予測とも呼ばれます) は、N 階層可視性を通じて契約メーカーまたはコンポーネントサプライヤーと共有することもできます。Material Plans を共有または公開することで、アップストリームサプライヤーが将来の需要を満たすために在庫を計画できるように、需要シグナルを改善できます。N 階層の可視性を使用することで、サプライヤーがコンポーネント予測に関する

コミットメントをお客様に返すことができます。N 階層の可視性については、「」を参照してください [N 階層の可視性](#)。

キー入力

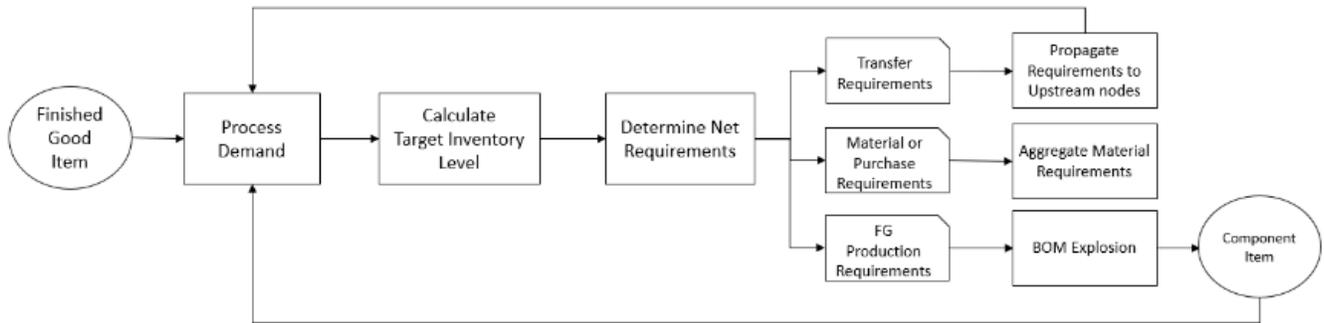
製造計画は、マテリアル、移管、生産計画を生成するための正確で情報に基づいた計算を行うために、さまざまな入力に依存しています。製造計画は、製品またはサイトの組み合わせの在庫目標の計算と正味要件の決定に、自動補充と同じ入力リストを使用します。自動補充入力の詳細については、「」を参照してください [キー入力](#)。さらに、製造プランには次の入力も必要です。

- 部品表 (BOM) – BOM データエンティティは、完成した製品と、完成した製品の作成に必要なさまざまなサブアセンブリやコンポーネントとの関係をキャプチャするために使用されます。BOMs には、代替品を含め、完成した製品の下に複数のレベルのコンポーネントを含めることができます。代替コンポーネントまたは代替コンポーネントは、`alternate_group` フィールドを使用して同じ親の下でモデル化できます。は優先度ベースの代替 AWS Supply Chain のみをサポートします。優先順位が最も低いコンポーネントは、計画プロセスによって選択されます。コンポーネントを提供するサプライヤーまたはベンダーは BOM の一部ではありません。この情報は、調達ルールとベンダー管理関連のデータエンティティから取得されます。
- 生産プロセス – このプロセスは、完成した製品を製造するための生産ステップをモデル化するために使用されます。調達ルールには、製造元タイプのルールをサポートするために使用される本番プロセスへの参照が含まれています。は、単一ステップの承認プロセス AWS Supply Chain のみをサポートします。コンポーネント要件の日付は、本番稼働プロセスエンティティで定義されている本番稼働リードタイムとセットアップ時間に基づいて決定されます。リードタイムは、コンポーネントの要件日を決定するために使用される、完成製品の需要日付からのオフセットです。

Supply Planning に必要なデータフィールドについては、「」を参照してください [供給計画](#)。

計画プロセス

製造計画には、品目、移管、生産計画が含まれます。これらのプランは、項目に設定されているネットワークポロジに基づいて作成されます。次の図は、これらの計画の生成に関連するステップを示しています。これらのステップは、製造計画の範囲内にある製品またはサイトの組み合わせごとに繰り返されます。



需要処理、インベントリターゲット計算、ネット要件計算のステップとロジックは、製造計画と自動補充の間で共通です。詳細については、「[計画プロセス](#)」および「[インベントリポリシー](#)」を参照してください。

- 本番稼働用要件 – サイトの組み合わせと調達ルールタイプ 製造元 の製品の場合、 Supply Planning は調達ルールで参照されている本番稼働プロセスを使用して本番稼働用要件を計算します。メーカータイプは、生産プロセスを通過する完成した製品またはサブアセンブリに使用する必要があります。production_process データエンティティからのリードタイムとセットアップタイムは、BOM とともに、マテリアルまたはコンポーネントの要件を決定するために使用されます。Supply Planning は、本番稼働プロセスで定義されたフリーズ期間またはデフォルト設定も適用して、この期間中に供給をフリーズし、すべての要件をフリーズ期間の後の最初の期間に移行します。
- BOM 爆発 — 製造元 タイプの調達ルールを持つ製品またはサイトの場合、 Supply Planning は product_bom エンティティで定義された BOM を使用して、サブアセンブリの生産要件とコンポーネントアイテムのマテリアル要件を決定します。Supply Planning は、完成した製品またはサブ製品項目の BOM で定義されたツリー構造をトラバースします。同じ代替グループを持つ親項目に複数のコンポーネントがある場合、 Supply Planning は同じ代替グループに属するコンポーネント項目の 1 つを優先します。コンポーネントマテリアルの要件は、計画設定で定義されているように、計画期間の開始日から終了日まで計算されます。コンポーネント要件が決定されると、 Supply Planning は需要処理とターゲットインベントリレベルの計算ステップを適用し、インベントリポリシー、リードタイム、および手元在庫と注文在庫を考慮して、正味コンポーネント要件を決定します。

製造プランの設定

製造計画を設定して、コンポーネントと完成した製品に関する品目、転送、生産要件を生成します。

Supply Planning を初めて使用する

サプライチェーンを計画する方法とタイミングを定義できます。

Supply Planning に初めてログインすると、その主要な機能をハイライトしたオンボーディングページを表示できます。これにより、Supply Planning の機能に慣れることができます。

Note

製造計画を設定する前に、必要なデータが取り込まれていることを確認してください。Supply Planning に必要なデータフィールドについては、「」を参照してください [供給計画](#)。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、「供給計画」を選択します。

Supply Planning ページが表示されます。

2. [今すぐ始める] を選択します。
3. 「計画の選択」ページで、「製造計画」を選択します。
4. [今すぐ始める] を選択します。
5. Supply Planning ページで、次へ を選択します。

説明を読んで Supply Planning が提供する内容を理解するか、次へを選択して Supply Planning のセットアップページに移動できます。

6. 品目計画の変更ページで、事前定義された供給計画から逸脱したすべての品目計画を表示できます。

Supply Insights では、検索ボックスで特定のマテリアルプランを必須の日付とインサイトタイプで検索できます。

特定のマテリアルプランを選択して、詳細を表示することもできます。

7. [今すぐ始める] を選択します。
8. 「供給計画の設定」ページには、製造計画を設定する 4 つのステップがあります。
 - 名前とスコープ
 - ホライズンとスケジュール
 - 入力

- 出力

9. 「名前と範囲」ページの「プラン名」に、プランの名前を入力します。

Supply Planning Scope で、供給計画に含める必要があるすべての製品グループとリージョンを選択します。

 Note

Supply Chain データレイクを介して取り込んだ製品グループまたはリージョンが表示されない場合は、API を使用して製品 BOM を取り込み、製品、サイト ProductHierarchy、地域、などの他のすべてのデータセット SourcingRule がすでに取り込まれていることを確認します。

10. [Continue] (続行) をクリックします。

11. Horizon and Schedule ページで、次の操作を実行できます。

- 計画期間 – 以下を定義することで計画期間を設定できます。
 - 曜日の開始 – 毎週の供給計画を定義できます。例えば、週の開始日が月曜日で、今日が 7 月 3 日の場合、供給計画期間は 7 月 3 日から 9 日になります。
 - Time Bucketization – 時間の詳細を定義します。日次オプションと週次オプションがサポートされています。
 - Time Horizon – 計画期間を定義します。サポートされている範囲は 1~90 日、または 1~104 週間です。
- 計画スケジュール – 供給計画をいつ実行する必要があるかを定義します。
 - 計画の頻度 – 供給計画を実行する頻度を定義します。
 - 開始時刻 – スケジュールされた日に計画を開始するタイミングを定義します。
 - リリース時間 – Supply Planning が承認済み発注書を ERP システムにリリースする時間を定義します。
- 需要と予測 – Supply Planning の需要予測を定義します。
 - Demand Planning – Supply Planning は、Demand Planning から生成された需要計画の予測情報を使用します。
 - 外部 - を使用した Supply Planning は、Forecast データエンティティを使用して Supply Planning の需要予測を抽出します。
 - 消費ベースの計画における平均需要計算の過去日数 – Supply Planning は、製品サイトの組み合わせごとに、OutboundOrder 明細データエンティティから過去 30 日間の販売履歴を調べ

て、1日の平均需要を決定します。30、60、90、180、270、または365日のいずれかを選択できます。平均を生成するときに、Supply Planning は対応する過去の売上データの日数を考慮します。

- 供給 – 供給関連の入力を定義します。
 - 期日を過ぎた注文 – InboundOrder明細データエンティティの注文が配送されず、予想される配送日が実行日より前である場合、デフォルトで Supply Planning はこの注文を無視します。ただし、在庫を並べ替えるためにインバウンド在庫を考慮するように、期限を過ぎた日数を設定できます。例えば、期限を過ぎた注文を7日間設定し、注文が4日前に予定されていた場合、その項目はインバウンドインベントリの対象として考慮されます。

12. [Continue] (続行) をクリックします。

13. 出力ページで、次の操作を実行できます。

- 計画出力 – Supply Planning で生成する供給計画のタイプを選択します。
- Plan Insights – 逸脱基準を設定して、供給計画のインサイトを生成します。

14. [Finish] を選択します。

15. (オプション) パートナーを招待を選択して、サプライヤーを供給計画に招待します。

また、今すぐスキップを選択して Supply Planning に戻ることもできます。

プランの概要

組織の全体的な製造計画を表示できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、「供給計画」を選択します。

Supply Planning ページが表示されます。

2. [今すぐ始める] を選択します。
3. 「計画の選択」ページで、「製造計画」を選択します。

製造計画ページが表示されます。

4. エクスポート を選択して、マテリアルプラン、プロダクションプラン、または転送プランを Amazon S3 バケットにダウンロードします。
5. 計画の概要タブを選択します。

The screenshot displays the 'Plan Overview' for 'SP-Test2-Dec18'. The 'Plan Summary' section includes the following metrics:

- Inventory On Hand: \$73K
- Open POs: \$23K
- Suppliers: 1 total
- Material Requirements: \$14.06M
- Plan Exceptions: 0 issue

The 'Supply Insights' section features a search bar and two entries for 'Material Plan Change':

- component1 24-UG05 at The Boston Site plant has 4 purchase forecasts that are increased by at least 8% leading to \$400K increase in spend
- component2 24-UG06 at The Baltimore Site plant has 4 purchase forecasts that are increased by at least 8% leading to \$960K increase in spend

- 計画の概要 — 全体的な製造計画を表示します。

Note

プラン概要メトリクスは、新規ユーザーには利用できません。計画概要メトリクスは、次の計画サイクルの後に表示できます。

- 手持ち在庫 – 現在の手持ち在庫をドル単位で表示します。
- 未POs – 現在の未処理の発注書と必要なドルを表示します。
- サプライヤー – アクティブなサプライヤーの合計数を表示します。
- 購入要件 – 必要なエンドコンポーネントの合計数量とその合計コストを表示します。
- 計画例外 — 欠落しているデータセットの例外や、データエンティティの問題を表示します。
- Supply Insights – Supply Insights は、以前の計画と比較した偏差率の変化を満たしている場合にのみ、すべての品目計画変更の最終コンポーネントに対して生成されます。各インサイトを選択して表示し、アクションを実行できます。

検索ボックスを使用して、製品名またはサイト名に基づいて検索するか、必須開始日と必須終了日を使用して特定の供給インサイトを検索できます。

プラン出力

組織の全体的な製造計画を表示できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、「供給計画」を選択します。

Supply Planning ページが表示されます。

2. [今すぐ始める] を選択します。
3. 「計画の選択」ページで、「製造計画」を選択します。

製造計画ページが表示されます。

4. プラン出力 タブを選択します。

フィルター を選択して、製品またはサイトに基いてリストをフィルタリングします。

The screenshot shows the 'Plan Outputs' page in the AWS Supply Chain interface. The page title is 'SP_Dec18 Supply Planning'. There are three tabs: 'Plan Overview', 'Plan Outputs' (selected), and 'Plan Exceptions'. Below the tabs is a 'Filters' button. Underneath, there are three sub-tabs: 'Material Plan' (selected), 'Transfer Plan', and 'Production Plan'. The main content area is titled 'Material Requirements' and includes two date pickers for 'Required Date Start' and 'Required Date End', both set to 'mm/dd/yyyy'. There are also buttons for 'All' and 'Material Plan Change'. The main table has the following columns: Item (with Item ID), Required Date (with Lead Time), Required Qty. (with % Change), Status, Supplier (with Supplier ID), Location (with Location ID), and Value. The table contains five rows of data:

Item Item ID	Required Date Lead Time	Required Qty. % Change	Status	Supplier Supplier ID	Location Location ID	Value
component1 24-U005	12/29/2023 2 Days	974 0%	-	Mary Golden Pilot Supplies TPartner_37	The Boston Site W10	\$48,700
component2 24-U006	12/31/2023 4 Days	2,158 0%	-	Mary Golden Pilot Supplies TPartner_37	The Baltimore Site M16	\$129,480
component3 24-U007	01/01/2024 5 Days	320 0%	-	Mary Golden Pilot Supplies TPartner_37	The Boston Site W10	\$25,600
component1 24-U005	01/05/2024 2 Days	692 0%	-	Mary Golden Pilot Supplies TPartner_37	The Boston Site W10	\$34,600
component2 24-U006	01/07/2024 4 Days	3,134 0%	-	Mary Golden Pilot Supplies TPartner_37	The Baltimore Site M16	\$188,040

- 品目計画 – 生成された供給計画からの最終コンポーネントの全体的な品目計画を表示します。
 - 移管計画 – 生成された供給計画からサイト間の品目または最終製品の全体的な移管計画を表示します。
 - 生産計画 – 生成された供給計画から完成した製品の全体的な生産計画を表示します。
5. マテリアルプランとマテリアル要件 では、各アイテムの供給の詳細を表示できます。
 6. 項目 で、選択した項目の供給計画の詳細を選択します。

「供給計画の詳細」ページが表示されます。

SP_Dec18 Supply Planning

🔍 🔔

Supply Plan Details: 24-UG05 | The Boston Site W/O

Item Details

component1_dec is a two-stage splash lubricated Quincy QT series piston air compressor model is designed to deliver higher volumes of air while consuming less energy.

Inventory Policy

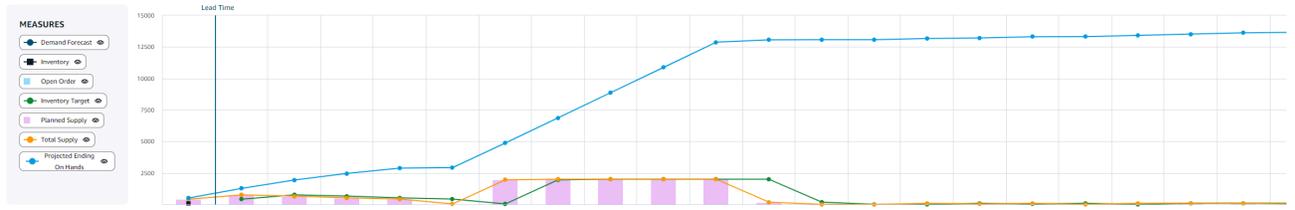
- Min -
- Target 80%
- Max -

Attribute	Value
Unit Cost	\$50
Lead Time	2 Days
Order Schedule	Monday

[View all attributes](#)

Supply Plan

Start Date: 01/08/2024 | End Date: 06/24/2024



Time Bucket (Weekly)	01/08/2024	01/15/2024	01/22/2024	01/29/2024	02/05/2024	02/12/2024	02/19/2024	02/26/2024	03/04/2024	03/11/2024	03/18/2024	03/25/2024	04/01/2024	04/08/2024	04/15/2024	04/22/2024	04/29/2024	05/06/2024	05/13/2024	05/20/2024	05/27/2024	06/03/2024	
Demand																							
Demand Forecast	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Supply																							
Inventory	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Open Orders	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Inventory Target	-	416	760	660	524	424	40	1,952	2,000	2,000	2,000	2,000	184	10	2	96	40	100	10	96	106	106	
Planned Supply	416	760	660	524	424	40	1,952	2,000	2,000	2,000	2,000	184	10	2	96	40	100	10	96	106	100	100	
Total Supply	416	760	660	524	424	40	1,952	2,000	2,000	2,000	2,000	184	10	2	96	40	100	10	96	106	100	100	
Projected Ending On Hand	516	1,276	1,936	2,460	2,884	2,924	4,876	6,876	8,876	10,876	12,876	13,060	13,070	13,072	13,168	13,208	13,308	13,318	13,414	13,520	13,620	13,620	

Material Plan | Transfer Plan | Production Plan | Purchase Orders | Transfer Orders | Production Orders

Material Requirements

Required Date Start: mm/dd/yyyy | Required Date End: mm/dd/yyyy | All | Material Plan Change

Item	Required Date	Required Qty.	Status	Supplier	Location	Value
component1	01/10/2024	416	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$20,800
component1	01/17/2024	760	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$38,000
component1	01/24/2024	660	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$33,000
component1	02/07/2024	424	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$21,200
component1	02/14/2024	40	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$2,000
component1	02/21/2024	1,952	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$97,600
component1	02/28/2024	2,000	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$100,000
component1	03/06/2024	2,000	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$100,000
component1	03/13/2024	2,000	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$100,000
component1	03/20/2024	2,000	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$100,000
component1	03/27/2024	184	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$9,200
component1	04/03/2024	10	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$500
component1	04/10/2024	2	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$100
component1	04/17/2024	96	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$4,800
component1	04/24/2024	40	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$2,000
component1	05/01/2024	100	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$5,000
component1	05/08/2024	10	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$500
component1	05/15/2024	96	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$4,800
component1	05/22/2024	106	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$5,300
component1	05/29/2024	100	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$5,000
component1	06/05/2024	42	-	Mary Golden Pilot Supplies	The Boston Site W/O	\$2,100

Supply Plan Details セクションには、項目の詳細と属性が表示されます。すべての属性を表示を選択して、項目のすべての属性を表示します。

「供給計画」で、選択した項目の供給計画を表示できます。開始日と終了日を使用して、特定の日付範囲の供給計画を表示できます。

- 需要予測 — 項目またはサイトに関連する需要予測または依存する需要を表示します。
- インベントリ — 項目またはサイトに関連する手元在庫レベルを表示します。
- 未処理の注文 — 項目またはサイトの `expected_delivery_date` に基づいて未処理の注文数量を表示します。サポートされている注文タイプは、発注書、転送注文、または製造注文です。
- インベントリターゲット — インベントリポリシーと注文スケジュールに基づいて計算されたターゲットインベントリレベル。詳細については、「[インベントリポリシー](#)」を参照してください。
- 計画された供給 — 計画された供給を表示します。
- 合計供給 - 未処理の注文と計画供給の合計。
- Projected Ending on Hand — 保留中の予測注文。

予測終了手元 (EOH) は、需要、供給、在庫に基づいて計算されます。 $EOH(T0) = Inventory(T0) + Open Orders(T0) + Planned Supply(T0) - Demand Forecast(T0)$
 $EOH(T1) = EOH(T0) + Open Orders(T1) + Planned Supply(T1) - Demand Forecast(T1)$ 。

7. 項目の全体的な Supply Planning を表示することもできます。

- 品目計画 — 品目またはサイトに関連する品目計画を表示します。
- Transfer Plan — 項目またはサイトに関連する移管計画を表示します。
- 生産計画 — 項目またはサイトに関連する生産計画を表示します。
- 発注書 — 供給計画の生成に使用される入力発注書を表示します。
- 転送注文 — 供給計画の生成に使用される入力転送注文を表示します。
- 生産注文 — 供給計画の生成に使用される入力生産注文を表示します。

計画の例外

組織の全体的な製造例外を表示できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、「供給計画」を選択します。

Supply Planning ページが表示されます。

2. [今すぐ始める] を選択します。
3. 「計画の選択」 ページで、「製造計画」 を選択します。

「製造計画」 ページが表示されます。

4. 計画例外 タブを選択します。

Product	Location	Exception Type	Root Cause
Air Jordan 6 Retro NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Missing Lead Time Given the productID, productGroupID, locationID, regionID, companyID, vendorID, we cannot find corresponding
Nike Air Braidon "Headline" NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Missing Service Level If the inventory policy type is S, there's no service level defined
Jordan Jumpman Team 8 NAM_312283	Seattle Distribution Center S454-1114	Manufacturing Plan	Missing Lead Time Given the productID, productGroupID, locationID, regionID, companyID, vendorID, we cannot find corresponding
Nike AirMax NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Missing Inventory Policy Given the locationID, productID, companyID, productGroupID, destGroupID and vendorID, we cannot find the
Zion 2 NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Unsupported Inventory Policy Type In relative entity, there's unsupported inventory policy type defined. Currently we only support 4 inventory policy type
Nike Pegasus Turbo Next Nature NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Circular Sourcing Lanes For certain product groups, we detect cycle exist in its network topology
Nike Vaporfly 2 NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Missing Site Info Given a locationID, no corresponding record can be found in Site entity
Nike React Phantom Run Flyknit 2 NAM_312283	Jacksonville, DC JA002	Manufacturing Plan	Missing Days Of Coverage If the inventory policy type is DOC, there's no targetedDOC defined
Nike Blazer Mid 77 SE NAM_312283	Seattle Distribution Center S454-1114	Manufacturing Plan	Missing Region Given a site ID, missing corresponding geo_ID in Site entity. We will use the top level geo_ID in the region_ID when
Nike Blazer Low 77 Ambo NAM_312283	Seattle Distribution Center S454-1114	Manufacturing Plan	Missing Inventory Policy Given the locationID, productID, companyID, productGroupID, destGroupID and vendorID, we cannot find the

フィルターアイコンを使用して、製品とサイトに基づいて例外をフィルタリングできます。すべて表示を選択して、使用可能なすべてのフィルターを表示します。

product_bom データをインポートする

AWS CLI を使用して product_bom データをインポートするには、以下の手順に従います。

Note

product_bom データを にインポートするには、AWS CLI のみを使用できます AWS Supply Chain。

1. product_bom データをインポートするインスタンス ID を書き留めます。サプライチェーンデータバケットの URI 形式は になります"s3://aws-supply-chain-data-**INSTANCE_ID**/product_bom.csv".
2. product_bom データを Amazon S3 インスタンスバケットにアップロードするには、次のコマンドを使用します。

```
aws s3 cp Path To Local Product BOM CSV$S3_BOM_URI "s3://aws-supply-chain-data-INSTANCE_ID/product_bom.csv".
```

3. 次のコマンドを使用して、部品表作成インポートジョブを呼び出します。

```
aws supplychain create-bill-of-materials-import-job --instance-id $INSTANCE_ID --s3uri "s3://aws-supply-chain-data-INSTANCE_ID/product_bom.csv"
```

Note

ステップ 2 で CSV をアップロードするときに使用したのと同じ送信先 Amazon S3 URI を使用してください。

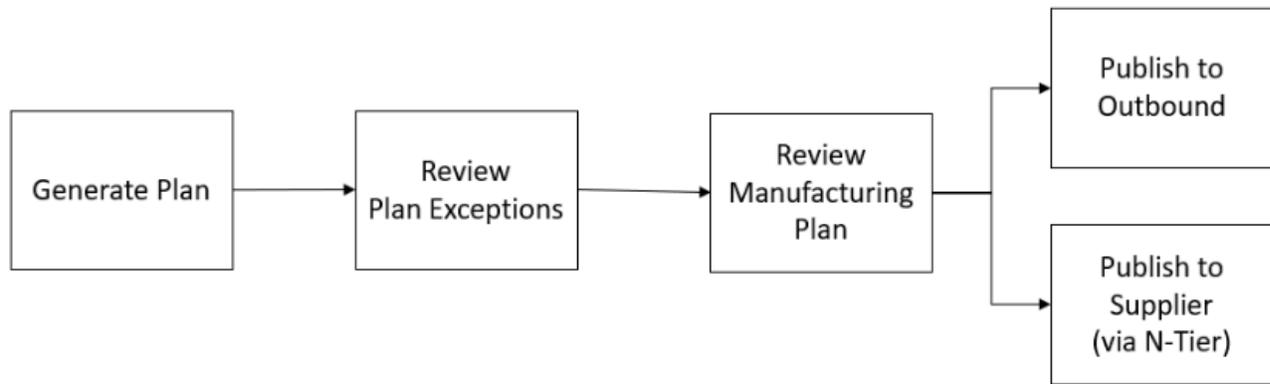
4. 返されたジョブ ID を書き留めます。
5. インポートされた結果を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
aws supplychain get-bill-of-materials-import-job --instance-id $INSTANCE_ID --job-id job-id from step 4
```

AWS Supply Chain API の詳細については、「API [AWS Supply Chain リファレンス](#)」を参照してください。

ビジネスワークフロー

Supply Planning には、製造計画を管理するための以下のワークフローが用意されています。



- 計画の生成 – Supply Planning は、設定されたスケジュールに従って製造計画を生成します。プランの生成に必要な最新の入力データがデータレイクから受信されます AWS Supply Chain。Supply Planning は、設定データ、トランザクションデータ、計画設定を使用して、品目、移管、生産計画を含む製造計画を生成します。製造計画は、設定された計画期間について、期間数の観点から生成されます。毎日または毎週の詳細を使用して計画を作成し、毎日または毎週の頻度で計画を作成できます。同じ計画サイクル (毎日または毎週) 内に複数の計画が作成された場合、新しい計画は既存の計画を上書きします。既存の計画は、新しい計画サイクルの開始時 (例えば、新しい週) に新しい計画が生成された後、バージョンングされます。
- 計画の例外を確認する – Supply Planning は、必要な設定データ (リードタイム、調達スケジュールなど) または手持ち在庫などの必要なトランザクションデータがない製品またはサイトの組み合わせの計画の例外を生成します。プランナーは例外を確認して必要なデータを提供し、プランを再実行して問題を修正し、関連する製品とサイトの組み合わせの供給計画を生成できます。
- 製造計画の確認 – 供給プランナーは、AWS Supply Chain ウェブアプリケーションの計画概要、計画出力、供給計画の詳細概要ページを使用して、品目、移管、生産計画を確認できます。Supply Planning は、最新の計画と比較して、設定されたしきい値を超える必要数量の偏差がある製品とサイトの品目計画変更に関するインサイトを生成します。プランナーは、計画出力の計算に使用される入力 (予測、在庫、注文など) に関して詳細の表示を指定できます。「供給計画の詳細」ページには、予測、在庫、未処理の注文、および計画された供給のタイムラインビューが表示されます。
- アウトバウンドへの発行 – 供給計画は、計画設定でスケジュールされた設定時刻にアウトバウンド Amazon S3 コネクタに発行されます。これらの計画を ERP、購入、または生産計画システムに統合して実行できます。
- 「N 階層可視性への発行」 – 品目計画は、オプションで N 階層可視性を通じてサプライヤーに発行できます。品目計画は、計画設定で設定されたスケジュールに基づいて N 階層可視性に発行さ

れます。N-Tier Visibility は、コラボレーション設定に基づいて、オンボーディングされたサプライヤーにマテリアルプランをさらに公開します。

Supply Planning に必要なデータエンティティ

このセクションでは、Supply Planning で使用されるすべての必須フィールドを一覧表示し、各フィールドの使用方法を説明します。Supply Planning に必要なデータフィールドについては、「」を参照してください[供給計画](#)。

設定データの計画

トピック

- [製品](#)
- [サイト](#)
- [Trading Partner](#)
- [ベンダー製品](#)
- [ベンダーリードタイム](#)
- [調達ルール](#)
- [インベントリポリシー](#)
- [調達スケジュール](#)
- [部品表 \(BOM\)](#)
- [本番プロセス](#)

製品

製品エンティティは、計画に含める必要がある項目または製品のリストを定義します。発注書リクエストは、製品エンティティの unit_cost フィールドを使用して、注文額または数量を決定します。製品エンティティには、product_hierarchy エンティティへの外部キーである特定の製品に対応する製品グループも含まれています。製品グループは、インベントリポリシー、調達スケジュール、リードタイムなどを集計レベルで設定するために使用できます。

サイト

サイトエンティティは、計画に含める必要があるサイトまたはロケーションのリストを定義します。サイトエンティティには、特定のサイトに対応するリージョンも含まれます。これ

は、Geography エンティティへの外部キーです。リージョンは、インベントリポリシー、調達スケジュール、リードタイムなどを集計レベルで設定する際に使用できます。

Trading Partner

trading_partner エンティティは、サプライヤーのリストを定義します。tpartner_type は、サプライヤー情報をアップロードするときに Vendor に設定する必要があります。

ベンダー製品

各サプライヤーが提供する製品は、vendor_product エンティティで定義されます。このエンティティには、ベンダー固有のコスト情報も含まれています。

ベンダーリードタイム

ベンダーのリードタイムは、ベンダーに注文してから注文を受け取るまでの期間です。このデータは vendor_lead_time データエンティティの VendorMgmtカテゴリで定義されます。ベンダーのリードタイムは次のオーバーライドロジックに従います。

- 製品レベルのベンダーリードタイムは、製品グループレベルのベンダーリードタイムよりも優先されます。
- サイトレベルのベンダーリードタイムは、リージョンレベルのベンダーリードタイムよりも優先されます。
- リージョンレベルのベンダーリードタイムは、会社レベルのベンダーリードタイムよりも優先されます。

Supply Planning は、レコードを検索するために次のフィールドを使用します。

- company_id
- region_id
- site_id
- product_group_id
- product_id

オーバーライドロジックの例を次に示します。

company_id	1	1	1	1	1	1
region_id		TX	TX	TX	TX	TX
site_id				TX0	TX1	TX0
product_group_id	electronics	electronics	electronics	electronics	electronics	electronics
product_id			laptop			laptop
planned_lead_time	5	4	10	3	2	1

Supply Planning がベンダーリードタイムを計算する方法の例を次に示します。

company_id	region_id	site_id	product_group_id	product_id	planned_lead_time
1	TX	TX0	electronics	laptop	1
1	TX	TX0	electronics	cell phone	3
1	TX	TX1	electronics	laptop	10
1	TX	TX1	electronics	cell phone	2
1	TX	TX2	electronics	laptop	10
1	TX	TX2	electronics	cell phone	4
1	CA	CA0	electronics	laptop	5

優先順位は、製品 > product_group > site > dest_geo (region) > product segment > company です。

調達ルール

Supply Planning は、sourcing_rules エンティティで定義されたサプライチェーンネットワークトポロジに基づいて計画を生成します。

サポートされている調達ルールタイプは、移管、購入、製造です。

調達ルールは product_id > product_group_id > company_id オーバーライドロジックに従います。

- site – サイトは、ネットワーク内のサイトエンティティを定義します。
- transportation_lane – Supply Planning は transportation_lane_id で transportation_lane の transit_time を検索します。
- sourcing_rules – Supply Planning は、sourcing_rules に保存されているトポロジをソーシングネットワークとして使用します。

Supply Planning は、transport_lane ではなく、sourcing_rules のネットワークに基づいて計画を生成します。調達ルールは、product_id > product_group_id > company_id オーバーライドロジックに従います。

転送リードタイムを取得するには 2 つのステップがあります。

1. `sourcing_rules` に基づいて `transporation_lane_id` を検索します。 `to_site_id` と `from_site_id` の両方を持つソーシングルールのみが `transfer_lead_time` を取得できます。
2. `transporation_lane_id` を使用して、次のフィールドを使用して `transportation_lane` を検索します。
 - `to_site_id`
 - `product_id` または `product_group_id`
 - `sourcing_priority`

`sourcing_rule` エンティティに同じ `to_site_id` と `product_id` (`product_group_id`) を持つレコードが複数あり、同じ製品とサイトの組み合わせに対して複数のソーシングルールがある場合、最小のソーシング優先度が選択されます。

調達ルールの例：

<code>from_site_id</code>	<code>to_site_id</code>	<code>product_id</code>	<code>product_group_id</code>	<code>sourcing_priority</code>	<code>transportation_lane_id</code>
ILO	TX0	laptop	electronics	1	transportaion_lane_9
NJ1	TX0	laptop	electronics	2	transportaion_lane_21
ILO	TX0		electronics	1	transportaion_lane_11

上記の定義に基づいて、Supply Planning は以下を選択します。

<code>product_id</code>	<code>product_group_id</code>	<code>site_id</code>	<code>transportation_lane_id</code>
laptop	electronics	TX0	transportaion_lane_9
cell phone	electronics	TX0	transportaion_lane_11

Supply Planning は、`transit_lane_id` を使用して `transportation_lane` エンティティを検索し、`Transit_time` フィールドを読み取って輸送リードタイムを取得します。

インベントリポリシー

Supply Planning は、次のフィールドを使用してデータセット内のレコードを検索します。

- `site_id`
- `des_geo_id`
- `company_id`

- product_id
- product_group_id
- segment_id

Supply Planning は ss_policy を使用してインベントリポリシーを決定します。オーバーライドロジックは、product_id > product_group_id > site_id > および dest_geo_id > segment_id > company_id の優先度を使用します。

サポートされている ss_policy 値は、abs_level、doc_dem、doc_fcst、sl です。

次の例では、オーバーライド優先度ロジックを表示します。

comany_id	segment_id	des_geo_id	site_id	product_group_id	product_id	ss_policy
a.com						abs_level
a.com	seg1					doc_dem
a.com	seg1	TX				abs_level
a.com	seg1	TX	TX0			doc_fcst
a.com	seg1	TX	TX0	electronics		abs_level
a.com	seg1	TX	TX0	electronics	laptop	sl
a.com		TX				doc_dem

オーバーライドロジックに基づく ss_policy 値の例を次に示します。

product_id	segment_id	des_geo_id	site_id	product_group_id	ss_policy
laptop	seg1	TX	TX0	electronics	sl
cell phone	seg1	TX	TX0	electronics	abs_level
diaper	seg2	TX	TX0	baby	doc_dem
laptop	seg1	NY	NY2	electronics	doc_dem
PS4	seg3	TX	TX0	game	doc_fcst

調達スケジュール

Note

調達スケジュールはオプションのエンティティです。このエンティティが指定されていない場合、Supply Planning は継続的なレビュープロセスを使用して、製品が必要なタイミングに基づいて required_date を生成します。

Supply Planning は、調達スケジュールを使用して、次のステップを使用して購入計画を生成します。

- `sourcing_schedule` で `sourcing_schedule_id` を検索します。
- `sourcing_schedule_details` で `sourcing_schedule_id` を使用してスケジュールを検索します。

Supply Planning は、`sourcing_schedule` の下の `sourcing_schedule_id` で次のフィールドを検索します。

- `to_site_id`
- `tpartner_id` または `from_site_id`

Supply Planning は、調達ルールの調達パスに基づいて、`from_site_id` と `tpartner_id` のどちらを使用するかを決定します。Supply Planning は、`sourcing_schedule_id` フィールドの値を読み取り、次のステップを決定します。

Supply Planning は、`sourcing_schedule_details` のスケジュールの詳細を以下のフィールドで読み取ります。

- `sourcing_schedule_id`
- `company_id`
- `product_group_id`
- `product_id`

`sourcing_schedule_details` は、オーバーライドロジック `product_id > product_group_id > company_id` に従います。

以下は、`sourcing_schedule_details` のオーバーライドロジックの例です。

<code>sourcing_schedule_id</code>	<code>company_id</code>	<code>product_group_id</code>	<code>product_id</code>	<code>day_of_week</code>
<code>sourcing_schedule_1</code>	<code>a.com</code>			1
<code>sourcing_schedule_1</code>	<code>a.com</code>	<code>electronics</code>		2
<code>sourcing_schedule_1</code>	<code>a.com</code>	<code>electronics</code>	<code>laptop</code>	3
<code>sourcing_schedule_1</code>	<code>a.com</code>		<code>diaper</code>	4

オーバーライドロジックを適用した後、選択したスケジュールは次のとおりです。

sourcing_schedule_id	company_id	product_group_id	product_id	day_of_week
sourcing_schedule_1	a.com	game	PS4	1
sourcing_schedule_1	a.com	baby	diaper	4
sourcing_schedule_1	a.com	electronics	laptop	3
sourcing_schedule_1	a.com	electronics	cell phone	2

実際のスケジュールは、スケジュールの複雑さに基づいて 1 行から複数の行にすることができます。week_of_month フィールドでは、各行に 1 つの数字しか使用できません。月の複数週では、複数のレコードが必要です (次の例を参照)。day_of_week フィールドでは、整数と日の名前の両方が許可されます (日曜日: 0、月曜日: 1、火曜日: 2、水曜日: 3、木: 4、金: 5、土: 6)。調達スケジュールの詳細では、週次計画には week_of_month が必要です。日次計画では、week_of_month は空にすることができます。つまり、毎週です。次の例を参照してください。



date	day_of_week	week_of_month
8/16/2023		
	1	
	4	2
	4	4



date	day_of_week	week_of_month
	3	1
	3	2
	3	3
	3	4
	3	5

週次計画では、day_of_week が指定されている場合は week_of_month が必要であることに注意してください。

次の例は、日次計画に使用できる日付を示しています。

日付	曜日。	月の週
8/1/2023	該当なし	該当なし

日付	曜日。	月の週
8/12/2023	該当なし	該当なし
該当なし	2	該当なし
該当なし	5	該当なし

次の例は、日次計画と週次計画の両方に使用できます。

日付	曜日。	月の週
8/1/2023	該当なし	該当なし
8/12/2023	該当なし	該当なし
該当なし	2	1
該当なし	2	2
該当なし	2	3
該当なし	2	4
該当なし	2	5
該当なし	5	1
該当なし	5	2
該当なし	5	3
該当なし	5	4
該当なし	5	5

部品表 (BOM)

製品 BOM は、`sourcing_rule` が Produce に設定されている場合に、Manufacturing Plans で使用されます。製品 BOM の取り込み方法については、AWS Supply Chain API リファレンスドキュメントを参照してください。

本番プロセス

`production_process_id` は、`sourcing_rule` エンティティと `product_bom` エンティティで参照されます。これらのフィールドは、BOM を作成またはアSEMBルするためにリードタイム情報を消費するために使用されます。

トランザクションデータ

トピック

- [Forecast](#)
- [売上履歴または需要](#)
- [インベントリレベル](#)
- [インバウンド注文](#)

Forecast

Supply Planning は、2 つの異なるソースと予測タイプを使用します。次のソースシステムを使用して、予測ソースを取得できます。

- 外部 – Supply Planning は、データレイク予測エンティティに取り込まれるデータを使用します。
- Demand Planning – Supply Planning は Demand Planning からの予測を使用します。
- None – Supply Planning は、アウトバウンド注文明細の売上または需要履歴データを使用します。

Supply Planning は、決定論的予測と確率的予測の 2 種類の予測をサポートしています。決定論的予測には、予測の平均のみが含まれます。確率的予測には P10/P50/P90 が含まれており、平均を含む場合もあります。平均に確率的予測が指定されていない場合、Supply Planning は P50 (中央値) を平均として使用します。

各予測レコードには、需要予測を表す 4 つのフィールドがあります。

- 平均 (ダブル)

- p10 (ダブル)
- p50 (中央値、倍精度とも呼ばれます)
- p90 (ダブル)

設定されたインベントリポリシーに基づいて、このエンティティのさまざまなフィールドが必要です。sl の場合、p10/p50/90 が必要です。doc_fcst の場合、ポリシー p50 または mean が必要です。Supply Planning は平均の近似として p50 を使用し、doc_dem および abs_level の場合、予測フィールドは必要ありません。

日次計画

予測は、日次計画と週次計画では異なる場合があります。日次および週次の計画予測要件の例を次に示します。

date	8/12/2022	8/13/2022	8/14/2022	8/15/2022	8/16/2022	8/17/2022	8/18/2022	8/19/2022
mean	4	3	5	7	12	7	5	4
p10	2	1	3	4	8	4	3	2
p50	4	3	5	7	12	7	5	4
p90	8	5	7	9	16	9	8	8

週次計画

日次計画予測の例を週次計画に使用することも、次の例を週次計画に使用することもできます。

date	8/12/2022	8/13/2022	8/14/2022	8/15/2022	8/16/2022	8/17/2022	8/18/2022	8/19/2022
mean	43	0	0	0	0	0	0	51
p10	25	0	0	0	0	0	0	23
p50	43	0	0	0	0	0	0	49
p90	62	0	0	0	0	0	0	71

売上履歴または需要

インベントリポリシー doc_dem では、過去の平均需要を計算するために需要履歴が必要です。Supply Planning は、アウトバウンドカテゴリの outbound_order_line エンティティから需要履歴を取得します。Supply Planning では、次のフィールドを使用します。

- ship_from_site_id (文字列)
- product_id (文字列)
- actual_delivery_date (タイムスタンプ)。欠落している場合は promised_delivery_date (タイムスタンプ) を使用します。

計算の一環として、Supply Planning は過去 30 日間の配送日を含む過去のアウトバウンド注文明細を使用します。数量に使用されるターゲットフィールドは quantity_delivered です。欠落している場合は quantity_promised を使用します。

例えば、2023 年 7 月 1 日にサイト「TX0」で製品「ラップトップ」に Supply Planning を使用する場合、boud_order_line のレコードでは、product_id=laptop、ship_from_site_id=TX0、および actual_delivery_date は 2023 年 6 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日です。Supply Planning は、すべてのレコードを追加し、30 日で除算して毎日の需要を取得します。

インベントリレベル

Supply Planning では、計画プロセスを開始するために初期在庫レベルが必要です。Supply Planning は、エンティティ inv_level データエンティティのインベントリレベルを検索します。Supply Planning は、次のフィールドを持つレコードを検索します。

- product_id
- site_id

Supply Planning は on_hand_inventory を使用してインベントリレベルを決定します。

インバウンド注文

Supply Planning は inbound_order_line を使用して、処理中の注文数量を取得します。計画期間中に注文が配送された場合、数量は既存の供給の一部と見なされます。

Supply Planning は、以下のフィールドを持つ inbound_order_line のレコードを検索します。

- order_receive_date 。欠落している場合は expected_delivery_date を使用します。
- product_id
- to_site_id

サポートされている注文タイプは次のとおりです。PO (購入)、TO (転送)、MO (生産または製造)。

Supply Planning は quantity_received を使用します。欠落している場合は、quantity_confirmed と quantity_submitted を使用して、注文数量を決定します。

N 階層の可視性

N 階層可視性は、次の目的で使用できます。

- Forecast のコラボレーションにより、供給計画から生成されたコンポーネントレベルの予測を取引相手と共有し、それらの供給コミットメントを取得できます。は、取引相手に公開される Supply Planning によって生成されたコンポーネント予測AWS Supply Chainのみをサポートします。
- 発注書 (PO) コラボレーションでは、発注書を共有し、取引相手から数量と出荷日の確認を取得できます。発注書のコラボレーションは、POs でのみ有効になります。

Note

N-Tier visibility は、米国東部 (バージニア北部)、米国西部 (オレゴン)、欧州 (フランクフルト)、アジアパシフィック (シドニー) リージョンでのみサポートされています。欧州 (アイルランド) リージョンでは、N-Tier 可視性はサポートされていません。

トピック

- [N-Tier 可視性を初めて使用する](#)
- [N 階層の可視性](#)
- [パートナーの招待の確認と承諾](#)
- [発注書](#)
- [発注書の確認と承認](#)
- [Forecast のコミット](#)
- [予測コミットの確認と受け入れ](#)
- [N 階層可視性設定](#)
- [EDI が有効になっている場合の予測コミットの表示](#)
- [EDI 形式での発注書の表示](#)

AWS Supply Chain パートナーの場合は、次のことを実行できます。

1. [パートナーの招待の確認と承諾](#)
2. [発注書の確認と承認](#)

3. [予測コミットの確認と受け入れ](#)

N-Tier 可視性を初めて使用する

N-Tier 可視性のコラボレーションモードとしきい値を設定できます。

Note

Forecast のコミットと発注書の応答タイムラインは、いつでも更新できますAWS Supply Chain。AWS Supply Chain ウェブアプリケーションで、設定アイコン、組織、Forecast コミット、または発注書を選択して更新します。

Note

N 階層可視性を初めて使用する場合は、主要な機能を強調したオンボーディングページを表示できます。これにより、N-Tier の可視性機能に慣れることができます。

1. AWS Supply Chain ウェブアプリケーションを開きます。
2. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N-Tier visibility を選択します。
3. パートナーとの接続ページで、次へを選択します。

「N-Tier 可視性設定の構成」に到達するまで、N-Tier 可視性が何を提供しているかを理解するには「次へ」を参照してください。

4. 「予測応答時間のセットアップ」では、次の操作を実行できます。
 - 応答タイムラインの設定 — パートナーがデータリクエストに回答するまでの日数を定義します。
 - 応答の自動受け入れ — N-Tier visibility がパートナーからの応答を自動的に受け入れることができるしきい値の制限を定義します。
 - レスポンスの自動拒否 — N-Tier visibility がパートナーからのレスポンスを自動的に拒否できるようにするしきい値の制限を定義します。
 - EDI 接続設定 — N-Tier visibility がパートナーとの予測コミットのコラボレーションに EDI を使用するかどうかを定義します。

5. [続行] を選択します。
6. 「発注書レスポンスタイムラインのセットアップ」で、次の操作を実行できます。
 - 応答タイムラインの設定 — パートナーが発注書のリクエストに応答するまでの日数を定義します。
 - 応答の自動受け入れ – N-Tier visibility が パートナーからの応答を自動的に受け入れることができるしきい値の制限を定義します。
 - 自動拒否レスポンス – N-Tier visibility が パートナーからのレスポンスを自動的に拒否できるようにするしきい値の制限を定義します。
 - EDI 接続設定 – N-Tier visibility でパートナーとの発注書のコラボレーションに EDI を使用するかどうかを定義します。
7. [終了] を選択します。

N 階層の可視性

パートナーのオンボーディングとコラボレーションをナビゲートできます。

1. AWS Supply Chain ウェブアプリケーションを開きます。
2. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N-Tier visibility を選択します。

N-Tier 可視性ダッシュボードが表示され、次のタブが表示されます。

- パートナーネットワーク — パートナーの概要とオンボーディングステータスを表示します。パートナーを招待して N-Tier 可視性にオンボードすることもできます。
- 発注書 – 発注書を表示し、数量と出荷日に関する確認をパートナーから受け取ります。
- Forecast Commits – パートナーとの供給計画と供給コミットメントから生成されたコンポーネントレベルの予測を表示します。

The screenshot displays the 'partner-sustainability N-Tier Visibility' interface. At the top, there's a navigation bar with 'Partner Network', 'Purchase Orders', and 'Forecast Commits'. A prominent blue banner encourages onboarding partners with the text 'Onboard your Partners and get visibility into your supply chain.' Below this, there are two cards for 'Forecast Commit Collaboration' and 'Purchase Order Collaboration'. The main section is titled 'Partner Overview' and includes 'Onboarding metrics' with four boxes: 'Onboarded' (0), 'Pending invites' (1), 'Expired invites' (0), and 'Accept rate' (0%). Below the metrics is a table of 22 partners. The table has columns for Partner name, Partner ID, Supplier DUNS, Open Supplier ID, Contact name, Contact email, Invite date, and Portal status. The status column shows 'Pending sign up' for one partner and 'Not invited' for the others.

Partner name	Partner ID	Supplier DUNS	Open Supplier ID	Contact name	Contact email	Invite date	Portal status
Partner4	Partner5	-	-	ok company	sbjevara+test198763@amazon.com	12/26/2023	Pending sign up
Partner19	Partner20	-	-	null null	-	-	Not invited
Partner11	Partner12	-	-	null null	-	-	Not invited
Partner21	Partner22	-	-	null null	-	-	Not invited
Partner3	Partner4	-	-	null null	-	-	Not invited
Partner12	Partner13	-	-	null null	-	-	Not invited
Farmers & Growers	FARM-GROW	-	-	null null	-	-	Not invited
Partner16	Partner17	-	-	null null	-	-	Not invited

3. パートナーの概要では、以下を表示できます。

- オンボーディング済み — 招待を受け入れ、AWS Supply Chainネットワークにオンボーディングされているパートナーの数を表示します。
- 保留中の招待 – 招待をまだ承諾していないパートナーの数が表示されます。
- 期限切れの招待 – 招待されたが、応答がないために招待の有効期限が切れたパートナーの数が表示されます。
- 承諾率 – パートナー招待の承諾率全体を表示します。

4. パートナーでは、AWS Supply Chainデータレイクを介してAWS Supply Chainネットワークにインポートされたパートナーを表示できます。

Search フィールドを使用して特定のパートナーを検索し、Show、Product Group、または Final Good ドロップダウンを使用して、招待ステータス、パートナーグループ、または完成商品に基づいてパートナーをフィルタリングできます。

- パートナー名 – パートナー名を表示します。
 - パートナー ID – パートナー ID を表示します。
 - DUNS – サプライヤー DUNS 番号を表示します。
 - オープンサプライヤー ID - オープンパートナーハブ ID を表示します。
 - 連絡先名 – パートナーの連絡先名を表示します。
 - 連絡先 E メール – パートナーの連絡先 E メールを表示します。
 - 招待日 – パートナーが招待された日付を表示します。
 - オンボードステータス – パートナー招待ステータスを表示します。
 - 招待されていません – パートナーは招待されていません。
 - サインアップ保留中 – パートナーは招待されていますが、まだ応答していません。
 - アクティブ – パートナーは招待を受け入れ、AWS Supply Chainネットワーク内でアクティブです。
 - 招待の有効期限が切れました – パートナーは招待されましたが、応答がないため招待の有効期限が切れました。
 - 招待が拒否されました – パートナーは招待を拒否しました。
5. パートナーをリストまたはマップビューで表示するには、右側のリストまたはマップトグルボタンを使用します。
 6. パートナーを招待 を選択して、データセットからAWS Supply Chainネットワークに新しいパートナーを招待します。パートナーの招待の詳細については、「」を参照してください[パートナーの招待](#)。

パートナーの招待の確認と承諾

パートナーとして、AWS Supply Chainネットワークに参加するためのメールを受信しているはずです。Eメールのリンクを選択して、招待を確認して承諾します。

Note

招待を初めて受け入れる場合は、主要な機能を強調表示したオンボーディングページを表示できます。これにより、AWS Supply Chain機能に慣れることができます。

1. AWS Supply Chain ログインページで、ユーザー名を入力します。

参加の招待を受け取ったのと同じ E メールアドレスに検証コードが送信されます。

2. 追加検証の必須ページで、検証コードに E メールから検証コードを入力します。
3. 「パスワードの選択」ページで、にサインインするためのパスワードを作成しますAWS Supply Chain。
4. AWS Builder ID の作成を選択します。
5. ユーザープロフィールの入力ページで、名と姓が自動的に入力されます。ジョブタイトルとタイムゾーンを入力します。
6. [次へ] をクリックします。
7. 「組織の情報を追加しましょう」ページで「ロゴをアップロード」を選択して組織のロゴをアップロードし、「組織名」を入力します。
8. セットアップの完了を選択します。

N 階層可視性ページが表示されます。

9. N-Tier 可視性ページのパートナーネットワークで、受信したすべての招待を表示できます。
10. 招待を承諾または辞退するパートナーを選択します。

N-Tier 可視性ページがパートナーの詳細とともに表示されます。

11. 接続の受け入れを選択します。「招待が承諾されました」というメッセージが表示されます。

Note

招待を拒否する場合は、「接続の招待を拒否する」ページで理由を入力する必要があります。

発注書

パートナーに発行された発注書データリクエストのリストを表示できます。発注書のコラボレーションは、Work Orders を介してのみ有効にできます。詳細については、「[Work Order Insights](#)」を参照してください。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N-Tier visibility を選択します。

N 階層可視性ページが表示されます。

2. 発注書 タブを選択します。
3. 発注書 では、生成された注文インサイトから、パートナーに発行されたすべての発注書データリクエストの詳細を表示できます。

任意の発注書を選択して、発注書の詳細を確認できます。

4. ステータス ドロップダウンを選択して、コラボレーションステータスに基づいて発注書をフィルタリングします。
5. 「コラボレーションステータスのレビュー」で「発注書のレビュー」を選択します。これらの発注書では、日付または数量に対するパートナーの対応が、設定された承認しきい値を逸脱しているかどうかの確認が必要です。

発注書の詳細ページが表示されます。

6. 「発注書の更新を確認する」で、パートナーから送信された発注書の数量と配達日を確認し、応答を承諾または拒否できます。

更新の理由については、「パートナーからの更新の詳細」を参照してください。

7. 発注書の更新を受け入れるには、応答を受け入れるを選択します。

更新の受け入れウィンドウが表示されます。更新を受け入れるを選択します。

8. 発注書の更新を拒否するには、拒否を選択して を送信します。

PO の拒否の更新とフィードバックの送信ウィンドウが表示されます。拒否の詳細を入力し、拒否を選択して送信します。発注書はパートナーに送り返され、更新されたレスポンスが提供されます。

発注書の確認と承認

パートナーとして、発注書を確認するためのメールが届いています。Eメールのリンクを選択して、発注書を確認して承諾します。

Note

招待を初めて受け入れる場合は、主要な機能を強調表示したオンボーディングページを表示できます。これにより、AWS Supply Chain機能に慣れることができます。

- オープンリクエスト – まだレビュー保留中または応答待ちのすべての発注書を表示します。
- 完了したリクエスト – 完了したすべての発注書を表示します。
- 発注書のインポート – インポートされたすべての発注書を表示します。
- 発注書のエクスポート – オフラインで編集するためにエクスポートされたすべての発注書を表示します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N-Tier visibility を選択します。

N-Tier 可視性ページが表示されます。

2. 発注書 タブを選択します。
3. 発注書の確認 では、確認および確認する必要があるすべての発注書を表示できます。
4. 確認 を選択して、発注書の更新を承諾します。
5. 更新を選択して、発注書の数量と配送日を更新します。

発注書の更新ウィンドウが表示されます。発注書の理由と詳細を入力し、確認 を選択します。

6. コラボレーション履歴を選択すると、発注書の更新と発注書の理由を確認できます。

Forecast のコミット

パートナーに発行された予測コミットデータリクエストを表示できます。これらのデータリクエストは、AWS Supply Chain供給計画からトリガーされます。詳細については、「[供給計画](#)」を参照してください。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N 階層可視性 を選択します。

N-Tier 可視性ページが表示されます。

2. 予測コミット タブを選択します。

Forecast コミットページが表示されます。

3. Forecast commit では、生成された供給計画からのすべての予測データリクエストの詳細を表示できます。

任意の予測コミットを選択して、予測コミットの詳細を確認できます。

4. ステータス、パートナー、またはサイトドロップダウンを選択して、コラボレーションステータス、パートナー、またはサイトに基いて予測コミットをフィルタリングします。

5. 「コラボレーションステータスのレビュー」で「予測コミットのレビュー」を選択します。

Forecast のコミットの詳細ページが表示されます。

6. 「Forecast Commit 更新の確認」で、コミットされた予測と偏差を確認します。応答を承諾または拒否するか、予測コミットを拒否してクローズすることができます。

更新の理由については、パートナーの「最新更新の詳細」を参照してください。

7. 予測コミットの更新を受け入れる場合は、応答の受け入れを選択します。

更新の受け入れウィンドウが表示されます。更新を受け入れるを選択します。

8. 予測コミットの更新を拒否する場合は、拒否を選択して を送信します。

Forecast の更新の拒否とフィードバックの送信ウィンドウが表示されます。拒否の詳細を入力し、拒否を選択して送信します。

9. 予測コミットリクエストを拒否して終了する場合は、拒否を選択して を閉じます。

「Forecast Commit の拒否と終了」ウィンドウが表示されます。詳細を入力し、拒否を選択して を閉じます。

予測コミットの確認と受け入れ

パートナーとして、予測コミットを確認するためのメールが届いています。Eメールのリンクを選択して、リクエストに応答します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N 階層可視性 を選択します。

N-Tier 可視性ページが表示されます。

2. 予測コミット タブを選択します。
3. 「予測コミットのレビュー」では、ステータスに基づいてすべての予測を表示できます。
 - 予測リクエスト – まだレビュー保留中または応答待ちのすべての予測コミットリクエストを表示します。
 - Forecasts Import – インポートされたすべての予測を表示します。
 - Forecasts Export – オフラインで編集するためにエクスポートされるすべての予測を表示します。更新後、変更をインポートし直します。
4. ステータス、リクエスト、またはサイト ドロップダウンを選択して、コラボレーションステータス、リクエスト、またはサイトに基いて予測をフィルタリングします。
5. 「コラボレーションステータスのレビュー」で「予測コミットのレビュー」を選択します。

Forecast のコミットの詳細ページが表示されます。

6. 特定の日付の青いリンクを選択して予測を編集するか、コミットされた予測を一括編集して予測タイムライン全体を編集できます。

数量の編集ページが表示されます。変更ドロップダウンで編集の理由を選択し、数量 の下に数量を入力します。

7. 保存とテスト を選択します。
8. 保存と確認を選択して、予測コミットを受け入れます。
9. 拒否を選択して、予測コミットリクエストを拒否します。

N 階層可視性設定

で予測コミットと発注書の応答設定を更新できますAWS Supply Chain。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、[設定] アイコンをクリックします。

[設定] ページが開きます。

2. 編集する内容に応じて、組織、Forecast コミット、または発注書を選択します。

設定を更新する方法については、「」を参照してください [N-Tier 可視性を初めて使用する](#)。

EDI が有効になっている場合の予測コミットの表示

Note

この設定は、N 階層可視性の設定時に「はい」を選択して EDI 接続設定を使用する場合にのみ表示されます。

予測コミットデータは EDI 形式でのみエクスポートできます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N 階層可視性 を選択します。

N 階層可視性ページが表示されます。

2. 予測コミット タブを選択します。

予測コミットの確認または更新ページが表示されます。

3. Actions ドロップダウンから EDI データのエクスポート を選択します。

予測コミット情報を含む .json ファイルは、ローカルコンピュータにダウンロードされ、Supply Planning のアウトバウンド接続設定の一部として作成された Amazon S3 フォルダにもダウンロードされます。

EDI 形式での発注書の表示

Note

この設定は、N 階層可視性の設定時に「はい」を選択して EDI 接続設定を使用する場合にのみ表示されます。

EDI を通じて受け取った発注書データを表示できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、N-Tier visibility を選択します。

N-Tier 可視性ページが表示されます。

2. 発注書 タブを選択します。

保留中の発注書の確認または更新ページが表示されます。

3. 必要な発注書を選択します。発注書の更新ページが表示されます。

発注書の更新を表示できます。

持続可能性

パートナーを招待するには、AWS Supply Chain データレイクコネクタを使用し、パートナー情報を point-of-contact Amazon S3 またはその他の ERP システムからパートナーまたはパートナーの にマッピングします。パートナー情報データセットをアップロード up-to-date する前に、パートナーリストまたはパートナーに重複する情報が含まれ point-of-contact していないこと、および重複した情報が含まれていることを確認してください。パートナーを手動で追加して招待することもできます。データのアップロード方法の詳細については、「」を参照してください[データレイク](#)。

サステナビリティを使用すると、ネットワークへの招待を承諾したパートナーにデータをリクエストできます。シンプルなレポート機能を使用して、パートナーネットワークにさまざまなタイプのデータをリクエストできます。パートナーにリクエストするデータの種類に関する詳細情報を入力できます。データリクエストへのレスポンスは、毎日午前 9 時に Amazon S3 バケットにダウンロードされます。

トピック

- [サステナビリティを初めて使用する](#)
- [サステナビリティダッシュボード](#)
- [パートナーの招待](#)
- [データリクエスト](#)
- [データリクエストの作成](#)
- [パートナー招待の確認と承諾](#)
- [データリクエストの確認または応答](#)
- [パートナー設定](#)

AWS Supply Chain パートナーの場合は、次のことができます。

1. [パートナー招待の確認と承諾](#)
2. [データリクエストの確認または応答](#)

サステナビリティを初めて使用する

サステナビリティを使用して、サプライヤーに炭素排出量データやその他のコンプライアンスデータをリクエストおよび収集できます。

Note

サステナビリティを初めて使用すると、主要な機能をハイライトしたオンボーディングページを表示できます。これにより、サステナビリティ機能に慣れることができます。

1. AWS Supply Chain ウェブアプリケーションを開きます。
2. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、サステナビリティ を選択します。
3. コンプライアンスとサステナビリティページで、次へ を選択します。

このページを読むと、サステナビリティが提供している内容が理解できます。または、次へを選択してサステナビリティダッシュボードに移動することもできます。

サステナビリティダッシュボード

新しいパートナーを表示または招待できます。

The screenshot displays the AWS Supply Chain Sustainability interface. At the top, the 'Partner Network' tab is active. The 'Getting Started' section outlines a three-step process: Step 1 (Invite partners), Step 2 (Request and receive compliance and sustainability data), and Step 3 (Review partner response). The 'Partner Overview' section provides key metrics for onboarding and data requests. The main table lists 34 partners with various details including contact information and invite status.

Partner name	Partner ID	Supplier DUNS	Open Supplier ID	Contact name	Contact email	Invite date	Portal status
Farmers & Growers	FARM-GROW	128763883	-	amazon testcase	sbjevara+test07654@amazon.com	12/21/2023	Active
Farmers & Growers	FARM-GROW	-	-	djj fdhijkl	sbjevara+test004574@amazon.com	12/21/2023	Invite expired
Partner19	Partner20	-	-	sanjay jevaragi sanju	sbjevara+test0054@amazon.com	12/21/2023	Invite declined
Partner7	Partner8	-	-	vande bharat amazon	sbjevara+test101010@amazon.com	12/20/2023	Invite expired
Partner6	Partner7	-	-	Praveen Kumar	kkumapra+Partner7@amazon.com	12/20/2023	Invite expired
Partner19	Partner20	-	-	Maruti Ambai	ambmarut+test124@amazon.com	12/20/2023	Invite expired
Partner3	Partner3	-	-	san sanju	sbjevara@amazon.com	12/19/2023	Invite expired
Partner12	Partner13	124536545	CN2019067NZ95AM	sanju jevaragi	sbjevara+test90@amazon.com	12/19/2023	Active

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、サステナビリティ を選択します。

サステナビリティページが表示されます。

2. サステナビリティダッシュボードページで、パートナーネットワークタブを選択します。

- 開始方法 — パートナーをネットワークに招待する AWS Supply Chain パートナーを招待することを選択し、パートナーにデータをリクエストするデータリクエストの作成を選択できません。

- パートナーの概要 – オンボーディングメトリクスセクションには、現在オンボーディング中のパートナー、パートナーによる承諾保留中の招待、期限切れの招待、承諾率が表示されます。データリクエストセクションには、データリクエストのステータスなど、パートナーからのデータリクエストの詳細が表示されます。
- パートナー – データレイクを通じてインポートされたパートナーのリストを表示したり、新しいパートナーを招待したりできます。

パートナーでは、検索フィールドを使用して特定のパートナーを検索し、表示ドロップダウンを使用して招待ステータスに基づいてパートナーをフィルタリングできます。

- パートナー名 – パートナー名を表示します。
- パートナー ID – パートナー ID を表示します。ソースシステムへのパートナー ID リンク。
- サプライヤー DUNS – パートナー DUNS を表示します。
- オープンサプライヤー ID – オープンパートナーハブ ID を表示します。
- 連絡先名 – パートナーの連絡先名を表示します。
- 連絡先 E メール – パートナーの連絡先 E メールを表示します。
- 招待日 – パートナーが招待された日付を表示します。
- ポータルステータス – 招待のステータスを表示します。
 - 招待されていません – パートナーはまだ招待されていません。
 - サインアップ保留中 – パートナーは招待されていますが、招待に応答していません。
 - アクティブ – パートナーは招待を受け入れ、アクティブです。データリクエストを受信するには、パートナーがアクティブである必要があります。
 - 招待の有効期限切れ – パートナーは招待を送信されましたが、応答なしで招待の有効期限が切れました。
 - 招待が拒否されました – パートナーは招待を拒否しました。

パートナー名でパートナーを選択すると、パートナーの詳細とパートナーに固有のデータリクエストの詳細を表示できます。

パートナー招待を再送信するには、期限切れのポータルステータスのパートナーを選択し、アクションドロップダウンで招待を再送信を選択します。

パートナーの招待

データセットから AWS Supply Chain ネットワークに新しいパートナーを招待または追加できません。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、**サステナビリティ** を選択します。

サステナビリティページが表示されます。

2. **パートナーネットワークタブ**を選択します。
3. **パートナーネットワークページ**で、**パートナーを招待** を選択します。

パートナーの招待ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Sustainability' dashboard with the 'Invite partners' section active. The left sidebar has a navigation menu. The main content area is titled 'How it will work' and 'Select partners to invite'. Below the title, there is a search bar and a table of partners. The table has columns for Partner name, Country, Partner ID, Contact name, and Contact email. The table lists four partners: Captain Mills, Del Mountain, Farmers & Growers, and Olive Pit. The 'Invite partners' section on the left has a progress indicator with two steps: '1. Select partners' and '2. Review details & send invite'. The 'How it will work' section explains that partners will receive an email to join AWS Supply Chain and will be able to receive data requests. The 'Select partners to invite' section has a search bar and a table of partners. The table has columns for Partner name, Country, Partner ID, Contact name, and Contact email. The table lists four partners: Captain Mills, Del Mountain, Farmers & Growers, and Olive Pit. The 'Invite partners' section on the left has a progress indicator with two steps: '1. Select partners' and '2. Review details & send invite'. The 'How it will work' section explains that partners will receive an email to join AWS Supply Chain and will be able to receive data requests. The 'Select partners to invite' section has a search bar and a table of partners.

4. パートナーを選択して **を招待し**、既存のパートナーを追加するには、**パートナー名** で、リストからパートナーを選択します。
5. 新しいパートナーを追加するには、**新しいパートナーの追加** を選択します。

「新しいパートナーの詳細を入力」ページで、パートナーの詳細とアカウント管理者情報を入力し、「新しいパートナーを追加」を選択します。

6. 招待するパートナーの選択ページには、手動で追加したパートナーが**新しいパートナー**に表示されます。
7. **[Continue] (続行)** をクリックします。

8. 選択したパートナーページで、データセット から選択したパートナー でパートナーの詳細を確認し、招待の送信 を選択します。

Note

新しいパートナーを手動で追加した場合は、新しいパートナー の下に新しいパートナーが表示されます。

データリクエスト

招待を受け入れ、AWS Supply Chain ネットワーク内にあるパートナーにデータをリクエストできます。データをリクエストする前に、パートナー のポータルステータスに Active が表示される必要があります。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、サステナビリティ を選択します。

サステナビリティページが表示されます。

2. データリクエストタブを選択します。

現在のパートナーとデータリクエストのステータスを表示するか、新しいデータリクエストを作成できます。

3. データリクエスト では、パートナーへのデータリクエストの全体的なステータスを表示できます。

- リクエストの合計 — 送信したデータリクエストの合計数を表示します。
- パートナーの合計 — データをリクエストしたサプライヤーの合計数を表示します。
- 進行中 – データリクエストが作成されているか、データプロバイダー (サプライヤー) によって処理されます。
- 送信済み – パートナーに送信されたデータリクエストを表示します。
- リクエストされたやり直し — 拒否してパートナーに返送したデータリクエストレスポンスの数を表示し、レスポンスを編集して再送信します。
- レビュー済み – パートナーがレビューしたデータリクエストの合計数を表示します。
- 拒否 – データリクエストを拒否したパートナーの数を表示します。
- キャンセル済み – 不要なためにキャンセルされたデータリクエストの数を表示します。

4. 検索フィールドを使用してパートナーを検索できます。
5. 表示ドロップダウンを使用して、データリクエストのステータスに応じてパートナーをフィルタリングできます。
6. データリクエストに回答せず、期日が近づいているすべてのパートナーを表示するには、期日リスクを選択します。
7. データリクエストに回答せず、期日を過ぎたすべてのパートナーを表示するには、期限を超過を選択します。
8. パートナーリストから保留中のステータスのパートナーを選択し、アクションドロップダウンを使用してリマインダーを送信できます。

データリクエストの作成

シンプルなレポートテンプレートを使用して、パートナーに任意のタイプのデータをリクエストできます。例えば、製品の冪定性、安全性レポート、製品のラボテスト結果などのコンプライアンス情報をリクエストできます。また、パートナー用に独自のフォームをアップロードして、ダウンロード、情報の更新、およびデータ要求への回答のためのリロードを行うこともできます。

データリクエストを作成するには、次の手順を実行します。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、サステナビリティ を選択します。

サステナビリティページが表示されます。

2. データリクエストタブを選択します。
3. 「データリクエスト」ページで、「データリクエストの作成」を選択します。

データリクエストの作成ページが表示されます。

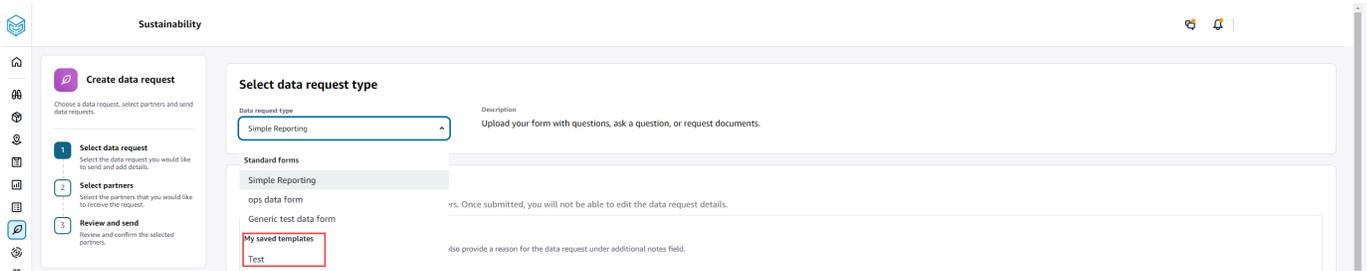
The screenshot shows the 'Create data request' interface. On the left, a sidebar lists three steps: 1. Select data request, 2. Select partners, and 3. Review and send. The main content area is divided into two sections: 'Select data request type' and 'Select data request options'. The 'Select data request type' section has a dropdown menu set to 'Simple Reporting' and a description: 'Upload your form with questions, ask a question, or request documents.' The 'Select data request options' section contains several input fields: 'Data request name', 'Data request description', 'Additional notes (optional)', and 'Data request information' (with a task instructions field). There is also a 'File upload (optional)' section with a drop zone and a 'Select the task input options' section with a checkbox for 'Ask for a text response'. At the bottom right, there are buttons for 'Save template', 'Cancel', and 'Continue'.

4. 「データリクエストの作成」ページの「データリクエストタイプの選択」で、データリクエストタイプを選択します。
5. データリクエストオプションの選択 で、データリクエストの詳細を入力します。
6. 「タスク入力オプションの選択」で、「テキストレスポンスを要求」を選択して、テキストフィールドでデータリクエストレスポンスを受信します。
7. パートナーにデータリクエストにレスポンスファイルをアップロードさせたい場合は、ファイルレスポンスを要求するを選択します。
8. テンプレートの保存 を選択して、入力した詳細を保存し、追加のデータリクエストに対して再度再利用します (データリクエストごとにこれらの変更が行われるため、期限とメモフィールドは保存されません)。

テンプレートの保存ページが表示されます。

9. 新しいテンプレートの名前と説明を入力し、テンプレートの保存 を選択します。テンプレートを検索し、その使用方法を理解し、データをリクエストするために再利用するため、わかりやすい名前と説明を必ず入力してください。

保存済みテンプレート の下に、データリクエストタイプ にリストされているテンプレートが表示されます。



10. 続行 を選択してデータリクエストを送信します。
11. 自分と自分のチーム用に新しいテンプレートのみを作成する場合は、キャンセル を選択します。データ作成リクエストフローはキャンセルされます。
12. データを要求するパートナーの選択ページで、パートナー名 で、データをリクエストするパートナーを選択します。

パートナー名にリストされているパートナーから選択するか、新しいパートナーを招待できます。パートナーを招待する方法については、「」を参照してください [パートナーの招待](#)。

13. 選択したパートナー で、パートナーの詳細を確認し、リクエストの送信 を選択します。

招待されたパートナーは、データを要求する招待メールを受け取ります。

データリクエストの例

ニーズに合わせて Simple Reporting データフォームを構築する方法の例をいくつか紹介します。

パートナーからコンプライアンスドキュメントを収集する

パートナーからコンプライアンスドキュメントを収集するには、以下を実行します。

- データリクエスト名 – 2023 年第 Q1 のサンプルコンプライアンスドキュメント収集
- その他の注意事項 — お客様から購入する製品の [ドキュメント収集の目的] に必要な 2023 年 Q1 四半期のコンプライアンスドキュメントを満たすために、サプライヤーから [ドキュメント名] を収集しています。
- タスク手順 – 2023 年 Q1 四半期に購入した製品の [ドキュメント名] をアップロードしてください。このドキュメントの情報は、お客様が確認できるようにアップロードしたリファレンスドキュメントと類似している必要があります。Task Response フィールドに、提供されたドキュメントに関するコメントを入力します。
- テキストレスポンスを要求する – このフィールドを必須にするには、いいえを選択します。
- ファイル応答をリクエストする – はい を選択して、このフィールドを必須にします。

Select data request options

Enter the data request details to share with the partners. Once submitted, you will not be able to edit the data request details.

Simple Reporting
Enter a name and due date for the data request. You can also provide a reason for the data request under additional notes field.

Data request name: Due date:

Additional notes (optional): 249/255

Data request information
Enter specific questions or instructions on your data request. You can upload a file to provide or ask specific information.

Task instructions: 251/255

File upload (optional):  Upload Successful File size: 14 KB

Select the task input options

Ask for a text response
Partners will have the ability to type the answer in an input field.
Mandatory/required field?
 Yes No

Ask for a file response
Partners will have the ability to upload a file.
Mandatory/required field?
 Yes No

排出量ドキュメントの収集

排出量情報を収集するには、次の操作を行います。

- データリクエスト名 – 2023 年エミッションコレクション
- その他の注意事項 — 「Climate Pledge」の目標を達成するために、排出量データを収集し、カーボンフットプリントを理解するために必要な情報を取得しています。お客様が提供するサービスに関する炭素データを当社に提供することは、当社の炭素排出量を完全に開示するために必要です。
- タスク手順 – 提供されたエミッションフォームをダウンロードし、フォーム内の質問に回答して、完了したらアップロードしてください。必ず 2023 年の排出量情報のみを入力し、フォームに署名してください。
- テキストレスポンスを要求する – 選択されていません
- ファイル応答をリクエストする - はい を選択して、このフィールドを必須にします。

Select data request options

Enter the data request details to share with the partners. Once submitted, you will not be able to edit the data request details.

Simple Reporting

Enter a name and due date for the data request. You can also provide a reason for the data request under additional notes field.

Data request name	2023 Emissions Collection	Due date	01/27/2024
Additional notes (optional)			
To achieve our Climate Pledge Goals, we are collecting emissions data so that understand our carbon footprint. Providing us with carbon data on the services your provide are needed for us to fully disclose our carbon emission.			

Data request information

Enter specific questions or instructions on your data request. You can upload a file to provide or ask specific information.

Task instructions

Please download the provided Emissions form, answer the questions in the form, and upload it when complete. Please ensure that you are only providing emissions information for the year 2023 and ensure that the form is signed.

File upload (optional)



Select the task input options

- Ask for a text response
Partners will have the ability to type the answer in an input field.
- Mandatory/required field?
 Yes No
- Ask for a file response
Partners will have the ability to upload a file.
- Mandatory/required field?
 Yes No

パイロット版の データを収集する

パイロット版の データを収集するには、以下を実行します。

- データリクエスト名 – 「Kubernetes パイロットアンケート V1」
- その他の注意事項 — 「Kubernetes アンケート」のパイロット版に同意いただき、ありがとうございます。来年第 Q2には、コンプライアンス要件を満たすために、環境指標と社会指標への影響を公開する必要があります。レポートを完了するために、お客様からの情報が必要です。
- タスク手順 – 提供されたアンケートをダウンロードし、フォームで質問に回答し、完了したらアップロードします。タスクレスポンスボックスに、アンケートの完了にかかった時間を示します。
- テキストレスポンスを要求する – はい を選択して、このフィールドを必須にします。
- ファイル応答をリクエストする – はい を選択して、このフィールドを必須にします。

Simple Reporting

Enter a name and due date for the data request. You can also provide a reason for the data request under additional notes field.

Data request name

ESG Pilot Questionnaire V1

Due date

01/27/2024

Additional notes (optional)

Thank you for agreeing to pilot our ESG questionnaire. In Q2 next year we will need to disclose our impact on environmental and social indicators to meet compliance requirements. We will need information from you so that we can complete our report.

248/255

Data request information

Enter specific questions or instructions on your data request. You can upload a file to provide or ask specific information.

Task instructions

Please download the provided questionnaire, answer the questions in the form, and upload it when complete. Please indicate in the task response box how much time it took you to complete the questionnaire.

204/255

File upload (optional)

**Select the task input options** Ask for a text response

Partners will have the ability to type the answer in an input field.

Mandatory/required field?

 Yes No Ask for a file response

Partners will have the ability to upload a file.

Mandatory/required field?

 Yes No

パートナー招待の確認と承諾

パートナーとして、AWS Supply Chain ネットワークに参加するための E メールが届いているはずです。Eメールのリンクを選択して、招待を確認して承諾します。

Note

招待を初めて受け入れる場合は、主要な機能をハイライトしたオンボーディングページを表示できます。これにより、AWS Supply Chain 機能に慣れることができます。

1. AWS Supply Chain ログインページで、パートナーの E メールアドレスであるユーザー名を入力します。

参加の招待を受け取ったのと同じ E メールに検証コードが送信されます。

2. 追加の検証が必要ページで、検証コードの下に、Eメールから検証コードを入力します。

Note

同じコンピュータを使用して にログインする場合 AWS Supply Chain、検証コードを使用して AWS Supply Chain に初めてアクセスした後、次回は検証コード AWS Supply Chain なしでアクセスするコンピュータ上の信頼できるデバイスを選択します。

3. 「パスワードの選択」ページで、 にサインインするためのパスワードを作成します AWS Supply Chain。
4. ユーザープロフィールの完了ページで、名と姓が自動的に入力されます。タイトルとタイムゾーンを入力します。
5. [次へ] をクリックします。
6. Let's add your organization's information ページで、Upload logo を選択して組織のロゴをアップロードし、Organization name を入力します。
7. セットアップの完了 を選択します。

サステナビリティページが表示されます。

8. サステナビリティページの パートナーネットワーク で、受け取ったすべての招待を表示できます。
9. パートナーを確認して選択し、招待を承諾または拒否します。

サステナビリティページにパートナーの詳細が表示されます。

10. 接続を受け入れる を選択します。招待が承諾されたメッセージが表示されます。

Note

招待を拒否する場合は、接続の招待を拒否するページで理由を入力する必要があります。

データリクエストの確認または応答

過去 24 時間以内にデータリクエストを受け取った場合は、毎日ダイジェストが届きます。E メール内のリンクを選択すると、新しいデータリクエストが表示されます。

Sustainability

Emissions Project Reporting

Requester	Status	Requested	Due date	Submitted date	Submitted by
Amazon	■ Rework required	1/2/2024	1/31/2024	1/2/2024	Cole flipper

Please complete the following sections

Request Information

Simple request for file based data

Request description

Please provide information as requested.

Additional notes

We would like to work with you on your climate projects in 2024

Reworking

Rejection reason	Rejection date
Artifact is not valid	1/4/2024

Rejection details
rewere

[Download](#) [Decline](#) [Submit](#) [← Back](#) [Next section →](#)

1. サステナビリティページの「データリクエスト」の下に、パートナーからのすべてのデータリクエストが表示されます。
2. タイトルで、表示またはアクションを実行するデータリクエストを選択します。
3. サステナビリティページの以下のセクションに進んで、必要な情報を確認して入力してください。
4. 「レスポンスの送信」を選択します。
5. データリクエストのダウンロードを選択できます。ダウンロードオプションは、パートナーがリクエストしたテンプレートをダウンロードします。
6. また、拒否を選択してデータリクエストに回答することもできます。回答を拒否する理由を入力するように求められます。

パートナー設定

アカウントのセキュリティを強化するには、多要素認証を使用できます。

1. AWS Supply Chain ダッシュボードの左側のナビゲーションペインで、設定アイコンを選択します。

[設定] ページが開きます。

2. [アカウントプロフィール] をクリックします。
3. 「多要素認証」で、「多要素認証セットアップ」を選択します。

AWS Access Portal にリダイレクトされます。AWS Access Portal の詳細については、「[アクセスポータルの使用 AWS](#)」を参照してください。

で使用されるデータエンティティと列 AWS Supply Chain

この章では、各 AWS Supply Chain モジュールでサポートされているデータエンティティと列について説明します。

トピック

- [持続可能性](#)
- [N 階層の可視性](#)
- [供給計画](#)
- [インサイト](#)
- [Work Order Insights](#)
- [Demand Planning](#)

持続可能性

以下の表は、サステナビリティがパートナーの招待とオンボーディングに使用するデータエンティティと列の一覧です。

Note

表の読み方:

- 必須 – この列名はデータセットに必須であり、列名に値を入力する必要があります。
- オプション – 列名は省略可能です。機能の出力を向上するには、列名と値を追加することをお勧めします。
- 必須でない – データの入力は必須ではありません。

データエンティティ	列	列はサステナビリティで使用されていますか？
trading_partner	id	必須
	tpartner_type	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む

データエンティティ	列	列はサステナビリティで使用されていますか？
		<p>場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>
	geo_id	<p>必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>
	eff_end_date	<p>必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。</p>

データエンティティ	列	列はサステナビリティで使用されていますか？
	eff_start_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。
trading_partner_poc	tpartner_id	必須
	email	必須

N 階層の可視性

次の表は、N 階層可視性で使用されるデータエンティティと列の一覧です。

Note

表の読み方:

- 必須 – この列名はデータセットに必須であり、列名に値を入力する必要があります。
- オプション – 列名は省略可能です。機能の出力を向上するには、列名と値を追加することをお勧めします。
- 必須でない – データの入力は必須ではありません。

データエンティティ	列	列は N 階層可視性で使用されていますか？
trading_partner	id	必要
	説明	オプションです。

データエンティティ	列	列は N 階層可視性で使用されていますか？
	company_id	オプションです。
	tpartner_type	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
	geo_id	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	列は N 階層可視性で使用されていますか？
	eff_end_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。
	eff_start_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。
trading_partner_poc	tpartner_id	必須
	email	必須
product	id	必須 — データエンティティはオプションですが、ID を使用してパートナーネットワークビューを生成します。
product_hierarchy	id	
site	id	
sourcing_rules	sourcing_rule_id	必須 — データエンティティはオプションですが、sourcing_rule_id を使用してパートナーネットワークビューを生成します。

供給計画

以下の表は、Supply Planning で使用されるデータエンティティと列の一覧です。

Note

表の読み方:

- 必須 – この列名はデータセットに必須であり、列名に値を入力する必要があります。
- オプション – 列名は省略可能です。機能の出力を向上するには、列名と値を追加することをお勧めします。
- 必須でない – データの入力は必須ではありません。

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
site	id	必須	必要
	説明	必須	必須
	geo_id	必須 - このフィールドがないと、フィルターは地域、国、州、郵便番号などのカテゴリ別にサイトをグループ化できません。	必須 - このフィールドがないと、フィルターは地域、国、州、郵便番号などのカテゴリ別にサイトをグループ化できません。
	site_type	該当なし	該当なし
	company_id	オプションです。	オプションです。
	latitude	該当なし	該当なし
	longitude	該当なし	該当なし

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	is_active	必須 - サイトを計画対 象として考慮する必 要があるかどうかを 識別します。サイトを 考慮するべきでない 場合は、値を False に設定します。フィ ールドを空白または null のままにすると、 サイトが考慮されま す。	必須 - サイトを計画対 象として考慮する必 要があるかどうかを 識別します。サイトを 考慮するべきでない 場合は、値を False に設定します。フィ ールドを空白または null のままにすると、 サイトが考慮されま す。
	open_date	該当なし	該当なし
	end_date	該当なし	該当なし
transportation_lane	id	必須	必須
	from_site_id	必須	必須
	to_site_id	必須	必須
	product_group_id	必須	必須
	transit_time	必須	必須
	time_uom	必須 - サポートされて いる値には日が含ま れます。	必須 - サポートされて いる値には日が含ま れます。
	distance	不要	不要
	distance_uom	不要	不要
	eff_start_date	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	eff_end_date	オプションです。	オプションです。
	product_id	オプションです。	オプションです。
	emissions_per_unit	不要	不要
	emissions_per_weight	不要	不要
	company_id	オプションです。	オプションです。
	from_geo_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	to_geo_id	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	carrier_tpartner_id	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	service_type	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	trans_mode	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
	cost_per_unit	オプションです。	オプションです。
	cost_currency	オプションです。	オプションです。
product	id	必須	必要
	説明	必須	必須
	product_group_id	必須 - このフィールドがないと、フィルターは乳製品、衣類などの製品カテゴリ別にグループ化できません。	必須 - このフィールドがないと、フィルターは乳製品、衣類などの製品カテゴリ別にグループ化できません。

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	is_deleted	必須 - 製品を計画対象として考慮する必要があるかどうかを示します。フィールドを False に設定してこの製品を考慮し、True に設定して製品を考慮しません。このフィールドを空白または null のままにすると、値はデフォルトで True になります。	必須 - 製品を計画対象として考慮する必要があるかどうかを示します。フィールドを False に設定してこの製品を考慮し、True に設定して製品を考慮しません。このフィールドを空白または null のままにすると、値はデフォルトで True になります。
	product_type	不要	不要
	parent_product_id	オプションです。	オプションです。
	base_uom	オプションです。	オプションです。
	unit_cost	オプションです。	オプションです。
	unit_price	オプションです。	オプションです。
product_hierarchy	id	必須	必要
	説明	必須 - このフィールドは、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別にグループ化するフィルターによって使用されます。	必須 - このフィールドは、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別にグループ化するフィルターによって使用されます。

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	parent_product_group_id	オプション — このフィールドは、乳製品、完全脱瘦などの複数の製品カテゴリ階層をサポートするためにフィルターによって使用されます。	オプション — このフィールドは、乳製品、完全脱瘦などの複数の製品カテゴリ階層をサポートするためにフィルターによって使用されます。
geography	id	必須	必要
	説明	必須	必須
	parent_geo_id	オプション — このフィールドは、米国 → 米国東部などの複数のロケーション階層をサポートするためにフィルターによって使用されます。	オプション — このフィールドは、米国 → 米国東部などの複数のロケーション階層をサポートするためにフィルターによって使用されます。
trading_partner	id	必須	必要
	説明	オプションです。	オプションです。
	country	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	eff_start_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date へ の値の入力が必須 。値がない場合は、 eff_start_date に は 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_ date には 9999-12-3 1 23:59:59 を入力 する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date へ の値の入力が必須 。値がない場合は、 eff_start_date に は 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_ date には 9999-12-3 1 23:59:59 を入力 する。
	eff_end_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date へ の値の入力が必須 。値がない場合は、 eff_start_date に は 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_ date には 9999-12-3 1 23:59:59 を入力 する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date へ の値の入力が必須 。値がない場合は、 eff_start_date に は 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_ date には 9999-12-3 1 23:59:59 を入力 する。
	time_zone	オプションです。	オプションです。
	is_active	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	tpartner_type	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	geo_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
inbound_order	id	必須	必須
	order_type	必須	必須
	order_status	不要	不要
	to_site_id	不要	不要
	submitted_date	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	tpartner_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
inbound_order_line	id	必須	必須
	order_id	必須	必須
	order_type	必須	必須
	status	不要	不要
	product_id	必須	必須
	to_site_id	必須	必須
	from_site_id	不要	不要

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	quantity_submitted	必須 — 数量フィールドを1つ設定する必要があります。	必須 — 数量フィールドを1つ設定する必要があります。
	quantity_confirmed	オプション — 数量フィールドを1つ設定する必要があります。	オプション — 数量フィールドを1つ設定する必要があります。
	quantity_received	オプション — 数量フィールドを1つ設定する必要があります。	オプション — 数量フィールドを1つ設定する必要があります。
	expected_delivery_date	必須	必須
	submitted_date	不要	不要
	incoterm	不要	不要
	company_id	オプションです。	オプションです。
	tpartner_id	必須 — このフィールドは取り込みを成功させるために必要です。	必須 — このフィールドは取り込みを成功させるために必要です。
	quantity_uom	不要	不要
	reservation_id	不要	不要

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	reference_object_type	オプション — この フィールドは、発 注書リクエストを 発注書に関連付けて 、ERP の計画から PO への変換を追跡す るために使用されま す。	オプション — この フィールドは、発 注書リクエストを 発注書に関連付けて 、ERP の計画から PO への変換を追跡す るために使用されま す。
	reference_object_id	オプション — この フィールドは、発 注書リクエストを 発注書に関連付けて 、ERP の計画から PO への変換を追跡す るために使用されま す。	オプション — この フィールドは、発 注書リクエストを 発注書に関連付けて 、ERP の計画から PO への変換を追跡す るために使用されま す。
inv_polic y	site_id	必須	必須
	id	必須	必須
	product_id	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。
	product_group_id	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。
	eff_start_date	必須	必須

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	eff_end_date	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。
	ss_policy	必須 – このフィー ルドで指定できる 値は、abs_level、d oc_dem、doc_fcst、sl です。	必須 – このフィー ルドで指定できる 値は、abs_level、d oc_dem、doc_fcst、sl です。
	target_inventory_qty	必須 – ss_policy が abs_level に設定され ている場合は、この フィールドは必須で す。	必須 – ss_policy が abs_level に設定され ている場合は、この フィールドは必須で す。
	target_doc_limit	必須 – ss_policy が doc_dem または doc_fcst に設定され ている場合は、この フィールドは必須で す。	必須 – ss_policy が doc_dem または doc_fcst に設定され ている場合は、この フィールドは必須で す。
	target_sl	必須 – ss_policy が sl に設定されている場 合は、このフィール ドは必須です。	必須 – ss_policy が sl に設定されている場 合は、このフィール ドは必須です。
sourcing_ rules	sourcing_rule_id	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	product_id	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。
	product_group_id	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。	オプション — product_id または product_group_id のい ずれかが必要です。
	from_site_id	オプション — こ のフィールドは sourcing_rule タイプ の転送に必要です。	オプション — こ のフィールドは sourcing_rule タイプ の転送に必要です。
	to_site_id	必須	必須
	sourcing_rule_type	必須 — このフィー ルドで指定できる値 は、移管、購入、製 造です。	必須 — このフィー ルドで指定できる値 は、移管、購入、製 造です。
	tpartner_id	オプション — こ のフィールドは、 sourcing_rule タイプ の購入に必要です。	オプション — こ のフィールドは、 sourcing_rule タイプ の購入に必要です。
	transportation_lane_id	オプション — こ のフィールドは sourcing_rule タイプ の転送に必要です。	オプション — こ のフィールドは sourcing_rule タイプ の転送に必要です。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	production_process_id	オプション — このフィールドは sourcing_rule タイプの製造に必要です。	オプション — このフィールドは sourcing_rule タイプの製造に必要です。
	sourcing_priority	オプションです。	オプションです。
	min_qty	オプションです。	オプションです。
	max_qty	オプションです。	オプションです。
	qty_multiple	オプションです。	オプションです。
	eff_start_date	必須	必須
	eff_end_date	必須	必須

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
<p>Note</p> <p>このデータエンティティはオプションです。</p>	sourcing_schedule	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。
	tpartner_id	オプション — このフィールドは schedule_type に必要です InboundOrdering。	オプション — このフィールドは schedule_type に必要です InboundOrdering。
	status	必須	必須
	from_site_id	オプション — このフィールドは schedule_type に必要です OutboundShipping。	オプション — このフィールドは schedule_type に必要です OutboundShipping。
	to_site_id	必須	必須
	schedule_type	必須 — このフィールドで指定できる値は InboundOrdering および OutboundShipping です。	必須 — このフィールドで指定できる値は InboundOrdering および OutboundShipping です。
	eff_start_date	必須	必須
	eff_end_date	必須	必須

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
sourcing_schedule_details	sourcing_schedule_detail_id	必須	必須
	sourcing_schedule_id	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。
	product_id	オプション — product_id または product_group_id のいずれかが必要です。	オプション — product_id または product_group_id のいずれかが必要です。
	product_group_id	オプション — product_id または product_group_id のいずれかが必要です。	オプション — product_id または product_group_id のいずれかが必要です。
	day_of_week	オプションです。	オプションです。
	week_of_month	オプションです。	オプションです。
	time_of_day	オプションです。	オプションです。
	date	オプションです。	オプションです。
product_bom	id	不要	必須
	product_id	不要	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。
	site_id	不要	必須
	production_process_id	不要	必須
	component_product_id	不要	必須

Note
このデータエンティティはオプションです。

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	component_quantity_per	不要	必須
	assembly_cost	不要	オプションです。
	assembly_cost_uom	不要	オプションです。
	priority	不要	オプションです。
	eff_start_date	不要	必須
	eff_end_date	不要	必須
production_process	production_process_id	不要	必須
	production_process_name	不要	オプションです。
	product_id	不要	必須
	site_id	不要	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。
	setup_time	不要	オプションです。
	setup_time_uom	不要	オプションです。
	operation_time	不要	オプションです。
	operation_time_uom	不要	オプションです。
inv_level	snapshot_date	必須	必須
	site_id	必須	必須
	product_id	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	on_hand_inventory	必須	必須
	allocated_inventory	不要	不要
	bound_inventory	不要	不要
	lot_number	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
	expiry_date	不要	不要
forecast	site_id	必須	必須
	product_id	必須	必須
	mean	オプションです。	オプションです。
	p10	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	p50	オプションです。	オプションです。
	p90	オプションです。	オプションです。
	forecast_start_dttm	必須	必須
	forecast_end_dttm	必須	必須
	snapshot_date	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	region_id	<p>必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	product_group_id	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
vendor_product	company_id	オプションです。	オプションです。
	vendor_tpartner_id	必須	必須
	product_id	必須	必須
	eff_start_date	必須	必須
	eff_end_date	必須	必須
vendor_lead_time	company_id	オプションです。	オプションです。
	vendor_tpartner_id	必須	必須
	product_id	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	site_id	必須	必須
	planned_lead_time	必須	必須
	eff_start_date	必須	必須
	eff_end_date	必須	必須
	product_group_id	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	region_id	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須 – SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。
outbound_order_line	id	必須 — このフィールドによってアウトバウンド出荷 ID が決まります。	必須 — このフィールドによってアウトバウンド出荷 ID が決まります。
	product_id	必須 – このフィールドによって、出荷される製品の ID が決まります。	必須 – このフィールドによって、出荷される製品の ID が決まります。
	cust_order_id	必須 – このフィールドはアウトバウンド注文の ID を決定します。	必須 – このフィールドはアウトバウンド注文の ID を決定します。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	ship_from_site_id	必須 – このフィー ルドは、製品ユニッ トがリクエストされ るサイトを決定しま す。	必須 – このフィー ルドは、製品ユニッ トがリクエストされ るサイトを決定しま す。
	ship_to_site_id	不要	不要
	init_quantity_requested	オプション – この フィールドは、キャン セルおよび変更後 の最終的な数量を決 定します。	オプション – この フィールドは、キャン セルおよび変更後 の最終的な数量を決 定します。
	quantity_promised	オプションです。	オプションです。
	quantity_delivered	オプション – この フィールドには、実 際の配送数量が表示 されます。	オプション – この フィールドには、実 際の配送数量が表示 されます。
	status	オプション – この フィールドは、注文 明細のステータス、 つまりキャンセル、 オープン、クローズ などを決定します。	オプション – この フィールドは、注文 明細のステータス、 つまりキャンセル、 オープン、クローズ などを決定します。
	requested_delivery_date	必須	必須
	promised_delivery_date	オプションです。	オプションです。
	actual_delivery_date	オプションです。	オプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
セグメン テーショ ン	segment_id	必須	必須
	creation_date	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。
	site_id	必須	必須
	product_id	必須	必須
	segment_description	オプションです。	オプションです。
	segment_type	オプションです。	オプションです。
	segment_value	オプションです。	オプションです。
	ソース	オプションです。	オプションです。
	eff_start_date	必須	必須
	eff_end_date	必須	必須

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
<u>会社</u>	id	必須	必要
	説明	オプションです。	オプションです。
	address_1	オプションです。	オプションです。
	address_2	オプションです。	オプションです。
	address_3	オプションです。	オプションです。
	city	オプションです。	オプションです。
	state_prov	オプションです。	オプションです。
	postal_code	オプションです。	オプションです。
	country	オプションです。	オプションです。
	phone_number	オプションです。	オプションです。
	time_zone	オプションです。	オプションです。
calendar_id	オプションです。	オプションです。	
<u>shipment</u>	id	必須	該当なし
	ship_to_site_id	必須	該当なし
	product_id	必須	該当なし
	ship_from_site_id	必須 – Supply Planning は ship_from_site_id または supplier_tpartner_id の値を使用できません。	該当なし

Note

このデータエンティティはオプションです。

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	supplier_tpartner_id	必須 — Supply Planning は ship_from_site_id または supplier_tpartner_id の値を使用できます。	該当なし
	order_type	必須	該当なし
	units_shipped	必須	該当なし
	planned_delivery_date	必須 — Supply Planning は、planned_delivery_date、actual_delivery_date、または carrier_eta_date の値を使用できます。	該当なし
	actual_delivery_date		
	carrier_eta_date		
	planned_ship_date	必須 — Supply Planning は planned_ship_date の値、または actual_ship_date の値を使用できます。	該当なし
	actual_ship_date		
	creation_date	オプションです。	該当なし
	shipment_status	オプションです。	該当なし

データエ ンティ ティ	列	列は自動補充に使用 されますか？	列は製造計画に使用 されますか？
	order_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合は、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用して取り込みを正常に実行する必要があります。	該当なし
	order_line_id		
	package_id		
???	id	必須	該当なし
	lot_qty	必須	該当なし
	expiry_date	オプションです。	該当なし
	shipment_id	必須	該当なし

データエンティティ	列	列は自動補充に使用されますか？	列は製造計画に使用されますか？
	product_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合は、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用して取り込みを正常に実行する必要があります。	該当なし
	tpartner_id		
	order_id		
	order_line_id		
	package_id		

インサイト

以下の表は、Insights で使用されるデータエンティティと列の一覧です。

Note

表の読み方:

- 必須 – この列名はデータセットに必須であり、列名に値を入力する必要があります。
- オプション – 列名は省略可能です。機能の出力を向上するには、列名と値を追加することをお勧めします。
- 必須でない – データの入力は必須ではありません。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
site	id	必須	必須	必須	必須	必要
	説明	必須	必須	必須	必須	オプション です。
	geo_id	必須 – こ のフィール ドは、リー ジョン/国/ 都道府県な どの地理的 グループで サイトを グループ化 するフィ ルターで必 要。	必須 – こ のフィール ドは、リー ジョン/国/ 都道府県な どの地理的 グループで サイトを グループ化 するフィ ルターで必 要。	必須 – こ のフィール ドは、リー ジョン/国/ 都道府県な どの地理的 グループで サイトを グループ化 するフィ ルターで必 要。	必須	必須 – こ のフィール ドは、リー ジョン/国/ 都道府県な どの地理的 グループで サイトを グループ化 するフィ ルターで必 要。
	site_type	オプション – この 列に値を 入力する と、RDC、C C、製造サ イトなどの サイトタイ プが在庫の 可視性ペー ジに表示さ れる。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	company_id	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	company_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	latitude	オプションです。	必須 – このフィールドは、サイトをネットワークマップページに表示するために使用される。	オプションです。	オプションです。	列名の緯度は、データセットで利用できる必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	longitude	オプションです。	必須 - このフィールドは、サイトをネットワークマップページに表示するために使用される。	オプションです。	オプションです。	列名の経度は、データセットで利用できる必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	is_active	必須 – Insights の 計算の対象 としてこの サイトを検 討する必要 があるかど うかを識別 する。注: サイトを Insights の 計算から 除外する 場合は、こ の列の値 を False に 設定する。 この列が空 白または NULL の場 合、サイト はアクティ ブと見なさ れる。				

データエントリ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	open_date	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	open_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	end_date	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	end_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
transp ation_ e	id	不要	不要	不要	必須	必須

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	from_site_id	不要	不要	不要	必須	必須。SAP または EDI からデータ を取り込む 場合、文字 列のデフォ ルト値は SCN_RESER VED_NO_VA LUE_PROVI DED で す。Amazon S3 コネク タを使用し てデータを アップロー ドする場 合、データ 取り込みを 正常に行 うには、値 を入力する か、SCN_RE SERVED_NO _VALUE_PR OVIDED を 使用する必 要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	to_site_id	不要	不要	不要	必須	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエントリ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	product_group_id	不要	不要	不要	必須	product_group_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	transit_time	不要	不要	不要	必須	transit_time という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	time_uom	不要	不要	不要	必須 – 日または日を単位としてサポートしません。	time_uom という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	distance	不要	不要	不要	必須	distance という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	distance_uom	不要	不要	不要	必須 — mile (s)、km (s)、または Kil Meter (s) を単位としてサポートします。	distance_uom という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	eff_start_date	不要	不要	不要	オプションです。	eff_start_date という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエントリ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	eff_end_date	不要	不要	不要	オプションです。	eff_end_date という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	product_id	不要	不要	不要	オプション — product_id または product-group-id のいずれかが必要です。経路が製品にリンクされている場合、このフィールドは必須です。	product_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	emissions _per_unit	不要	不要	不要	オプション です。	emissions _per_unit という列名 がデータ セットに提 供されて いる。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	emissions _per_weight	不要	不要	不要	オプション です。	emissions _per_unit という列名 がデータ セットに提 供されて いる。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	company_id	不要	不要	不要	オプションです。	company_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	from_geo_id	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	to_geo_id	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータ を取り込む 場合、文字 列のデフォ ルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVI DED で す。Amazon S3 コネク タを使用し てデータを アップロー ドする場 合、データ 取り込みを 正常に行 うには、値 を入力する か、SCN_RE SERVED_NC _VALUE_PR OVIDED を 使用する必 要がある。	必須。SAP または EDI からデータ を取り込む 場合、文字 列のデフォ ルト値は SCN_RESER VED_NO_VA LUE_PROVI DED で す。Amazon S3 コネク タを使用し てデータを アップロー ドする場 合、データ 取り込みを 正常に行 うには、値 を入力する か、SCN_RE SERVED_NO _VALUE_PR OVIDED を 使用する必 要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	carrier_tpartner_id	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	service_type	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータ を取り込む 場合、文字 列のデフォ ルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVI DED で す。Amazon S3 コネク タを使用し てデータを アップロー ドする場 合、データ 取り込みを 正常に行 うには、値 を入力する か、SCN_RE SERVED_NC _VALUE_PR OVIDED を 使用する必 要がある。	必須。SAP または EDI からデータ を取り込む 場合、文字 列のデフォ ルト値は SCN_RESER VED_NO_VA LUE_PROVI DED で す。Amazon S3 コネク タを使用し てデータを アップロー ドする場 合、データ 取り込みを 正常に行 うには、値 を入力する か、SCN_RE SERVED_NO _VALUE_PR OVIDED を 使用する必 要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	trans_mode	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	cost_per_unit	不要	不要	不要	オプション — 再調整 のレコメン デーション 中に、配送 コスト単位 を経路ごと に表示でき ます。	cost_per_unit という列 名がデータ セットに含 まれている 必要があり ます。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	cost_currency	不要	不要	不要	オプション — 再調整 のレコメン デーション 中に、配送 コスト単位 を経路ごと に表示でき ます。	cost_currency という列 名がデータ セットに含 まれている 必要があり ます。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	productid	必須	必須	必須	必須	必要
	説明	必須	必須	必須	必須	必須

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	product_group_id	必須 – このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループ化できる。	必須 – このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループ化できる。	必須 – このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループ化できる。	必須	必須 – このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループ化できる。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	is_deleted	<p>必須 – Insights の計算の対象としてこの製品を検討する必要があるかどうかを識別する。注: 製品を Insights の計算から除外する場合は、この列の値を True に設定する。Insights の計算に含める場合は、False に設定する。列が空白または NULL のままの場合、システムはデフォルト</p>	<p>必須 – Insights の計算の対象としてこの製品を検討する必要があるかどうかを識別する。注: 製品を Insights の計算から除外する場合は、この列の値を True に設定する。Insights の計算に含める場合は、False に設定する。列が空白または NULL のままの場合、システムはデフォルト</p>	<p>必須 – Insights の計算の対象としてこの製品を検討する必要があるかどうかを識別する。注: 製品を Insights の計算から除外する場合は、この列の値を True に設定する。Insights の計算に含める場合は、False に設定する。列が空白または NULL のままの場合、システムはデフォルト</p>	<p>必須 – Insights の計算の対象としてこの製品を検討する必要があるかどうかを識別する。注: 製品を Insights の計算から除外する場合は、この列の値を True に設定する。Insights の計算に含める場合は、False に設定する。列が空白または NULL のままの場合、システムはデフォルト</p>	<p>必須 – Insights の計算の対象としてこの製品を検討する必要があるかどうかを識別する。注: 製品を Insights の計算から除外する場合は、この列の値を True に設定する。Insights の計算に含める場合は、False に設定する。列が空白または NULL のままの場合、システムはデフォルト</p>

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
		値の True と見なす。				
	product_type	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	product_type という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	parent_product_id	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	オプション—このフィールドは、計画製品やフルフィルムメント製品など、複数の製品レベルをサポートするために必要です。	parent_product_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	base_uom	オプション — Insights が特定の製品のデフォルトのベース uom を計算するには、このフィールドが必要です。	base_uom という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			
producthierarchy	説明	必須 必須 — このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループでフィルタリングできる。	必須 必須 — このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループでフィルタリングできる。	必須 必須 — このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループでフィルタリングできる。	必須 必須 — このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループでフィルタリングできる。	必要 必須 — このフィールドを使用すると、乳製品、衣類などの製品カテゴリ別に製品をグループでフィルタリングできる。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	parent_product_group_id	オプション - このフィールドは、乳製品、冷凍乳製品、生鮮乳製品などの複数の製品階層カテゴリをサポートするためにフィルターが使用される。	オプション - このフィールドは、乳製品、冷凍乳製品、生鮮乳製品などの複数の製品階層カテゴリをサポートするためにフィルターが使用される。	オプション - このフィールドは、乳製品、冷凍乳製品、生鮮乳製品などの複数の製品階層カテゴリをサポートするためにフィルターが使用される。	parent_product_group_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプション - このフィールドは、乳製品、冷凍乳製品、生鮮乳製品などの複数の製品階層カテゴリをサポートするためにフィルターが使用される。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
<p>product_uom</p> <p>Note このデータエンティティはオプション説明です。</p> <p>数量製品 uom 変換</p>	product_uom_id	必須 - このフィールドは、製品 uom 変換を実行するために必要です。	不要			
	product_id	必須	必須	必須	必須	不要
	uom	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	不要
	説明	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要
	数量製品 uom 変換	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	不要
	quantity_uom	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	不要

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
は	eff_start_date product- u	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要
	eff_end_date 、 uom_conve nion	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要
	company_id	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	<u>uom_conversion</u>	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	必須 - このフィールドは単位からの変換に必要です。	不要
<p>Note</p> <p>この company_id データ エンティティはオプション</p>	company_id	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要
	conversion_uom_id	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	必須 - このフィールドは単位に変換するために必要です。	不要
	conversion_factor	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	必須 - このフィールドには変換係数が含まれます。	不要

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	geography	必須	必須	必須	必須	必要
	説明	必須	必須	必須	必須	必須

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	parent_geo_id	オプション – このフィールドは、米国、米国東部などの複数のロケーション階層をサポートするために使用される。	必須 – このフィールドは、米国、米国東部などの複数のロケーション階層をサポートするために使用される。	オプション です。	オプション です。	必須 – このフィールドは、米国、米国東部などの複数のロケーション階層をサポートするために使用される。
tradingip artner		必須	必須	必須	必須	必要
	説明	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	必須
	country	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	eff_start_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必要。値がな い場合は、eff_start _date には 1900-01-01 00:00:00、 date には 9999-12-31 23:59:59 を入力す る。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必要。値がな い場合は、eff_start _date には 1900-01-01 00:00:00、 date には 9999-12-31 23:59:59 を入力す る。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必要。値がな い場合は、eff_start _date には 1900-01-01 00:00:00、 date には 9999-12-31 23:59:59 を入力す る。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必要。値がな い場合は、eff_start _date には 1900-01-01 00:00:00、 date には 9999-12-31 23:59:59 を入力す る。	eff_start_date とい う列名が データセッ トに提供 されてい る。この列 名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	eff_end_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	eff_end_date という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	time_zone	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	time_zone という列 名がデータ セットに含 まれている 必要があり ます。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	is_active	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	is_active と いう列名 がデータ セットに含 まれている 必要があり ます。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	tpartner_type	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	tpartner_type という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	geo_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	geo_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
<u>inbound_order</u>		不要	不要	不要	不要	必須
	order_type	不要	不要	不要	不要	オプション - インバウンド注文明細によりデータが使用される可能性がある。
	Note このデータエンティティはオプションです。					
	order_status	不要	不要	不要	不要	オプションです。
	to_site_id	不要	不要	不要	不要	site_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	submitted_date	不要	不要	不要	不要	必須

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	tpartner_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	inbound_order_line	必須	必須	必須	必須	必須
	order_id	必須	必須	必須	必須	必須
	order_type	必須	必須	必須	必須	オプションです。
	status	必須	必須	必須	必須	オプションです。
	product_id	必須	必須	必須	必須	必須
	to_site_id	必須	必須	必須	必須	必須
	from_site_id	必須	必須	必須	必須	必須
	quantity_submitted	必須 – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	必須 – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	必須 – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	必須 – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	必須 – 数量フィールド1つを指定する必要あり。
	quantity_confirmed	オプション – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	オプション – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	オプション – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	オプション – 数量フィールド1つを指定する必要あり。	オプション – 数量フィールド1つを指定する必要あり。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワ ークマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	quantity_received	オプション – 未処 理の注文の 場合、この フィールド は空白にす る必要があ ります。				
	quantity_uom	必須 – こ のフィー ルドは、数 量フィー ルドの単位を 決定するた めに必要で す。	必須 – こ のフィー ルドは、数 量フィー ルドの単位を 決定するた めに必要で す。	必須 – こ のフィー ルドは、数 量フィー ルドの単位を 決定するた めに必要で す。	必須 – こ のフィー ルドは、数 量フィー ルドの単位を 決定するた めに必要で す。	quantity_ uom とい う列名が データセッ トに含ま れている必 要がありま す。この列 名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	expected_ delivery_date	必須	必須	必須	必須	必須

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	submitted_date	submitted_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	submitted_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	submitted_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	submitted_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	必須
	incoterm	列名のインコタームはデータセットで利用できる必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	列名のインコタームはデータセットで利用できる必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	列名のインコタームは、データセットで利用できる必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	列名のインコタームは、データセットで利用できる必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	product_group_id	product_group_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	product_group_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	product_group_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	product_group_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。
	company_id	company_id という列名がデータセットに提供されている。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	company_id という列名がデータセットに提供されている。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	company_id という列名がデータセットに提供されている。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	company_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	tpartner_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	reservation_id	オプション—このフィールドは、注文明細と注文明細スケジュール間の接続を決定するために使用されます。例えば、1001-A の場合、1001 は inbound_order_line_schedule テーブルの order_id で、A は order_line_id です。	オプション—このフィールドは、注文明細と注文明細スケジュール間の接続を決定するために使用されます。例えば、1001-A の場合、1001 は inbound_order_line_schedule テーブルの order_id で、A は order_line_id です。	オプション—このフィールドは、注文明細と注文明細スケジュール間の接続を決定するために使用されます。例えば、1001-A の場合、1001 は inbound_order_line_schedule テーブルの order_id で、A は order_line_id です。	オプション—このフィールドは、注文明細と注文明細スケジュール間の接続を決定するために使用されます。例えば、1001-A の場合、1001 は inbound_order_line_schedule テーブルの order_id で、A は order_line_id です。	列名 reservat ion_id はデータセットで利用できる必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	order_receive_date	order_receive_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	order_receive_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	order_receive_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	order_receive_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	<u>inbound_order_line_item_id</u>	必須	必須	必須	必須	必須
	<u>order_line_item_id</u>	必須 - このフィールドは、order_line_item_id とともに注文明細にリンクするために必要です。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を			



データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
データが取り込まれない場合、Insights は	order_line_id	必須 — このフィールドは order_id とともに注文明細にリンクするために必要です。	order_line_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			
	inbound_order_line_id	company_id という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。				
	product_id	必須	必須	必須	必須	必須
	expected_delivery_date	オプション - delivery_				

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	タを使用します。	date または expected_delivery の日付は指定する必要がある。				
	カスタム設定については、お	オプション - delivery_date または expected_delivery の日付は指定する必要がある。	delivery_date という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			
	ship_date	オプション - 注文が発送された日付	オプション - 注文が発送された日付	オプション - 注文が発送された日付	オプション - 注文が発送された日付	ship_date という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights で

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
<p>ポートを受け取る AWS Supply Chain。</p>						は必須でない。
	quantity_submitted	必須 - 数量フィールド1つを指定する必要があります。このフィールドは、行レベルで設定された uom を使用します。	quantity_submitted という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			
	quantity_confirmed	必須 - 数量フィールド1つを指定する必要があります。このフィールドは、行レベルで設定された uom を使用します。	quantity_confirmed という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	quantity_received	必須 – 数 量フィール ド1つを指 定する必要 あり。この フィールド は、行レベ ルで設定さ れた uom を使用しま す。	必須 – 数 量フィール ド1つを指 定する必要 あり。この フィールド は、行レベ ルで設定さ れた uom を使用しま す。	必須 – 数 量フィール ド1つを指 定する必要 あり。この フィールド は、行レベ ルで設定さ れた uom を使用しま す。	必須 – 数 量フィール ド1つを指 定する必要 あり。この フィールド は、行レベ ルで設定さ れた uom を使用しま す。	quantity_ received と いう列名 がデータ セットに提 供されて いる。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	shipment	必須	必須	必須	必須	オプション です。
	order_id	必須 – こ のフィール ドは、予測 されたイン ベントリの 可視性のた めに、転送 中および注 文中の値を 計算するた めに必要で す。	必須	必須 – こ のフィール ドは、予測 されたイン ベントリの 可視性のた めに、転送 中および注 文中の値を 計算するた めに必要で す。	必須 – こ のフィール ドは、予測 されたイン ベントリの 可視性のた めに、転送 中および注 文中の値を 計算するた めに必要で す。	必須

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	order_line_id	必須 — このフィールドは、予測されたインベントリの可視性のために、転送中および注文中の値を計算するために必要です。	必須	必須 — このフィールドは、予測されたインベントリの可視性のために、転送中および注文中の値を計算するために必要です。	必須 — このフィールドは、予測されたインベントリの可視性のために、転送中および注文中の値を計算するために必要です。	必須
	product_id	必須	必須	必須	必須	必須
	ship_to_site_id	オプション — インバウンド注文明細から導出。	オプション — インバウンド注文明細から導出。	オプション — インバウンド注文明細から導出。	オプション — インバウンド注文明細から導出。	必須

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	actual_delivery_date	オプション – planned_delivery_date または actual_delivery_date は指定する必要がある。	必須			
	units_shipped	オプション – インバウンド注文明細から導出。	オプション – インバウンド注文明細から導出。	オプション – インバウンド注文明細から導出。	オプション – インバウンド注文明細から導出。	オプション – インバウンド注文明細から導出。
	uom	オプション – このフィールドは、数量フィールドの単位を決定するために使用されます。	オプション – このフィールドは、数量フィールドの単位を決定するために使用されます。	オプション – このフィールドは、数量フィールドの単位を決定するために使用されます。	オプション – このフィールドは、数量フィールドの単位を決定するために使用されます。	オプション – このフィールドは、数量フィールドの単位を決定するために使用されます。

データエントリ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	planned_ship_date	オプション – planned_ship_date または actual_ship_date は指定する必要がある。	planned_ship_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			
	actual_ship_date	オプション – planned_ship_date または actual_ship_date は指定する必要がある。	actual_ship_date という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	planned_d elivery_date	オプション – planned_d elivery_d ate または actual_de livery_date は指定する 必要があ る。	オプション – planned_d elivery_d ate または actual_de livery_date は指定する 必要があ る。	オプション – planned_d elivery_d ate または actual_de livery_date は指定する 必要があ る。	オプション – planned_d elivery_d ate または actual_de livery_date は指定する 必要があ る。	planned_d elivery_d ate という 列名がデー タセット に含まれ ている必 要がありま す。この列 名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。
	ship_from_site_id	オプション – インバ ウンド注文 明細から導 出。	オプション – インバ ウンド注文 明細から導 出。	オプション – インバ ウンド注文 明細から導 出。	オプション – インバ ウンド注文 明細から導 出。	オプション です。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	supplier_tpartner_id	supplier_tpartner_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	supplier_tpartner_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	supplier_tpartner_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	supplier_tpartner_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。
	transportation_mode	transportation_mode という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	transportation_mode という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	transportation_mode という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	transportation_mode という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	ship_from _site_add ress_country	ship_from_sit e_address _country と いう列名が データセッ トに含まれ ている必要 がありま す。インベ ントリを可 視化するに は、列名の 値は必須で はありません。	ship_from_sit e_address _country と いう列名が データセッ トに含まれ ている必要 がありま す。ネット ワークマッ プでは、列 名の値は必 須ではあり ません。	ship_from _site_add ress_coun try という 列名がデー タセットに 含まれてい る必要があ ります。In ventory Insights で は、列名の 値は必須で はありません。	ship_from _site_add ress_coun try という 列名がデー タセットに 含まれてい る必要があ ります。こ の列名の値 はリバラン ス推奨事項 では必須で ない。	オプション です。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	ship_to_site_address_country	ship_to_site_address_country という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	ship_to_site_address_country という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	ship_to_site_address_country という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	ship_to_site_address_country という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。
	carrier_id	carrier_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。インベントリを可視化するには、列名の値は必須ではありません。	carrier_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。ネットワークマップでは、列名の値は必須ではありません。	carrier_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。Inventory Insights では、列名の値は必須ではありません。	carrier_id という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値はリバランス推奨事項では必須でない。	オプションです。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	package_id	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
<u>inv_polid</u>		必須	必須	必須	必須	必須
<u>Y</u>	site_id	必須	必須	必須	必須	必須
	product_id	必須	必須	必須	必須	必須
	min_safety_stock	必須	必須	必須	必須	必須
	max_safety_stock	必須	必須	必須	必須	必須
	qty_uom	オプション — このフィールドは、インベントリポリシーの UOM を決定するために使用されます。				

データエントリ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	min_doc_limit	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	データセットでは、列名 min_doc_limit が使用可能である必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。
	max_doc_limit	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	オプション—このフィールドは、カバー日数を確認する場合に必要です。	max_doc_limit という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	eff_start_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必須。値がな い場合は、 eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必須。値がな い場合は、 eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必須。値がな い場合は、 eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必須。値がな い場合は、 eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値 の入力が必須。値がな い場合は、 eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	eff_end_date	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。	必須 – eff_start_date と eff_end_date への値の入力が必須。値がない場合は、eff_start_date には 1900-01-01 00:00:00 、eff_end_date には 9999-12-31 23:59:59 を入力する。
	company_id	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。
	ss_policy	必須 – 値がない場合は abs_level 。				

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	fallback_policy_1	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	fallback_ policy_1 と いう列名 がデータ セットに提 供されて いる。この 列名の値は Lead Time Insights で は必須でな い。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	product_group_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	dest_geo_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED VED_NO_VA LUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	vendor_tpartner_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	inv_levels snapshot_date	必須	必須	必須	必須	必須
<div style="border: 1px solid #00a0e3; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">  Note 1 日 の 始 め に 至 </div>	site_id	必須	必須	必須	必須	必須
	product_id	必須	必須	必須	必須	必須
	company_id	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。
	on_hand_inventory	必須	必須	必須	必須	必須
	allocated_inventory	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	allocated_inventory という列名がデータセットに提供されている。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？
	quantity_uom	オプション—このフィールドは、在庫レコードの数量 UOM を決定するために使用されます。	オプション—このフィールドは、在庫レコードの数量 UOM を決定するために使用されます。	オプション—このフィールドは、在庫レコードの数量 UOM を決定するために使用されます。	オプション—このフィールドは、在庫レコードの数量 UOM を決定するために使用されます。	quantity_uom という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	inv_condition	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	lot_number	必須 — Insights は、指定されたスナップショットの日付について、サイトと製品ごとに1つのインベントリレベルのレコードを想定しています。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を				

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
		使用する必要がある。	使用する必要がある。	使用する必要がある。	使用する必要がある。	使用する必要がある。
	forecassite_id	必須	必須	必須	必須	不要
	product_id	必須	必須	必須	必須	不要
	mean	必須	必須	必須	必須	不要
	forecast_start_dtm	必須	必須	必須	必須	不要
	forecast_end_dttm	必須	必須	必須	必須	不要
	quantity_uom	オプション — このフィールドは、予測の数量 UOM を決定するために使用されます。	quantity_uom という列名がデータセットに含まれている必要があります。この列名の値は Lead Time Insights では必須でない。			

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	snapshot_date	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	不要

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	region_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED で す。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED で す。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED で す。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEF VED_NO_VA LUE_PROVIDED で す。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_SERVED_NC _VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	不要

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	product_group_id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESEFVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NC_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。	不要

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	vendor_company_id ad_time	不要	不要	不要	不要	オプション です。
	vendor_tpartner_id	不要	不要	不要	不要	必須
	product_id	不要	不要	不要	不要	必須
	site_id	不要	不要	不要	不要	必須
	planned_lead_time	不要	不要	不要	不要	必須
	eff_start_date	不要	不要	不要	不要	オプション です。
	eff_end_date	不要	不要	不要	不要	オプション です。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	product_group_id	不要	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	region_id	不要	不要	不要	不要	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	source_site_id	不要	不要	不要	不要	オプション。インバウンド出荷元のサイト
	trans_mode	不要	不要	不要	不要	オプション。使用される輸送モード。例えば、宇宙船、トラック、鉄道などです。

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
<p>outbound_order_line</p> <p> Note</p>		必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	不要
	cust_order_id のデータエンティティ	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	不要
	product_id のデータエンティティ	必須。出荷された製品 ID を決定します。	必須。出荷された製品 ID を決定します。	必須。出荷された製品 ID を決定します。	必須。出荷された製品 ID を決定します。	不要
	ship_from_site_id のデータエンティティ	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	不要
	ship_to_site_id のデータエンティティ	オプション。製品の出荷先となるサイト。	オプション。製品の出荷先となるサイト。	オプション。製品の出荷先となるサイト。	オプション。製品の出荷先となるサイト。	不要
	final_quantity_requested のデータエンティティ	オプション。すべての更新と	オプション。すべての更新と	オプション。すべての更新と	オプション。すべての更新と	不要

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	需要データ	キャンセル後の最終数量。	キャンセル後の最終数量。	キャンセル後の最終数量。	キャンセル後の最終数量。	
	quantity_promised を使用	必須。納品が合意された数量。	必須。納品が合意された数量。	必須。納品が合意された数量。	必須。納品が合意された数量。	不要
	quantity_delivered を使	オプション。実際に納品された数量。	オプション。実際に納品された数量。	オプション。実際に納品された数量。	オプション。実際に納品された数量。	不要
	outbound_order_line_id	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	不要
	status	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。注文明細のステータスを表示します。例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	不要
	quantity_uom	オプション。数量の測定単位。例えば、それぞれ、ケースなどです。	オプション。数量の測定単位。例えば、それぞれ、ケースなどです。	オプション。数量の測定単位。例えば、それぞれ、ケースなどです。	オプション。数量の測定単位。例えば、それぞれ、ケースなどです。	不要

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か?	ネットワー クマップに 使用される 列か?	Inventory Insights に 使用される 列か?	リバランス 推奨事項に 使用される 列か?	Lead time Insights に 使用される 列か?
	報 も requested _delivery_date outbound	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	不要
	promised_ delivery_date	オプション です。	オプション です。	オプション です。	オプション です。	不要

データ エン ティ ティ	列	在庫の可視 性に使用さ れる列か？	ネットワー クマップに 使用される 列か？	Inventory Insights に 使用される 列か？	リバランス 推奨事項に 使用される 列か？	Lead time Insights に 使用される 列か？

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
 Note この データエンティティ は AWS Supply Chain に 属 する。	outbound_shipment	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	必須。アウトバウンド出荷 ID を決定します。	不要
	<code>from_site_id</code>	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	必須。ユニットの出荷元サイトを決定します。	不要
	<code>product_id</code>	必須。出荷された製品の製品 ID を決定します。	必須。出荷された製品の製品 ID を決定します。	必須。出荷された製品の製品 ID を決定します。	必須。出荷された製品の製品 ID を決定します。	不要
	<code>cust_order_id</code>	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文 ID を決定します。	不要
	<code>cust_order_line_id</code>	必須。アウトバウンド注文明細 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文明細 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文明細 ID を決定します。	必須。アウトバウンド注文明細 ID を決定します。	不要

データエントリ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
測定データエントリから必要なデータを使用します。	expected_ship_date	必須。製品が from_site を出るタイミングを決定します。	必須。製品が from_site を出るタイミングを決定します。	必須。製品が from_site を出るタイミングを決定します。	必須。製品が from_site を出るタイミングを決定します。	不要
	actual_ship_date	オプション。製品が from_site を出る実際の日付を決定します。	オプション。製品が from_site を出る実際の日付を決定します。	オプション。製品が from_site を出る実際の日付を決定します。	オプション。製品が from_site を出る実際の日付を決定します。	不要
	shipped_qty	必須。from_site から出荷される数量を決定します。	必須。from_site から出荷される数量を決定します。	必須。from_site から出荷される数量を決定します。	必須。from_site から出荷される数量を決定します。	不要
	cust_shipment_status	オプション。配送ステータス例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。配送ステータス例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。配送ステータス例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	オプション。配送ステータス例えば、キャンセル、オープン、クローズなど。	不要

データエンティティ	列	在庫の可視性に使用される列か?	ネットワークマップに使用される列か?	Inventory Insights に使用される列か?	リバランス推奨事項に使用される列か?	Lead time Insights に使用される列か?
	to_site_id	オプション。製品の出荷先となるサイト。	オプション。製品の出荷先となるサイト。	オプション。製品の出荷先となるサイト。	オプション。製品の出荷先となるサイト。	不要
	expected_delivery_date	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要
	actual_delivery_date	オプションです。	オプションです。	オプションです。	オプションです。	不要

Work Order Insights

Note

作業指示インサイトを生成するには、必要なデータエンティティと列を取り込むだけでなく、マイルストーンとプロセス定義を設定する必要があります。作業指示の設定の詳細については、「」を参照してください[Work Order Insights を初めて設定する](#)。

以下の表は、作業指示インサイトを生成するために必要なデータエンティティと列の一覧です。

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか?
site	id	必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>Note</p> <p>この表に示されていないサイトデータエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出力を強化するため</p>		<p>です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
に、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれると、それらを使		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。</p>		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>product</p> <div data-bbox="113 352 316 1860"><p>Note</p><p>この表に示されていない製品データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出力を強化する</p></div>	id	

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>ために、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれると、それらを</p>		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>vendor_product</p> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <p>この表に示されていない vendor_product データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出</p> </div>	vendor_tpartner_id	
	product_id	
	eff_start_date	
	eff_end_date	

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
力を強化するために、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれる		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>と、それらを使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。</p>		
geography	id	必須 — この列は、リージョンまたは国を表示するために条件フィルターによって使用されます。

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
inbound_order	id	必須
	tpartner_id	必須

Note

この表に示されていない inbound_order データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
力を強化するため、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれる		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
と、それらを使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>inbound_order_line</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <p>この表に示されていない inbound_order_line データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出</p> </div>	id	<p>必須。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。Amazon S3 コネクタを使用してデータをアップロードする場合、データ取り込みを正常に行うには、値を入力するか、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED を使用する必要がある。</p>
	order_id	
	tpartner_id	
	product_id	

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
力を強化するために、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれる		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>と、それらを使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。</p>		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>shipment</p> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <p>この表に示されていない出荷データエンティティの列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出力を強化する</p> </div>	id	
	supplier_tpartner_id	
	product_id	
	order_id	
	order_line_id	
	package_id	

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>ために、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれると、それらを</p>		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p><u>リザーベーション</u></p> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <p>この表に示されていない予約データエンティティの列は、作業指示のインサイトではオプションです。では、特徴量出力を</p> </div>	reservation_id	必須 — この列は、process_product データエンティティの reservation_id 列に必要なキーです。
	reservation_type	必須 — この列は、デフォルトの作業指示計画を定義するときに使用されます。
	reservation_detail_id	必須 — この列は、process_product データエンティティの reservation_detail_id 列に必要なキーです。

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
強化するために、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれると、		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
それらを使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
process_header	process_id	必須
<p>Note</p> <p>この表に示されていない process_header データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出</p>	site_id	必須 — この列は、process_header データエンティティの site_id 列によって使用されます。例えば、この列は特定のプロセスのマイルストーンルールで参照できます。
	status	必須
	planned_start_date	必須 – フィールドは AWS Supply Chain、ウェブアプリケーションのサイト日付に必須として表示されます。この日付は、予測完了日を計算し、作業指示明細のステータスを決定するために必要です。

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
力を強化するために、オプションの列のデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれる		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>と、それらを使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。</p>		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>Note</p> <p>この表に示されていない process_p roduct データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出</p>	process_p roduct process_product_id	必須 — この列は process_product データエンティティのプライマリーの一部であり、他のエンティティのリファレンスとして使用されます。
	process_id	必須 — この列は process_p roduct データエンティティのプライマリーの一部であり、ヘッダーを行に関連付けるために使用されます。
	product_id	必須
	reservation_id	必須
	reservation_detail_id	必須
requested_availability_date	必須 — フィールドは AWS Supply Chain 、ウェブアプリケーションのサイト日付に必須として表示されます。この日付は、予測完了日を計算し、作業指示明細のステータスを決定するために必要です。データを取り込むときは、requestd_availability_date の値を入力する必要があります。requested_availability_date 列の情報がない場合、作業指示インサイトは process_header > planned_start_date の列値を	

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
力を強化するため、オプションの列にデータを取り込むことを AWS Supply Chain 強くお勧めします。オプションの列にデータが取り込まれる		使用して予測完了日を計算します。

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
<p>と、それらを使用して、プロセスのマイルストーンを評価するルールを設定できます。</p>		
Work_order_plan	process_id	必須
	product_id	必須
	business_process_id	必須
	business_process_sequence	必須
	preferred_source	必須

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
	duration	必須 — この列には、プロセス完了の目標日を決定するプロセスリードタイムが表示されます。

次の表は、作業指示インサイトを生成するために必要ではないデータエンティティを示しています。これらのデータエンティティがデータセットに含まれている場合、必要な列を以下の表に示します。

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
trading_partner	id	必須 — この列は取引相手をリンクするために使用されません。
	tpartner_type	
	geo_id	
	eff_start_date	
	eff_end_date	
process_operation	process_operation_id	必須
	process_id	

Note

この表に示されていない

process_operationデー

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
データエンティティ列は、作業指示インサイトではオプションです。では、特徴量出力を強化するために、オプションの列にデータを取り込		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
むこ とを AWS Supply Chain 強く お 勧め しま す。 オプ ショ ンの 列 に デー タが 取り 込ま れる と、 それ らを使 用し て、 プロ セス の マイル ストー ンを 評価		

データエンティティ	列	列は Work Order Insights で使用されていますか？
する ルー ルを 設 定で きま す。		

Demand Planning

表の読み方:

- 必須 — このデータエンティティの列は、障害なしで需要予測を実行するために必要です。
- 条件付きで必須 — このデータエンティティの列は、需要計画設定で設定された設定に応じて必要です。詳細については、「[需要計画設定の変更](#)」を参照してください。
- 予測品質に推奨 – このデータエンティティの列は、予測の品質に必要です。
- オプション – 列名は省略可能です。機能の出力を向上するには、列名と値を追加することをお勧めします。

次の表に、Demand Planning で使用されるデータエンティティと列を示します。

データエンティティ名	このデータエンティティは必要ですか？	このデータエンティティはどのように使用されますか？
product	必須	Demand Planning は、製品属性を使用して、需要計画のレビューとモデルトレーニングのための階層フィルターを確立します。
outbound_order_line	必須	Demand Planning は、このデータを予測の過去の需要の主要なソースとして使用します。さらに、粒度とし

データエンティティ名	このデータエンティティは必要ですか？	このデータエンティティはどのように使用されますか？
product_alternate	予測品質に推奨	このデータエンティティはどのように使用されますか？ て選択されたフィールドはトレーニング用に送信され、需要計画を確認するためのフィルターとして使用できます。
supplementary_time_series	予測品質に推奨	Demand Planning は、製品の前身 (複数可) または代替 (複数可) のデータを使用して、新製品の予測を作成します。データが product_alternate データエンティティに取り込まれると、予測での製品系列サポートが有効になります。詳細については、「 製品系列 」を参照してください。product_alternate データエンティティへのデータの取り込みをスキップしても、予想は引き続き生成できます。
supplementary_time_series	予測品質に推奨	Demand Planning は、このデータをプロモーションイベント、割引、祝日などの偶発的な要素にタグ付けするための主要なソースとして使用します。

データセットをアップロードするための前提条件

予測を正常に生成するには、データセットが以下に従っていることを確認してください。

- 少なくとも 1 つの product_id には、outbound_order_line データセットで指定された予測期間の少なくとも 4 倍の売上履歴があります。例えば、予測期間が 26 週間の場合、最小注文データ要件は $26 \times 4 = 104$ 週間です。
- 製品データエンティティの Product_id には、不完全なデータ (null または空の文字列) や重複を含めないでください。

- 予測設定で詳細度のために選択された追加の列 (条件付きで必須の「」) に、不完全なデータ (null または空の文字列) が含まれていません。
- すべてのデータエンティティ (product_id、site_id、ship_from_site_id など) の列 ID には、アスタリスク (*) や二重引用符 (") などの特殊文字は含まれません。
- order_date に無効な日付が含まれていません。例えば、2/29/2023、つまり 2023 年 2 月 29 日はうるう年でのみ有効です。

予測精度を向上させるために、Demand Planning では次のことを強くお勧めします。

- 正確な予測を生成するため、2~3 年間のアウトバウンド注文明細履歴を入力としてアップロードします。この期間を入力することで、予測モデルがビジネスサイクルをキャプチャでき、予測の確実性と信頼性が向上します。
- 予測の精度を向上させるには、ブランド、色、product_group_id、product_introduction_day、extom_day などの製品属性を製品データエンティティに含めることもお勧めします。
- supplementary_time_series データエンティティを通じて、追加の需要要因情報を提供できます。数値のみがサポートされることに注意してください。
- 類似製品または新しい製品の以前のバージョンがある場合は、代替製品マッピングを指定します。
- 過去の売上データをアップロードする前に、" などの非定期イベントや 1 回限りのイベントをすべて削除します。

フルフィルメントのデータマッピングの例

実店舗販売またはオンライン販売をアウトバウンド注文品目データセットにマッピングして、過去の需要設定を最適化する例は、次のとおりです。この例を利用して、正確な予測に向けてデータを構造化してください。この例の設定を調べて、予測モデルがさまざまな納品シナリオに対応していることを確認します。

Note

ship_from_site_id、ship_to_site_id、channel_id のデータフィールドを予測の詳細度を選択した場合、データフィールドに値があるか、NULL が値として入力されていることを確認します。上記のフィールドが空白の場合、予測は失敗します。

データフィールド	説明	シナリオ 1 – 店舗売上 (POS) の場合	シナリオ 2 – 店舗で e コマースの需要を満たす場合	シナリオ 3 – オンライン納品センター (顧客への直送) で e コマースの需要を満たす場合
ship_from_site_id	在庫を管理するサイト	店舗 ID	店舗 ID	納品センター ID
ship_to_site_id	注文の再送先サイト	予測の失敗を避けるには、NULL を入力する。	国、リージョン、都道府県、または郵便番号 – 該当する場合	外部小売業者の店舗 ID または国、リージョン、都道府県、郵便番号 – 該当する場合
channel_id	品目の販売方法のマップ	実店舗販売	e コマース	e コマース

Demand Planning の各データエンティティに必要な列は、次の表のとおりです。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
outbound_order_line	id	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。一意のレコード識別子。
	cust_order_id	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。顧客注文 ID
	product_id	必須	SCDL へのデータ取り込みと予測の作成に必要です。列の値に、アスタリ

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
			スクや二重引用符などの無効な文字が含まれていないことを確認します。
	order_date	必須	予測の作成に必要です。時系列予測の期間を識別します。
	final_quantity_requested	必須	予測の作成に必要です。時系列予測に使用される数量を識別します。この列には null 値を含めることはできません。また、数値である必要があります。
	ship_from_site_id	条件付きで必要	この列は、予測ディメンション (サイト階層) で列が選択されている場合、予測の作成に条件付きで必要です。この列には値が必要で、データのフィルタリングと分析に使用されます。さまざまなフルフィルメントシナリオのデータをマッピングする方法については、「」を参照してください フルフィルメントのデータマッピングの例 。
	ship_to_site_id	条件付きで必要	

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	channel_id	条件付きで必要	この列は、予測ディメンション (チャンネル階層) で列が選択されている場合、予測の作成に条件付きで必要です。この列には値が必要で、データのフィルタリングと分析に使用されます。さまざまなフルフィルメントシナリオのデータをマッピングする方法については、「」を参照してください フルフィルメントのデータマッピングの例 。
	customer_tpartner_id	条件付きで必要	この列は、予測ディメンション (顧客階層) で列が選択されている場合、予測の作成に条件付きで必要です。この列には値が必要で、データのフィルタリングと分析に使用されます。さまざまなフルフィルメントシナリオのデータをマッピングする方法については、「」を参照してください フルフィルメントのデータマッピングの例 。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	ship_to_site_address_city	条件付きで必要	この列は、予測ディメンション (サイト階層) で列が選択されている場合、予測の作成に条件付きで必要です。この列には値が必要で、データのフィルタリングと分析に使用されます。さまざまなフルフィルメントシナリオのデータをマッピングする方法については、「」を参照してください フルフィルメントのデータマッピングの例 。
	ship_to_site_address_state	条件付きで必要	
	ship_to_site_address_country	条件付きで必要	
	status	予測品質に推奨	この列は、予測品質のために推奨されます。ステータスがキャンセルされた注文は、予測入力とは見なされません。
product	id	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。列の値に重複する IDs や、アスタリスや二重引用符などの特殊文字が含まれていないことを確認します。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	説明	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。この列には、アスタリスク、ハイフン、引用符、二重引用符などの特殊文字を含めることができます。
	parent_product_id	条件付きで必要	この列は、予測ディメンション (製品階層) で列が選択されている場合、予測の作成に条件付きで必要です。列に値があり、データとモデルトレーニングのフィルタリングと分析に使用されることを確認します。
	product_group_id	条件付きで必要	
	product_type	条件付きで必要	
	brand_name	条件付きで必要	
	color	条件付きで必要	
	display_desc	条件付きで必要	
	product_available_day	予測品質に推奨	推奨 この列の値は、予測モデルが新製品導入のタイミングを考慮できるようにすることで、予測品質を向上させます。
	discontinue_day	予測品質に推奨	推奨 この列の値は、予測モデルが製品廃止のタイミングを考慮できるようにすることで、予測品質を向上させます。
	base_uom	予測品質に推奨	製品の測定単位 デフォルトは Eaches。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	is_deleted	予測品質に推奨	推奨 製品 ID を予測から除外する場合は、Y を入力します。
	pkg_height	予測品質に推奨	推奨 予測モデルが理解できる製品の物理的特性。
	pkg_length	予測品質に推奨	
	pkg_width	予測品質に推奨	
	shipping_dimension	予測品質に推奨	
	casepack_size	予測品質に推奨	
product_alternate	alternative_product_id	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。一意のレコード識別子。
	product_id	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。新しい製品または製品の新しいバージョンの ID。
	product_alternate_id	必須	SCDL へのデータ取り込みに必要です。類似製品または以前のバージョンの製品の識別子。複数の類似製品を単一の product_id と見なすには、製品を別々の行に入力します。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	alternate_type	必須	製品の継承やシステムを適用するために必要です。すべての行で静的な値 similar_demand_product を使用します。
	alternate_product_qty	必須	製品の継承やシステムを適用するために必要です。product_id の予測に使用する alternate_product_id の履歴の割合を入力します。例えば、60% の場合は 60 と入力する。1 つの product_id に複数の alternative_product_id がある場合、alternate_product_qty は最大 100 まで追加する必要はありません。
	alternate_product_qty_uom	必須	製品の継承やシステムを適用するために必要です。特定の静的値「パーセンテージ」を使用します。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	eff_start_date	必須	SCDL へのデータ取り込みに必要です。開始時間枠を入力して、類似製品の履歴を考慮します。この日付が eff_end_date 以前であることを確認するか、このフィールドを空のままにすると、Demand Planning は年を 1000 で自動入力します。
	eff_end_date	必須	SCDL へのデータ取り込みに必要です。類似製品の履歴で考慮する終了時間枠を入力します。この日付が eff_start_date 以降であることを確認するか、このフィールドを空のままにすると、Demand Planning は年を 9999 で自動入力します。
	status	予測品質に推奨	推奨 Inactive と入力すると、製品のスーパーセッションまたはシステムマッピングは無視されます。
supplementary_time_series	id	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。一意のレコード識別子。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	order_date	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。時系列が記録された時刻のタイムスタンプ。
	time_series_name	必須	Supply Chain Data Lake (SCDL) へのデータ取り込みに必要です。特定のタイプの時系列の名前。time_series_name 列は文字で始まり、2~56文字で、文字、数字、アンダースコアを含めることができます。その他の特殊文字は使用できません。
	time_series_value	必須	SCDL へのデータ取り込みに必要です。特定の時系列に対応する値。Demand Planning は数値入力のみをサポートし、カテゴリ値を持つ時系列は考慮されません。
	product_id	オプションです。	推奨 特定の製品の一意的識別子。需要ドライバーが製品レベルで利用可能な場合は、この列を使用します。

データエンティティ	列	列は必須ですか？	この列は予測でどのように使用されますか？
	site_id	オプションです。	推奨 特定のサイトまたはロケーションの一意的識別子。需要ドライバーがサイトレベルで利用可能な場合は、この列を使用します。この列は、最低レベルのサイト階層設定に基づいて、ship_from_site_id または ship_to_site_id のいずれかを表すことができます。
	channel_id	オプションです。	推奨 特定のチャネルの一意的識別子。需要ドライバーがチャネルレベルで利用可能な場合は、この列を使用します。
	customer_tpartner_id	オプションです。	推奨 特定の顧客の一意的識別子。需要ドライバーが顧客レベルで利用可能な場合は、この列を使用します。

でサポートされているデータエンティティ AWS Supply Chain

AWS Supply Chainでサポートされているデータエンティティの概要は、次のとおりです。

カテゴリ	カテゴリタイプ	データエンティティと説明
組織	非トランザクションデータ	company - 会社名と所在地を格納するエンティティ
	非トランザクションデータ	geography - 会社の地理的階層を格納するエンティティ
	非トランザクションデータ	trading_partner - ベンダー、3PL、チャネルパートナー、ディストリビューターなどの会社と取引関係にあるパートナーを格納する。
	非トランザクションデータ	trading_partner_poc - ベンダー、3PLs、チャネルパートナー、ディストリビューターなど、パートナーとの取引関係にある問い合わせポイントについて特定できる情報が含まれます。
製品	非トランザクションデータ	product - 名前、説明、ブランド、コード、カテゴリ、事業グループ、価格などの製品の主な属性を格納する。
	非トランザクションデータ	product_hierarchy - 製品のカテゴリとサブカテゴリを格納する。
	非トランザクションデータ	product_uom - 製品のパッケージオプションとパッケージ間のやりとりを格納する。
	非トランザクションデータ	product_alternate - 代替タイプなどの代替製品に関する情報を格納する。
	非トランザクションデータ	un_details - 危険な製品に関する情報が含まれています。

カテゴリ	カテゴリタイプ	データエンティティと説明
ネットワーク	非トランザクションデータ	site - 店舗、配送センターなどの在庫保管サイトに関する ID や名称、所在地、地理的リージョン、サイトタイプなどの情報を格納する。
	非トランザクションデータ	transportation_lane - 発送元サイトや発送先サイト、輸送手段、搬送時間などの輸送経路に関する情報を格納する。
ベンダー管理	非トランザクションデータ	vendor_product - 価格、リードタイム、インバウンドサイトなどのベンダーごとの製品情報を格納する。
	非トランザクションデータ	vendor_lead_time - ベンダーからの予測リードタイムと実際のリードタイムを格納する。
	非トランザクションデータ	vendor_holiday - 休日やシャットダウンによるベンダーの業務停止に関する情報を表示する。
計画	非トランザクションデータ	inv_policy - 製品、製品サイト、その他の可能な組み合わせについて、最小および最大安全在庫ポリシー、目標在庫数量、最小または最大注文数量などの在庫ポリシーが含まれます。
	非トランザクションデータ	segmentation - セグメントの格納に使用する。セグメントは、一意性の維持の目的で、製品、サイト、有効日と組み合わせて使用される。例えば、高価格は HV1、ハ口ウィン向けや季節限定、変化の激しい商品は HLW などとする。
	非トランザクションデータ	sourcing_rules - 製品サイトレベルでルールを定義して、調達関連の属性 (例えば、ルールタイプ、サイトとの間の送受信、輸送経路、最小数量と最大数量、優先度、比率など) を指定します。
	非トランザクションデータ	sourcing_schedule - 調達スケジュールにより調達時期が決まる。例えば、ベンダーからの調達やサイト間の転送など。

カテゴリ	カテゴリタイプ	データエンティティと説明
	非トランザクションデータ	sourcing_schedule_details - 調達スケジュールの詳細を提供する。例えば、製品をベンダーから調達する曜日など。
	トランザクションデータ	リザベーション - 在庫予約に関する詳細を提供する。例えば、予約 ID、タイプ、日付、数量、製品 ID など。
	トランザクションデータ	product_bom - タイプ、レベル、比率、数量、コスト属性を持つ製品の部品表を表示します。
操作	トランザクションデータ	process_header - プラントやサイトにおける実行アクティビティを追跡する。例えば、製造、保守、修理など。
	トランザクションデータ	process_operation - アクティビティに関連するオペレーションを定義する。例えば、機械停止、給油など。
	トランザクションデータ	process_product - アクティビティに関連する製品や品目を定義する。
	トランザクションデータ	production_process - 製造または生産プロセスに関連する属性を定義します。
インベントリ管理	トランザクションデータ	inv_level - 各サイトにおける製品の在庫状況のスナップショット。例えば、スナップショット日、手持ち在庫、製品の状態など。
インバウンド	トランザクションデータ	inbound_order - 会社のロケーションへのインバウンド注文に関する情報が含まれます。例えば、発注書 (PO)、一括発注書、製造注文、在庫移転注文など。
	トランザクションデータ	inbound_order_line - product_id、quantity などの inbound_order の明細レベルの情報を格納する。
	トランザクションデータ	inbound_order_line_schedule - inbound_order_line 内の納入日程レベルのデータを格納する。納入日程が使用される場合にのみ有効。

カテゴリ	カテゴリタイプ	データエンティティと説明
	トランザクションデータ	shipment - 発送元、配送業者コード、配送日、製品、数量、配送元サイト、配達予定日、実際の配送日、または配送日、製品、数量、配送元サイト、配達予定日、実際の配送日などのインバウンド注文 (PO、TO など) などの配送情報を保存します。
	トランザクションデータ	shipment_stop - 対応する日時などの発送停止リストを格納する。このフィールドは、複数の発送停止がある場合に使用される。
	トランザクションデータ	shipment_stop_order - 発送停止ごとのピッキングとドロップされた注文リストが含まれる。
	トランザクションデータ	shipment_lot - 出荷ロットごとの出荷詳細が含まれます。
アウトバウンド納品	トランザクションデータ	outbound_order_line - 発送元が会社で、会社のネットワーク外のロケーションに発送された注文が含まれる。outbound_order_line には、注文日、顧客ロケーション、インコタームズなどが含まれる。その他にも製品、価格、割引、単位も含まれる。
	トランザクションデータ	outbound_shipment - 発送日、製品、数量、発送元サイト、配達予定日、実際の配達日など、アウトバウンド注文の発送情報を格納する。
計画	トランザクションデータ	supply_plan - AWS Supply Chain Supply Planning が作成した需要計画を表示する。
Forecast	トランザクションデータ	予測 - 製品、製品サイト、またはその他の組み合わせの予測期間にわたる予測を格納する。
	トランザクションデータ	supplementary_time_series - 価格、プロモーション、out-of-stock インジケータなどの追加の需要ドライバーの時系列情報を表示して、予測品質を向上させます。

カテゴリ	カテゴリタイプ	データエンティティと説明
リファレンス	非トランザクションデータ	reference_field - 特定の inbound_order ステータスコードをステータスの説明にマッピングするなど、任意の entity-field-value 組み合わせと対応する説明のマッピングが含まれます。
	非トランザクションデータ	カレンダー - カレンダーは、計画、実行、レポートなど、アプリケーションによりさまざまな目的で使用される。
	非トランザクションデータ	uom_conversion - 測定単位 (UOM) の変換が含まれる。
インサイト	トランザクションデータ	work_order_plan - 各サプライチェーンプロセスを完了するためのソースタイプと期間、作業指示のサプライチェーンプロセス計画を提供する。

Note

- タイムスタンプ型とマークされたフィールドはすべて ISO 8601 形式である必要があります。
- 取り込むデータセットには、ASCII 35 (数値記号: #)、36 (ドル記号: \$)、37 (パーセント記号: %)、45 (ハイフン: -)、46 (ピリオド: .)、47 (スラッシュ: /)、94 (カレット: `)、95 (アンダースコア: _)、123 (左中括弧: {)、および 125 (右中括弧: }) の特殊文字のみ AWS Supply Chain を含めることができます。

組織

このセクションでは、組織カテゴリのデータエンティティの一覧が提供されています。

トピック

- [company](#)
- [geography](#)
- [trading_partner](#)

- [trading_partner_poc](#)

company

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
company	id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	会社の ID
説明	string	いいえ	会社の説明
address_1	string	いいえ	会社の住所
address_2	string	いいえ	会社の住所
address_3	string	いいえ	会社の住所
city	string	いいえ	会社所在地の都市
state_prov	string	いいえ	会社所在地の都道府県
postal_code	string	いいえ	会社の住所の郵便番号
country	string	いいえ	会社所在地の国
phone_number	string	いいえ	会社の連絡先番号

列	データ型	必要	説明
time_zone	string	いいえ	会社の現地タイムゾーン
calendar_id ¹	string	いいえ	会社が計画に使用するデフォルトのカレンダー

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
calendar_id	リファレンス	カレンダー	calendar_id

geography

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
geography	id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	地理的 ID。他のエンティティが

列	データ型	必要	説明
			らは geo_id または region_id として参照される。
説明	string	いいえ	地理的場所
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
parent_geo_id ¹	string	いいえ	このレコードの親の地理的 ID を格納する。空白の場合、この場所が会社の最上レベルのリージョンであることを示す。
address_1	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する都市
address_2	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する都市
address_3	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する都市
city	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する都市が表示される。
state_prov	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する都道府県

列	データ型	必要	説明
postal_code	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する郵便番号
country	string	いいえ	この地理的リージョンに対応する国
phone_number	string	いいえ	会社の連絡先番号
time_zone	string	いいえ	会社の現地タイムゾーン

¹ 外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
parent_geo_id	組織	geography	id

trading_partner

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
trading_partner	id、tpartner_type、geo_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	パートナー ID 特に明記されていない限り、他のエンティティは tpartner_id として参照する。
説明	string	いいえ	取引先の説明
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
tpartner_type	string	あり ¹	パートナーのタイプ (ベンダー、チャネルパートナー、3PL など)
geo_id ²	string	あり ¹	取引先と関連する会社のリージョン
eff_start_date	timestamp	あり ¹	取引先と会社間の関係性開始のタイムスタンプ
eff_end_date	timestamp	あり ¹	取引先と会社間の関係性終了のタイムスタンプ
is_active	string	いいえ	取引先がアクティブか非アクティブかを示す。
address_1	string	いいえ	取引先に対応する住所
address_2	string	いいえ	取引先に対応する住所

列	データ型	必要	説明
address_3	string	いいえ	取引先に対応する住所
city	string	いいえ	取引先に対応する都市
state_prov	string	いいえ	取引先に対応する都道府県
postal_code	string	いいえ	取引先の郵便番号
country	string	いいえ	取引先に対応する国
phone_number	string	いいえ	取引先の連絡先電話番号
time_zone	string	いいえ	取引先の現地タイムゾーン
latitude	double	いいえ	取引先の所在地の緯度
longitude	double	いいえ	取引先の所在地の経度
os_id	string	いいえ	Open supplier Hub によって発行された組織識別子。
duns_number	string	いいえ	Dun と Bradstreet (D と B) によって提供される一意の 9 桁の識別番号。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は、SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。タイムスタンプのデフォルト値は、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
geo_id	組織	geography	id

trading_partner_poc

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
trading_partner_poc	tpartner_id、E メール

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
tpartner_id ¹	文字列	はい	パートナー ID 特に明記されていない限り、他のエンティティは tpartner_id として参照する。
email	文字列	はい	パートナーの E メール ID。
poc_first_name	string	いいえ	パートナーの名。
poc_last_name	string	いいえ	パートナーの姓。
poc_org_unit_name	string	いいえ	チームまたは内部組織単位の名前。
poc_org_unit_description	string	いいえ	AWS チームを説明するために顧客と共有される組織内の

列	データ型	必要	説明
			チームの役割のプロファイルまたは説明。

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
tpartner_id	組織	trading_partner	id

製品

このセクションには、製品カテゴリ内のデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [product](#)
- [product_hierarchy](#)
- [product_uom](#)
- [product_alternate](#)
- [un_details](#)

product

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
product	id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	製品 ID を表示する。他のエンティティからは product_id として参照される。
説明	文字列	はい	製品の説明を表示する。
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID を表示する。
product_group_id ¹	string	いいえ	この製品が属する製品グループ ID を表示する。
product_type	string	いいえ	完成品、コンポーネント、サービス、パッケージなどの製品のタイプ
hts_code	string	いいえ	HTS コード
is_hazmat	string	いいえ	製品の危険物適合性状況を表示する。

列	データ型	必要	説明
is_flammable	string	いいえ	製品が可燃性を示す識別子
is_special_handling	string	いいえ	製品について特別な取り扱いが必要かを表示する。
is_perishable	string	いいえ	製品が腐敗性を表示する。
is_digital	string	いいえ	製品がデジタルかを表示する。
is_deleted	string	いいえ	製品が削除済みか (「true」の場合)、アクティブか (「false」の場合) を示す。
is_lot_controlled	string	いいえ	製品がロット管理対象製品かを示す。
is_expiry_controlled	string	いいえ	製品が賞味期限管理対象製品かを示す。

列	データ型	必要	説明
creation_date	timestamp	いいえ	製品の発売日 またはリリース日
brand_name	string	いいえ	製品のブランド名
parent_product_id ¹	string	いいえ	製品がバンドルの一部である場合は、親製品の ID を一覧表示する。
display_desc	string	いいえ	製品の外見の説明
discontinue_day	timestamp	いいえ	製品が販売終了になった日付
base_uom	string	いいえ	製品の測定単位 デフォルトは Eaches。
unit_cost	double	いいえ	製品の平均単価。Base_uom あたりの Currency_uom で測定される。

列	データ型	必要	説明
unit_price	double	いいえ	製品の単価、標準価格、またはメーカー希望小売価格
inventory_holding_cost	double	いいえ	製品の年間平均保有コスト
currency_uom	string	いいえ	この製品の価格とその他の経済変数の通貨測定単位。
product_available_day	timestamp	いいえ	製品が納品可能になる日付
shipping_weight	double	いいえ	配送業者が使用するデフォルトの重量
shipping_dimension	double	いいえ	配送業者が使用する容積重量
unit_volume	double	いいえ	base_uom あたりの製品容積。
pkg_length	double	いいえ	個別の製品のパッケージの長さ
pkg_width	double	いいえ	個別の製品のパッケージの幅

列	データ型	必要	説明
pkg_height	double	いいえ	個別の製品の パッケージの 高さ
weight_uom	string	いいえ	製品の重量の 測定単位
dim_uom	string	いいえ	製品の寸法の 測定単位
volume_uom	string	いいえ	製品の容積
diameter	double	いいえ	個別の製品の 直径
color	string	いいえ	製品の色
casepack_size	整数	いいえ	各ケースパッ ク内の製品数
gtin	string	いいえ	GTIN (Global Trade Item Number)。 さまざまな EAN/UCC 番 号構造を含む 14 桁の番号 で、製品を一 意に識別する ために使用す る。

列	データ型	必要	説明
long_term_horizon	double	いいえ	サルベージ値を決定するために使用される長期ホライズンタイムウィンドウ。
long_term_horizon_uom	string	いいえ	サルベージ値を決定するために使用される長期ホライズン時間枠のUOM。
salvage_value_percentage	double	いいえ	長期ホライズンの終了時に回復することが予想される製品コスト。
sap_0material_attr__prdha	string	いいえ	製品階層。SAPマッピングの述語キー。T179のアップサートキー。

列	データ型	必要	説明
シェルフライフ	double	いいえ	製品がスポイルまたは期限切れになる前に、製品を保管したり、最新で安全に保管したり、使用したりできる期間。この情報は、インベントリレベルの管理、リオーダーポイントの決定、有効期限が切れる前に製品の販売または消費を保証するために重要です。
shelf_life_uom	string	いいえ	有効期間の測定単位。

列	データ型	必要	説明
un_id	string	いいえ	UN IDsは、国際輸送のフレームワークにおける危険品、危険有害性物質、および記事 (爆発物、危険有害性物質、有害性物質など) を識別する 4 桁の数字です。このフィールドが入力されている場合、is_hazmat フラグは true である必要があります。

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
parent_product_id	製品	product	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
un_id	製品	un_details	un_id

product_hierarchy

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
product_hierarchy	id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	製品グループの ID
説明	string	いいえ	製品グループの説明
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
parent_product_group_id ¹	string	いいえ	この製品グループの親製品。NULL の場合は、このレコードが最上レベルの製品グループであることを示す。

列	データ型	必要	説明
creation_date	timestamp	いいえ	製品グループ 作成日
update_date	timestamp	いいえ	製品グループ 更新日

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティ ティ	FK/列
company_id	組織	company	id
parent_product_group_id	製品	product_hierarchy	id

product_uom

プライマリキー (PK)

次の表に、データエンティティで一意に識別される列名を示します。

名前	列
product_bom	product_uom_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
product_uom_id	文字列	はい	製品の測定単位 (UOM) の組み合わせの ID
product_id	文字列	はい	製品 UOM の組み合わせに関連する製品
uom	文字列	はい	UOM の識別子
説明	string	いいえ	製品 UOM の説明
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
price	double	いいえ	製品 UOM の価格
コスト	double	いいえ	製品 UOM のコスト
currency_uom	string	いいえ	通貨の測定単位 (UOM)
status	string	いいえ	レコードのステータス 例 例えば、アクティブ、非アクティブなど。
is_standard	string	いいえ	これが標準製品 UOM かを説明する。

列	データ型	必要	説明
barcode_type	string	いいえ	バーコードのタイプ
barcode_value	string	いいえ	バーコードの値
type	string	いいえ	製品 UOM のタイプ
数量	double	いいえ	単一の製品 UOM ID の数量を製品のベース UOM で表示する。
quantity_uom	string	いいえ	ベース UOM での数量の測定単位 (UOM)
length	double	いいえ	パッケージの長さ
width	double	いいえ	パッケージの幅
height	double	いいえ	パッケージの高さ
dimension_uom	string	いいえ	寸法の測定単位 (UOM)
ボリューム	double	いいえ	パッケージの容量
volume_uom	string	いいえ	容量の測定単位 (UOM)

列	データ型	必要	説明
weight	double	いいえ	パッケージの重量
weight_uom	string	いいえ	重量の測定単位 (UOM)
eff_start_date	timestamp	はい	レコードが有効になる日時を表示する。
eff_end_date	timestamp	はい	レコードが終了する日時を表示する。
ソース	string	いいえ	データのソース

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id

product_alternate

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
product_alterate	product_alterate_id、eff_start_date、eff_end_date

 Note

データインジェストに失敗しないように、eff_start_date と eff_end_date の値を入力する必要があります。

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列名	データ型	必要	説明
product_alterate_id	文字列	はい	レコードの一意の識別子。
product_id ²	文字列	はい	製品の ID
alternative_product_id	文字列	はい	代替製品の ID
site_id	string	いいえ	サイトの ID
alternate_type	string	いいえ	代替製品のタイプ 例 例えば、similar_demand_value。
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
priority	整数	いいえ	代替製品の優先度またはランク

列名	データ型	必要	説明
alternate_group_id	string	いいえ	交換可能な代替製品をグループ化するために使用される。このフィールドは product_hierarchy の product_group には対応していないことに注意する。
status	string	いいえ	代替製品のレコードのステータス。例えば、アクティブ、非アクティブなど。
alternate_product_qty	double	いいえ	代替製品の数量。変換は主要製品の base_UOM ごとに行われる。
alternate_product_qty_uom	string	いいえ	代替製品数量の測定単位 (UOM)

列名	データ型	必要	説明
eff_start_date	timestamp	はい	レコードが有効になる日時を表示する。
eff_end_date	timestamp	はい	レコードが終了する日時を表示する。
ソース	string	いいえ	データのソース

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_id	製品	product	id
company_id	組織	company	id

un_details

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
product_un_details	un_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列名	データ型	必要	説明
un_class	string	いいえ	素材カテゴリとサブカテゴリを抑制します。
hazmat_class	string	いいえ	9つのクラスの有害物質の1つ(2024年現在)。
image_url	string	いいえ	hazmatクラスの記号の画像。
un_description	string	いいえ	UN正式配送名の説明。
un_id	文字列	はい	UN IDsは、国際輸送のフレームワークにおける危険品、危険有害性物質、および記事(爆発物、危険有害性物質、有害性物質など)を識別する4桁の数字です。

ネットワーク

このセクションには、ネットワークカテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [site](#)
- [transportation_lane](#)

site

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
site	id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	サイト ID
説明	string	いいえ	サイトの説明
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
geo_id ¹	string	いいえ	サイトが特定の地理に属している場合、その地理的階層の ID が表示される。
address_1	string	いいえ	サイトの住所
address_2	string	いいえ	サイトの住所
address_3	string	いいえ	サイトの住所

列	データ型	必要	説明
city	string	いいえ	サイトの所在地の都市
state_prov	string	いいえ	サイトの所在地の都道府県
postal_code	string	いいえ	サイトの郵便番号
country	string	いいえ	サイトの所在地の国
phone_number	string	いいえ	サイトの連絡先電話番号
email	string	いいえ	連絡先の E メール情報
time_zone	string	いいえ	サイトの現地タイムゾーン
site_type	string	いいえ	サイトのタイプ。例えば、倉庫、配送所、工場、店舗など。
unlocode	string	いいえ	サイトの標準 UN/LOCODE
latitude	double	いいえ	サイト所在地の緯度
longitude	double	いいえ	サイト所在地の経度
is_active	string	いいえ	サイトが削除済みか (「true」の場合)、アクティブか (「false」の場合) を示す。
site_calendar_id ¹	string	いいえ	サイトの営業カレンダーと休日カレンダー

列	データ型	必要	説明
site_classifier	string	いいえ	サイトの分類に関する情報。例えば、ある店舗が「来店客の多い店舗」であったり、DC が中央 DC かリージョンの DC かなど。
open_date	timestamp	いいえ	サイトが運用を開始した日付
end_date	timestamp	いいえ	サイトが運用を停止した日付

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
geo_id	組織	geography	id
site_calendar_id	リファレンス	カレンダー	calendar_id

transportation_lane

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
transportation_lane	id, from_site_id、to_site_id、from_geo_id、to_geo_id、carrier_tpartner_id、trans_mode、service_type、product_group_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	経路 ID
from_site_id ²	string	あり ¹	経路の発送元サイトのロケーション。from_geo_idが入力されている場合は、このフィールドを除外できる。
to_site_id ²	string	あり ¹	経路の配送先サイトのロケーション to_geo_idが入力されている場合は、このフィールドを除外できる。
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
from_geo_id ²	string	あり ¹	経路の定義が地理的レベルの場合、「配送先」または「配送元」の地理的

列	データ型	必要	説明
			リージョンが表示される。
to_geo_id ²	string	あり ¹	経路の定義が地理的レベルの場合、「配送元」または「調達元」の地理的リージョンが表示される。
carrier_tpartner_id ²	string	あり ¹	配送業者の ID
trans_mode	string	あり ¹	輸送モード。例えば、船、鉄道、トラックなど。
service_type	string	あり ¹	配送業者の配送方法に関する情報を提供する。
product_group_id ²	string	あり ¹	製品グループによって輸送時間が異なる場合の製品グループ ID。
product_id ²	string	いいえ	製品 ID は、経路に製品固有の設定がある場合に使用される。
transit_time	double	いいえ	製品の輸送時間
transit_time_sd	double	いいえ	輸送時間の標準偏差値

列	データ型	必要	説明
time_uom	string	いいえ	輸送時間の測定単位
distance	double	いいえ	経路上の移動距離
distance_uom	string	いいえ	距離の測定単位 (UOM)
eff_start_date	timestamp	いいえ	この記録が有効になる日時
eff_end_date	timestamp	いいえ	このレコードが有効である最終日時
daily_start_time	string	いいえ	経路運用開始時刻
daily_end_time	string	いいえ	経路運用終了時刻
open_sun	string	いいえ	経路が日曜日に運用されているかを表示する。
open_mon	string	いいえ	経路が月曜日に運用されているかを表示する。
open_tue	string	いいえ	経路が火曜日に運用されているかを表示する。
open_wed	string	いいえ	経路が水曜日に運用されているかを表示する。

列	データ型	必要	説明
open_thu	string	いいえ	経路が木曜日に運用されているかを表示する。
open_fri	string	いいえ	経路が木曜日に運用されているかを表示する。
open_sat	string	いいえ	経路が土曜日に運用されているかを表示する。
cost_per_unit	double	いいえ	距離 UOM あたりのコスト
cost_per_weight	double	いいえ	重量 UOM あたりのコスト
cost_currency	string	いいえ	費用 UOM の通貨
weight_uom	string	いいえ	重量の測定単位
emissions_per_unit	double	いいえ	単位距離 UOM あたりに排出される炭素排出量
emissions_per_weight	double	いいえ	重量 UOM あたりの炭素排出量
ソース	string	いいえ	データのソース
輸送コスト	double	いいえ	輸送経路に関連する輸送コスト

列	データ型	必要	説明
transportation_cost_uom	string	いいえ	輸送経路に関連する輸送コスト UOM

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
from_site_id、to_site_id	ネットワーク	site	id
company_id	組織	company	id
from_geo_id、to_geo_id	組織	geography	id
carrier_tpartner_id	組織	trading_partner	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
product_id	製品	product_id	id

ベンダー管理

このセクションには、ベンダー管理カテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [vendor_product](#)

- [vendor_lead_time](#)
- [vendor_holiday](#)

vendor_product

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
vendor_product	vendor_tpartner_id、product_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
vendor_tpartner_id ²	文字列	はい	ベンダーの取引先 ID
product_id ²	文字列	はい	製品 ID
vendor_product_code	string	いいえ	ベンダーが使用する製品 ID
vendor_product_desc	string	いいえ	ベンダーが使用する製品説明
vendor_cost	double	いいえ	このベンダーの製品コスト
vendor_cost_uom	string	いいえ	このベンダーの製品コスト

列	データ型	必要	説明
			の測定単位 (UOM)
status	string	いいえ	新製品 (NP) や廃止 (OB) などの製品のステータス
unit_volume	double	いいえ	製品 1 ユニットの容量
volume_uom	string	いいえ	容量の測定単位 (UOM)
unit_weight	double	いいえ	製品 1 ユニットの重量
weight_uom	string	いいえ	重量の測定単位
release_date	timestamp	いいえ	ベンダーが製品をリリースした日付
end_date	timestamp	いいえ	ベンダーが製品の供給を停止した日付
eff_start_date	timestamp	あり ¹	ベンダーの製品がアクティブになった日時が表示される。

列	データ型	必要	説明
eff_end_date	timestamp	あり ¹	ベンダーの製品がアクティブである最終日時が表示される。
min_order_unit	double	いいえ	このベンダーからの製品の最小注文数量
country_of_origin	string	いいえ	製品別の原産国
sap_eina__infnr	string	いいえ	購入数を記録します。SAP マッピングの述語キー。EINE のアップサートキー。
sap_eine__ebeln	string	いいえ	購入ドキュメント番号 SAP マッピングの述語キー。EKPO のアップサートキー。
sap_eine__ebelp	string	いいえ	購入ドキュメントの項目番号 SAP マッピングの述語キー。EKPO のアップサートキー。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、タイムスタンプデータ型の値のデフォルト値は、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
vendor_tpartner_id	組織	trading_partner	id
product_id	製品	product_id	id

vendor_lead_time

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
vendor_lead_time	vendor_tpartner_id、product_id、product_group_id、site_id、region_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
vendor_tpartner_id ²	文字列	はい	ベンダーの取引先 ID

列	データ型	必要	説明
product_id ²	string	あり ¹	製品 ID
product_group_id ²	string	あり ¹	リードタイムが製品グループレベルで設定されている場合に使用される。
site_id ²	string	あり ¹	この商品が供給されているサイト
region_id ²	string	あり ¹	リードタイムが地理的リージョンレベルで設定されている場合に使用される。サイトレベルの値はこの値よりも優先される。
planned_lead_time	double	いいえ	ベンダーから会社のサイトまでの計画リードタイム
planned_lead_time_dev	double	いいえ	リードタイムの標準偏差
actual_lead_time_mean	double	いいえ	トランザクションデータから算出された実際のリードタイムを格納するフィールド

列	データ型	必要	説明
actual_lead_time_sd	double	いいえ	実際のリードタイムの標準偏差
actual_p50	double	いいえ	実際のリードタイムの 50 パーセントタイル
actual_p90	double	いいえ	実際のリードタイムの 90 パーセントタイル
shipping_cost	double	いいえ	ベンダーから会社へのインバウンド配送コスト
cost_uom	string	いいえ	配送コストの測定単位
we_pay	string	いいえ	「はい」か「いいえ」の識別子。会社がインバウンド配送料を支払う場合は「はい」、ベンダーが配送料を支払う場合は「いいえ」。
eff_start_date	timestamp	あり ¹	このレコードが有効になる日時
eff_end_date	timestamp	あり ¹	このレコードが有効である最終日時

列	データ型	必要	説明
sap_eina__infnr	string	いいえ	購入数を記録します。SAP マッピングの述語キー。EINE のアップサートキー。
source_site_id ²	string	いいえ	インバウンド出荷元のサイト
trans_mode	string	いいえ	輸送モード。例えば、船、水、トラック、鉄道などです。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列とタイムスタンプの日付タイプの値のデフォルト値は、文字列では SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED、タイムスタンプでは、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
site_id	ネットワーク	site	id
source_site_id	ネットワーク	site	id
company_id	組織	company	id
region_id	組織	geography	id
vendor_tpartner_id	組織	trading_partner	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
product_id	製品	product_id	id

vendor_holiday

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
vendor_holiday	vendor_tpartner_id、outage_start_date、outage_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
vendor_tpartner_id ²	文字列	はい	ベンダーの取引先 ID
outage_start_date	timestamp	あり ¹	障害開始日
outage_end_date	timestamp	あり ¹	障害終了日
outage_type	string	いいえ	障害のタイプ
コメント	string	いいえ	ベンダーからのコメント

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、タイムスタンプデータ型の値のデフォルト値は、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

2 外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
vendor_tpartner_id	組織	trading_partner	id

計画

このセクションには、計画カテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [product_bom](#)
- [inv_policy](#)
- [segmentation](#)
- [sourcing_rules](#)
- [sourcing_schedule](#)
- [sourcing_schedule_details](#)
- [リザベーション](#)

product_bom

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
product_bom	id、product_id、component_product_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	BOM ID を表示します。
product_id ²	文字列	はい	BOM が定義されている製品。
site_id ²	string	いいえ	BOM が定義されているサイト。
company_id ²	string	いいえ	会社 ID を表示する。
level	整数	いいえ	BOM のレベルをマルチレベル BOM で表示します。
component_product_id	string	はい ^[1]	コンポーネントの製品 ID を表示します。
component_quantity_per	double	はい	1 ユニットの親製品を生産するのに必要なコンポーネントの数量。
component_quantity_uom	string	いいえ	コンポーネントの測定単位。
component_line_number	整数	いいえ	子レコードのライン ID。
ライフサイクルフェーズ	string	いいえ	BOM に関連するライフサイクルフェーズに関する情報。
assembly_cost	double	いいえ	製品の UOM。
assembly_cost_uom	string	いいえ	製品の組立コスト。

列	データ型	必要	説明
eff_start_date	timestamp	いいえ	このレコードが有効になる日付
eff_end_date	timestamp	いいえ	このレコードが有効である最終日時
説明	string	いいえ	BOM の説明
production_process_id	string	いいえ	特定の本番プロセスに関連付けられた ID。
alternative_product_id	string	いいえ ¹	BOM で使用される代替製品の ID。
priority	string	いいえ	BOM で使用される製品またはコンポーネントの優先度
alternate_group_id	string	いいえ	代替製品グループの ID。
alternate_product_qty	double	いいえ	BOM で使用される代替製品の数量
alternate_product_qty_uom	string	いいえ	代替製品の数量に関連付けられた UOM
比率	double	いいえ	BOM 内の製品の比率。
creation_date	timestamp	いいえ ¹	BOM が作成された日付。
change_date	timestamp	いいえ ¹	BOM が更新された日付。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列とタイムスタンプの日付タイプの値のデフォルト値は、文字列では SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED、タイムスタンプでは、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
site_id	ネットワーク	site	id
production_process_id	操作	production_process	production_process_id
alternative_product_id	製品	product_alternate	product_alternate_id

inv_policy

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
inv_policy	id, site_id, product_id, product_group_id, dest_geo_id, vendor_tpartner_id, eff_start_date, eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	ポリシー ID
site_id ²	string	あり ¹	定義中のポリシーのサイト ID
product_id ²	string	あり ¹	定義中のポリシーの製品 ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
product_group_id ²	string	あり ¹	ポリシーの定義対象の製品グループ ID。製品レベルで上書きされる。
dest_geo_id ²	string	あり ¹	配送先の地理的レベルでデフォルト値を設定する。
vendor_tpartner_id ²	string	あり ¹	ベンダーの取引先 ID。このフィールドは、ポリシーがベンダーによって異なる場合に使用される。
status	string	いいえ	例えば、保留中やアクティブなどの在庫ポリシーレコードのステータス
ss_policy	string	いいえ	安全在庫ポリシーのタイプ。

列	データ型	必要	説明
			<p>安全在庫ポリシーは、対応するデータに関連付けられている。</p> <p>abs_level – 最小/最大安全在庫 (SS) で指定された単位を使用します。ソースはお客様のシステムまたは外部ツール。在庫が最小 SS レベルを下回ると、注文が推奨される。</p> <p>sl – 在庫率について、最小サービスレベルから最大サービスレベルまでの在庫を目標とする。例えば、最小/最大サービスレベルが 50% から 90% の場合、計画期間にわたって在庫がこの予測パーセンタイル以内に収まるように注文が行われる。</p>

列	データ型	必要	説明
			<p>DOC_dem – 需要履歴から算出された対象日数を在庫の目標レベルとして使用する。</p> <p>DOC_fcst – 予測から算出された対象日数を在庫の目標レベルとして使用する。</p>
fallback_policy_1	string	いいえ	フォールバック在庫ポリシー
repl_interval	double	いいえ	補充間隔を指定する。
min_safety_stock	double	いいえ	安全在庫ポリシー「abs_level」の場合。このフィールドは最低安全在庫レベルの絶対値。
max_safety_stock	double	いいえ	安全在庫ポリシー「abs_level」の場合。これは最大安全在庫レベルの絶対値。
min_inventory_qty	double	いいえ	在庫レベルの最小数量しきい値

列	データ型	必要	説明
max_inventory_qty	double	いいえ	在庫レベルの最大数量しきい値
target_inventory_qty	double	いいえ	目標在庫レベルの数量
woc_limit	double	いいえ	適用範囲を週単位で提供する。
max_doc_limit	double	いいえ	安全在庫ポリシー「DOC_dem」と「DOC_fcst」の最大適用日数を提供する。
min_doc_limit	double	いいえ	安全在庫ポリシー「DOC_dem」と「DOC_fcst」の最小適用日数を提供する。
target_doc_limit	double	いいえ	安全在庫ポリシー「DOC_dem」と「DOC_fcst」の目標値を提供する。
permitted_var	double	いいえ	最小値、最大値、目標値からの逸脱が許容されるポリシーで使用される許容偏差。

列	データ型	必要	説明
min_sl		いいえ	最低限のサービスレベル (sl) を提供する。安全在庫ポリシー sl で使用する。
target_sl	double	いいえ	ポリシー sl が使用するターゲットサービスレベル
max_sl	double	いいえ	最大限のサービスレベル (sl) を提供する。安全在庫ポリシーで使用。
qty_uom	string	いいえ	この在庫ポリシーに関連する数量単位 UOM
min_order_qty	double	いいえ	最小注文数
max_order_qty	double	いいえ	最大注文数
order_qty_multiple	double	いいえ	注文数量はこの値の倍数で計算される。
holding_cost_percent	double	いいえ	在庫の年間保有コスト割合 (%)
eff_start_date	timestamp	あり ¹	このレコードが有効になる日付

列	データ型	必要	説明
eff_end_date	timestamp	あり ¹	このレコードが有効である最終日時
salvage_value_percentage	double	いいえ	長期期間終了時に回復することが予想される製品コスト。
segment_id ²	string	いいえ	インベントリポリシーに関連付けられたセグメントの ID

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列とタイムスタンプの日付タイプの値のデフォルト値は、文字列では SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED、タイムスタンプでは、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
site_id	ネットワーク	site	id
segment_id	計画	segmentation	segment_id
company_id	組織	company	id
dest_geo_id	組織	geography	id
vendor_tpartner_id	組織	trading_partner	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
product_id	製品	product	id

segmentation

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
セグメンテーション	segment_id、creation_date、site_id、product_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
segment_id	文字列	はい	セグメント ID
creation_date	timestamp	はい	セグメント作成日時
company_id ²	string	いいえ	会社 ID を表示する。
site_id ²	文字列	はい	製品階層内のこのノードのリージョンに指定されたポリシーを上書きする。
product_id ²	string	あり ¹	地理階層内のこのノードの製品

列	データ型	必要	説明
			に指定されたポリシーを上書きする。
segment_description	string	いいえ	セグメントの説明
segment_type	string	いいえ	セグメント化タイプ。例えば、値ベース、需要変動ベース、需要速度ベースなど。
segment_value	double	いいえ	セグメントの生成時に計算されるセグメントに関連するメトリクス。値は segment_type によって異なる。
ソース	string	いいえ	セグメント作成者に関する情報
eff_start_date	timestamp	あり ¹	カレンダーの有効開始日
eff_end_date	timestamp	あり ¹	カレンダーの有効終了日

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列とタイムスタンプの日付タイプの値のデフォルト値は、文字列では SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED、タイムスタンプでは、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
site_id	ネットワーク	site	id
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id

sourcing_rules

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
sourcing_rules	sourcing_rule_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
sourcing_rule_id	文字列	はい	調達ルール ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID を表示する。
product_id ²	string	いいえ	調達する製品の ID
to_site_id ²	string	いいえ	製品の調達先となるサイトの ID

列	データ型	必要	説明
from_site_id ²	string	いいえ	製品の供給元となるサイト ID
product_group_id ²	string	いいえ	製品グループの ID
sourcing_rule_type	string	いいえ	調達ルールタイプ。例えば、転送、購入、製造など。
tpartner_id ²	string	いいえ	取引先 ID は調達ルールタイプに応じて使用される。例えば、調達ルールタイプが「購入」の場合、「Buy」がベンダー ID になり、このベンダー ID を他の属性と使用すると、vendor_product やその他のエンティティから追加情報を検索できる。
tpartner_location	string	いいえ	取引相手の場所。例えば、シアトル、中国、ニューメキシコなどです。

列	データ型	必要	説明
transportation_lane_id	string	いいえ	輸送経路 ID は 調達ルールタイプに応じて使用される。例えば、調達タイプが「転送」の場合、この ID を他の属性と使用すると、適切な transportation_lane を選択できる。
sourcing_priority ²	整数	いいえ	調達ルールの優先度
sourcing_ratio	double	いいえ	この製品またはグループ、to_site と from_site または tpartner_id の組み合わせから調達する製品の割合。製品、サイトのすべての調達元は、一定期間合計が 1 となる必要がある (または、アプリケーションが割合を 1 に正規化する)。
qty_uom	string	いいえ	調達ルールに関連する数量単位 UOM

列	データ型	必要	説明
min_qty	double	いいえ	調達ルール of 最小数量
max_qty	double	いいえ	調達ルール of 最大数量
qty_multiple	double	いいえ	数量はこの値の倍数。
eff_start_date	timestamp	あり ¹	カレンダーの有効開始日
eff_end_date	timestamp	あり ¹	カレンダーの有効終了日
ソース	string	いいえ	データのソース
production_process_id	string	いいえ	プロセスオペレーションのタイプ 例え、マシンを停止します。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、タイムスタンプのデフォルト値は、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

外部キーを含む列名の一覧は次の表のとおりです。

	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
to_site_id、from_site_id	ネットワーク	site	id

	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
tpartner_id	組織	trading_partner	id
transportation_lane_id	ネットワーク	transportation_lane	id
production_process_id	操作	production_process	production_process_id

sourcing_schedule

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
sourcing_schedule	sourcing_schedule_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
sourcing_schedule_id	文字列	はい	調達スケジュール ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID を表示する。
tpartner_id ²	string	いいえ	取引先 ID

列	データ型	必要	説明
status	string	いいえ	供給スケジュールのステータス。例えば、アクティブ、非アクティブなど。
from_site_id ²	string	いいえ	発送元サイト ID。例えば、ハブ、ベンダーなど。
to_site_id ²	string	いいえ	配送先サイト ID。例えば、ネットワーク内のハブや顧客など。
schedule_type	string	いいえ	スケジュールのタイプ。例えば、インバウンド注文、アウトバウンド発送など。
eff_start_date	timestamp	あり ¹	スケジュールが有効になる日時
eff_end_date	timestamp	あり ¹	スケジュールが有効である最終日時

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、タイムスタンプのデフォルト値は、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
from_site_id、to_site_id	ネットワーク	site	id
company_id	組織	company	id
tpartner_id	組織	trading_partner	id

sourcing_schedule_details

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
sourcing_schedule_details	sourcing_schedule_detail_id、sourcing_schedule_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
sourcing_schedule_detail_id	文字列	はい	スケジュール詳細の ID
sourcing_schedule_id	文字列	はい	調達スケジュールの ID
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID を表示する。

列	データ型	必要	説明
product_id ¹	string	いいえ	スケジュールの詳細が特定の製品の場合に使用される製品 ID。
product_group_id ¹	string	いいえ	スケジュールの詳細が製品グループの場合に使用される製品グループ ID。
day_of_week	string	いいえ	供給スケジュールが有効な曜日。値は整数でも文字列で指定できる。日: 0 月: 1 火: 2 水: 3 木: 4 金: 5 土: 6
week_of_month	string	いいえ	月に X 回注文する場合に使用する。day_of_week と組み合わせて使用する。1 か月に複数回使用する場合は、複数の行を使用する。

列	データ型	必要	説明
time_of_day	timestamp	いいえ	供給スケジュールの詳細が1日の特定の時間に関する場合は、このフィールドにその情報を入力する。時間値のみが使用される。
date	timestamp	いいえ	供給スケジュールの詳細が特定の日付に関する場合は、このフィールドにその情報を入力する。日付値のみが使用される。

¹外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id

リザベーション

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
リザベーション	reservation_id、reservation_detail_id

reservation データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
reservation_id	文字列	はい	予約の ID
reservation_detail_id	文字列	はい	予約詳細の ID
reservation_type	string	いいえ	予約のタイプ。 例えば、調達や などです build- to-stock。
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
status	string	いいえ	予約のステータス
product_id ¹	string	いいえ	製品 ID
site_id ¹	string	いいえ	サイト ID
数量	double	いいえ	予約数量
quantity_uom	string	いいえ	予約に関連する 数量 UOM
reservation_date	timestamp	いいえ	予約生成日

列	データ型	必要	説明
is_deleted	string	いいえ	予約が削除されたかどうかを示す「はい」または「いいえ」の識別子
requisition_id ¹	string	いいえ	インバウンド注文タイプへのソースオブジェクト識別子の参照
requisition_line_id ¹	string	いいえ	インバウンド注文明細へのソースオブジェクト識別子の参照
rfq_id ¹	string	いいえ	RFQ タイプのインバウンド注文へのソースオブジェクト識別子の参照
rfq_line_id ¹	string	いいえ	RFQ タイプのインバウンド注文明細へのソースオブジェクト識別子の参照
order_id ¹	string	いいえ	バウンド注文へのソースオブジェクト識別子の参照

列	データ型	必要	説明
order_line_id ¹	string	いいえ	インバウンド注文明細へのソースオブジェクト識別子の参照
order_line_schedule_id ¹	string	いいえ	インバウンド注文明細スケジュールへのソースオブジェクト識別子の参照
stock_transfer_1_order_id	string	いいえ	在庫転送注文 ID
stock_transfer_1_order_line_id	string	いいえ	在庫転送注文明細 ID
stock_transfer_2_order_id	string	いいえ	在庫転送注文 ID
stock_transfer_2_order_line_id	string	いいえ	在庫転送注文明細 ID
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID
ソース	string	いいえ	データのソース

¹外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
site_id	ネットワーク	site	id
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
冪等_id、rfq_id	インバウンド	inbound_order_line	order_id
冪等折れ線_id、rfq_line_id	インバウンド	inbound_order_line	id
order_line_schedule_id	インバウンド	inbound_order_line_schedule	id

操作

このセクションには、オペレーションカテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [process_header](#)
- [process_operation](#)
- [process_product](#)
- [production_process](#)

process_header

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
process_header	process_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
process_id	文字列	はい	プロセス ID。例えば、プロセス注文、作業指示、メンテナンス注文など。
type	string	いいえ	プロセスのタイプ。例えば、メンテナンス、修理など。
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
site_id ¹	string	いいえ	サイト ID またはプラント ID
site_location	string	いいえ	サイト内またはプラント内のロケーション名またはセクション名
planning_group	string	いいえ	作業を計画するグループ。このフィールドはソースシステムの組織エンティティとなる。

列	データ型	必要	説明
execution_group	string	いいえ	作業を実行するグループ。このフィールドはソースシステムの組織エンティティとなる。
program_group	string	いいえ	グループの作業に使用される長時間実行プログラムまたはプロジェクト名。例えば、メンテナンスキャンペーン。
status	string	いいえ	プロセスのステータス
revision	string	いいえ	計画グループまたはプログラムグループに関連するリビジョン番号
latest_start_date	timestamp	いいえ	プロセスの最新開始日
説明	string	いいえ	プロセスの説明
priority	string	いいえ	プロセスの優先度
planned_cost	double	いいえ	プロセスの予定コスト合計

列	データ型	必要	説明
currency_uom	string	いいえ	値が指定されている通貨
planned_completion_date	timestamp	いいえ	プロセスの完了予定日
planned_closing_date	timestamp	いいえ	プロセスの終了予定日
planned_release_date	timestamp	いいえ	プロセスのリリース予定日
planned_start_date	timestamp	いいえ	プロセスの開始予定日
actual_completion_date	timestamp	いいえ	プロセスの実際の完了日
actual_closing_date	timestamp	いいえ	プロセスの実際の終了日
actual_release_date	timestamp	いいえ	プロセスの実際のリリース日
actual_start_date	timestamp	いいえ	プロセスの実際の開始日
process_url	string	いいえ	ソースシステムのプロセスレコードにアクセスするためのURL
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ

列	データ型	必要	説明
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID
ソース	string	いいえ	データのソース

¹外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
site_id	ネットワーク	site	id
company_id	組織	company	id

process_operation

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
process_operation	process_operation_id、process_id

process_operation データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
process_operation_id	文字列	はい	プロセスオペレーションのタイプ
process_id ¹	文字列	はい	プロセス ID。例えば、プロセス、作業指示、メンテナンス注文など。
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
type	string	いいえ	プロセス内のオペレーションタイプ。例えば、機器を開くなど。
site_location	string	いいえ	サイト内またはプラント内のロケーション名またはセクション名
status	string	いいえ	プロセスのステータス
operation_name	string	いいえ	オペレーション名
operation_sequence	string	いいえ	プロセス内のオペレーションのシーケンス
planned_start_dttm	timestamp	いいえ	オペレーション開始予定日時

列	データ型	必要	説明
planned_end_dttm	timestamp	いいえ	オペレーション終了予定日時

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
process_id	操作	process_header	process_id
company_id	組織	company	id

process_product

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
process_product	process_product_id、process_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
process_product_id ¹	文字列	はい	プロセスと製品に関連する ID
process_id ¹	文字列	はい	プロセス ID。例えば、プロセス

列	データ型	必要	説明
			注文、作業指示、メンテナンス注文など。
process_operation_id ¹	string	いいえ	プロセスオペレーション ID。これはオプションのフィールドです。
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
product_id ¹	string	いいえ	リクエストされた製品の製品 ID
type	string	いいえ	プロセス内で関連付けられているタイプ。例えば、使用状況や生産など。
product_value	double	いいえ	リクエストされた製品の金銭的価値
currency_uom	string	いいえ	製品の通貨 UOM
status	string	いいえ	製品プロセスのステータス
requested_availability_date	timestamp	いいえ	品目の提供がリクエストされた日付
quantity_submitted	double	いいえ	商品の処理の一環として送信された数量

列	データ型	必要	説明
quantity_confirmed	double	いいえ	リクエストに対して確認された数量
quantity_consumed	double	いいえ	消費された数量とこのプロセスまたは作業指示の数量との比較
reservation_id ¹	string	いいえ	このレコードに関連付けられている予約 ID へのリンク
reservation_detail_id ¹	string	いいえ	このレコードに関連付けられている予約詳細 ID へのリンク
quantity_uom	string	いいえ	数量の測定単位
process_product_url	string	いいえ	ソースシステムのプロセス製品レコードにアクセスするための URL
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列名
product_id	製品	product	id
company_id	組織	company	id
process_id	操作	process_header	process_id
process_operation_id	操作	process_operation	process_operation_id
reservation_id	計画	リザーベーション	reservation_id
reservation_detail_id	計画	リザーベーション	reservation_detail_id

production_process

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
production_process	production_process_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
production_process_id	文字列	はい	プロセスと製品に関連する ID

列	データ型	必要	説明
production_process_type	string	いいえ	特定の本番プロセスのタイプ。例えば、アセンブリ、冪定などです。
production_process_name	string	いいえ	特定の本番プロセスの名前。例えば、ミリング、ドリル、パーティクルなどです。
product_id ¹	string	いいえ	本番稼働プロセスに関連付けられた製品。
company_id ¹	string	いいえ	本番プロセスに関連付けられた会社 ID。
site_id ¹	string	いいえ	本番稼働プロセスが実行されているサイト ID。
start_location	string	いいえ	プロセスが開始される場所。
end_location	string	いいえ	プロセスが終了する場所。
setup_time	double	いいえ	プロセスを設定する時間。
setup_time_uom	string	いいえ	セットアップ時間の測定単位。

列	データ型	必要	説明
operation_time	double	いいえ	プロセスを完了する合計時間。
operation_time_uom	string	いいえ	オペレーション時間の測定単位。
frozen_horizon	double	いいえ	本番稼働プロセスに変更がない期間。
frozen_horizon_uom	string	いいえ	フリーズ期間の測定単位。
unit_cost	double	いいえ	生産プロセスのコスト。
cost_uom	string	いいえ	生産プロセスコストの測定単位
ソース	string	いいえ	データのソース
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列名
product_id	製品	product	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列名
company_id	組織	company	id
site_id	ネットワーク	site	id

在庫管理

このセクションには、在庫管理カテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [inv_level](#)

inv_level

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
inv_level	snapshot_date、site_id、product_id、inv_condition、lot_number

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
snapshot_date	timestamp	あり ¹	インベントリスナップショットが作成された日時
site_id ²	string	あり ¹	インベントリのサイト ID

列	データ型	必要	説明
product_id ²	string	あり ¹	インベントリの製品 ID が表示される。
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
on_hand_inventory	double	はい	現場で入手可能な実地棚卸品目
allocated_inventory	double	いいえ	プロセスに割り当てられたインベントリ
bound_inventory	double	いいえ	プロセスに制約された在庫
quantity_uom	string	いいえ	在庫の数量測定単位

列	データ型	必要	説明
inv_condition	string	はい ^[1]	<p>在庫の状態。状態が異なる在庫は、異なる行に表示される。独自の値を入力することもできる。</p> <p>の予約済みインベントリ条件値 AWS Supply Chain は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Unrestricted - 在庫あり• Inspection - 品質不適正またはその他の検査を下回る。• Returns - 返品エリアに送られる在庫• Blocked - 在庫が一定の理由でブロックされている。• InTransfer - 在庫在庫転送中に使用されません。• Restricted - その他の理由で制限されている

列	データ型	必要	説明
			るが、ぶろっくはされていない。
lot_number	string	あり ¹	インベントリのロット番号
expiry_date	timestamp	いいえ	インベントリの有効期限
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列データ型のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_id	製品	product	id
company_id	組織	company	id
site_id	ネットワーク	site	id

インバウンド

このセクションには、インバウンドカテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [inbound_order](#)
- [inbound_order_line](#)
- [inbound_order_line_schedule](#)
- [shipment](#)
- [shipment_stop](#)
- [shipment_stop_order](#)
- [shipment_lot](#)

inbound_order

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
inbound_order	id、tpartner_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	string	はい ^[1]	オブジェクト ID。
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
order_creation_date	timestamp	いいえ	注文作成日
order_type	string	いいえ	注文タイプを表示する。AWS

列	データ型	必要	説明
			Supply Chainの予約注文タイプは、次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> • PO - 発注 • TO - 転送注文 • MO - 製造注文 • BO - 一括注文 • CO - 消費注文
order_status	string	いいえ	注文ステータス
to_site_id ²	string	いいえ	注文発送先サイト
tpartner_id ²	string	あり ¹	注文発送先の取引先
order_currency_uom	string	いいえ	会社が使用する通貨 UOM
vendor_currency_uom	string	いいえ	ベンダーが使用する通貨 UOM
exchange_rate	double	いいえ	換算に使用した為替レート
exchange_rate_date	timestamp	いいえ	為替レートが計算された日時
incoterm	string	いいえ	3文字のインコタームコード
incoterm2	string	いいえ	所有権移転場所

列	データ型	必要	説明
incoterm_location_1	string	いいえ	インコタームロケーション 1。site_id または 注文/編集時に使用したロケーション
incoterm_location_2	string	いいえ	インコタームロケーション 2。site_id または 注文/編集時に使用したロケーション
submitted_date	timestamp	いいえ	注文がベンダーに送信された日時
agreement_start_date	timestamp	いいえ	PO が契約または同意書に関連付けられている場合は、契約の開始日時。
agreement_end_date	timestamp	いいえ	PO が契約または契約に関連付けられている場合、契約の終了日時。
shipping_instr_code	string	いいえ	配送指示用コード
payment_terms_code	string	いいえ	支払い指示用コード

列	データ型	必要	説明
std_terms_agreement	string	いいえ	会社とベンダーの間の同意書
std_terms_agreement_ver	string	いいえ	会社とベンダーの間の同意書のバージョン
agreement_number	string	いいえ	契約または同意書に関連する番号
inbound_order_url	string	いいえ	ソースシステムのインバウンド注文レコードにアクセスするための URL
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID
ソース	string	いいえ	データのソース

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
tpartner_id	組織	trading_partner	id
company_id	組織	company	id
to_site_id	ネットワーク	site	id

inbound_order_line

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
inbound_order_line	id、order_id、tpartner_id、product_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	string	あり ¹	注文明細 ID 値は一意である必要があります。
order_id ²	string	あり ¹	親注文の ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
tpartner_id ²	string	あり ¹	注文発送先のパートナー
line_creation_date	timestamp	いいえ	明細作成日
product_id ²	string	あり ¹	製品 ID

列	データ型	必要	説明
product_group_id ²	string	いいえ	製品グループの ID
supplier_product_id	string	いいえ	サプライヤーが使用する製品番号
order_type	string	いいえ	エラーのタイプ
external_line_number	string	いいえ	代替明細番号 (お客様のシステムで使用している場合)
status	string	いいえ	明細のステータス (キャンセル済み、終了、オープンなど)
from_site_id ²	string	いいえ	注文明細の発送元サイト
to_site_id ²	string	いいえ	注文発送先サイト
vendor_status	string	いいえ	ベンダーのシステムでの明細ステータス
コスト	double	いいえ	すべての値引き適用後の会社の通貨単位での製品コスト
cost_uom	string	いいえ	会社の通貨単位でのコスト UOM

列	データ型	必要	説明
submitted_cost	double	いいえ	会社の通貨単位での送信時の製品のコスト
submitted_cost_vendor	double	いいえ	ベンダーの通貨単位での送信時の製品のコスト
shipping_cost	double	いいえ	ベンダーから会社へのインバウンド配送コスト
tax_cost	double	いいえ	製品の税コスト
quantity_submitted	double	はい	ベンダーに送信した数量
quantity_confirmed	double	いいえ	ベンダーの確認済み数量
quantity_received	double	いいえ	在庫に受け入れた数量
quantity_uom	string	いいえ	注文明細行の数量 UOM
submitted_date	timestamp	いいえ	注文がベンダーに送信された日時
expected_delivery_date	timestamp	いいえ	注文が配送される予定の日付
confirmation_date	timestamp	いいえ	ベンダーが注文を確認した日時

列	データ型	必要	説明
earliest_ship_date	timestamp	いいえ	ベンダーがこの注文で製品を送送できる最も早い日時
latest_ship_date	timestamp	いいえ	ベンダーがこの注文で製品を送送できる最も遅い日時
earliest_delivery_date	timestamp	いいえ	ベンダーがこの注文で製品を納品できる最も早い日時
latest_delivery_date	timestamp	いいえ	ベンダーがこの注文で製品を納品できる最も遅い日時
incoterm	string	いいえ	3文字のインコタームコード
incoterm2	string	いいえ	所有権移転場所
incoterm_location_1	string	いいえ	インコタームロケーション1。site_id または 注文/編集時に使用したロケーション

列	データ型	必要	説明
incoterm_location_2	string	いいえ	インコタームロケーション 2。site_id または 注文/編集時に使用したロケーション
requisition_number	string	いいえ	購買依頼番号
order_receive_date	timestamp	いいえ	注文が会社のロケーションに保管された日時
reservation_id ²	string	いいえ	明細に関連付けられた予約 ID
reference_object	string	いいえ	別のオブジェクトまたはエンティティがレコードを作成したり、それに応じてレコードが作成されたりする場合は、エンティティ名を入力する。例えば、inbound_order、outbound_order

列	データ型	必要	説明
reference_object_type	string	いいえ	特定のタイプのオブジェクトがアクティビティを作成したり、それに応じてアクティビティが作成されたりする場合は、ここでタイプを指定する。例えば、PO (発注) と TO (転送注文) など
reference_object_id	string	いいえ	関連する参照オブジェクトの ID
reference_detail_id	string	いいえ	関連する参照オブジェクト ID の詳細または明細の ID (該当する場合)
inbound_order_line_url	string	いいえ	ソースシステムのインバウンド注文明細レコードにアクセスするための URL
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ

列	データ型	必要	説明
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID
ソース	string	いいえ	データのソース
sap_lips__vbeln	string	いいえ	配送番号 SAP マッピングの述語キー。VTTP、LIPK のアップサートキー。
sap_vttp__tknum	string	いいえ	出荷番号 SAP マッピングの述語キー。VTTK のアップサートキー。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
tpartner_id	組織	trading_partner	id
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
from_site_id	ネットワーク	site	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
order_id	インバウンド	inbound_order	id
reservation_id	計画	リザベーション	reservation_id

inbound_order_line_schedule

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
inbound_order_line_schedule	id、order_id、order_line_id、product_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	string	はい [1]	注文明細 ID 値は一意である必要があります。
order_id ²	string	はい [1]	親注文の ID
order_line_id ²	文字列	はい	親注文明細の ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
status	string	いいえ	明細のステータス、例えば、送信済、確認済

列	データ型	必要	説明
			<p>ど。以下は、の 予約値です AWS Supply Chain。</p> <ul style="list-style-type: none">Cancelled - SAP のマッピ ングに入力さ れている。削 除済みにも使 用される。Open - SAP の マッピングに は入力されて いない。Closed - SAP のマッピング には入力され ていない。InTransit - SAP マッピン グに入力され ていません。Confirmed - SAP のマッ ピングには入 力されていない。

 Note

NULL 値
も許容さ
れる。ま
たは、独

列	データ型	必要	説明
			<div style="border: 1px solid #add8e6; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> 自の値を入力することもできる。 </div>
schedule_creation_date	timestamp	いいえ	スケジュール作成日
product_id ²	string	はい ^[1]	製品 ID
external_line_number	string	いいえ	外部明細番号
expected_delivery_date	timestamp	いいえ	製品の納品予定日
confirmation_date	timestamp	いいえ	ベンダーが注文明細、スケジュール、または注文を確認した日時
goods_issue_date	timestamp	いいえ	品目が発送元で出荷可能になった日時
material_availability_date	timestamp	いいえ	品目が発送元で出荷可能になった日時
ship_date	timestamp	いいえ	ベンダーがこれで製品を出荷する日時 order-line-schedule

列	データ型	必要	説明
delivery_date	timestamp	いいえ	ベンダーがこのスケジュールで製品を納品できる日時
quantity_submitted	double	いいえ	ベンダー (PO) に送信された数量、または転送される数量
quantity_confirmed	double	いいえ	ベンダーの確認済み数量
quantity_received	double	いいえ	配送先の在庫に受け入れた数量
sap_lips__vbeln	string	いいえ	配送番号 SAP マッピングの述語キー。VTPP のアップサートキー
sap_vttp__tknum	string	いいえ	出荷番号 SAP マッピングの述語キー。VTTK のアップサートキー

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
order_id	インバウンド	inbound_order	id
order_line_id	インバウンド	inbound_order_line	id

shipment

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
shipment	id、supplier_tpartner_id、product_id、order_id、order_line_id、package_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	発送 ID
creation_date	timestamp	いいえ	作成日
packaging_hierarchy_type	string	いいえ	コンテナ、パレット、カートン、パレットなど、貨物の構造に関する情報

列	データ型	必要	説明
supplier_tpartner_id ²	string	あり ¹	ベンダーのサプライヤーパートナー ID
supplier_description	string	いいえ	パートナーの説明
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
customer_description	string	いいえ	顧客の説明
ship_from_site_id ²	string	いいえ	この発送が開始されるサイト
ship_from_site_description	string	いいえ	アウトバウンド発送サイトの説明
ship_from_site_address_1	string	いいえ	発送元サイトの住所
ship_from_site_address_2	string	いいえ	発送元サイトの住所
ship_from_site_address_city	string	いいえ	配送元サイトの都市
ship_from_site_address_state	string	いいえ	発送元サイトの都道府県
ship_from_site_address_country	string	いいえ	発送元サイトの国
ship_from_site_address_zip	string	いいえ	発送元サイトの郵便番号

列	データ型	必要	説明
ship_to_site_id ²	string	いいえ	この発送の終点サイト
ship_to_site_description	string	いいえ	インバウンド発送受け取りサイトの説明
ship_to_site_address_1	string	いいえ	配送先サイトの住所
ship_to_site_address_2	string	いいえ	配送先サイトの住所
ship_to_site_address_city	string	いいえ	配送先サイトの都市
ship_to_site_address_state	string	いいえ	配送先サイトの都道府県
ship_to_site_address_country	string	いいえ	配送先サイトの国
ship_to_site_address_zip	string	いいえ	配送先サイトの郵便番号
origin_port	string	いいえ	積荷港
destination_port	string	いいえ	配送先の港
transportation_mode	string	いいえ	輸送手段
routing_sequence	string	いいえ	ASN からのルーティングシーケンス ID
routing_description	string	いいえ	ルーティングの説明

列	データ型	必要	説明
carrier_id ²	string	いいえ	配送業者の ID
carrier_description	string	いいえ	配送業者の説明
service_level	string	いいえ	配送のサービスレベル
transportation_id	string	いいえ	船舶コード またはトレーラー番号
transportation_description	string	いいえ	船舶の説明
conveyance_id	string	いいえ	旅程番号
bill_of_lading_number	string	いいえ	船荷証券番号
master_bill_of_lading_number	string	いいえ	マスター船荷証券番号
carrier_reference_number	string	いいえ	配送業者の参照番号
shipper_reference_number	string	いいえ	荷送人参照番号
equipment_code	string	いいえ	装置コード
equipment_number	string	いいえ	装置番号
seal_number	string	いいえ	シール番号
equipment_type	string	いいえ	装置タイプ
package_type	string	いいえ	パッケージのタイプ。

列	データ型	必要	説明
package_quantity	double	いいえ	パッケージの数量
weight_qualifier	string	いいえ	連結重量などの EDI 重量タイプを指定するコード
weight	double	いいえ	製品の重量
weight_uom	string	いいえ	製品の重量 UOM
shipment_status	string	いいえ	配送ステータス
planned_ship_date	timestamp	いいえ	配送予定日
actual_ship_date	timestamp	いいえ	実際の発送日
planned_delivery_date	timestamp	いいえ	納品予定日
actual_delivery_date	timestamp	いいえ	実際の納品日
carrier_eta_date	timestamp	いいえ	配送業者からの到着予定日

列	データ型	必要	説明
latest_milestone	string	いいえ	統合センターへの到着など、milestone_dateに関連するイベントやステータスをキャプチャするために必要なテキストまたは文字列フィールド
latest_milestone_date	timestamp	いいえ	最新のマイルストーン日付
incoterms	string	いいえ	3文字のインコタームコード
line_id	string	いいえ	発送明細 ID
product_id ²	文字列	はい	製品 ID
product_description	string	いいえ	製品の説明
tp_product_id	string	いいえ	取引先の製品 ID
upc	string	いいえ	UPC
units_shipped	double	いいえ	発送済み単位
uom	string	いいえ	UOM
hts_code	string	いいえ	HTS コード

列	データ型	必要	説明
order_id ²	string	あり ¹	注文 ID
order_type	string	いいえ	注文タイプ
order_customer_tpartner_id	string	いいえ	注文の顧客 ID
order_supplier_tpartner_id	string	いいえ	注文のサプライヤー ID
order_line_id ²	string	あり ¹	注文明細 ID
ship_to_site ²	string	いいえ	最終発送先ロケーション
package_id	string	あり ¹	パッケージ ID
source_update_dttm	timestamp	いいえ	ソースシステムで実行された更新の日付タイムスタンプ
source_event_id	string	いいえ	ソースシステムで作成されたイベントの ID
ソース	string	いいえ	データのソース
ボリューム	double	いいえ	出荷の量
volume_uom	string	いいえ	出荷の測定量単位

列	データ型	必要	説明
sap_vtvp__vbeln	string	いいえ	配送番号 SAP マッピングの述語キー。LIKP、LIPS のアップサートキー。
sap_but021_fs__addrnumber	string	いいえ	住所番号。ADRC の述語キー (配送先住所用)。
sap_t001w__adrnr	string	いいえ	住所番号。SAP マッピングの述語キー。ADRC のアップサートキー。
sap_vttk__bev1_rpmowa	string	いいえ	車両番号 SAP マッピングの述語キー。Equi のアップサートキー。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
supplier_tpartner_id	組織	trading_partner	id
company_id	組織	company	id
ship_from_site_id、 ship_to_site_id、sh ip_to_site	ネットワーク	site	id
product_id	製品	product	id
order_id	インバウンド	inbound_order	id
order_line_id	インバウンド	inbound_order_line	id

shipment_stop

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
shipment_stop	shipment_stop_id、shipment_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
shipment_stop_id	文字列	はい	発送停止 ID
shipment_id ¹	文字列	はい	発送 ID
シーケンス	整数	いいえ	発送シーケンス

列	データ型	必要	説明
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
site_id ¹	string	いいえ	サイト ID
planned_arrival_start_dttm	timestamp	いいえ	貨物の到着予定開始日時
planned_arrival_end_dttm	timestamp	いいえ	貨物の到着予定終了日時
planned_departure_start_dttm	timestamp	いいえ	出荷開始予定日時
planned_departure_end_dttm	timestamp	いいえ	出荷終了予定日時
actual_arrival_start_dttm	timestamp	いいえ	貨物到着の実際の開始日時
actual_arrival_end_dttm	timestamp	いいえ	貨物到着の実際の終了日時
actual_departure_start_dttm	timestamp	いいえ	出荷の実際の開始日時
actual_departure_end_dttm	timestamp	いいえ	出荷の実際の終了日時
appointment_number	string	いいえ	予約番号

 **Note**
 AWS Supply Chain ウェブアプリケーションは、この列を appointment_number として表示します。

列	データ型	必要	説明
delivery_number	string	いいえ	貨物の配送番号

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
site_id	ネットワーク	site	id
shipment_id	インバウンド	shipment	id

shipment_stop_order

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
shipment_stop_order	shipment_stop_order_id、shipment_stop_id、shipment_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
shipment_stop_order_id	文字列	はい	発送停止注文ID

列	データ型	必要	説明
shipment_stop_id ¹	文字列	はい	発送停止 ID
shipment_id ¹	文字列	はい	発送 ID
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID
site_id ¹	string	いいえ	サイト ID
inbound_order_id ¹	string	いいえ	インバウンド 注文 ID
inbound_order_line_id ¹	string	いいえ	インバウンド 注文品目 ID
inbound_order_line_schedule_id ¹	string	いいえ	インバウンド 注文明細スケ ジュール ID
アクション	string	いいえ	集荷または配 達出荷
数量	double	いいえ	アクションと 注文に関連す る数量
quantity_uom	string	いいえ	発送数量 UOM

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
site_id	ネットワーク	site	id
shipment_id	インバウンド	shipment	id
shipment_stop_id	インバウンド	shipment_stop	shipment_stop_id
inbound_order_id	インバウンド	inbound_order_line	order_id
inbound_order_line_id	インバウンド	inbound_order_line	id
inbound_order_line_schedule_id	インバウンド	inbound_order_line_schedule	id

shipment_lot

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
shipment_lot	id、product_id、tpartner_id、order_id、ships_id、order_line_id、package_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	発送 ID 一意の出荷識別子

列	データ型	必要	説明
product_id ²	文字列	はい	製品 ID 一意の製品識別子。
serial_number	string	いいえ	バッチに割り当てられた一意のシリアル番号。シリアル番号は、追跡とトレーサビリティの目的でよく使用されます。特に、ロットレベルの追跡が重要な業界ではそうです。
lot_qty	double	はい	特定のロット内の数量またはユニット数。これにより、各ロットのサイズまたはボリュームを追跡できます。
mfg_date	timestamp	いいえ	製造日
expiry_date	timestamp	いいえ	有効期限

列	データ型	必要	説明
tpartner_id ²	string	いいえ ¹	出荷を送信するパートナー 例えば、POs で生成された出荷はベン ダーになります。
order_id	string	いいえ ¹	注文 ID
shipment_id ²	string	あり ¹	発送 ID 一意 の出荷識別子
order_line_id ²	string	いいえ ¹	注文明細 ID
package_id ²	string	いいえ ¹	パッケージ ID 1 つの出荷 で EDI に複 数のパッケージ を含めるこ とができま す。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_id	インバウンド	shipment	product_id
tpartner_id	インバウンド	shipment	supplier_tpartner_id
order_id	インバウンド	shipment	order_id
shipment_id	インバウンド	shipment	id
order_line_id	インバウンド	shipment	order_line_id
package_id	インバウンド	shipment	package_id

アウトバウンド納品

このセクションには、アウトバウンド納品カテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [outbound_order_line](#)
- [outbound_shipment](#)

outbound_order_line

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
outbound_order_line	id、cust_order_id、product_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	string	あり ¹	アウトバウンド注文明細 ID
cust_order_id	string	あり ¹	アウトバウンド注文 ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
order_date	timestamp	いいえ	顧客の注文日時
product_id ²	string	あり ¹	製品 ID
product_group_id ²	string	いいえ	製品グループ ID
customer_tpartner_id ²	string	いいえ	顧客の取引先 ID
status	string	いいえ	顧客注文のステータス
init_quantity_requested	double	いいえ	元の注文数量
final_quantity_requested	double	いいえ	キャンセル後または変更後の最終数量
quantity_uom	string	いいえ	注文明細の数量測定単位
requested_delivery_date	timestamp	いいえ	注文明細の納品リクエスト日

列	データ型	必要	説明
promised_delivery_date	timestamp	いいえ	注文明細の納品予定日
actual_delivery_date	timestamp	いいえ	注文明細の実際の納品日
list_price	double	いいえ	注文明細の製品の定価
sold_price	double	いいえ	プロモーション、価格変更、割引などを適用した後の注文明細の製品の販売価格
割引	double	いいえ	この商品の注文明細に適用された割引
discount_code	string	いいえ	注文明細に使用される割引コード
currency_uom	string	いいえ	通貨のUUOM
tax	double	いいえ	注文明細の税額
incoterm1	string	いいえ	所有権移転場所
incoterm2	string	いいえ	所有権移転場所

列	データ型	必要	説明
ship_from_site_id ²	string	いいえ	製品の発送元のサイト ID
ship_to_site_id ²	string	いいえ	製品の発送先のサイト ID
ship_to_site_address_1	string	いいえ	配送先サイトの住所
ship_to_site_address_2	string	いいえ	配送先サイトの住所
ship_to_site_address_city	string	いいえ	配送先サイトの都市
ship_to_site_address_state	string	いいえ	配送先サイトの都道府県
ship_to_site_address_country	string	いいえ	配送先サイトの国
ship_to_site_address_zip	string	いいえ	配送先サイトの郵便番号
availability_status	string	いいえ	注文時の製品の在庫状況
quantity_promised	double	いいえ	注文明細の約定数量
quantity_delivered	double	いいえ	この注文明細に対する納品数量
channel_id	string	いいえ	この注文に使用されたチャネル ID

列	データ型	必要	説明
sap_2lis_11_vahdr_vbeln	string	いいえ	リファレンスドキュメント番号。SAP マッピングの述語キー。VEDA のアップサートキー。
sap_2lis_11_vaitm_kunnr	string	いいえ	パーティーに販売。SAP マッピングの述語キー。0CUST_SALES_ATTR のアップサートキー。
sap_2lis_11_vaitm_vkorg	string	いいえ	販売組織。SAP マッピングの述語キー。0CUST_SALES_ATTR のアップサートキー。

列	データ型	必要	説明
sap_2lis_11_vaitm__vtweg	string	いいえ	ディストリビューションチャネル。SAP マッピングの述語キー。0CUST_SALES_ATTR のアップサートキー。
sap_2lis_11_vaitm__spart	string	いいえ	除算。SAP マッピングの述語キー。0CUST_SALES_ATTR のアップサートキー。
sap_2lis_11_vaitm__pkunre	string	いいえ	請求先 SAP マッピングの述語キー。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_id	製品	product	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
customer_tpartner_id	組織	trading_partner	id
ship_from_site_id、 ship_to_site_id	ネットワーク	site	id

outbound_shipment

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
outbound_shipment	id、cust_order_id、cust_order_line_id、 product_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	string	はい ^[1]	アウトバウンド 配送 ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
cust_order_id ²	string	はい ^[1]	カスタマー注文 ID
cust_order_line_id ²	string	はい ^[1]	顧客注文明細 ID
product_id ²	string	はい ^[1]	製品 ID

列	データ型	必要	説明
shipped_qty	double	いいえ	発送数量
cust_shipment_status	string	いいえ	発送ステータス (キャンセル済み、オープン、終了、納品済みなど)
expected_ship_date	timestamp	いいえ	製品の会社ロケーションからの発送予定日
actual_ship_date	timestamp	いいえ	製品の会社ロケーションからの実際の発送予定日
from_site_id ²	string	いいえ	製品の発送元のサイト ID
to_site_id ²	string	いいえ	アウトバウンド発送の配送先サイト ID
expected_delivery_date	timestamp	いいえ	顧客への製品納品予定日
actual_delivery_date	timestamp	いいえ	製品が実際に顧客に納品された日時が表示される。
shipping_cost	double	いいえ	最終発送コスト
tracking_number	string	いいえ	発送に関連付けられた追跡番号

列	データ型	必要	説明
bill_weight	double	いいえ	請求に使用した製品の出荷重量
sap_2lis_08trtlp__vbeln	string	いいえ	配送番号 SAP マッピングの述語キー。2LIS_12_VCITM のアップサートキー。
sap_2lis_08trtlp__posnr	string	いいえ	配送項目番号 SAP マッピングの述語キー。2LIS_12_VCITM のアップサートキー。
sap_2lis_08trtlp__tknum	string	いいえ	出荷項目番号 SAP マッピングの述語キー。2LIS_08_TRTK のアップサートキー。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_id	製品	product	id
cust_order_line_id	OutboundFulfillment	outbound_order_line	id
cust_order_id	OutboundFulfillment	outbound_order_line	cust_order_id
from_site_id、to_site_id	ネットワーク	site	id

計画

このセクションには、計画カテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [supply_plan](#)

supply_plan

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
supply_plan	supply_plan_id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
supply_plan_id	文字列	はい	供給計画の ID
company_id ¹	string	いいえ	会社 ID

列	データ型	必要	説明
plan_uuid	string	いいえ	アプリケーションが生成する一意の計画識別子。この ID が supply_plan_id とは別の場合にのみ使用される。
snapshot_date	timestamp	いいえ	データが収集される最終日時
creation_date	timestamp	いいえ	プランが作成される日時
status	string	いいえ	供給計画のステータス
tpartner_id ¹	string	いいえ	取引先 ID。例えば、n 層ネットワークの契約メーカーやサプライヤーなど。
product_id ¹	string	いいえ	製品 ID
product_group_id ¹	string	いいえ	製品グループ ID
to_site_id ¹	string	いいえ	注文発送先サイト
from_site_id ¹	string	いいえ	注文明細の発送元サイト
plan_need_by_date	timestamp	いいえ	供給が to_site_id で必要となる将来の期日と時刻

列	データ型	必要	説明
plan_quantity	double	いいえ	予定数量
commit_date	timestamp	いいえ	tpartner が plan_date に対してコミットした日付
commit_quantity	double	いいえ	tpartner がコミットした数量
supply_upside	double	いいえ	サプライヤーが公開したアップサイドキャパシティ
plan_type	string	いいえ	計画タイプ。例えば、予測コミット、サプライヤー計画など。
plan_window_start	timestamp	いいえ	計画がアプリケーションの計画バケットや計画期間に対応している場合、このフィールドには計画期間の開始日が格納される。

列	データ型	必要	説明
plan_window_end	timestamp	いいえ	計画がアプリケーションの計画バケットや計画期間に対応している場合、このフィールドには計画期間の終了日が格納される。
ソース	string	いいえ	データのソース
production_process_id ¹	string	いいえ	特定の本番プロセスに関連付けられた ID。
plan_cycle_sequence	double	いいえ	特定の注文の計画サイクルのシーケンス番号。
quantity_uom	string	いいえ	数量に関連付けられた UOM
plan_id	string	いいえ	複数の供給計画レコードを対象とする定期計画。
plan_sequence_id	string	いいえ	個々の供給計画または供給計画バージョンに割り当てられた一意の識別子またはシーケンス番号。

列	データ型	必要	説明
プランコスト	double	いいえ	特定の供給計画に関連する推定コストまたは予測コスト。このコストには、調達計画の実行に関連する、未加工のコスト、労働コスト、輸送コスト、保管コスト、その他の関連費用など、さまざまな要因が含まれます。計画された供給活動の実行可能性と実現可能性を評価するための財務指標を提供します。
required_date	timestamp	いいえ	供給計画によって生成された特定の supply_plan で計画を実行する必要がある日付。

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
status	組織	trading_partner	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
to_site_id、from_site_id	ネットワーク	site	id
production_process_id	操作	production_process	production_process_id

Forecast

このセクションには、予測カテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [supplementary_time_series](#)
- [予測](#)

supplementary_time_series

Note

supplementary_time_series データエンティティが見つからない場合、インスタンスが古いデータモデルバージョンを使用している可能性があります。AWS サポートに連絡して、データモデルバージョンをアップグレードするか、新しいデータ接続を作成できます。

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
forecast_supplementary_time_series	id

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
id	文字列	はい	各補足データ入力の一意的識別子。
product_id ²	string	いいえ	特定の製品の一意的識別子。outbound_order_lineデータセットのproduct_idに対応します。
product_group_id	string	いいえ	製品階層またはグループ化。
order_date	timestamp	あり ¹	それぞれの時系列の日付が記録された日時を示すタイムスタンプ。
channel_id	string	いいえ	特定の製品の一意的識別子。outbound_order_lineデータセットのproduct_idに対応します。

列	データ型	必要	説明
customer_tpartner_id ²	string	いいえ	特定のユーザーの一意的識別子。outbound_order_line データセットの customer_tpartner_id フィールドに対応します。
site_id ²	string	いいえ	特定のサイトまたはロケーションの一意的識別子。
ship_to_site_id ²	string	いいえ	特定のサイトまたはロケーションの一意的識別子。これは outbound_order_line データセットの ship_to_site_id に対応します。
ship_to_site_address_zip	string	いいえ	ship_to_site_id の郵便番号。
geo_id ²	string	いいえ	地理的階層 ID。
ship_from_site_id ²	string	いいえ	outbound_order_line データセットの ship_from_site_id に対応します。

列	データ型	必要	説明
ship_from_site_address_zip	string	いいえ	ship_from_site_id の郵便番号。
time_series_name	文字列	はい	time_seri es_name は文字 で始まり、2~56 文字の長さで、 文字、数字、ア ンダースコアを 含めることがで きます。その他 の特殊文字は使 用できません。
time_series_value	文字列	はい	特定の時系列に 対応する値。こ れは、データの タイプに関連す る数量、メトリ クス、または文 字列を表すこと ができます。需 要計画は、追加 の予測入力とし て数値のみをサ ポートします。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
product_id	製品	product	id
site_id	ネットワーク	site	id
customer_tpartner_id	組織	trading_partner	id
ship_to_site_id	アウトバウンドフルフィルメント	outbound_order_line	ship_to_site_id
geo_id	組織	geography	id
ship_from_site_id	アウトバウンドフルフィルメント	outbound_order_line	ship_from_site_id

予測

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
予測	snapshot_date、product_id、site_id、region_id、product_group_id、forecast_start_dttm、forecast_end_dttm

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
snapshot_date	timestamp	はい	予測の生成のためにデータをキャプチャする期間の最終日付

列	データ型	必要	説明
creation_date	timestamp	いいえ	予測作成日
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
product_id ²	string	あり ¹	予測の製品または製品グループレベル
site_id ²	string	あり ¹	予測が生成されるサイト ID
ソース	string	いいえ	データのソース。
region_id ²	string	あり ¹	地理的リージョン ID
product_group_id ²	string	あり ¹	製品グループ ID
reg_agg_type	string	いいえ	リージョンの集計タイプ
mean	double	いいえ	予測の平均値
p10	double	いいえ	予測のパーセンタイル 10 分位数
p20	double	いいえ	予測の P20 分位数。
p30	double	いいえ	予測の P30 分位数。
p40	double	いいえ	予測の P40 分位数。
p50	double	いいえ	予測のパーセンタイル 50 分位数

列	データ型	必要	説明
p60	double	いいえ	予測の P60 分位数。
p70	double	いいえ	予測の P70 分位数。
p80	double	いいえ	予測の P80 分位数。
p90	double	いいえ	予測のパーセンタイル 90 分位数
forecast_start_dttm	timestamp	はい	予測の開始日時
forecast_end_dttm	timestamp	はい	予測の終了日時
default_price	double	いいえ	予測対象製品のデフォルト希望小売価格
forecast_price	double	いいえ	ASIN 販売が予測されていた価格
num_causals	整数	いいえ	予測に適用される因果関係の数
causal_start	timestamp	いいえ	因果関係の開始日
causal_end	timestamp	いいえ	因果関係の終了日
user_override	double	いいえ	予測数量のユーザーによる上書き
user_id	string	いいえ	予測を上書きしたユーザーの ID

列	データ型	必要	説明
act_qty	double	いいえ	予測期間中に販売された実際の注文数量
channel_id	string	いいえ	特定のチャネルの一意の識別子。outbound_order_line データセットの channel_id に対応します。
tpartner_id ²	string	いいえ	Tpartner ID。
user_override_p10	double	いいえ	予測の P10 分位数の値をオーバーライドします。
user_override_p20	double	いいえ	予測の P20 分位数の値をオーバーライドします。
user_override_p30	double	いいえ	予測の P30 分位数の値をオーバーライドします。
user_override_p40	double	いいえ	予測の P40 分位数の値をオーバーライドします。

列	データ型	必要	説明
user_override_p50	double	いいえ	予測の P50 分位数の値をオーバーライドしません。
user_override_p60	double	いいえ	予測の P60 分位数の値をオーバーライドしません。
user_override_p70	double	いいえ	予測の P70 分位数の値をオーバーライドしません。
user_override_p80	double	いいえ	予測の P80 分位数の値をオーバーライドしません。
user_override_p90	double	いいえ	予測の P90 分位数の値をオーバーライドしません。
postal_code	string	いいえ	取引先の郵便番号
tpartner_type	string	いいえ	取引先タイプ
quantity_uom	string	いいえ	数量の測定単位

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id
product_id	製品	product	id
region_id	組織	geography	id
product_group_id	製品	product_hierarchy	id
site_id	ネットワーク	site	id
tpartner_id	組織	trading_partner	id

リファレンス

このセクションには、リファレンスカテゴリのデータエンティティの一覧が記載されています。

トピック

- [reference_field](#)
- [カレンダー](#)
- [uom_conversion](#)

reference_field

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
reference_field	object_name、Object_field、Object_field_value、Object_field_desc

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
object_name	string	あり ¹	例えば、サイトや輸送経路など。
object_field	string	あり ¹	例えば、site_type や trans_mode など。
object_field_value	string	あり ¹	例えば、site_type:01 や trans_mode:01 など。
object_field_desc	string	あり ¹	例えば、site_type:01:DC や trans_mode:01:Surface など。

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列のデフォルト値は SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id

カレンダー

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
カレンダー	calendar_id、date、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
calendar_id	string	あり ¹	カレンダー ID
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
name	string	いいえ	カレンダー名
calendar_type	string	いいえ	顧客データに基づくカレンダーのタイプ
説明	string	いいえ	カレンダーの説明
date	timestamp	はい	各カレンダーレコードに関連付けられた日付
year	整数	はい	カレンダーの年
day	整数	はい	カレンダーの日付

列	データ型	必要	説明
week	整数	はい	カレンダーの週
month	整数	はい	カレンダーの月
is_working	string	いいえ	日付が機能しているかどうかを確認するブール値
is_holiday	string	いいえ	この日付が休日かどうかを確認するブール値
eff_start_date	timestamp	あり ¹	カレンダーの有効開始日
eff_end_date	timestamp	あり ¹	カレンダーの有効終了日
ソース	string	いいえ	データのソース

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、文字列とタイムスタンプの日付タイプの値のデフォルト値は、文字列では SCN_RESERVED_NO_VALUE_PROVIDED、タイムスタンプでは、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id

uom_conversion

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
uom_conversion	uom、conversion_uom_id、eff_start_date、eff_end_date

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
uom	文字列	はい	測定単位 (UOM) 例えば、weight_uom、currency_uom など。
company_id ²	string	いいえ	会社 ID
uom_code	string	いいえ	UOM の代替コード
uom_description	string	いいえ	UOM の説明
uom_type	string	いいえ	UOM タイプ (通貨、重量、数量、単位など)
conversion_uom_id	文字列	はい	変換用の UOM ID
conversion_factor	double	はい	変換係数
eff_start_date	timestamp	あり ¹	有効開始日時

列	データ型	必要	説明
eff_end_date	timestamp	あり ¹	有効終了日時
ソース	string	いいえ	データのソース

¹ 値の入力は必須です。SAP または EDI からデータを取り込む場合、タイムスタンプデータ型の値のデフォルト値は、開始日が 1900-01-01 00:00:00、終了日が 9999-12-31 23:59:59 です。

²外部キー

外部キー (FK)

関連するデータエンティティとカテゴリの列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
company_id	組織	company	id

インサイト

このセクションには、Insights カテゴリ内のデータエンティティが一覧表示されます。

トピック

- [work_order_plan](#)

work_order_plan

プライマリキー (PK)

データエンティティで一意に識別される列名の一覧は、次の表のとおりです。

名前	列
work_order_plan	process_id、product_id、business_process_id、business_process_sequence

データエンティティがサポートする列名の一覧は、次の表のとおりです。

列	データ型	必要	説明
process_id ¹	文字列	はい	作業指示 ID
process_product_id	string	いいえ	プロセスと製品に関連する ID
preferred_source	string	いいえ	製品が在庫から調達されるか (つまり、予測に基づいて在庫があるか)、直接購入から調達されるか (在庫のない製品の場合) を説明する。
product_id	文字列	はい	作業指示の製品 ID (品目)
business_process_id	文字列	はい	業務プロセス ID。例えば、PO、PR、RFQ など。作業指示の製品 ID (品目)。計画には、購買と配送の両方の業務プロセスを含める必要がある。
site_id	string	いいえ	業務プロセスに関連するサイト。このフィールドは購買プロセスではオプションで、配送関連のプロセスでは必須。
business_process_sequence	整数	はい	業務プロセスのシーケンス

列	データ型	必要	説明
duration	整数	はい	日単位の単位
注意事項	string	いいえ	作業指示計画に関するその他の注意事項

¹外部キー

外部キー (FK)

関連する外部キーを含む列の一覧は次の表のとおりです。

列	カテゴリ	FK/データエンティティ	FK/列
process_id	インサイト	process_header	id

のサポートを受ける AWS Supply Chain

管理者で、のサポートに連絡する必要がある場合は AWS Supply Chain、次のいずれかのオプションを選択します。

- AWS Support アカウントをお持ちの場合は、[サポートセンター](#)にアクセスしてチケットを送信してください。
- [AWS Management Console](#)を開き、[AWS Supply Chain]、[サポート]、[ケースを作成] の順に選択します。

次の情報を入力すると便利です。

- AWS Supply Chain インスタンス ID/ARN。
- お客様の AWS リージョン。
- 問題についての詳しい説明。

ドキュメント履歴

次の表に、のドキュメントリリースを示します AWS Supply Chain。

変更	説明	日付
組織ラベル	作業指示ラベルをカスタマイズできます。	2024 年 4 月 30 日
Demand Planning での予測の検証	Demand Planning は、予測の品質または精度をモニタリングし、更新します。	2024 年 4 月 29 日
データレイク内の自動関連付け	AWS Supply Chain 自動関連付け機能を使用して raw データをアップロードし、raw データを AWS Supply Chain データモデルに自動的に関連付けることができます。	2024 年 3 月 27 日
多要素認証	サステナビリティパートナーとして、多要素認証を使用してアカウントのセキュリティを強化できます。	2024 年 3 月 20 日
作業指示インサイトの設定	管理者は、複数のプロセスとマイルストーンを作成して、作業指示を追跡できます。	2024 年 3 月 4 日
Demand Planning の需要要因に基づく予測	予測の設定中に予測の精度を向上させるには、需要要因を使用できます。	2024 年 2 月 22 日
持続可能性	サステナビリティを使用すると、ネットワークへの招待を承諾したパートナーにデータをリクエストできます。	2024 年 1 月 15 日

供給計画	Supply Planning を使用すると、需要に合わせて在庫を正確に計画できます。	2024 年 1 月 15 日
N 階層の可視性	N 階層可視性を使用すると、供給計画から生成されたコンポーネントレベルの予測を取引相手と共有し、その供給コミットメントを取得できます。	2024 年 1 月 15 日
Work Order Insights	Work Order Insights を使用して、サプライチェーンプロセスにわたる品目の作業指示を表示できます。リスクがある作業指示の特定、問題の解決、レコメンデーションを共有することにより、サプライチェーンプロセス全体の効率性を向上できます。	2023 年 11 月 8 日
Demand Planning の更新	Demand Planning の章に製品ライフサイクルに関する情報を追加しました。	2023 年 10 月 31 日
Insights が使用するデータエンティティを更新しました。	Insights が使用するすべての必須データエンティティとオプションのデータエンティティを単一のテーブルに統合しました。	2023 年 10 月 25 日
Demand Planning の更新	Demand Planning の章に製品系列に関する情報を追加しました。	2023 年 10 月 2 日

リージョンのサポートに関する情報の更新	Demand Planning がアジアパシフィック (シドニー) リージョンで利用できるようになりました。	2023 年 9 月 12 日
Demand Planning の更新	Demand Planning の章に、全体的な影響要因と精度メトリックに関する情報を追加しました。	2023 年 8 月 18 日
Demand Planning の更新	Demand Planning の章を新しい Demand Planning ユーザーインターフェイスと一致するように更新しました。	2023 年 7 月 24 日
リージョンのサポートに関する情報の更新	AWS Supply Chain は、アジアパシフィック (シドニー) リージョンおよび欧州 (アイルランド) リージョンでもサポートされるようになりましたが、AWS Supply Chain Demand Planning はこれら 2 つの新しいリージョンではサポートされません。	2023 年 7 月 19 日
一般提供リリース	でサポートされているデータエンティティに関する章を追加 AWS Supply Chain し、 の設定を S/4 HANA および ECC セクションに更新しました。	2023 年 4 月 3 日
初回リリース	AWS Supply Chain ユーザーガイドの初回リリース	2022 年 11 月 29 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。